

2018年1月31日

モニタリング評価報告書

株式会社 アイリンク
光長 功人

中央県で副教材活用の進捗状況について、モニタリングを実施した。以下に、その結果を記す。

期間：2018年1月8日から23日

対象校：6校

トリアン国民学校

ルシアン・エスティメ校

マリ・オーグ・スリエ校

ノートルダム・デュ・サンテスプリ校

トゥサン・ルベールチュール国民学校

ギ・マリー国民学校

調査手法：副教材を各クラス10冊ずつランダム抽出して確認

教師、校長への聞き取り

授業見学

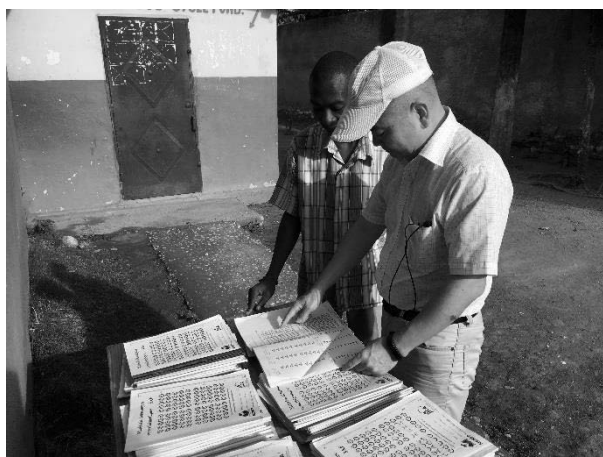


図1 教師への聞き取り トゥサン・ルベールチュール

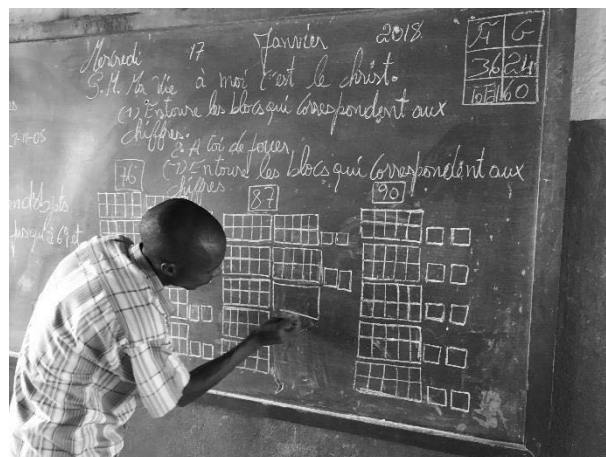


図2 授業見学 トゥサン・ルベールチュール 1年生

調査結果：

(1) 使用状況

生徒個人は直接書き込んでいなくても、教師が授業で説明に副教材を使うという活用法もあるようなので、以下は、あくまで小職の主観的な評価であるが、中間テスト、終了時の評価で、副教材の使用状況と相関について確認する。

	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF			
GM	10	50	20	40	60	80			
TL	40	80	10	80	50	80	10	5頁以下	全く使っていない
SE	30	70	80	60	70	40	20	10頁以下	ほとんど使っていない
							30	20頁以下	成績が上がるのが難しい
LE	60	10	70	50	40	80	40	質、量のともに問題あり	少しは成績が上がるかも
TR	10	10	50	10	10	10	50	質、量のどちらかに問題あり	成績が上がるかも
MA	50	20	50	50	60	80	60	なんとか容認できるレベル	一定の割合で成績が上がる
							70	ほぼ容認できるレベル	高い確率で成績が上がる
							80	容認できるレベル	成績が上がるのが確実
							90	欠席者が放置されている	
							100	日本の先生レベル。ミスなし	

課題は3点で対応は以下の通り。

1.副教材を使う自信がない

上の表を見ると、クラスによって、ばらつきがある事がわかる。モニタリングを実施した1月現在、どの単元を学習済みかで副教材の使用状況は変わってくるが、順調に使用している学校、クラスもあるので言い訳にはならない。

使用状況の良くない教師に理由を確認した所、「副教材の新しいやり方が理解できない」「自信を持って教えられない」とのことであった。教師用の回答冊子を作って手助けしたい。

2.教師が生徒の作業を確認できていない。確認していても見逃しやミスが多くある。また欠席している生徒は放置されている。

理由として、生徒の数が60人程度いて、授業中教師が机間巡視して確認して終わり、すべての生徒を確認できていないことがあげられる。また、生徒が下校後、教師が確認することはない。これでは、成績の伸びを期待することは難しくなる。教師の負担を減らすため、一部頁については、回答を枠外に記載することなどをC/Pと検討する。

3.学年を超えた単元間のつながりが理解できない教師が多い

ある学校の5年生で、「正方形、長方形、平行四辺形、ひし形の特性の比較」の授業をしていた。教師には、「事前に副教材の4年生対象の正方形と長方形の違いについて確認する頁をすると効果的である」とアドバイスした。

まだスクールイヤーの半分の時期であるので単に進捗度の問題である場合もあるものの、現況では、数、計算以外の領域について、ほとんど使われていない。それは、上の例のように、これらの領域の単元間のつながりを教師が理解していないため、副教材を効果的に使うことができないからである。

今後、各校に比較的行き渡っているEFACAP（ハイチの基礎教育強化戦略の一つ）発行の教師用ガイド（週ごとの学習単元が記載）を確認する。副教材の頁を書き加え、どの頁を何月の何週目に学習するのか指示する小冊子を作成する。

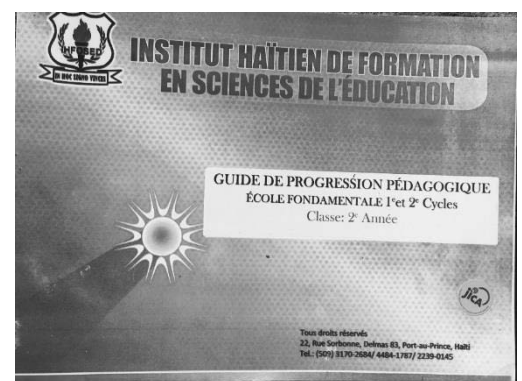


図3 EFACAP 作成教師用ガイド表紙

MOIS	SEMAINE	THEMES	OBJECTIF (S) SPECIFIQUE (S)	CONTENU (S)	MD
Septembre	1 ère Semaine	Activités Fondamentales	Identifier des formes : ronds, carrés, triangles. Ranger des objets suivant la grosseur, la taille.	-Tris — classements Les formes : identification. -Organisation de l'espace — la grosseur.	
	2 ème Semaine	Activités Fondamentales	Identifier des formes : ronds — carrés — triangles. Ranger des objets suivant la grosseur, la taille.	-Tris — classements Les formes : identification. Organisation de l'espace — la grosseur.	
	3 ème Semaine	Activités Fondamentales Numération Géométrie	Identifier des formes : ronds, carrés, triangles. Comparer deux collections d'objets en utilisant la correspondance terme à terme. Tracer différentes lignes passant par des points donnés.	-Tris — classements Les formes : identification. -Concept de nombre — comparaison de 2 collections d'objets (autant que). -Points et lignes.	P1
	4 ème Semaine	Activités Fondamentales Numération Géométrie	Identifier des formes : ronds, carrés, triangles. Comparer deux collections d'objets en utilisant la correspondance terme à terme. Tracer différentes lignes passant par des points donnés.	-Tris — classements Les formes : identification. -Concept de nombre — comparaison de 2 collections d'objets (autant que). -Points et lignes.	

図4 教師用ガイド 算数 1年生 9月第1週から4週 「9月3週目に数の領域でP1を使う」

★授業があまり行われていない学校

トリアン国民学校は、9月の開校週に赴任する教師が決まっていなかった。1月の開校週にも、教師が2人（3年生、6年生）しか来ておらず、授業も行われていなかった。1月中旬に確認すると、3人（1/2年生合同クラス、4年生、5年生）が昨年11月に赴任してきたとのことであった。

このような状態では、この学校では他校と比べ授業があまり行われていない、授業が行われていても、学級崩壊状態に近く、副教材を十分有効活用できている状態ではなかった。

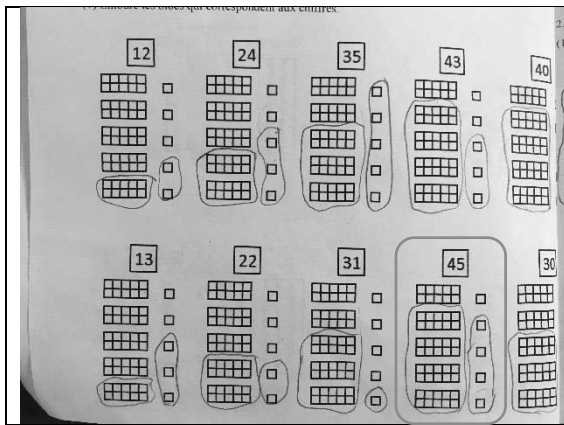
また、この学校では、校長室のセキュリティが万全でないため、副教材を家に持ち帰らせていた。学習状況を確認すると、生徒が自分で学習を進めた形跡はほとんどなく、授業にも持ってきていない生徒を2割程度確認した。教師が授業で使わないせいである。

もちろん、しっかりと副教材を使っている教師はいて、そのような教師のもとでは、副教材を持ち帰らせて、復習もできるのかもしれないが、「教師があてにならないので、生徒の自習に期待する」と期待するのは難しい。

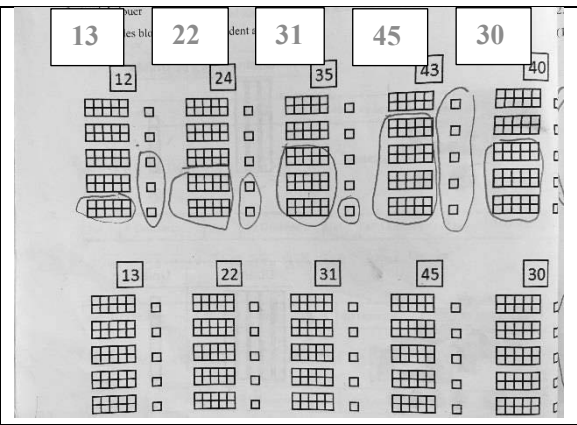
添付資料 生徒の間違いがそのまま放置されている例

1. 数

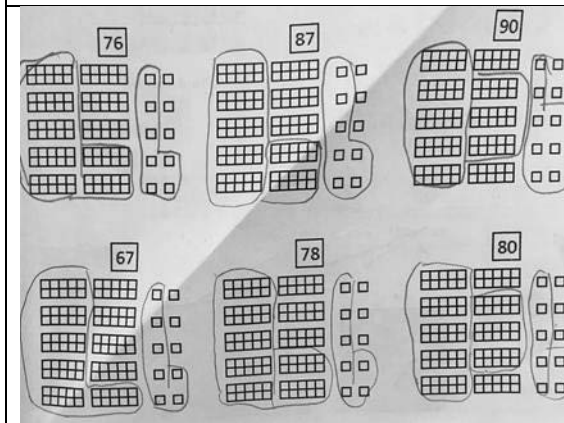
<p>(2) Retiens les signes de doigts correspondant aux monnaies</p>	<p>1. Observe Entoure la quantité de gourdes dans l'espace blanc : Entoure kanite goud nan espas anba.</p> <p>(1) $100G + 10G + 10G + 10G + 10G + 10G + 10G = 150$ Gourdes 150G (a) 60 Gourdes (b) 150 Gourdes (c) 600 Gourdes (d) 10050 Gourdes</p> <p>(2) $100G + 100G + 100G + 10G + 10G + 10G + 10G + 1G = 162$ Gourdes 341G (a) 80 Gourdes (b) 341 Gourdes (c) 800 Gourdes (d) 300401 Gourdes</p> <p>2. A toi de jouer</p> <p>(1) $100G + 10G + 10G + 10G + 10G + 10G + 10G + 1G + 1G = 160$ Gourdes 150G (a) 70 Gourdes (b) 160 Gourdes (c) 700 Gourdes (d) 10060 Gourdes</p> <p>(2) $100G + 100G + 10G + 10G + 10G + 10G + 1G + 1G = 160$ Gourdes 242G (a) 80 Gourdes (b) 800 Gourdes (c) 242 Gourdes (d) 300402 Gourdes</p> <p>(3) $100G + 100G + 100G + 10G + 10G + 10G + 1G + 1G + 1G = 242$ Gourdes 333G (a) 9 Gourdes (b) 90 Gourdes (c) 900 Gourdes (d) 333 Gourdes</p> <p>(4) $100G + 100G + 100G + 1G + 1G + 1G = 160$ Gourdes 303G (a) 6 Gourdes (b) 303 Gourdes (c) 600 Gourdes (d) 3003 Gourdes</p>
<p>途中で終わっている</p> <p>(1) Entoure les 5 bonbons à partir de bas avec □.</p> <p>(2) Entoure le 5ème bonbon à partir de bas avec ○.</p> <p>(3) Entoure les 7 bonbons à partir de bas avec □.</p> <p>(4) Entoure le 3ème bonbon à partir de bas avec ○.</p>	<p>答えが一問ずつズレている→カンニング?</p> <p>12, 13, 14, 15, 16, 17, 18</p>
<p>○番目ができていない</p> <p>14, 15, 16, 17, 18, 19, 20</p>	<p>10の塊を無視している</p> <p>qui correspondent aux chiffres.</p> <p>24, 35, 43</p>
<p>色を塗ることが目的となっている</p>	<p>10の塊を理解していない</p>



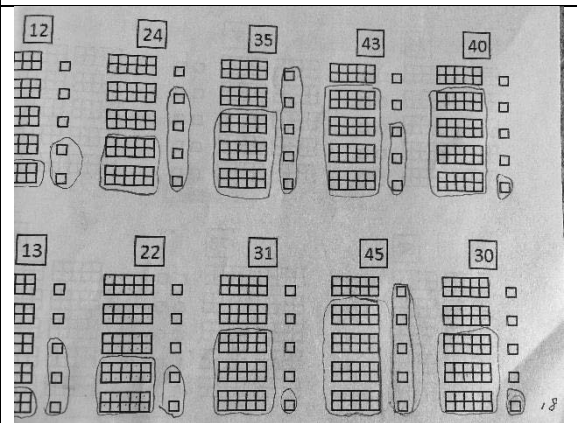
45でなく44になっている



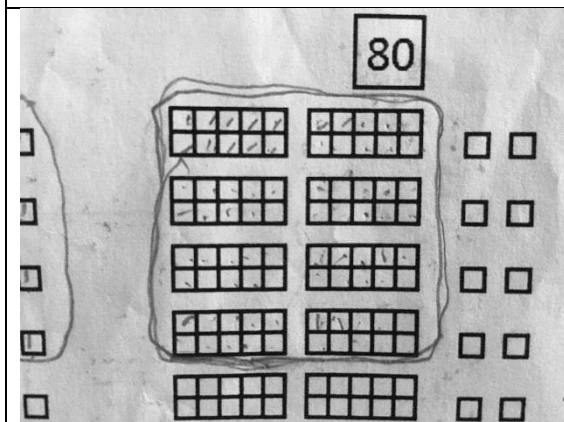
少しずつズレている



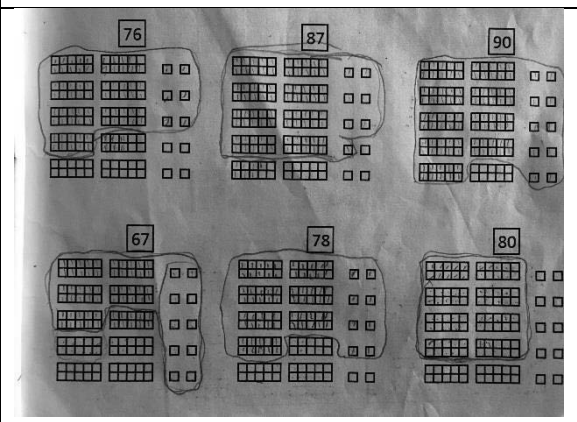
少しずつズレている



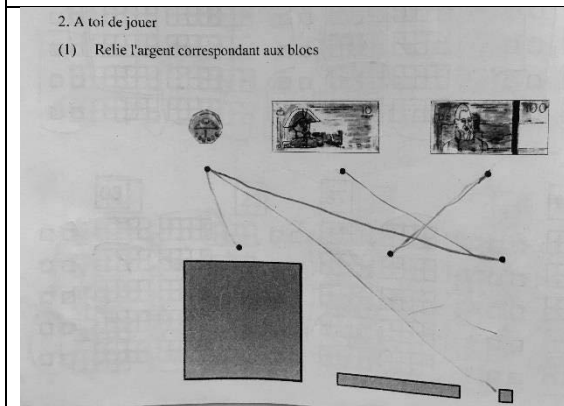
40→41、30→31としている



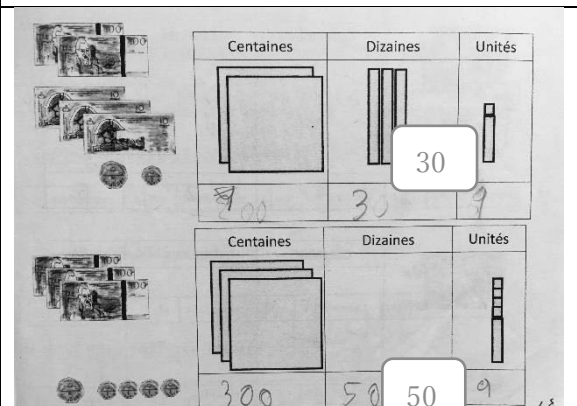
1個ずつ数えている



6問で400個以上数えている












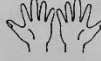
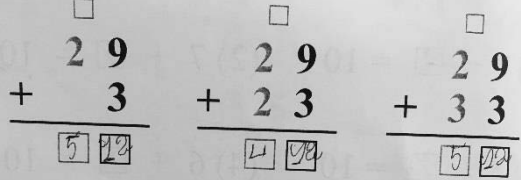
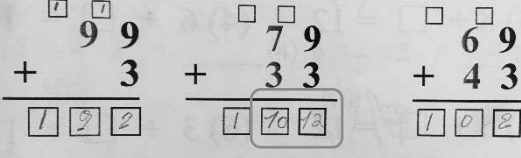


量の概念を理解していない



桁の概念を理解していない
上の段は（教師が？）直させた跡がある

2. 計算

<p>(1) $3 - 1 = 3$ (2) $4 - 2 = \underline{\quad}$</p>   <p>(3) $5 - 3 = \underline{8}$ (4) $6 - 2 = \underline{8}$</p>   <p>(5) $7 - 3 = \underline{70}$ (6) $10 - 10 = \underline{20}$</p>  	<p>(1) $3 - 1 = \underline{2}$ (2) $4 - 2 = \underline{2}$</p>   <p>(3) $5 - 3 = \underline{\quad}$ (4) $6 - 2 = \underline{4}$</p>   <p>(5) $7 - 3 = \underline{4}$ (6) $10 - 10 = \underline{10}$</p>  
<p>引算でなく足し算をしている</p>	<p>10-10=10? 0の概念が理解できていない</p>
<p>(1) $9 + 2 = 10 + \underline{1} = 11$ (2) $9 + 3 = \underline{1} = 12$</p> <p>(3) $9 + 4 = 10 + \underline{\quad} = \underline{13}$ (4) $9 + 5 = 10 + \underline{4} = 14$</p> <p>(5) $9 + 6 = 10 + \underline{\quad} = \underline{15}$ (6) $9 + 7 = 10 + \underline{1} = 16$</p> <p>(7) $9 + 9 = 10 + \underline{\quad} = \underline{18}$ (8) $9 + 9 = 10 + \underline{1} = 18$</p> <p>(9) $9 + 4 = 10 + \underline{\quad} = \underline{13}$ (10) $9 + 5 = 10 + \underline{\quad} = 14$</p> <p>(11) $9 + 9 = 10 + \underline{7} = 16$ (12) $9 + 8 = 10 + \underline{\quad} = 17$</p> <p>(13) $9 + 7 = 10 + \underline{1} = 16$ (14) $9 + 6 = 10 + \underline{\quad} = 15$</p>	<p>(1) $9 + \square = 10$ (2) $7 + \square = 10$</p> <p>(3) $8 + \square = 10$ (4) $6 + \square = 10$</p> <p>(5) $5 + \square = 10$ (6) $3 + \square = 10$</p> <p>(7) $4 + \square = 10$ (8) $2 + \square = 10$</p>
<p>足算のパターンを理解していない</p>	<p>9 + □ = 10 問題の意味を理解していない</p>
<p>(1) $9 + \square = 18$ (2) $7 + \square = \underline{\quad}$</p> <p>(3) $8 + \square = 12$ (4) $6 + \square = \underline{\quad}$</p> <p>(5) $5 + \square = 12$ (6) $3 + \square = \underline{\quad}$</p> <p>(7) $4 + \square = 13$ (8) $2 + \square = \underline{\quad}$</p>	 <p>$38 + 3 = \underline{\quad}$ $47 + 4 = \underline{\quad}$</p>
<p>9 + □ = 10 問題の意味を理解していない</p>	<p>枠に2つ数字を入れてしまっている</p>
<p>$98 + 3 = \underline{85}$ $47 + 64 = \underline{111}$</p>	<p>29 + 3 = 512 量感が育っていない</p>  <p>$98 + 3 = \underline{102}$ $47 + 64 = \underline{112}$</p>
<p>枠に2つ数字を入れてしまっている 98 + 3 = 85 量感が育っていない</p>	<p>枠に2つ数字を入れている箇所がある。 徹底できていない</p>

98 + 3 = 101 47 + 64 = 111

47 + 64 = 121 量感は育っている？

108 - 9 = 119 104 - 5 = 119

上の段では引算、下の段では足算

22 x 8 = 99 x 9 =

枠がないと計算できない？

(1) Trace des lignes sur un papier d'un rectangle pour partager en 4 parties égales. 4 façons.

斜めの線は難しい

4等分できていない

日常生活の掛算の応用
問題の意味が理解できていない

3. 幾何 7. 比例

底辺が4でなく5になっている
これらを教師がすべて正確に確認するのは
難しい

Packets	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Biscuits	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40

表は埋められているが
下の関係式はできていない
(写真が切れている)

4. 測定

<p>枠の外も数えてしまっている</p>	<p>数える順番が順序だっていない</p>
<p>枠の外も数えてしまっている</p>	<p>枠の数を数えられない</p>
<p>左から 2:15 9:45 9:45 11:12 時計が読めていない</p>	<p>左から 3:15 9:15 12:00 時計が読めていない</p>

5. 文章題

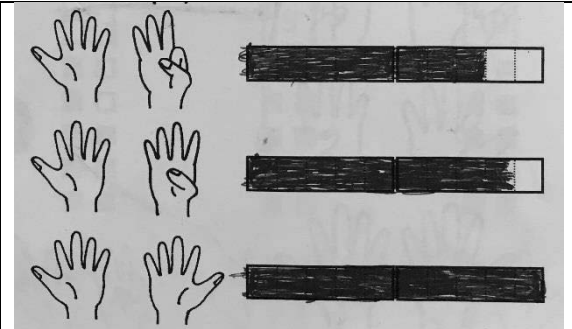
写真なし

6. 暗算

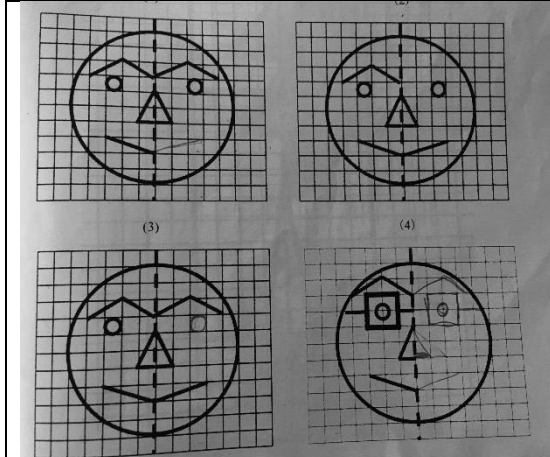
<p> $0,3 \times 10 = 30$ $0,3 \times 100 = 300$ $0,3 \times 1000 = 3000$ $0,35 \times 10 = 350$ $0,35 \times 100 = 3500$ $0,35 \times 1000 = 35000$ </p>	<p> $0,8 \times 10 = 80$ $0,8 \times 100 = 800$ $0,8 \times 1000 = 8000$ $0,827 \times 10 = 8270$ $0,827 \times 100 = 82700$ $0,827 \times 1000 = 827000$ </p>
	<p> $0,3 \times 10 = 30$ $0,8 \times 10 = 80$ $0,3 \times 100 = 300$ $0,8 \times 100 = 800$ $0,3 \times 1000 = 3000$ $0,8 \times 1000 = 8000$ $0,35 \times 10 = 350$ $0,827 \times 10 = 8270$ $0,35 \times 100 = 3500$ $0,827 \times 100 = 82700$ $0,35 \times 1000 = 35000$ $0,827 \times 1000 = 827000$ </p> <p>整数はできているが、小数の暗算は、 難しい。</p>



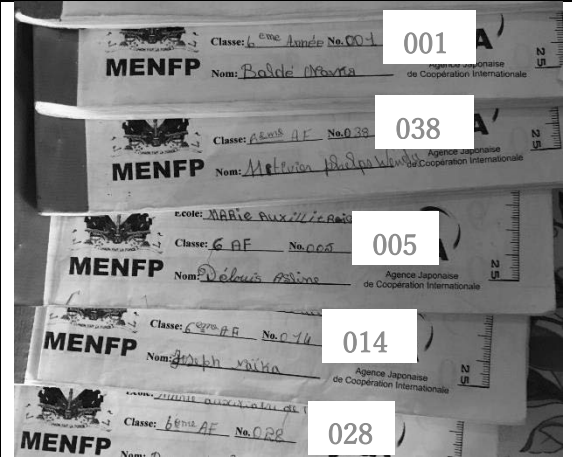
1つずつ塗っている生徒も1割いるが→



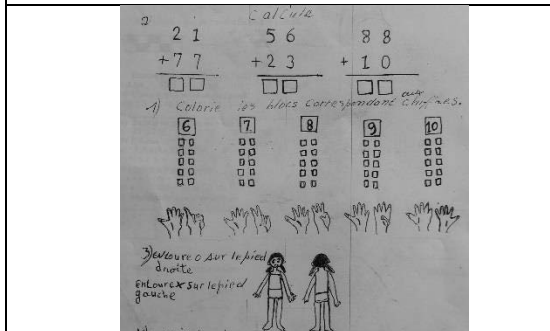
→9割の生徒が一度に塗れている



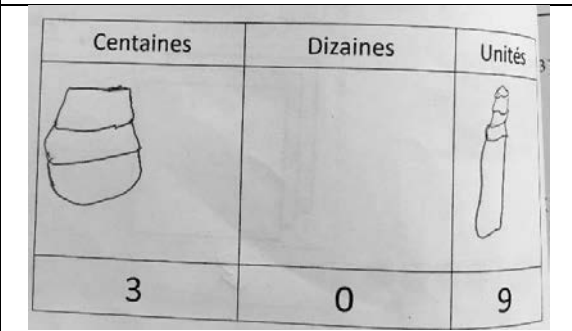
生徒が授業以外で取り組んでいる
(マリ・オーグズリエ 6年生)



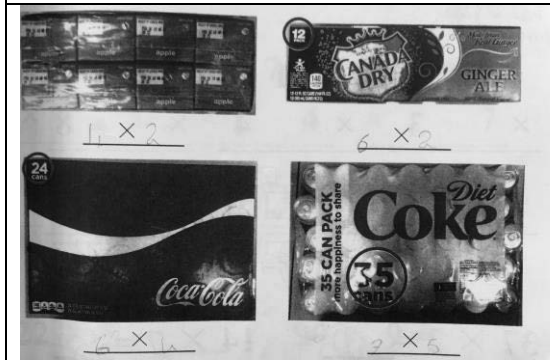
出席番号?できちんと管理している
(マリ・オーグズリエ 6年生)



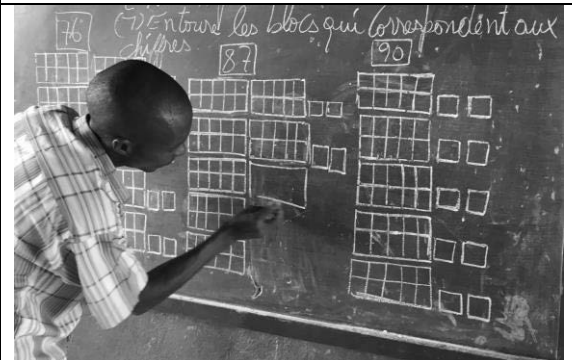
学期末試験に副教材と同じ問題が出題
(トリアン 2年生)



0だけでなく5の塊も理解できている
(ギ・マリ- 3年生?)



日常生活の掛算の応用ができている
(トゥサン・ルベルチュール 6年生)



授業で10の塊を説明している
(トゥサン・ルベルチュール 1年生)

12. 中間テスト実施要領

ハイチ国「算数副教材作成支援プロジェクト」

中間テスト実施要領

2018年4月

実施日時（要調整）：2018年4月19日、及び4月22日～27日

実施場所：中央県アンシュ市、ミルバレ市、トモンド市、マイサッドゥ市、セルカ・カヴァジャール市、トマシーク氏、セルカ・ラ・ソース市、ソーッドオウ市、ラスカホバス市、ベラデール市、及び西県ポルトープランス市内

実施者：プロジェクト・メンバー

教育省：教育と質総合調整官、国家試験局(BUNEXE)局長、DEF 局長と職員、DCQ 局長と職員、DFP 職員、日本人専門家2名とハイチ人アシスタント1名

協力者：中央県教育局(DDE Centre)：教育局長、視学官、調整官、指導主事、調査対象校校長と教員

西県教育局(DDEO)：教育局長、副局長、視学官、調整官、指導主事、調査対象校校長と教員

教育省：中等教育局、基礎教育教員養成校(CFEF)

調査対象校：計21校（中央県アンシュ市内公立校3校（大中規模校、うち1校は市街からやや外れに所在）、非公立校1校（小中規模校）、アンシュ市郊外公立校2校（大中規模校）、ミルバレ市郊外1校（中規模校）、ミルバレ市内非公立校3校（小中規模校）、西県ポルトープランス市内公立校5校）

	公立校 (大中規模校)	非公立校 (小中規模校)
西県ポルトープランス	5 (①②③④⑤) 下記手順に対応	
中央県アンシュ学区市内	3 (⑥⑦⑪)	1 (⑧)
中央県アンシュ学区郊外	3 (⑨⑩⑰)	
中央県ミルバレ学区市内	1 (⑫)	2 (⑭⑮)
中央県ミルバレ学区郊外	2 (⑬⑱)	
中央県トマシーク・セルカラ ソース学区市内	2 (⑯⑰)	
中央県ラスカホバス・ベラデ ール学区市内	2 (⑲⑳)	

対象人数：1,260人＝各学校小学1年生から6年生まで、各学年（各クラス）10名ずつ（男女5名ずつ）無作為抽出（10人 x 6学年 x 21校）

実施方法・手順(案)：各県にて事前打合せをした上で、

4月3日(火)			
西県教育局(DDEO)との打合せ			
4月19日(木)			
チームA	チームB	チームC	チームE
① ポルトープランス市内コルベール・ロシヤール校	② ポルトープランス市内クレア・ウールーズ校	③ ポルトープランス市内フオワイエ・ソシアル・ホーズ・レリツソン校	④ ポルトープランス市内レブプリック・ドゥ・クロンビー校
			⑤ ポルトープランス市内レブプリック・デゼタジュニ校

西県教育局報告

4月22日(日)	4月23日(月)	4月24日(火)						4月25日(水)	4月26日(木)			4月27日(金)	
全チーム	全チーム	チームA	チームB	チームC	チームD	チームE	全チーム	チームA	チームB	チームC	チームD	チームE	全チーム
中央県教育局にて打合せ	中央県教育局にて打合せ	⑥ アンシユ・トルベル国民学校	⑦ インマ・キュレ・コンセン国民学校	⑧ ノートルダム・デユ・サントスプリリ校	⑨ ルシアン・エイメ国民学校	⑩ トリアノ国民学校	振り返りと準備	⑪ トマシーク国民学校	⑫ セルカ・カザール国民学校	⑬ セルカ・ラ・ソース国民学校	⑭ ペラダール・アン・テノール国民学校	⑮ ソーゾドオウ・ギヤルソン国民学校	振り返りと中央県教育局への報告
準備	児童リスト回収、準備	④ マイ・サドウ・アリス・トリス国民学校	⑩ マリー・オーグリス国民学校	⑪ ギ・マラリ国民学校前校	⑭ ミルバレ・サニール校	⑮ ミルバレス・ピテラール・サンルイ校		⑯ ラスカ・ホバス・トウサン・ルベ国民学校			⑯ ラスカ・ホバス・トウサン・ルベ国民学校	⑰ 車両5	
アンシユ泊	アンシユ または ミルバレ泊	アンシユ泊						アンシユ または ミルバレ泊	アンシユ泊			ミルバレ泊	ポルトープランスへ戻り

チーム A	チーム B	チーム C	チーム D	チーム E
<u>M. Cénatus PIERRE</u> (総監督官)	Mme. Nadine HENRY (総監督官)	<u>M. Aky Alix NICOLAS</u> (総監督官)	<u>M. Renan MICHEL</u> (総監督官)	Miguel FLEURJJEAN (総監督官)
Mme. Catheline Désir HERARD DCQ	<u>M. Edgard Anthony JEAN</u> CFEF	Oswald MORPEAU DES	M. Emilio ESTIGENE DFP	<u>M. Pierre JEAN-</u> <u>BAPTISTE</u> DEF
Mme. Antonia PHANORD DCQ	M. Milfort MIDY DCQ	Mme. Viadenie HENDRICK DCQ	M. Kerby DESAMOUR DCQ	M. Emilor NORMIL DEF
Mme Dupré Marie D. Démsthème DDEO	Mme. Marlyne REVOLUS DDEO	M. Lucner MATILOT DDEO	M. Ulrich FRANCOIS DDEO	Mme. Marie Jeanne CENEAC DDEO
Inspectrice Marie Michelle Géraldie FRANÇOIS DDE Centre	Inspectrice Gélourde GERMAIN DDE Centre	Inspecteur Manès JUSTINE DDE Centre	Inspecteur Yvon PICOT Inspecteur Friznel VALCIN DDE Centre	Inspecteur Pierre Rigaud DUBUISSON DDE Centre

教育省運転手：

M. Jean Quénine FELIX (車両 1)

M. Wilner JOSEPH (車両 2)

M. Friznel DERIBERT (車両 3)

M. M. Emmanuel CHARLITE (車両 4)

M. Pierre JEAN-BAPTISTE (車両 5)

JICA プロジェクトチームメンバー：

M. Norito MITSUNAGA

M. Robenson SANON

M. Renel VALCOURT (身辺警護員)

M. Christhonne BARREAU (車両 6)

M. Kenichi TSUNODA

教育省協力者

M. Rood Karl FLEURANT (DFP)

M. Jean Ernest CLERGÉ (DDEO)

教育省 ロジスティック支援：

Mme. Glacia REZEAU (DCQ)

未定 (DG)

試験概要：

- 1 2～6年生には、前学年までのカリキュラム習得内容とする。1年生については当該学年の既習単位とする。
- 2 設問は、図形などの問題を除いて四択式とする（ベースラインテストの中の数字や解答の順番等を変えただけでほぼ全く同じテストを実施する）。
- 3 問題数は20～25問。1問1点とし、正答率（正答数／総問題数×100%）で得点を出す。
- 4 試験時間は、1、2年生は20分とするが、一問一問クレオール（現地語）による口頭説明がないと答えられないので、実際は40～60分要する。3～6年生は40分とするが、3、4年生は試験開始時にクレオールによる口頭説明を行ってから始めるので、やはり60分要する。また、教育省は、ベースライン時と同様、子供達の家庭環境調査を実施するので（当プロジェクトとしては必ずしも必要としない）、実際はどの学年も60分以上を要する。
- 5) 各学年（クラス）10名ずつ無作為で抽出し（ただし男女比は同じにする）、別教室を確保して試験をする。カンニング防止のため、違う学年の児童を間に挟んで行うようにする。
- 6) 試験監督は、各部屋2～3名。教育省員、中央県及び西県教育局視学官、調整官、指導主事が行う。
- 7) 採点を、4月30日の週に光長専門家指導・監督の下、教育省員、中央県及び西県視学官、調整官、指導主事が行う。5月上旬に暫定結果を中央県教育局にて報告。その後5月～7月にかけて現地コンサルタント、並びに光長専門家が帰国後分析を行い、7～8月に現地報告予定。

必要予算：教育省員の出張旅費、テスト用紙代、コピー代、筆記用具代等（約300万円）。

以上。

13. 光長専門家第4回業務結果報告書

ハイチ国
算数副教材作成支援プロジェクト（算数教育／教材作成）
現地業務結果報告書
（第4次前期派遣）

1. 専門家氏名 光長 功人
2. プロジェクト名 算数副教材作成支援プロジェクト
3. 指導分野 算数教育／教材作成
4. 派遣期間 平成30年4月18日～平成30年5月17日
5. 本邦所属先 株式会社 アイリンク
6. 供与・携行機材 なし
7. 専門家活動内容と成果達成状況

(1) 派遣期間の主なスケジュール

4 月	<p>17日 本部協議会（中島特別嘱託、金津 Jr 専門員）</p> <p>18日 成田発</p> <p>19日 ポルトープランス着</p> <p>プロジェクト専門家と業務内容についての協議確認</p> <p>中間テスト問題確認</p> <p>副教材確認修正</p> <p>中間テスト打ち合わせ及び準備</p> <p>中間テスト実施、新規対象校視察 （副教材配布校6校）</p> <p>トリアン国民学校 ルシアン・エステイメ国民学校 マリー・オーグズリアトリス国民学校</p> <p>ノートルダム・デュ・サンテスプリ校 トリサン・ルベルチュール国民学校 キ・マラー国民学校</p> <p>（未配布校4校）</p> <p>インマキュレ・コンセプション国民学校 ミルバレ・サン・ピエール校</p> <p>ミルバレ・プレスビテラル・サンルイ校 セルカ・カウ・アジヤル国民学校</p> <p>（新規対象校6校）</p> <p>トマシク国民学校 マイサットゥ・アンリ・クリストフ国民学校 ロス・ポソス・セルカ・ラ・ソス国民学校</p> <p>ラスカハバ・トリサン・ルベルチュール国民学校 ベラテール・アンテノー・フィルマン国民学校 ソート・オウ・ギヤルソ国民学校</p> <p>中間テスト採点準備</p>
5 月	<p>副教材修正</p> <p>採点スタッフとの打ち合わせ</p> <p>副教材まとめ</p> <p>中間テスト採点、入力、集計、分析</p> <p>8月の研修内容説明（対DCQ技官、DEF技官、DFP技官）</p> <p>報告書作成</p> <p>14日 JICA支所報告、大使館報告、中間テスト集計分析</p> <p>15日 ポルトープランス発→アトランタ着</p> <p>16日 アトランタ発</p> <p>17日 成田着</p>

詳細は、添付資料1：「業務日程表」の通り

(2) 業務内容の確認

現地業務開始時に、プロジェクト専門家と協議し、業務内容について確認した。

(3) 業務内容

①副教材最終確認修正

4月初旬に、教育省の算数専門家やグラフィック・デザイナーたちが確認・修正した副教材の原稿を確認した。レイアウト(A4→レターサイズ)の変更や、札やコインのイラストを写真に変えるなど体裁や見栄えの修正が中心になされただけで、内容についての本質的な修正はなかった。ただし、レイアウトを修正した際、イラストの位置がずれたままになっていた箇所が複数あったため、報告者による修正を要した。

②中間テストの実施と分析

★テスト問題の修正

4月初旬にCPたちが修正した中間テストの問題を確認した。フランス語の表記の修正や、選択肢を数字からアルファベットに修正するなど、問題のレベルや質などテスト内容そのものが変わってしまうような重要な修正はなかった。

★テストの実施

事前テスト、ベースラインテストの経験を経て、CPたちは、問題なくテストを実施できるようになった。時間に少し遅れたりすることはあるものの、当初のように、試験問題を回収し忘れたりすることもなく、任せられる状態にある。カンニング対策も同じ学年の生徒が隣同士にならないようにする指示など徹底できていた。

テスト実施校は、前回の15校から21校に増えた。この増加分の6校は、2018年4月(今回)と2019年4月(来年)で成績を比較する予定。新規対象校のうち、一部の学校(トーマシーク国民学校、ロス・ポツ・(セルカ・ラ・ソース)国民学校)は、橋のかかかっていない小川を四輪駆動で渡って訪問した。また、他の学校も途中複数の渡河を要したり(マイットゥ・アンリ・クリストフ国民学校)、橋が工事中で完成しておらず、回り道をしなければならなかったり(ベラテール・アンテノール・フィルマン国民学校)など、今後のモニタリングの際のアクセスが容易でないことが予想できた。

テスト中の生徒は、教材配布校でも数を数える際、副教材の配布前と変わらず棒を紙や手に書いている生徒も幾分目についたが積極的に問題に取り組んでいる様子がうかがえた一方、新規対象校(2018年9月教材配布及びモニタリング、終了時テスト実施予定)では、問題を前に手がまったく動かない生徒も多く見られ、その点では教材配布の効果を確認できた。これらの新規対象校では、教科書を持っている生徒はほとんどおらず、学習環境は、より劣悪な状態にある。

生活調査については、文章を読んで答えることがとりわけ1,2年生では難しく、必要に応じて試験官が一人一人口頭で確認した。一部、4年生でも読んだだけでは質問の意図を理解できない例も見られ、その際は、試験官や同級生に口頭で説明を受けながら回答していた。

★中間テストの採点

中央県及び西県視学官、教育省局長(DCQ,DFP,DEFENSE)と左記各局の技官と、答案の中で、選択式の問題であるものの答えを記述式のように書いてしまって選択肢を選んでいなかったり、あるいは複数の選択肢を選んでしまったりしている場合などへの採点基準を確認した。

③結果

★全体

Centre Pilot	2017	38%
	2018	43%
Centre Non Pilot	2017	37%
	2018	37%

中央県教材配布校(パイロット)での成績の伸び(38%→43% 5ポイント改善)

中央県教材未配布校(ノンパイロット校)での成績の伸び(37%→37% 同じ)

配布校の成績の伸びは確認できるが、配布校でも成績の下がっている学年があり、逆に未配布校でも成績の上がっている学年なども見られるため、副教材の効果とは断言できない。

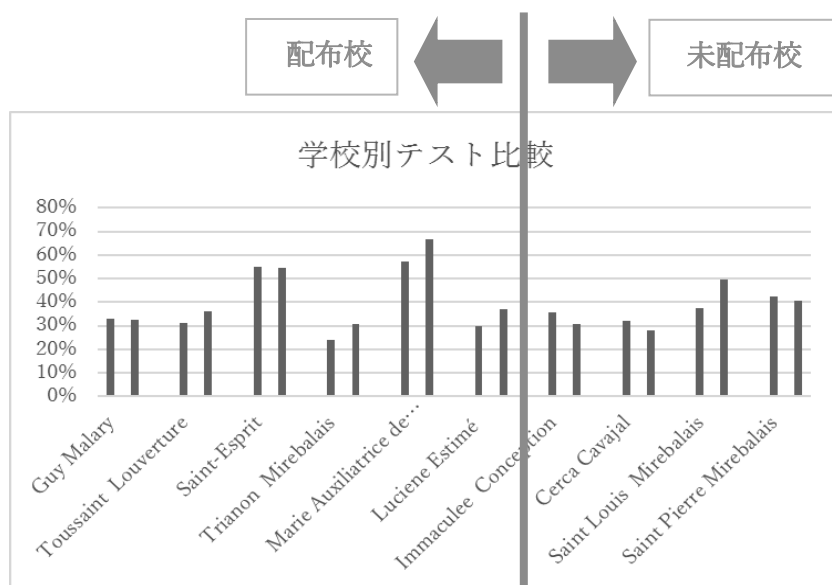
★学校別

配布校

未配布校

1	Guy Malary	2017	33%
		2018	33%
2	Toussaint	2017	31%
		2018	36%
3	Saint-Esprit	2017	55%
		2018	55%
4	Trianon	2017	24%
		2018	31%
5	Marie Auxiliatrice d	2017	57%
		2018	67%
6	Luciene Estimé	2017	30%
		2018	37%

7	Immaculee	2017	36%
		2018	31%
8	Cerca Cavajal	2017	32%
		2018	28%
9	Saint Louis	2017	38%
		2018	50%
10	Saint Pierre	2017	42%
		2018	41%



配布校では、成績が上がった学校が4校。変わらなかった学校が2校
未配布校で成績が上がった学校が1校。下がっている学校が3校。

- 配布校で成績が上がっている例
 - Marie Auxiliatrice (57%→67% 10ポイント改善)
 - Luciene Estime (30%→37% 7ポイント改善)
 - Trianon (24%→31% 7ポイント改善)
 - Toussaint ouverture (31%→36% 5ポイント改善)
- 未配布校で成績が上がっている学校
 - Saint Luis (38%→50% 12ポイント改善)

★学年別

TOTAL		1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	Moyen
Centre Pilot	2017	51%	32%	31%	42%	39%	36%	38%
	2018	45%	46%	32%	46%	46%	43%	43%
Centre Non Pilot	2017	53%	25%	26%	38%	44%	36%	37%
	2018	52%	34%	28%	37%	43%	30%	37%

配布校の1年生で成績が下がっている(51%→45%)。

配布校の高学年で、成績の伸び(5年生 39%→46%、6年生 36%→43%)が認められるが、顕著ではない。

★学年別、学校別 配布校と未配布校

MTS(中間)とBLS(ベースライン)の学校別、学年別の正答率は以下の通り。前年度と比較して、10ポイントを越えて上がった学年を黄色、下がった学年を朱色で表した。

TOTAL		1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	Moyen
1 Guy Malary	2017	44%	24%	39%	36%	26%	29%	33%
	2018	43%	41%	16%	27%	40%	30%	33%
2 Toussaint	2017	54%	31%	20%	24%	33%	26%	31%
	2018	47%	23%	37%	39%	39%	32%	36%
3 Saint-Esprit	2017	53%	51%	51%	55%	52%	68%	55%
	2018	61%	54%	42%	57%	60%	54%	55%
4 Trianon	2017	38%	11%	16%	30%	23%	27%	24%
	2018	22%	49%	16%	38%	25%	33%	31%
5 Marie Auxiliatrice d	2017	83%	44%	46%	65%	58%	46%	57%
	2018	75%	69%	57%	70%	64%	66%	67%
6 Luciene Estimé	2017	33%	27%	15%	41%	42%	22%	30%
	2018	20%	41%	25%	44%	50%	41%	37%
7 Immaculee	2017	63%	35%	16%	31%	40%	30%	36%
	2018	62%	15%	24%	36%	33%	15%	31%
8 Cerca Cavajal	2017	53%	19%	20%	32%	31%	38%	32%
	2018	52%	26%	15%	23%	31%	23%	28%
9 Saint Louis	2017	39%	20%	26%	43%	54%	45%	38%
	2018	58%	59%	45%	41%	58%	38%	50%
10 Saint Pierre	2017	58%	27%	43%	45%	50%	32%	42%
	2018	37%	36%	29%	47%	50%	44%	41%



配布校

未配布校



配布校で、より多く成績の伸び、未配布校で下降が見かけられるが、顕著なものではない。未配布校で成績の伸びが見られる Presbytérale Saint Louis 校については理由不明。

★学年別、学校別 西県と新規対象校

PAP		1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	Moyen	
1 Claire Heuruse	2017	43%	32%	43%	58%	41%	26%	41%	
	2018	46%	44%	56%	56%	36%	32%	45%	
2 Colombie	2017	56%	42%	56%	47%	48%	34%	47%	
	2018	54%	12%	38%	50%	57%	41%	42%	
3 Foyer Social	2017	57%	43%	34%	55%	47%	43%	46%	
	2018	48%	59%	58%	76%	51%	54%	57%	
4 Etats-Unis	2017	47%	26%	30%	44%	36%	30%	35%	
	2018	48%	31%	48%	46%	38%	33%	41%	
5 Colbert Lochard	2017	72%	37%	44%	56%	35%	24%	45%	
	2018	53%	39%	54%	57%	46%	39%	48%	
PAP Non pilot		2017	55%	36%	42%	52%	41%	31%	43%
		2018	50%	37%	51%	57%	46%	40%	47%
Nouvelle école 2018		1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	Moyen	
1 Anténor Firmin de	2018	48%	32%	30%	34%	29%	24%	33%	
2 Thomassique	2018	15%	24%	7%	34%	18%	26%	21%	
3 Garçons de Saut	2018	37%	29%	35%	27%	35%	31%	32%	
4 Henri Christophe	2018	63%	22%	32%	35%	24%	30%	34%	
5 Cerca la Source	2018	43%	22%	6%	24%	15%	26%	23%	
6 Toussaint Lascahobas	2018	26%	18%	29%	37%	38%	37%	31%	
Centre nouvelles	2018	37%	23%	22%	31%	26%	30%	29%	

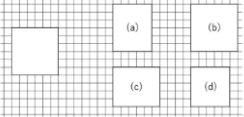
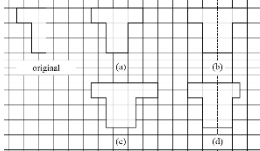
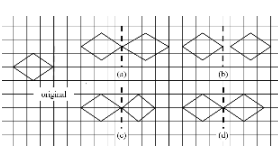
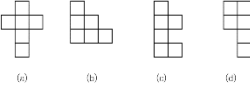


西県では、教材を配布していないが、全体で成績の伸びが少し見られる(43%→47%)。特に成績の伸びが大きい Foyer Social 校(46%→57%)については理由不明。

新規対象 6 校については、正答率は全体的に低い(21%~34%)。特に 2 校(Thomassique21%, Cerca la Source23%)が低い。

★問題別

「BLS と MTS 学年別分野別正答率比較」で確認すると、副教材配布校において、下記の計算、幾何・図形及び測定の問題で成績の伸びが認められる。

2 年生	4 年生	5 年生	6 年生
<p><u>Identifier le carré</u></p>  <p>27%→53% 23%→30%</p>	<p><u>Symétrie sur la droite</u></p>  <p>20%→53% 30%→45%</p> <p><u>Multiplication, division</u></p> <p>(4) $54 \div 9 =$</p> <p>28%→55% 45%→30%</p>	<p><u>Symétrie sur la droite</u></p>  <p>13%→35% 23%→15%</p> <p><u>Le patron (modèle) d'un cube?</u></p>  <p>23%→62% 38%→23%</p> <p><u>Conversion</u></p> <p>(4) 1m 30cm= __cm 48%→72% 55%→60%</p> <p>(5) 2500m= __km 35%→57% 58%→45%</p>	<p><u>Fraction</u></p> <p>(1) $\frac{1}{3} + \frac{1}{3} =$ 25%→54% 58%→18%</p> <p>(2) $\frac{2}{3} - \frac{1}{3} =$ 38%→47% 43%→25%</p>

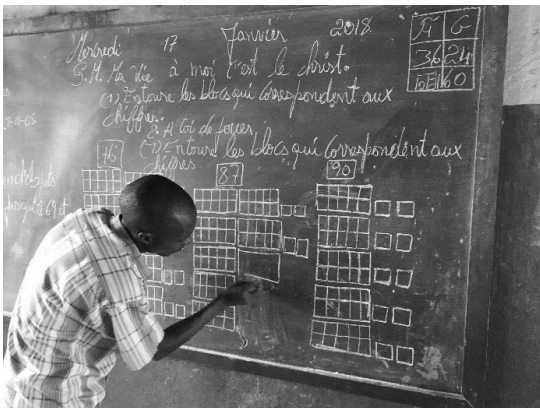
③分析と対策

上記結果の分析と対策を分野別に以下に記す。

【数】

モニタリングで確認した際、数の学習は他の分野に比べて積極的になされていた。しかし、中間テストで成績の伸びは確認できなかった。考えられる理由と対策は以下の通り。

- a) お金の数え方が数字 (数字 100 グルド=読み 20 ドル) と異なるため、10 の塊の説明や、お金の数え方が理解できなかった (使用している通貨はグルドであり、カリキュラムでも公式通貨となっているが、日常生活では(ハイチ)ドル (5 グルド=1 ドル) が定着してしまっている)。
→2018 年配布の副教材には、例としてお金を使うかわりに、ブロックを使った。
- b) 指やブロックを使った説明を用意したが、補助教材を用意しなかったため、教師が黒板に指やブロックを書くことに囚われ、生徒が理解するまでに及ばなかった。



→副教材と同じ、0→10の指、0→30のフラッシュカードを作成し、教師の労力の軽減を図る。

【計算】

計算の学習も、数の学習と同様、積極的になされていた。しかし、成績の伸びは、あまり見られなかった。考えられる理由と対策は以下の通り。

a) 教師による答え合わせ（添削）が不十分。できていても、生徒がやり直しをしない。
→副教材の最後に足算、引算の自学自習の問題を追加した。また自信のない教員用に解答集を用意した。今後研修時に、答え合わせとやり直しの重要性についてさらに説明する。

【幾何】

a) 対称形の問題を用意したが、ほとんど使われていなかった。教師の理解が低く、自信を持って教えることができないからである。

→解答集を用意した。次回の研修では、実際に教師に問題を解いてもらうことで、教師が自信を持って取り組めるようにする。

b) 6年生の展開図については、コピー用紙でモデルを作ることで理解を深めたい。

【測定】

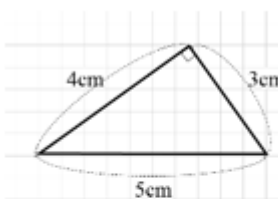
a) 2年生が時計の学習で相変わらず7時を7時12分と読んでいる。

→学習をしていた記録は見られたが、針時計が周りに無い中で、1時間=60分であること、1日=24時間であることを理解するのは難しい。研修で、12が指すのは0であり、7h00、7:00であることを理解させることに集中するよう伝える。

b) 5年生、6年生で単位変換の正答率が低い。日常生活でアメリカの単位が見られるのに、教科書ではフランスの単位が使われている。元々単位を持たない人々は、結果的に単位について全く気にしないで生活している。1L=1dLと答える生徒は単位の概念がまったくないことが伺える。

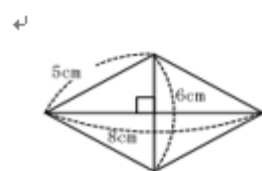
例を挙げると、ハイチでは、幹線道路の行き先表示には、kmも mileも表示されていない。行き先の町の名前だけが書かれている。視学官でも、定規で長さを測らせると、cmとinchの目盛りを間違っ使っている。容量についても同様で、CPの誰もペットボトルの容量(500 mlか20 ozか)を気にしていない。「そもそも単位は、なぜ必要なのか？」と聞いてくるくらいである。重量(グラムかポンド)になるとなおさらで、過積載トラックなどが目立つのも当然である。

L'aire



12% → 8%

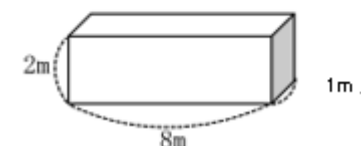
8% → 20%



3% → 12%

8% → 15%

Le volume



→今回、成績の伸び(配布校 48%→72%未配布校 56%→60%)が見られた 1m30cm=130cm については、配布校の教室の扉に、1cm ずつ、目盛をマジックで書き込んだ成果と考えられる。今後は、彼らが5ガロンと呼ぶ水汲み用のサラダオイル容器に「5ガロン≒20L」の表記をするなど、日常生活に近いアイデアを最大限探っていく。

c) 6年生が面積や体積を求める際、掛算でなく、足算を使っている。面積や体積を求める際、以下の通り、辺の長さを足して求めようとしている。

3cm+4cm+5cm

5cm+6cm+8cm

2m+8m+1.5m

→長方形の面積を求める式は、方眼紙上のブロックの数を求める式と同じで、掛算であることを研修で説明する。直角三角形の場合は、その半分であることを、紙を折らせて確認させる。

【文章題】

a) 1年生から3年生で、足算に比べて、引算の正答率が低い。

→引算を使う状況を理解してないのかもしれない。クラスの男の子、女の子を並ばせることで、足算と引算を使う状況についての理解を深めたい。

【暗算】

学習が行われていない。

→研修で教師に実際に副教材に答えを書かせて、手法に慣れさせる。

【比例】

学習が行われていない。

→校内で売られているお菓子などの個数と値段の関係のように、身の回りの例を探す。

【その他】

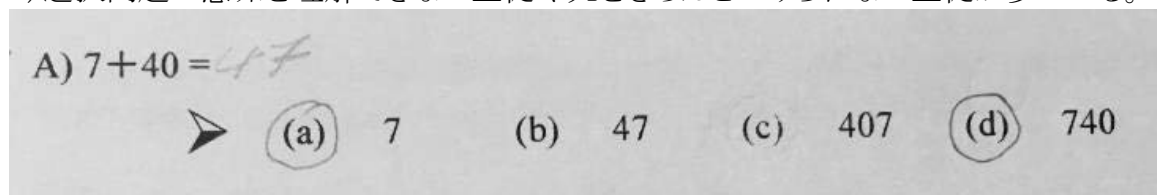
a) 自学自習が難しいレベルの生徒

生活調査の様子を見ていると、1年生、2年生で、現地語でも意思の疎通ができていない生徒や、4年生でも、用紙を見て、何を聞かれているか、どのように回答すれば良いのか理解できない生徒がいる。これらの生徒にとって、副教材を配るだけでは、成績の伸びは期待できない。

b) 成績を伸ばすためには、教員の数を増やすか、生徒の数を減らすなど、生徒への手厚いサポートが必要(現実的にどのようなことができるか要検討)。

成績が一番伸びた Marie Auxiliatrice は、1クラスに二人の教師がおり、手厚く子どもたちを見ている。この学校はもともと教会系で独自予算もあり、校長のマネジメントもしっかりしており、遅刻した生徒をしばらく教室に入れられないなど、規律もしっかりしている。このような予算面、運営面の条件が揃って副教材が効果を見せるのかもしれない。

c) 選択問題の意味を理解できない生徒や丸をきちんとつけられない生徒が多々いる。



→対処法を検討する。

d) モニタリング回数を増やす

④成績の伸びを阻害する要因の内、プロジェクトでは対応不可能な外部要因と考えられる事項を以下に記す。

- ・校長による教師や生徒のマネジメントがされていない学校→欠勤・欠席や遅刻・早退が多いなど、副教材を活用する以前の問題
- ・一クラスあたりの生徒が多すぎて、教員による答え合わせ(添削)が徹底できない
- ・アンケートを読んで答えられないほど読解レベルの著しく低い生徒(3年生以上)
- ・アンケートを口頭で聞かれて答えられないほど意思疎通のできない生徒(2年生以下)
- ・選択問題の意味を理解できない生徒や丸をきちんとつけられない生徒
- ・何度説明しても10の塊やお金の数え方といったの基本的な学習の身につかない生徒
- ・実物の時計がない環境での時計の学習(特に15分、5分の学習)
- ・量りがない環境での重さの単位変換

⑤副教材で学習しているクラスで成績が上がらない例の分析

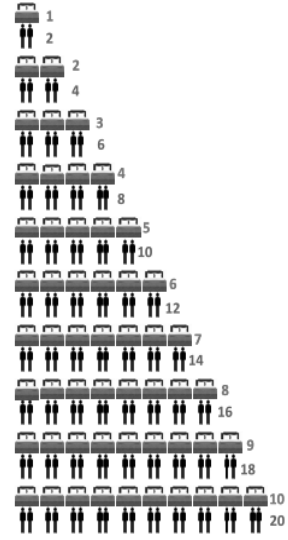
今回、副教材を使ってよく学習している生徒の例として、Toussaint Louverture Hinche 校の2年生の副教材を回収した。この生徒が偶然中間テストを受験しており(ランダム抽出した中の一人であった)、正答率を確認したところ16%であった。副教材で学習をしているにもかかわらず成績が上がっていない。来学期、この生徒に聞き取りを実施し、目の前で問題を解く所を確認するなどして、成績の上昇しない要因を分析する。

































8. 添付資料

添付資料1: 「業務日程表」

添付資料 2 : 「BLS と MTS 学年別分野別正答率比較」

添付資料2：「グッドプラクティス例」

<p>2018年10月26日 【計算】</p>	<p>TITRE : OPERATIONS 3-II-07</p> 
<p>Toussaint Louverture de Hinche</p>	<p>Objectif spécifique : Identifier et représenter des situations impliquant une multiplication.</p>
<p>4AF: かけ算九九の授業</p>	<p>1. Mets les nombres dans les rectangles : 2 personnes peuvent dormir sur un lit. Combien de personnes peuvent dormir sur les lits suivants?</p>
<p>グッドプラクティス： 2の段を教えるときに、教材通り人数に合わせ二人用のベッドが幾つあれば何人寝られるか？という説明で答えさせていた。</p> <p>一見、当たり前のように見えるが、この単位あたりの量という感覚がわからないから、生徒は（教師も）九九を覚えても、使わずに足算を使うことになる。単位あたりの量*個数という考え方を途上国で説明できる教師は少ない。</p>	 <p>2 × 1 = □ 2 × 2 = □ 2 × 3 = □ 2 × 4 = □ 2 × 5 = □ 2 × 6 = □ 2 × 7 = □ 2 × 8 = □ 2 × 9 = □ 2 × 10 = □</p>
<p>更に改善するためのアドバイス： 各段で説明が丁寧すぎてなかなか進まないの（一方でできる子は3の段、4の段とどんどん書き込んでいた）、スピードを上げて進めるよう伝えた。</p> <p>説明が長く、生徒の活動や学びの時間が少なくなるのは、研修でもよく見られる光景で、研修から説明を短くしていくよう技官に伝える。</p>	

2018年10月26日 【計算】	TITRE : OPERATIONS 3-II-12 4-II-09 																														
Toussaint Louverture de Hinche	Objectif spécifique : Identifier et représenter des situations faisant intervenir une division (exacte). Identifier et représenter des situations impliquant une division. 																														
6AF: 割り算、かけ算 九九の逆の授業	1. Mets les nombres dans les rectangles : Il y a 5 chewing-gums dans un paquet. Combien de paquets sont nécessaires pour les chewing-gums suivants?																														
グッドプラクティス : 5枚のガムが1袋、10枚のガムが2袋に入るという説明。5の段は、5つの棒の塊としてそれで幾つになるかを丁寧に説明していた。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 150px;">  5 1 </td> <td style="width: 100px;"></td> <td style="text-align: right;">$5 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  10 2 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$10 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  15 3 </td> <td style="border-left: 1px solid black; width: 20px;"></td> <td style="text-align: right;">$15 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  20 4 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$20 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  25 5 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$25 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  30 6 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$30 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  35 7 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$35 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  40 8 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$40 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  45 9 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$45 \div 5 = \square$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  50 10 </td> <td></td> <td style="text-align: right;">$50 \div 5 = \square$</td> </tr> </table>	 5 1		$5 \div 5 = \square$	 10 2		$10 \div 5 = \square$	 15 3		$15 \div 5 = \square$	 20 4		$20 \div 5 = \square$	 25 5		$25 \div 5 = \square$	 30 6		$30 \div 5 = \square$	 35 7		$35 \div 5 = \square$	 40 8		$40 \div 5 = \square$	 45 9		$45 \div 5 = \square$	 50 10		$50 \div 5 = \square$
 5 1		$5 \div 5 = \square$																													
 10 2		$10 \div 5 = \square$																													
 15 3		$15 \div 5 = \square$																													
 20 4		$20 \div 5 = \square$																													
 25 5		$25 \div 5 = \square$																													
 30 6		$30 \div 5 = \square$																													
 35 7		$35 \div 5 = \square$																													
 40 8		$40 \div 5 = \square$																													
 45 9		$45 \div 5 = \square$																													
 50 10		$50 \div 5 = \square$																													
更に改善するためのアドバイス : せっかく5の塊と説明しているのに、数えるときになると1から一つずつ指を折って順番に皆で数えるやり方をしていた。せっかく5の塊なので、5は5、5の次は10、10の次は15と5跳びで数えるよう伝えた。 常に1からひとつずつ数えることから脱却できないのが、ハイチの算数教育の大きな課題である。 そもそも割り算とはどういう時に役立つのか(大きな数のものを一つ一つ引いていくよりも、いくつかの塊で等分して行ったほうが楽だということ)を教えていなかった(そもそも教員がその点意識しているのか疑問) ここでも、単位あたりの量が理解できているかが重要となる。 5の割り算については、高学年ならハイチドルとグルドの関係で説明できるので試したい。	2. A toi de jouer Cherche la division par 5 autour de toi																														

2018年10月26日 【数】	
Immaculée Conception	
3AF: 繰り上がりのある足算	
<p>グッドプラクティス： 繰り上がりを教えるのに、副教材の説明通り、2人分の指を使って、説明していた。 また毎回違う児童を指して、黒板に回答を書かせたりしていた</p>	
<p>更に改善するためのアドバイス： 1) せっかく指を使っているのに、例えば $9+2$ で、2から1を借りてきて9を10にし、残りの1と合わせて11になるという説明ができていなかった。ただ単に二人の児童に、9と2を指で提示させ、そのまま11という答えを言わせていた。 手の指で10の塊を作って計算するやり方は、研修でも教えているが、教師の理解は進んでいないことを技官と共有する。 2) $9+1$ の次が $9+2$、その次が $9+3$ と順番にやりすぎていたので、やっているうちに答えが12の次が13とわかってしまう。これは、他の学校でも見られる。$9+1$ の後 $9+3$ であったり、$9+5$ だったりをやらせるなど、もっと不規則にやらせるよう伝えた。 数の学習でも常に順番にやるので、子どもたちは、数を数えずに、1のつぎは2、2の次は3と答えているので勉強になっていないことが多いことを技官と共有する。</p>	

2018年10月26日 【測定】	
Immaculée Conception	
1AF: 大きさの比較 (方眼紙で面積の比較)	
<p>グッドプラクティス:</p> <p>ぱっと見の感覚でなく、マス目の数で図の大きさを判断させようと教えていた。</p> <p>ここで形を数で理解していく練習をすることで、幾何でマス目を数える準備となる。右下図は、マス目が数えられない例。</p> <p>単純に見えるが、図形を量と関連付けて理解させる大切な過程である。</p>	
<p>更に改善するためのアドバイス:</p> <p>同じような問題を何回か繰り返すことで、マス目の数で図の大きさを判断できることを会得できると思うので、繰り返し同じ練習をやるべき。</p> <p>この学習は、簡単に言えるが、幾何の様々な単元やグラフにもつながる重要な学習であることを技官と共有する。</p>	

2018年11月29日 【暗算】

Los Posos de Cerca La Source

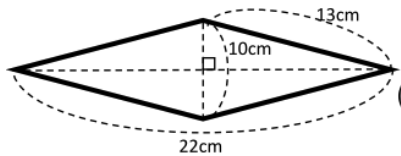
6AF:10の掛算の他領域への応用

グッドプラクティス：

ひし形の面積を求める際、
 $10 \times 22 = 220$ を筆算でなく、副教材の
暗算で説明した0を一つ加える方
法で求めている。

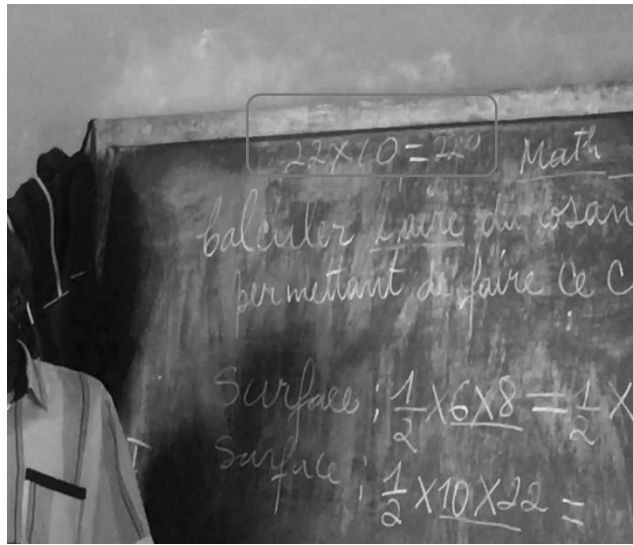
ハイチの多くの教師は、以下のよ
うに筆算で求めている。

$$\begin{array}{r} 22 \\ *10 \\ \hline 00 \\ 22 \\ \hline 220 \end{array}$$



更に改善するためのアドバイス：

10の掛算が0を足すということ
がわかれば、単位変換にも有効であ
ることを教えた。



2018年12月5日 【暗算】

Los Posos Cerca La Source

6AF: $\div 10, 100, 1000$ の暗算

グッドプラクティス:

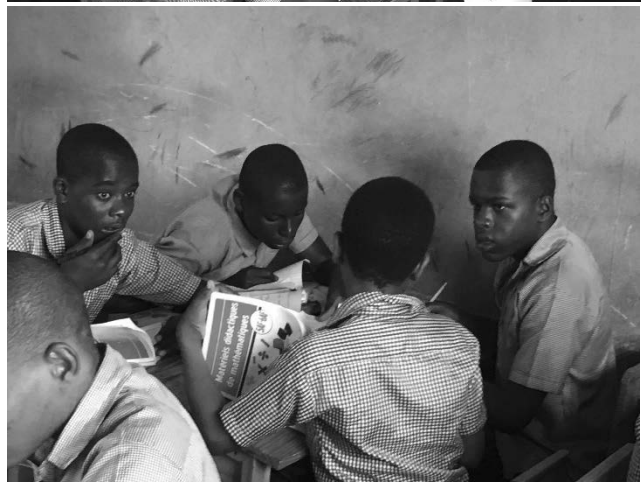
グループワークで、理解している生徒が理解していない生徒に教えていた。

また、理解している生徒同士で「小数点が右に動いている」など気づいた点を確認していた。

副教材の使用時は毎回机を移動させ、グループで学習させていた。

更に改善するためのアドバイス:

生徒が気づいたことを発表させ、全員に共有すれば、更に学習の効果が高まるとアドバイスした。



$$\begin{array}{l} \underbrace{2}_{\text{}} \div 10 = 0,2 \\ \underbrace{2}_{\text{}} \div 100 = 0,02 \\ \underbrace{1,2}_{\text{}} \div 10 = 0,12 \\ \underbrace{1,2}_{\text{}} \div 100 = 0,012 \end{array}$$

2018年11月30日 【数】

Mirebalais Saint Pierre

5AF:分数

数のページを分数に応用

グッドプラクティス:

10までブロックを数えるところで
分数を書き込ませていた。

更に改善するためのアドバイス:

生徒に分数のページ(右下図)と比
較させるよう伝えた。



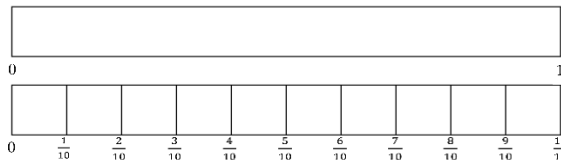
TITRE : NUMERATION 5-I-07

Objectif spécifique :

Écrire des fractions équivalentes à une fraction donnée.

1. **Observe et apprends :**

a) Les fractions ayant pour dénominateurs 10,100,1000 sont des fractions décimales



2018年11月30日 【数】

Mirebalais Saint Pierre

3AF:

グッドプラクティス：
親と家で学習を進めていた。

更に改善するためのアドバイス：
書き直した跡があるので、誰か見
てくれているか確認すると、親が確
認していた。
数と計算以外の分野について、今
後確認していく。

□部分が自習

Fiche de contrôle de leçon des matériels didactiques
Ecole : st. pierre
NB : indéterminé = leçon de page est vue, mais l'enseignant ne s'en rappelle pas la date.

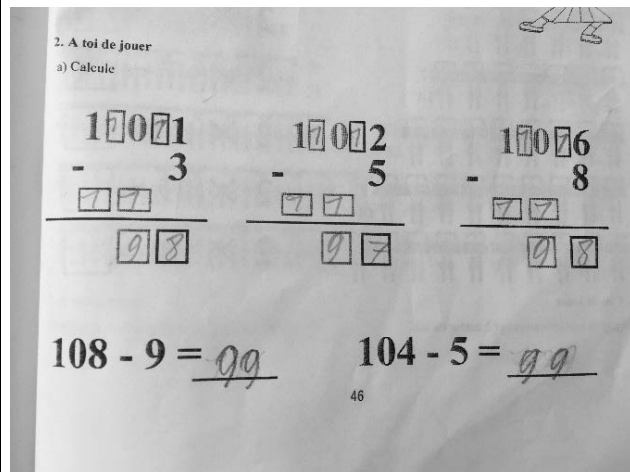
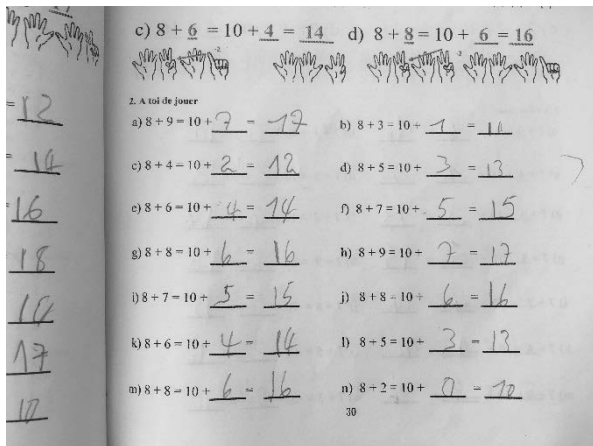
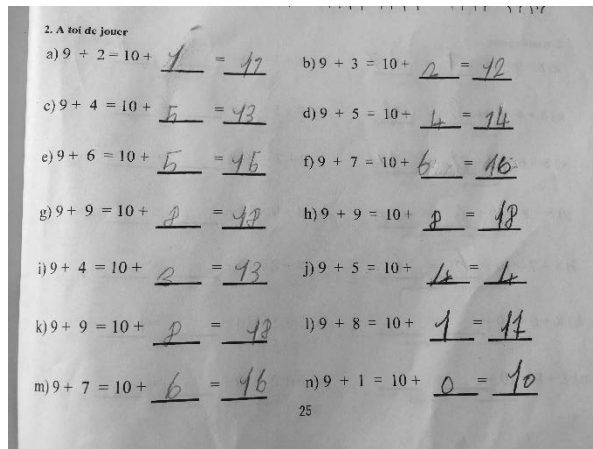
Pa ge	Date de page 1 ^{ère} AF	Pa ge	Date de page 2 ^{ème} AF	Pa ge	Date de page 3 ^{ème} AF	Pa ge	Date de page 4 ^{ème} AF	Pa ge	Date de page 5 ^{ème} AF	Pa ge	Date de page 6 ^{ème} AF
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	X	2	2	2	2	X	2	X	2	X	2
3	X	3	3	3	3	X	3	X	3	X	3
4	X	4	4	4	4	X	4	X	4	X	4
5	X	5	5	5	5	X	5	X	5	X	5
6	X	6	6	6	6	X	6	X	6	X	6
7	X	7	7	7	7	X	7	X	7	X	7
8	X	8	8	8	8	X	8	X	8	X	8
9	X	9	9	9	9	X	9	X	9	X	9
10	X	10	10	10	10	X	10	X	10	X	10
11	X	11	11	11	11	X	11	X	11	X	11
12	X	12	12	12	12	X	12	X	12	X	12
13	X	13	13	13	13	X	13	X	13	X	13
14	X	14	14	14	14	X	14	X	14	X	14
15	X	15	15	15	15	X	15	X	15	X	15
16	X	16	16	16	16	X	16	X	16	X	16
17	X	17	17	17	17	X	17	X	17	X	17
18	X	18	18	18	18	X	18	X	18	X	18
19	X	19	19	19	19	X	19	X	19	X	19
20	X	20	20	20	20	X	20	X	20	X	20
21	X	21	21	21	21	X	21	X	21	X	21
22	X	22	22	22	22	X	22	X	22	X	22
23	X	23	23	23	23	X	23	X	23	X	23
24	X	24	24	24	24	X	24	X	24	X	24
25	X	25	25	25	25	X	25	X	25	X	25
26	X	26	26	26	26	X	26	X	26	X	26
27	X	27	27	27	27	X	27	X	27	X	27
28	X	28	28	28	28	X	28	X	28	X	28
29	X	29	29	29	29	X	29	X	29	X	29
30	X	30	30	30	30	X	30	X	30	X	30
31	X	31	31	31	31	X	31	X	31	X	31
32	X	32	32	32	32	X	32	X	32	X	32
33	X	33	33	33	33	X	33	X	33	X	33
34	X	34	34	34	34	X	34	X	34	X	34
35	X	35	35	35	35	X	35	X	35	X	35
36	X	36	36	36	36	X	36	X	36	X	36
37	X	37	37	37	37	X	37	X	37	X	37

更に改善するためのアドバイス：

「数」「計算」については、理解できているので、次回研修に参加した際は、「数」「計算」以外の領域について、確認することを校長に伝えた。

また、他の学年に比べて、2年生の学習が遅れ気味であることを校長に伝え、引き続きフォローするよう依頼した。

次回訪問時、研修なしでも機能する副教材学習のコツを校長に確認する。



2018年11月28日 【計算】

Toussaint Louverture Las Caobas

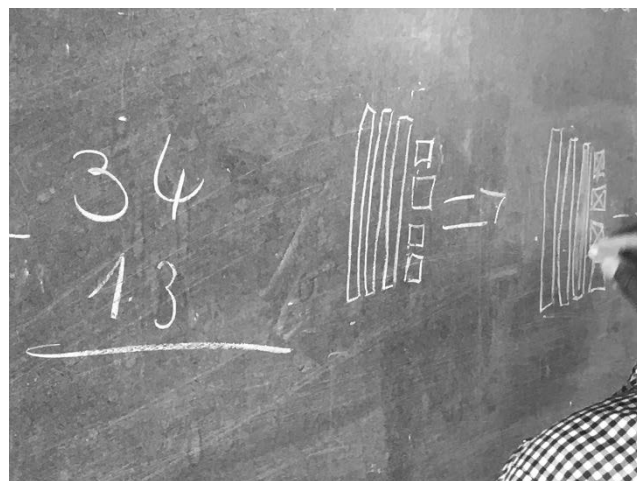
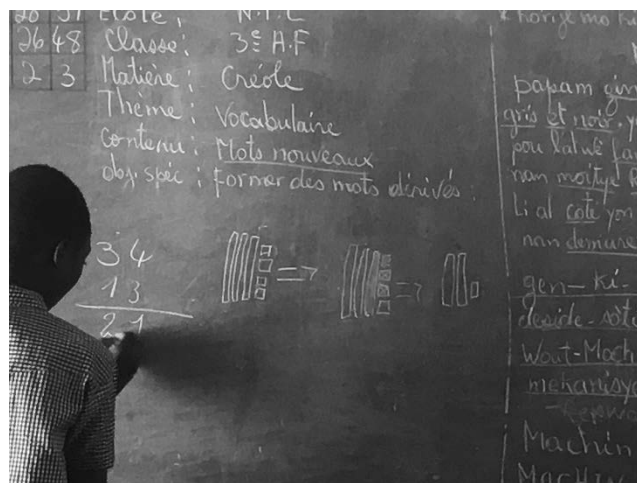
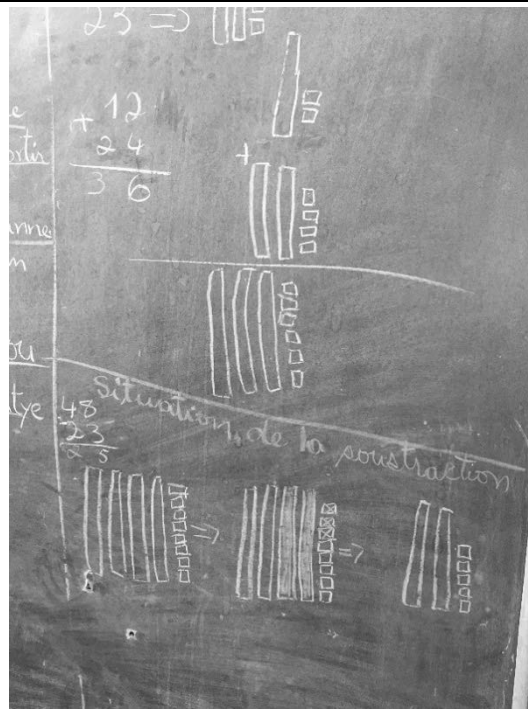
3AF:2桁の引算筆算、足算筆算（繰り上がりなし）

グッドプラクティス：

副教材通り、ブロックを使って説明していた。また、生徒もブロックを書いて計算していた。これなら、量感を持って計算できる。

更に改善するためのアドバイス：

このまま繰り下がりが無い引き算も教えられるはずで、繰り上がり、繰り下がりも副教材を確認して進めるように指導した。



2018年12月5日 【測定】	
Thomassique	
2AF:身近な長さの単位	
<p>グッドプラクティス：</p> <p>2年生の担任が、専門家が描いた身長計（5年生の教室の扉）まで、生徒を連れていき、一番背の高い生徒の身長（150cm）を測り、小さい生徒の身長（130cm）を測り、その後、他の生徒の身長を測っていた。</p> <p>生徒は、背の低い生徒の身長を聞いたとき、歓声を上げていたことから、身長に対する興味を持ち、身長の単位を学習する意味を理解していたことがわかる。</p>	
<p>更に改善するためのアドバイス：</p> <p>教師は、身長を10cm刻みで切り上げ、切り下げて、読んでいた。2年生では、この方法が良いと伝えた。</p> <p>一方、教師が10cmの切上げ、切り下げができるか確認しておく必要がある。</p>	

2018年12月4日 【数】	
Henri Christophe Maïssade	
4AF:1/4 の概念の導入	
<p>グッドプラクティス：</p> <p>副教材通りに、コピー用紙から正方形を切り取り、その正方形を折って1/4を作っていた。</p> <p>定規で対角線が切れないのでどうするか見ていたら、口で湿らせて切っていた。</p>	
<p>更に改善するためのアドバイス：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口で湿らせて切るのは良い方法。 ・コピー用紙は、新品でなく、研修などの古紙を使うこと。普段から集めておくこと ・1/4の作り方は、対角線、十字だけでなく、縦2回折、横2回折もさせること ・1/4を見せるとき、必ず元の形を1として見せること ・この折り紙、切り紙のやり方をマスターすれば、三角形の面積の求めたか（底辺×高さ÷2）の説明にも使えることを説明した。 	



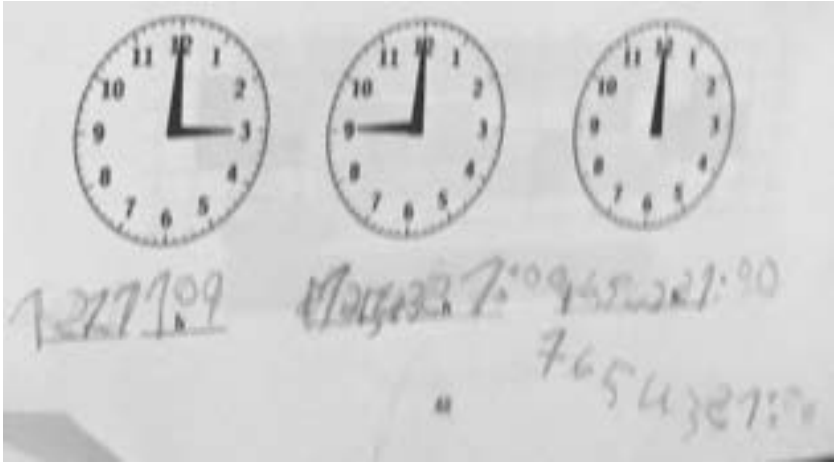

添付資料3：「課題例」

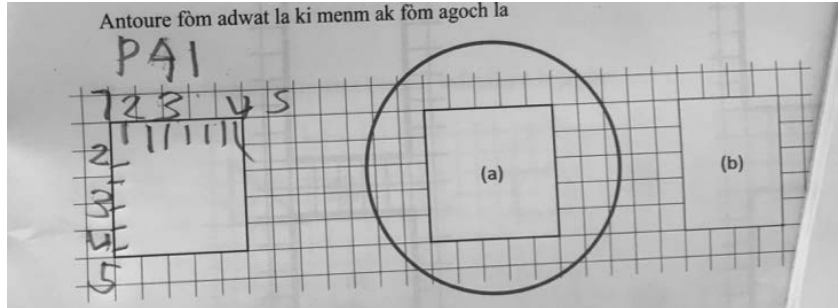
マネジメント面での課題


全日 程	全校	<p><u>カーラーバージョンに書き込もうとしない。</u></p> <p>新規参加校については、昨年度より使用状況は良い。解答があるおかげだと推察できる。ただし、皆コピーの暫定版を使っているので数、計算以外の分野の使用は、今後確かめることとなる。</p> <p>また、来年度印刷されるか不透明なため、使用しても書き込みをしようとしなことが確認されている。</p>
11/26 12/06	Cerca Carvajal	<p><u>恒常的に欠勤している教師がいる。</u></p> <p>この街ではゼネストに伴うデモなどはなく、治安面での問題はないにもかかわらず教師が2人しか出勤していない。ストに当てつけて出勤していないようである。親もそれを見越しているのか、生徒も3分の1くらいしか登校していない。</p> <p>12月6日に訪問した時も、2年生の担任が病欠、6年生の担任もいなかった。6年生の担任の欠席理由を聞いても、校長はごまかしていた。</p>
11/26	Immaculée Conception	<p><u>給料遅配により、マネジメントの悪い学校では、授業が行われていない。</u></p> <p>校長、教師たちが授業開始時間になっても、校長室の前で暗い顔で話をしている。9月から給与が支払われていないとのこと。</p>
11/26	Toussaint Louverture Hinche 5AF	<p><u>昨年研修実施校の新規教員が今年度研修に出ていないので、ひがんでいる。</u></p> <p>校長からあらかじめ5年生のクラスに行くことを説明してもらったにもかかわらず、担任が違う教科の授業を始めた。話しかけると明らかに嫌そうな顔をしていたので授業見学を諦めた。校長に確認すると、「今年赴任してきた先生で、去年研修に参加して（お金をもらって）いないから、明らかに不満なのよね。」とのことであった。</p>
11/26	Toussaint Louverture Hinche 校長	<p><u>給料の遅配によるモチベーションの低下</u></p> <p>マネジメントのできている学校でも、状況は厳しい。</p> <p>「給料の遅配は、ここでも問題で、給食目当てに教師が学校に来ているという面も見られるわよ。自分の家で</p>

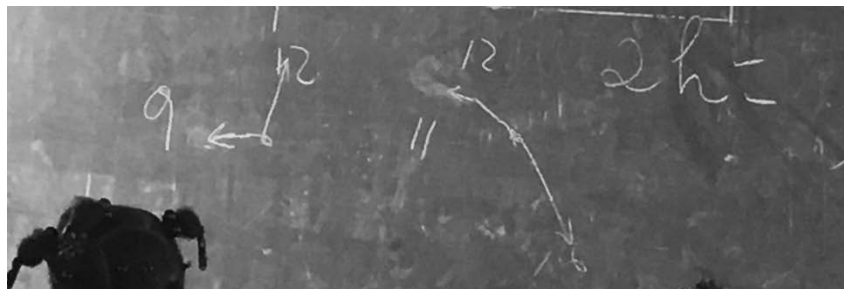
		も、子どもがお腹すいたというけど、どうしようもないもんね」
11/29	Notre dam Saint Esprit	教科書を生徒全員が持っている場合、副教材使用の必要性が相対的に低くなる。
11/30	Saint Pierre Mirebalais	教科書を生徒全員が持っていて、各生徒が教科書に直接書き込んで教師が生徒の理解を確認しており、副教材をあえて使う必要性が低くなる。
11/27	Los Posos Cerca la Source	<u>生徒の登録数も減って来ている、登録していても来ない生徒が増えている。</u> 校長によると理由はわからないとのこと。近くに代替の私立学校もないので、親の学校に対する関心が下がってきているのかもしれない。ちなみに、この学校の1学期の開始は1ヶ月近く遅れた。校長によると、地域の祭りが原因とのこと
11/30	Lucienne Estimé 2AF Mirebalais	<u>校長のマネジメント能力不足。</u> 校長が代わり、副教材についての理解がない 専門家から、副教材の説明をしているが、通常の学校運営だけで手一杯で副教材を教師に使わせるまで至っていない。
12/3	Trianon	コピー版の保管箇所もわからないほどであった。 3年生4年生6年生の担任はコピーが配布されていることを知らなかった。
12/06	Cerca Cavajar	<u>授業中に副教材を配布、作業、開始、回収まで時間がかかる。</u> セルカ・カバジャールで校長が「名前を書かせると配るのに時間がかかるので書かせないほうが良い」と言っていた。生徒5人に10冊ずつ配らせれば良いとは考えられないくらい教科書以外の教材を使った経験が学校全体にない。
11/26	Immaculée Conception 5AF	実際、イマキュレ・コンセプションの5年生では、副教材を配り、ページを開けて、問題を解き始めるまで5分くらいかかっていた。

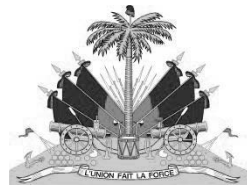
教科面（教師、生徒）の課題

<p>11/26</p>	<p>Cerca Cavajar 5AF</p>	<p><u>5年生でも選択問題は簡単でない。</u> 1L=?mL、1G=?L、20oz=?ml 容器で実際に見せ、副教材で理解を確認した。8割の生徒は、答えを正しく書いていたが、ほとんどの生徒は答えを選べない。</p>
<p>11/27</p>	<p>Thomass ique 2AF</p>	<p><u>時計の学習の前に、文字や記号、数字の学習が先。</u> 実物を見せながら説明すると、8割の生徒が、「〇時」を読めるようになった。しかし、書くとなると、難しく、以下の課題が明らかになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡文字を書く生徒が2割いた。 ・〇:00 Oh00で「:」や「h」の上に数字を書いてしまう。 ・文字盤の数字を写してしまう。  

11/27	Thomass ique 2AF	<p><u>生徒がマス目を数えるのに、棒を書いてしまう。</u></p> <p>A4用紙を切って作成した正方形、長方形、三角形を簡易フラッシュカードとして示したところ、8割の生徒が区別できていた。</p> <p>そこで、副教材を開いて該当ページを演習させたが、以下の問題が見られた。</p> <p>a) 正方形の端からマスを数えないで、背景のマスを端から全部数えてしまう。</p> <p>b) マスを数える時に、「1, 2, 3, 4…」と数えずに、「 …」と棒を書いてしまう。このレベルの生徒は、数と量の短期記憶ができないので、数や大きさや量の数的比較ができないし、対称形の学習も難しい。</p> <p>また幾何だけでなく、高学年になり、グラフの学習にも支障をきたすことになる。</p> 
11/27	Thomass ique 2AF	<p><u>一部の生徒が紙を掴んでページをめくっている。</u></p> <p>本やノートをめくった経験が少ないのであろう。(ビデオあり)</p>

11/27	Los Posos Cerca la Source 3AF	<p><u>教師が序数が数えられない。</u></p> <p>10列*10列のショートケーキの中からチョコレートケーキを見つける学習で、縦の数が数えられない。縦1列だけだと数えられるが、横にも縦にも並べられていると難しいようである。</p> <p>他の数校でも同じことが見られた。</p>								
11/28 12/06	Belladère 4AF Cerca Cavajar 5AF	<p><u>教師が cm、m、km の感覚を持っていない。</u></p> <p>「1分間に45メートルで散歩するジェラルドは1時間12分でどれだけ移動するか？」という授業をしている担任に、「答えは、3240m だけど、学校から3km ってどれくらい？」と聞いてもわからない。1km もわからない。</p> <p>長さの単位と変換の授業で教師が黒板に以下の表を書いた。</p> <table border="1" data-bbox="507 891 992 1227"> <thead> <tr> <th></th> <th>longuer en cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 aune</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>1 pied フィート</td> <td>30,5</td> </tr> <tr> <td>1 pouce インチ</td> <td>2,54</td> </tr> </tbody> </table> <p>1cm の感覚を持っていない生徒には、余計なことを教えず、最低限暗記させるのがハイチでは一般的な教え方なのだろう。</p> <p>授業後、教師に「ペンの長さは、だいたい15mm, 15cm, 15m, 15km のどれか」と確認すると、わからないと言い、生徒から定規を借りて時間をかけて測り、14cm と答えていた。この時、インチの側で計ろうとしていた。実は、教師も1cm が分かっていないのである。</p> <p>専門家が aune について尋ねると、布を買うときの単位と答えた。アンシュ市内の布屋で確認した。ハイチで使われている長さの単位に初めて出会った。</p> 		longuer en cm	1 aune	118	1 pied フィート	30,5	1 pouce インチ	2,54
	longuer en cm									
1 aune	118									
1 pied フィート	30,5									
1 pouce インチ	2,54									

11/30	Lucienne Estimé 2AF	<p><u>教師が報酬目的で副教材を使っている。</u></p> <p>昨年度からの参加校で、副教材を使用しようとしなない教師は、昨年度、研修以外の報酬がなかったせいであることが考えられる。</p> <p>「(手当がないと)絶対に協力しないからね」と啖呵を切られた。</p>
12/07	Presbiterale Saint Luis 6AF	<p>副教材をよく使っている教師に話しかけたら、「いくらくれるのか?」と聞いてきた。払えないことを説明すると明らかに落胆した表情を見せた。</p> <p>アフリカでも、このようなことは頻繁にあるが、ダメ元で聞かれることが、ほとんどで、ここまで落胆されたことはまずない。</p>
12/06	Cerca Cavajar 5AF	<p><u>一度にたくさん教えても生徒が覚えられない</u></p> <p>5年生に、$1L = ?mL$、$1G = ?L$、$20oz = ?ml$を確認。したところ、半分以上の生徒が忘れていた。見たことのない3つの単位を1時間で教えても、すぐ忘れるのであろう。日本人が、インチ、ヤード、フィートを教わっても、すぐ忘れるのと同じである。</p>
12/06	Cerca Cavajar 5AF	<p><u>時計を書けない教師。</u></p> <p>11時30分を書くが11と6の位置がおかしい。</p> 



RÉPUBLIQUE D'HAÏTI

MINISTÈRE DE L'ÉDUCATION NATIONALE ET DE LA FORMATION
PROFESSIONNELLE

DIRECTION GÉNÉRALE / INSTITUT NATIONALE DE FORMATION
PROFESSIONNELLE

**Politique Nationale de Formation
des Personnels d'Enseignement et d'Encadrement
(PNF/PEE)**

Document d'orientations

Novembre 2017

TABLE DES MATIÈRES

AVANT-PROPOS	4
I. INTRODUCTION.....	10
1.1. Mise en contexte.....	10
1.2. Genèse des présents documents.....	12
1.3. Méthodologie d'élaboration du document	13
1.4. Modalités et procédures d'actualisation de la PNF/PEE	14
1.5. Annonce et présentation des différentes parties du document.....	14
II. ÉVOLUTION DU SYSTÈME DE FORMATION : SITUATION DE LA FORMATION DES PERSONNELS D'ENSEIGNEMENT ET D'ENCADREMENT, DE LA RÉFORME BERNARD À NOS JOURS.....	15
2.1. Description des personnels d'enseignement et d'encadrement	16
2.1.1. <i>Au niveau du préscolaire</i>	16
2.1.2. <i>Au niveau fondamental</i>	17
2.1.3. <i>Au niveau du secondaire</i>	18
2.1.4. <i>Au niveau de la formation professionnelle</i>	18
2.2. La formation initiale en institution : Qualification des personnels d'enseignement et d'encadrement	19
2.2.1. <i>Des personnels d'enseignement</i>	19
2.2.2. <i>Des personnels d'encadrement</i>	21
2.2.2.1. <i>Profils des encadreurs</i>	21
2.3. La formation continue.....	22
2.3.1. <i>Au niveau de l'éducation préscolaire</i>	22
2.3.2. <i>Au niveau de l'enseignement fondamental</i>	22
2.3.3. <i>Au niveau du Secondaire</i>	23
2.3.4 <i>Au niveau de la formation professionnelle</i>	24
III. SITUATION ACTUELLE DU SYSTÈME DE FORMATION : QUELQUES CARACTÉRISTIQUES.....	24
3.1. Au niveau des dispositifs de formation initiale	25
3.2. En ce qui concerne les profils des enseignants	26
3.3. Au niveau de l'encadrement des enseignants.....	26
3.4. Par rapport à la qualité de l'enseignement et de l'efficacité interne	27

3.5 Au niveau de la formation continue.....	28
3.6. En ce qui concerne l'efficacité externe	28
3.7. Au niveau de la certification.....	29
3.8. Particularités de la formation professionnelle	29
3.9. En ce qui concerne l'éducation non formelle	30
3.10. Au niveau de la gouvernance de la formation.....	30
IV. ENJEUX ET DEFIS DE LA FORMATION DES ENSEIGNANTS ET DES PERSONNELS D'ENCADREMENT	31
4.1. Enjeux de la formation.....	31
4.2. Les défis.....	32
4.3. Opportunités et limites.....	34
4.3.1. <i>Opportunités</i>	34
4.3.2. <i>Limites</i>	36
V. LA POLITIQUE NATIONALE DE FORMATION DES PERSONNELS D'ENSEIGNEMENT ET D'ENCADREMENT : NOUVELLES ORIENTATIONS DU SYSTÈME DE FORMATION	37
5.1. Vision globale.....	38
5.2. Finalité, but et objectifs.....	44
5.2.1. <i>Finalité</i>	44
5.2.2. <i>But</i>	44
5.2.3. <i>Objectifs</i>	44
5.3. Principes directeurs de la formation.....	45
5.4. Approche de la PNF/PEE	45
VI. VALEURS, ETHIQUE PROFESSIONNELLE ET DEONTOLOGIE DANS L'EXERCICE DES METIERS DE L'ENSEIGNEMENT ET DE L'ENCADREMENT	49
VII. VERS LA PROFESSIONNALISATION DES PERSONNELS D'ENSEIGNEMENT ET D'ENCADREMENT	50
7.1. Le cadre référentiel	51
7.1.1. <i>Référentiel de métiers</i>	52
7.1.2. <i>Référentiel de compétences</i>	53
7.1.3. <i>Référentiel de formation</i>	54
7.1.4. <i>Référentiel d'évaluation</i>	55
7.2. Description des dispositifs de formation.....	56

<i>7.2.1. Dispositif de la formation initiale</i>	56
<i>7.2.2. L'insertion professionnelle</i>	63
<i>7.2.3. La formation professionnelle continue et le perfectionnement</i>	63
VIII. ORIENTATIONS DE LA PNF/PEE EN MATIÈRE DE GOUVERNANCE	67
IX. RECHERCHE-ACTION, CAPITALISATION ET VULGARISATION DES RÉSULTATS	68
X. SUIVI ET ÉVALUATION DE LA PNF	68
XII. ANNEXES	72

AVANT-PROPOS

Un système éducatif qui a pour objectif d'offrir une éducation de qualité pour tous doit pouvoir compter sur des enseignant(e)s bien formé(e)s, suffisamment rémunéré(e)s et capables de suivre les processus d'évolution des connaissances. Ils/elles doivent ainsi disposer de compétences nécessaires pour prendre en compte les interdépendances croissantes touchant non seulement le monde, mais également l'éducation. Aussi, pour être efficace et efficient, ce même système éducatif doit-il pouvoir compter sur des personnels administratifs et d'encadrement bien formés et compétents.

À l'évidence, pour que la qualité des processus éducatifs s'améliore, il faut des enseignant(e)s suffisamment nombreux et compétents, répondant aux besoins du système. Selon le Bureau International de l'Éducation (BIE), la promotion dans la réalité quotidienne des centres d'éducation et d'une éducation de qualité pour tous les jeunes et adultes, amène à poser avec acuité le problème du rôle des enseignant(e)s, de leur recrutement, de l'adéquation de leur profil et de leur fonction, de leur formation, de leur reconnaissance sociale et de leur statut.

Le rôle des enseignant(e)s est plus que jamais considéré comme primordial dans les processus de transformation de la société haïtienne. En fait, même si le métier d'enseignant (e) conserve des éléments de permanence, quels que soient l'époque ou les niveaux d'éducation, les savoirs, la façon d'y accéder, l'influence des médias et des TIC, les attentes de la société, l'environnement social, les apprenants eux-mêmes, etc. changent continuellement. L'enseignant(e) est de plus en plus amené(e) à devenir un(e) *médiateur (trice)* dans la construction de la connaissance, un(e) *animateur (trice)*, et parfois même, un(e) *assistant(e) social(e)*. Il doit aussi favoriser le développement de compétences sociales et un climat d'enseignement/apprentissage qui permette aux personnes d'apprendre à vivre ensemble et à devenir des citoyens responsables.

Pour que les enseignant(e)s puissent jouer pleinement le rôle d'agents de transformation sociale, Haïti s'engage à améliorer la qualité de leur formation et renforcer les dispositifs pour qu'ils/elles puissent développer les compétences nécessaires. L'éducation après 2015 vise, en effet, à renforcer l'accès à l'éducation de qualité qui favorise la créativité et les connaissances, garantissant l'acquisition des compétences fondamentales en lecture, en écriture et en calcul, ainsi que des compétences en matière d'analyse et de résolution de problèmes, et d'autres aptitudes cognitives, interpersonnelles et sociales de haut niveau. Elle développe également les compétences, les valeurs et les attitudes qui permettent aux citoyens de mener une vie saine et épanouie, de prendre des décisions éclairées et de relever les défis locaux et mondiaux.

Reconnaissant l'importance de l'éducation en tant que vecteur principal du développement et de la réalisation des objectifs de développement durable (ODD) adoptés par l'Assemblée générale des Nations Unies en septembre 2015, le MENFP a cru nécessaire d'adopter de nouvelles orientations en matière de formation des enseignant(e)s. De ce ressort, la nouvelle politique de formation des enseignant(e)s et des personnels d'encadrement (PNF-EPE) apporte un nouveau souffle pour faire en sorte que ces dernier(ère)s, à tous les niveaux du

préscolaire au secondaire et de la formation professionnelle, aient les moyens d'agir, qu'ils/elles soient recrutés de manière adéquate, qu'ils/elles reçoivent une formation (de niveau universitaire) et des qualifications professionnelles satisfaisantes, et qu'ils/elles soient motivé(e)s, soutenu(e)s et doté(e)s de ressources suffisantes.

Cette politique s'inscrit à la fois dans le Plan de développement stratégique d'Haïti-(2030) et dans l'engagement pris par la communauté éducative internationale auquel Haïti adhère dans le cadre du suivi de la Déclaration et au Cadre d'Action d'Incheon (Éducation 2030), vers une éducation inclusive équitable et de qualité, et un apprentissage tout au long de la vie pour tous.

Pierre Josué Agénor CADET
Ministre de l'éducation nationale
et de la formation professionnelle

REMERCIEMENTS

Le présent document d'« **Orientations de la politique de formation des enseignant(e)s et des personnels d'encadrement (PNF)** » est le fruit de vigoureux efforts consentis par des cadres et agents de différentes structures du Ministère. Son élaboration qui vise, en effet, à doter le MENFP d'un outil devant servir à la mise en œuvre d'un solide dispositif de formation au sein du système éducatif, a été rendue possible grâce au concours et à l'implication des cadres des directions techniques (DEF, DES, DAEPP, DESRS, BUGEP, DCQ, CASAS, DPCE, ...) et des dix (10) directions départementales, en collaboration avec l'Institut national de formation professionnelle (INFP) et la Direction de la Formation et du Perfectionnement (DFP).

La gratitude du MENFP va tout droit, dans ce cas, à ses cadres et techniciens qui ont pris part à la fois aux ateliers d'Ennery (Village d'Ennery, du 31 juillet au 04 août 2017), et de Decameron (Decameron, 12 au 14 novembre 2017), dont la disponibilité et la disposition à produire de fructueux et appréciables commentaires ont grandement facilité l'élaboration et la finalisation dudit document et de son Plan de mise en œuvre. C'est pour le MENFP l'achèvement, avec satisfaction, d'un long processus ; et il en profite pour leur adresser ses plus vifs remerciements. La liste de ces différents cadres et techniciens du ministère est annexée à ce document.

Les défis de qualité de l'éducation et de la formation en Haïti est un fait attesté par l'ensemble des documents de stratégie récents du système. À titre d'exemple, la Stratégie Nationale d'Éducation pour Tous (SNA/EPT) et le Plan opérationnel (2010- 2015) du secteur de l'éducation soulignent une faiblesse prononcée tant au niveau de l'efficacité interne qu'externe. Les résultats des différents examens officiels en témoignent également d'une situation très lamentable des rendements assez faibles aux différents niveaux. Il est ainsi attesté et accepté qu'en moyenne les enseignants qualifiés dans les salles de classe représentent moins de 20% et que leur dispositif de formation continue et initiale soit très peu efficace à tous les niveaux et degrés d'enseignement.

Réalisé, selon une démarche largement participative, le présent document se fonde sur l'accumulation d'expertise et de savoir-faire de cadres du Ministère, et aussi de ceux de partenaires tant nationaux qu'internationaux. En ce sens, le MENFP est très reconnaissant envers la coopération d'Affaires Mondiales Canada/Global Affairs Canada et l'UNESCO, pour la qualité de leur appui depuis le lancement du projet (**Référence : 525HAI1000**) « *Amélioration de la qualité de la formation des enseignants(es)* ». Ce projet a déjà permis au ministère de disposer du **Document de cadrage (2016) de la politique de formation des enseignants (es) haïtiens(nes)**, préfacé par le Ministre Jean Beauvois Dorsonne, et d'un gabarit de son **Plan de Mise en Œuvre (PMO)**.

Le MENFP remercie, de façon particulière, le Représentant spécial de l'UNESCO en Haïti, **Monsieur Paul GOMIS**, pour ses soutiens et tout son support à la cause de l'éducation de ce pays et, en particulier, au développement de ce document de politique et de son plan de mise en œuvre. Il adresse également ses vifs remerciements au Directeur de la Direction de la

formation et du Perfectionnement (DFP), **Monsieur Joseph Rood Karll FLEURANT**, pour ses dévouements et sa détermination dans la conduite à terme de la réalisation de ce document.

Le MENFP n'oubliera pas non plus les importantes contributions des Consultants **Réginald PAUL**, **Rénold TELFORT** et **Pierre Bredy ETIENNE**, de même que les efforts infatigables et impayables respectivement de la Responsable d'Éducation, **Madame Daniela BRUNY**, et du Coordonnateur du Projet, **Monsieur Jean Michel, CHARLES**, auprès de l'UNESCO.

Qu'il plaise à tous ceux qui ont apporté leur soutien, à tous égards, dans l'accomplissement de ce noble travail, d'agréer l'expression très cordiale des remerciements du Ministère !

LISTE DES SIGLES ET ACRONYMES

APC	Approche par compétence
BUGEP	Bureau de gestion de l'éducation préscolaire
CAEB	Certificat d'aptitude en enseignement de base
CAEM	Certificat d'aptitude en enseignement des maths
CAF	Certificat d'aptitude en enseignement du Français
CAP	Certificat d'aptitude pédagogique
CFEF	Centre de formation pour l'école fondamentale
CFCE	centre de formation des cadres de l'Education
CFP	Centre de formation pédagogique
CIDE	Consortium International de Développement
CNES	Centre national des études spatiales
CPR	Centres pédagogiques régionaux
DESRS	Direction de l'enseignement supérieur et de la recherche scientifique
DFP	Direction de la formation et du perfectionnement
DRH	Direction des ressources humaines
EEP	Etablissement d'éducation professionnelle
EET	Etablissement d'éducation technique
EFA	Ecole fondamentale d'application
EFACAP	Ecole fondamentale d'application pédagogique
ENI	Ecole normale des instituteurs
ENS	Ecole normale supérieure
FIA	Formation initiale accélérée
FONEPH	Fondation Haïtienne de l'Enseignement Privée
FSE	Faculté des sciences de l'éducation
GTEF	Groupe de travail pour l'éducation et la formation
GRAHN	Groupe de réflexion et d'action pour une Haïti nouvelle

IFADEM	Initiative francophone pour la formation à distance des maitres
INFP	Institut national de formation professionnelle
IPN	Institut pédagogique national
MENFP	Ministère de l'éducation nationale et de la formation professionnelle
ODD	Objectif du développement durable
OIF	Organisation internationale de la francophonie
OMD	Objectif du millénaire pour le développement
OMRH	Office de management des ressources humaines
ONG	organisation non gouvernementale
PNF	Plan national de formation
PO	Plan opérationnel
PPO	Pédagogie par objectif
PSDH	Plan stratégique pour le développement d'Haïti
TEH	Transformation de l'éducation en Haïti
TIC	Technologie de l'information et communication
TICE	Technologie de l'information et de communication en Education
UAG	Université des Antilles et de la Guyane
UEH	Université d'Etat d'Haïti
UNESCO	Organisation des nations unies pour l'éducation la sciences et la culture
UPR	Université publique en région
VAE	validation des acquis de l'expérience

I. INTRODUCTION

1.1. Mise en contexte

Haïti s'est trouvée en situation difficile pour atteindre les Objectifs du Millénaire pour le Développement (OMD) en raison de la faible performance que produit son système éducatif comparativement au reste de l'Amérique Latine et de la Caraïbe. La nouvelle politique éducative doit s'inscrire aujourd'hui dans la droite ligne des objectifs de développement durable (ODD). Un peu plus de la moitié de la population est alphabétisée et approximativement 380 000 enfants âgés de 6 à 11 ne fréquentent pas l'école¹. Le système éducatif comporte divers niveaux d'enseignement. L'enseignement préscolaire s'adresse aux enfants âgés de 3 à 5 ans. L'enseignement fondamental est constitué de trois cycles, les deux premiers étant conçus comme le niveau d'éducation de base (6 à 12 ans) et le troisième comme un niveau d'orientation (13 à 15 ans). La rénovation du secondaire présente deux grands axes : les filières classiques et les filières techniques et professionnelles. S'ajoute à tout cela l'enseignement technique et professionnel et l'enseignement supérieur.

Le pays fait face à une crise socio-économique qui l'affecte profondément. Les revenus de nombreux ménages sont fortement affectés par la détérioration des conditions économiques et l'instabilité politique des dernières années. Le pouvoir d'achat des parents a ainsi considérablement diminué. La capacité financière des écoles non publiques à préparer chaque rentrée scolaire suit la même tendance.

La détérioration des conditions économiques dues à l'augmentation du coût de la vie et la dépréciation de la monnaie haïtienne affectent les taux de scolarisation au niveau de l'éducation de base. Ainsi, le taux net de scolarisation à l'échelle nationale avoisine aujourd'hui 90% car, durant les 15 dernières années, l'effectif ne cesse d'accroître (MENFP, 2016)².

La scolarisation tardive est un problème quasi chronique qu'il convient aussi de souligner. Les élèves âgés de 14 ans sont plus de 418 000, dont 46% de filles et, les élèves sur âgés du milieu rural, pour l'entrée en 1^{ère} année sont plus de 62%. Ces chiffres montrent une fois de plus que la problématique des enfants surâgés doit être adressée en profondeur par le spécialiste qui réfléchit sur le système éducatif haïtien³.

L'accès à l'éducation est particulièrement problématique pour les groupes vulnérables (enfants en situation de domesticité, handicapés, enfants des rues et enfants n'obéissant pas à la loi). Ils sont exclus du système d'enseignement formel et n'ont pas accès aux services d'éducation non formelle. Quant à l'éducation non formelle, elle est peu développée et est principalement gérée par les organisations non gouvernementales.

Evelyne, Trouillot Ménard, *Haïti perspective*, Automne 2013

²MENFP, *Haïti : l'éducation en chiffres, 2015-2016/Depliant_Scolaire_1516_avril2017_Draft_2*

³www.unicef.org/haïti/french/children_8837.htm

Le secteur éducatif est fragmenté. Approximativement 85 % des écoles fondamentales sont non publiques et Selon le dernier recensement scolaire de 2016 seul 15% de l'offre éducative vient du secteur public, le reste essentiellement sous le contrôle du secteur non-public, dans la majorité des cas, ces dernières pour la plupart fonctionnent en dehors des normes minimales⁴. La mosaïque d'institutions finançant le système n'est régulé par aucun mécanisme de partenariat ni de cadre légal opérationnel. Cette situation a des effets importants sur la qualité, la formation des enseignant (e) (s), la production ainsi que la distribution équitable du matériel didactique. Et l'importance du rôle du réseau non public dans l'offre d'éducation engendre une augmentation substantielle des dépenses des ménages en éducation.

Le MENFP n'a pas toujours exercé ses rôles normatif et régulateur dans le système éducatif. Cette faiblesse s'explique à partir de six éléments qui, articulés entre eux, génèrent une efficacité très limitée aux niveaux de la conception, de l'exécution du suivi et de l'évaluation. Premièrement, la capacité normative du secteur est faible au niveau de l'édiction de règles claires de fonctionnement et, plus précisément encore, au niveau du contrôle de l'application de ces règles.

A cause de sa faible gouvernance, le secteur non public est devenu la principale voie d'accès à l'éducation. En dépit de tout, une rareté de l'offre de scolarisation persiste, particulièrement dans les zones pauvres et rurales. C'est ainsi que l'enseignement non public se développe de manière anarchique. Par exemple, certaines écoles accueillent des élèves sans que les enseignants ne soient formés à cet effet mais également sans accréditation du MENFP. Le niveau de qualification des enseignants ainsi que leur salaire dans le système varient selon leur appartenance au secteur non public ou public. Au niveau de l'encadrement des élèves, de très fortes variations sont observées entre le réseau non public et le réseau public. La charge par enseignant dans le secteur public est pratiquement deux fois supérieure à celle des enseignants dans le non public.

La capacité du système à former les enseignants est principalement limitée par la mise en œuvre mitigée des plans de formation du MENFP. Environ 70 000 enseignants (es) dont 85% n'ont reçu aucune formation professionnelle et 30% possèdent un niveau inférieur à la neuvième année fondamentale (GRAHN, Mars 2013)⁵. L'environnement d'apprentissage et d'enseignement est fondé sur une dynamique verticale, de non-expression, parfois de violence physique et psychologique envers les élèves.

La formation professionnelle dispensée est largement théorique et ne concorde pas avec les emplois spécifiques disponibles en Haïti ainsi qu'avec les besoins des entreprises. A cause des faiblesses du système de formation professionnelle, les entreprises haïtiennes importent de plus en plus de main d'œuvre de l'étranger.

⁴ Idem

⁵ *Référentiel de l'enseignant à l'école fondamentale*, Contribution du GRIEAL aux projets RENACER et FOHFADD piloté par le GRAHN, Mars 2013

Le système informel, qui fonctionne en dehors des normes établies, accueille la majorité des apprentis. Quel que soit le type et le niveau de formation, l'efficacité et la qualité des formations sont très limitées. Les équipements technologiques ne sont pas adaptés aux spécificités du marché du travail. Plusieurs problèmes se posent : (i) Les infrastructures de base sont inexistantes (eau, électricité, téléphone) ; (ii) les locaux ne sont pas entretenus, les matériels didactiques sont insuffisants ou obsolètes ; (iii) les outils sont désuets, (iv) la sécurité des équipements n'est pas garantie et le niveau de qualification des enseignants est faible. Il faut toutefois faire remarquer que certains efforts ont été déployés en vue de moderniser le secteur depuis les années 90, avec surtout l'appui de l'« Instituto nacional de formación profesional cooperacion tecnica internacional, sena, colombia ». Cette coopération devait donner naissance au CEREP : « Centro de recursos pedagogicos para la educacion tecnica y profesional de Haiti ». Ce projet n'a pas apporté les résultats fixés.

L'évolution du sous-secteur de la formation professionnelle n'est pas non plus régulée et contrôlée par le ministère de l'éducation nationale. Une capacité normative faible laisse donc des segments entiers du secteur sans contrôle de qualité.

1.2. Genèse des présents documents

Du 02 au 04 août 2017, le MENFP a jugé nécessaire d'organiser un atelier autour du Document de cadre de la PNF/PEE et de son Plan de mise en œuvre (PMO) inachevé, en privilégiant la participation active de cadres représentant ses différentes structures. Ayant été tenu au Village d'Ennery, dans le département de l'Artibonite, cet atelier a eu pour objectif principal d'examiner les documents déjà produits afin d'engager des discussions, échanges et réflexions sur la formation des Personnels d'Enseignement et d'encadrement qui sont concernés par l'objet de cette politique. L'exercice devait également aboutir à des recommandations relatives aux décisions à adopter pour compléter, revoir et/ou mettre à jour les documents en question.

Les réflexions, échanges et discussions engagées lors de l'atelier ont abouti à des conclusions concernant le travail qui a été déjà accompli en matière de politique des Personnels d'enseignement et d'encadrement. En effet, en raison des limites qui ont été débusquées, l'analyse des documents ont mis lumière les principales observations suivantes :

- Revoir du Document de cadrage de la PNF/PEE
- Finaliser le PMO

Cependant, s'inspirant des recommandations de l'atelier, le MENFP (INFP, DFP) a approfondi l'examen des documents susmentionnés et a identifié d'importantes limites. Les observations qui en découlent ont conduit à l'adoption de nouvelles dispositions :

- Revoir le Document de cadrage tant dans la forme que dans le fond
- Élaborer un Document d'orientations en raison de l'absence de grandes lignes de la PNF/PEE

- Élaborer un nouveau Plan de mise en œuvre, qui soit en congruence avec le Document de cadres revu et celui des Orientations. L'application de cette disposition a paru incontournable, compte tenu des incohérences et des faiblesses constatées dans le PMO existant et inachevé.

Le travail d'élaboration a été principalement consacré au Document d'orientations et à son Plan de mise en œuvre. La révision du document de cadrage fait l'objet d'un autre processus.

1.3. Méthodologie d'élaboration du document

Le Document d'orientations de la Politique de formation des Personnels d'enseignement et d'encadrement (PNF/PEE) et son Plan de mise en œuvre (PMO) sont le fruit d'un processus participatif mis en place par le MENFP à travers l'INFP et la DFP. Divers acteurs et partenaires du système éducatif et des cadres du MENFP y ont été impliqués et ont fait part de leurs observations, propositions et recommandations. La démarche a ainsi favorisé la prise en compte des diverses tendances qui se sont exprimées et les articuler quand cela a été possible.

Le processus participatif a permis de surmonter les divergences exprimées et de parvenir à un consensus autour des orientations de la PNF/PEE et de son PMO. En adoptant cette démarche, il a été donc possible, en commun, d'aplanir les difficultés, de surmonter les obstacles et de trouver la meilleure solution à partir de plusieurs angles mis en évidence. Il a été créé des accès aux acteurs afin qu'ils apportent leur contribution à la réalisation du travail.

Le recours au processus participatif a été un moyen d'accroître la confiance des acteurs et des partenaires dans la production des documents et d'assurer conséquemment leur légitimité. La PNF/PEE et son PMO ont été élaborés à partir de la démarche suivante qui a constitué *ipso facto* de processus de validation :

- Une analyse documentaire qui a pris en compte tous les documents du secteur en matière de formation des personnels d'enseignement et d'encadrement. Elle a également tenu compte de ceux qui font état des expériences de formation déjà réalisées ainsi que de leurs succès, leurs limites et les leçons apprises. D'autres documents ont servi à alimenter les choix à opérer ont été aussi considérés.
- Des travaux qui ont été déroulés sous formes de rencontres individuelles, collectives et de mini-ateliers, à l'aide de guides et de trames ayant facilité l'expression et la prise en compte des points de vue et des divergences.
- Une analyse critique et synthétique des informations rassemblées qui a été faite sur la base de la cohérence des propositions et des recommandations en fonction de leur pertinence.
- La rédaction de la Politique de formation et de son plan de mise en œuvre qui a été conduite selon les phases précédentes.
- Des présentations à des représentants du Groupe sectoriel d'éducation (Partenaires techniques et financiers), d'Institutions de formation non publiques, des Universités publiques en région, de partenaires sociaux et opérationnels, qui ont permis de communiquer les orientations et de les discuter.
- L'atelier de finalisation des documents qui a été organisé avec des cadres du MENFP ayant assuré son acceptation et sa légitimité par le biais d'un consensus interne.

1.4. Modalités et procédures d'actualisation de la PNF/PEE

La PNF/PEE n'est certainement pas parfaite. De ce fait, elle doit être mise à jour lorsque cela s'avère opportun (i) pour tenir compte des nouvelles tendances et des changements enregistrés dans le système éducatif en général et dans le domaine de la formation en particulier; (ii) au fur et à mesure de l'évolution des besoins sociaux-économiques et des changements intervenant dans les secteurs d'activités professionnelles, techniques et technologiques.

Au regard des imperfections que peut comporter la PNF/PEE et son PMO, son application fera l'objet d'un suivi minutieux. La révision permettra de procéder à des modifications de fond affectant des éléments essentiels des documents. Elle pourra se faire à partir de (i) la publication et de l'application de nouveaux textes de lois ; (ii) des changements dans l'orientation du système éducatif ; (iii) sur les base des résultats d'évaluations à mi-parcours et finale.

Le Ministre est avant tout le principal initiateur de toute révision ou modification de la PNF/PEE qui peut lui être aussi proposée. La responsabilité de la tenue et de la mise à jour incombe néanmoins à la Direction Générale du MENFP et/ou à celle de l'INFP, chacune en ce qui la concerne. De même, l'application de la décision de modification ou de révision prise sur l'initiative de l'une de ces deux entités ou des deux à la fois.

1.5. Annonce et présentation des différentes parties du document

Le Document d'orientations, assorti d'un Plan de mise en œuvre, porte principalement sur les orientations de la Politique de formation des personnels d'enseignement et d'encadrement. Dans un premier temps, il met en relief, un panorama de la formation de ceux-ci, dans une perspective historique et actuelle. La première partie, s'organise à partir des points suivants (II à IV) :

- Le point II évoque l'évolution historique du système de formation des personnels d'enseignement et d'encadrement, en mettant en évidence les changements marquants qui y ont été opérés au niveau des différents paliers d'enseignements ainsi que les nouvelles initiatives prises dans le secteur en matière de formation.
- Au point III, est décrite la situation actuelle du système de formation, avec un accent mis sur certaines de ces caractéristiques particulières portant sur des éléments précis : dispositif de formation, profil des enseignants, profil des formateurs, encadrement des enseignants, qualité de l'enseignement et efficacité interne et externe, dispositif de formation continue, formation technique et professionnelle, éducation non formelle, gouvernance de la formation.
- Les principaux enjeux et défis sont exposés de la formation des personnels d'enseignement et d'encadrement sont exposés au point IV, sans oublier les opportunités et limites que présente la situation actuelle.

La deuxième partie du document établit les choix qui sont opérés en termes d'orientations de la formation (points V à VII) :

Le point V fait état de la vision de la PNF/PEE qui s'articule avec les engagements pris à Incheon (2015), les politiques éducatives nationales et le Plan de développement d'Haïti (2030). Y sont aussi présentés la finalité, le but et les objectifs, de même que les principes directeurs et l'approche de formation.

- Les valeurs, l'éthique professionnelle et la déontologie à promouvoir dans l'exercice des métiers de l'enseignement et de l'encadrement sont fixées au point VI.
- La formation est décrite au point VII comme un processus de professionnalisation des personnels concernés et s'articule suivant un continuum à trois temps : formation initiale, insertion professionnelle et formation continue/perfectionnement. Elle est basée sur la méthodologie référentielle qui renvoie à un cadre comportant les référentiels de métiers, de compétences, de formation et d'évaluation.

La suite du document est consacrée à des aspects particuliers de la PNF/PEE qui portent successivement sur :

- Les orientations de la PNF/PEE en matière de gouvernance qui présentent les grandes de la nouvelle perspective de la conduite des orientations (Point VIII).
- Le point IX qui met en évidence l'importance d'une démarche de recherche-action, de capitalisation et de vulgarisation des résultats de la PNF/PEE nécessaire à l'appropriation et à l'utilisation des données traitées et analysées de la formation.
- Le point X qui dessine brièvement la toile de fond du design de suivi et d'évaluation de l'application des orientations.

II. ÉVOLUTION DU SYSTÈME DE FORMATION : SITUATION DE LA FORMATION DES PERSONNELS D'ENSEIGNEMENT ET D'ENCADREMENT, DE LA RÉFORME BERNARD À NOS JOURS

Depuis la réforme Bernard de 1979, plusieurs chantiers ont été lancés afin de moderniser le système éducatif. En effet, le système de la formation initiale des enseignants du fondamental a connu des changements marquants. Ceux-ci ont été manifestés par la réforme des curricula, la révision du dispositif de la formation initiale, l'intensification de la formation des enseignants par la mise en place d'Universités de formation à l'intention des formateurs, l'implantation du Centre de Formation pour l'École Fondamentale (CFEF), de la Formation Initiale Accélérée (FIA) et des facultés des sciences de l'éducation. Il s'agit là, d'un nouveau système de gestion de la formation des enseignants se focalisant sur la revalorisation de la fonction enseignante.

Par ailleurs, il est important de rappeler que bien avant la réforme Bernard, les écoles normales d'Instituteurs ont été constituées pendant longtemps, le principal dispositif de formation des enseignants de l'école primaire devenu aujourd'hui celui de l'école

fondamentale. L'Institut Pédagogique National mis en place au cours des années 70, était aussi appelé à renforcer la capacité des ENI en appuyant techniquement les formateurs et en organisant le suivi pédagogique. C'est ainsi que, à l'époque, le programme d'études des ENI a été revu et arrimé avec ceux de l'École Fondamentale.

Dans le sillage de cette réforme, au début des années 90, le MENFP a pris l'initiative d'élaborer le Plan national d'éducation et de formation (PNEF), duquel a découlé le Plan national de formation (PNF) qui représente, depuis les années 2000, sa principale boussole en matière de préparation des personnels de l'éducation, notamment des enseignants.

2.1. Description des personnels d'enseignement et d'encadrement

2.1.1. Au niveau du préscolaire

Depuis une vingtaine d'années, le Ministère s'est engagé à travailler à l'amélioration de l'accès et de la qualité de l'éducation dans le domaine de la Petite Enfance. En décembre 2012, l'État haïtien a défini et validé un cadre de politique nationale pour le Développement Intégral de la Petite Enfance (DIPE). Depuis 2013, le BUGEPE dispose d'un document de stratégie de recrutement et de formation de ressources humaines pour la Petite Enfance. En outre, le MENFP a élaboré, en 2014, un nouveau curriculum de l'enseignement préscolaire qui doit prochainement être expérimenté dans certaines communes.

A date, le BUGEPE ne dispose pas de document structurant le niveau préscolaire. Cependant, le bureau réfléchit sur la conception d'un document cadre permettant de gérer la Petite Enfance comme l'a prévu le Plan Opérationnel 2010-2015.

De l'Inspection

A date, le Ministère ne dispose d'aucun document officiel statuant sur l'inspection pour le préscolaire.

De la direction des institutions du préscolaire⁶

Les directeurs et directrices dans les institutions préscolaires non-publiques sont souvent des éducateurs ou des administrateurs. Leur rôle consiste à assurer la gestion administrative et pédagogique de l'établissement.

De l'enseignement préscolaire

L'appellation diffère d'un niveau à un autre. Aussi, les jardinières d'enfants ou instituteur-trice-s sont des diplômé-e-s des ENI qui possèdent les compétences et les connaissances relatives à l'éducation du jeune enfant. Ces éducateurs formés ont un niveau académique correspondant aux classes terminales. Ils doivent être détenteurs du Bac II. Les détenteurs de licence universitaire en sciences de l'éducation s'orientent vers les structures institutionnelles qui développent les programmes. Ils peuvent travailler à titre de formateurs de formateurs et sont recrutés comme conseillers pédagogiques.

⁶ Document de stratégie et de recrutement de ressources humaines

Des aides-jardinières

Les aides-jardinières sont formées dans des centres de formation du secteur non public. Cette formation n'est pas réglementée par l'État. Dans certains cas, ces aide-jardinières accèdent au même niveau que les jardinières d'enfants au bout de longues années d'expérience à améliorer leurs compétences. Le niveau académique pour l'admission à cette formation varie du certificat d'études primaires à la classe de 9^{ème} année fondamentale.

De l'enseignement artistique

Les professeurs d'art issus généralement du monde des artistes, transmettent les rudiments de leurs arts aux enfants de certains centres préscolaires. Ces professeurs ont rarement une formation pédagogique et découvre le monde du préscolaire en y travaillant.

De l'accompagnement psychologique

Les psychologues prêtent leurs services dans les établissements préscolaires ou garderies pour le dépistage des troubles du développement, l'accompagnement des éducatrices, des enfants et des parents.

2.1.2. Au niveau fondamental

De l'inspection

L'Inspecteur, selon le PNF (2002), doit accomplir les tâches suivantes : (i) supervision et évaluation ; (ii) formation des personnels ; (iii) expertise administratif et pédagogique au service du pilotage de la politique éducative dans son secteur d'intervention ; (iv) organisation de l'institution et animation de réseaux de relations.

Du conseil pédagogique

Le conseiller pédagogique a essentiellement trois rôles fondamentaux : (i) un rôle de Conseil ; (ii) un rôle d'Encadrement ; (iii) un rôle de Formation.

Ses compétences doivent se situer dans les domaines suivants : les savoirs, les savoir-faire, les savoir-être, savoir-agir, savoir-devenir, etc.

De la direction d'école

Le directeur d'école assure sa mission de service éducatif et le rayonnement de l'école dans le respect des valeurs définies par les lois de la République. Il est à l'écoute des différents acteurs et partenaires de la communauté éducative et facilite les contacts entre eux. Il est l'agent de référence du développement au niveau local. Il organise le bon fonctionnement de son établissement et assure la continuité du service. Il joue donc, les rôles administratif, pédagogique, relationnel et social.

De l'enseignement

L'enseignant a pour rôle d'organiser l'enseignement et de faciliter les apprentissages. D'une manière générale, l'enseignant venant des ENI ou CFEF est un maître polyvalent, capable d'enseigner l'ensemble des disciplines dispensées aux deux premiers cycles et, éventuellement à l'école fondamentale complète.

2.1.3. Au niveau du secondaire

En matière d'enseignement et d'accompagnement, le Ministère travaille sur un dispositif spécifique relatif au management des institutions scolaires. Le conseiller d'orientation prévu dans le Plan Opérationnel 2010-2015 et le Document de Politique du Nouveau Secondaire est chargé de canaliser les enfants vers les séries des différentes filières.

2.1.4. Au niveau de la formation professionnelle

Du l'Inspection

L'Inspecteur est chargé de la gestion pédagogique et administrative des dossiers des Établissements de Formation Professionnelle (EFP) au niveau régional. Il a, entre autres, pour tâches de veiller à l'application des politiques de formation professionnelle établies par l'INFP dans sa région, effectuer des visites périodiques dans les centres de formation professionnelle de sa région.

De la Direction du Centre de formation professionnelle

Le Directoire du Centre de formation professionnelle se compose du Directeur du Centre, du Chef des travaux et du Coordonnateur des études.

Le Directeur du Centre a pour fonction la gestion des ressources humaines, matérielles et financières du Centre. Il planifie et coordonne les activités du Centre, gère les relations publiques et maintient des liaisons étroites avec le marché du travail.

Le Chef des travaux assure la gestion des ressources humaines et matérielles dans les ateliers.

Le Coordonnateur des études établit l'emploi du temps des cours théoriques et pratiques, veille à l'application des programmes de formation technique et générale, supervise et évalue le travail du Personnel formateur.

2.2. La formation initiale en institution : Qualification des personnels d'enseignement et d'encadrement

2.2.1. Des personnels d'enseignement

Précolaire

La formation initiale est donnée dans les institutions dénommées : « Ecoles Nationales d'Instituteurs (ENI) et dans les facultés en Sciences de l'Éducation (FSE) ». La plupart des ENI sont non publiques et forment majoritairement pour l'option préscolaire et/ou fondamentale. Il existe une cinquantaine d'institutions s'occupant de la formation des enseignants destinés à intervenir au niveau du préscolaire à travers le pays⁷. Une vingtaine forme exclusivement à l'enseignement préscolaire. Toutefois, leur faible capacité d'accueil ainsi que le manque d'attrait de cette carrière professionnelle ne permettent pas de constituer un stock d'enseignants suffisant pour prendre en charge les enfants en âge préscolaire. Hormis les Ecoles Normales d'Instituteurs (ENI), d'autres institutions de formation, notamment non publiques, ont vu le jour pour répondre à la demande de formation qui s'est accrue avec la prolifération des écoles à travers tout le pays.

Formation dans les ENI, CFEF, FSE

Les programmes de formation n'étant pas à jour, les ENI offrent un enseignement de faible qualité. Toutefois, celles qui sont publiques y intègrent une pratique professionnelle avec des plans d'études systématiques, des stages d'observation et en responsabilité tandis que la plupart des Écoles normales non publiques appliquent un programme de formation mitigé.

Les exigences donnant accès aux divers programmes offerts évoluent depuis plus de dix ans. Si dans le temps, un postulant pouvait accéder aux différents programmes une fois terminé son brevet, la plupart des institutions de formation exigent de nos jours le diplôme de Baccalauréat (deuxième partie) ou Baccalauréat unique.

Dans les ENI, 50 à 60 cours environ sont donnés sur une période de 3 ans, ce qui conduit à l'obtention d'un diplôme d'État, si l'étudiant réussit dans les examens officiels. Depuis 2014, le CFEF passe de 3 à 4 ans et exige, au terme des études, la rédaction d'un mémoire de sortie

Contrairement aux ENI, le programme de formation offert par le Centre Formation des Enseignants du Fondamental (CFEF) est fondé sur l'approche par compétences. Des stages d'observation et en responsabilité en constituent des composantes.

L'expérience de la Formation Initiale accélérée (FIA)

Selon le Décret du 5 juin 1989, le MENFP a revisité le curriculum des écoles normales d'instituteurs. En 2003, la Direction de la Formation et du Perfectionnement commandita une étude en vue de la refonte des dispositifs de formation initiale des enseignants. En 2006, on a abouti à une proposition de formation initiale accélérée en vue d'atteindre les objectifs de

⁷ Stratégie de recrutement et de Formation de Ressources Humaines pour la petite enfance. 2013.

l'éducation pour tous au regard du cadre d'action de Dakar (2000-2015). Cette proposition, validée à l'occasion du forum national sur l'Éducation Pour Tous qui s'est tenu en 2007 au « Caribe Convention Center », a eu pour suivi immédiat l'élaboration par le Consortium International de Développement de l'Éducation (CIDE) d'un programme de formation initiale destiné à être utilisé dans les centres devant accueillir la FIA.

Tenant compte de la mise en œuvre de la FIA, le nombre d'enseignants nouvellement certifiés devait passer de 500 à 2.500 par an. Pendant les deux années de formation pratique, les étudiants-maîtres travaillaient à plein temps comme titulaire de classe. L'accent mis sur le stage pédagogique aidait les nouveaux formés à passer du statut d'étudiants-maîtres à celui d'enseignant. Au terme de ce stage, ils devaient subir une évaluation relative à leur fonction enseignante. Ainsi, la réussite aux examens officiels leur donnerait droit au diplôme d'enseignant. Toutefois, les finissants de la FIA, jusqu'à la fermeture du programme en 2015, ont intégré le système comme capistes⁸ puisque l'évaluation finale qui devait boucler ledit programme n'a jusqu'à date pas été organisée.

Secondaire

Au niveau de l'enseignement secondaire (traditionnel), la situation paraît bien différente. Selon les données disponibles, environ 80% des enseignants sont qualifiés au plan disciplinaire. Bon nombre d'entre eux viennent des FSE et d'autres institutions dont l'École Normale Supérieure.

Pour ce qui concerne le nouveau secondaire, des formations ont été organisées à l'intention des enseignants de ce sous-secteur en rapport avec leurs champs disciplinaires. Les résultats des examens officiels ainsi que les rapports d'experts démontrent que l'intégration des filières et l'introduction de nouvelles matières scolaires comme : l'économie, l'informatique et les arts en lien avec le vécu quotidien des élèves, l'augmentation du niveau cognitif et la facilitation de leur progrès scolaire en constituent un atout

L'on comprend donc que le nouveau secondaire, porteur de grands changements dans notre système éducatif devrait s'immiscer dans un projet de formation pour outiller les professeurs par rapport à l'APC.

Formation à l'ENS

Fondée en 1947, l'École Normale Supérieure est la seule entité de l'UEH qui vise la formation des enseignants du Secondaire. Ses programmes de formation se donnent sur 3 ans et concernent notamment : les sciences naturelles, les langues vivantes, les lettres classiques, les mathématiques, la physique, la philosophie et les sciences sociales. A la fin des années 90, les responsables de l'ENS ont mis sur pied en partenariat avec l'UAG, une quatrième année conduisant à un Certificat d'Aptitude en Enseignement du Français (CAEF) pour les étudiants en lettres, philosophie et sciences sociales ou Certificat d'Aptitude en Enseignement des

⁸ Capistes: enseignant(e) n'ayant pas réussi les examens officiels des ENI

Mathématiques (CAEM). Il faut cependant faire remarquer que ce programme complémentaire s'est interrompu depuis juillet 2007.

Formation dans les Facultés des sciences de l'éducation

Les FSE relèvent principalement d'initiatives non publiques, généralement incluses dans un cadre universitaire, et pratiquent surtout un système de crédits assurant également la formation d'enseignants. Les programmes qu'elles proposent aux étudiants, axés en plus grande proportion sur la pédagogie et les didactiques avec très peu de cours sur les disciplines, ne s'arriment pas toujours avec les orientations du MENFP et les besoins d'enseignement. Quant aux UPR, elles sont rattachées au MENFP et dotées de FSE qui constitue un maillon conséquent dans la chaîne de la formation supérieure depuis plus de dix ans.

Formation dans les Institutions d'enseignements supérieurs non publiques et publiques.

Certains enseignants intervenant au secondaire viennent d'autres institutions d'enseignement supérieur du pays notamment de la Faculté de Linguistique Appliquée (FLA), de la Faculté des Sciences (FDS), de la Faculté d'Agronomie et de Médecine Vétérinaire (FAMV), de l'Université Quisqueya (Uniq), de l'Université Notre Dame d'Haïti (UNDH) etc. Ces enseignants ne sont pas négligeables en nombre mais n'ont pas reçu de formation didactique appropriée leur permettant d'accompagner les élèves.

Formation technique et professionnelle

Il n'existe pour l'instant aucune institution spécialisée dans la formation de formateurs devant enseigner dans les écoles techniques et professionnelles. D'une manière générale, ces derniers n'ont qu'un diplôme de formation technique ou ont développé certaines compétences à partir d'expériences dans leur domaine d'intervention.

2.2.2. Des personnels d'encadrement

2.2.2.1. Profils des encadreurs

Dans la FIA et la grande majorité des ENI, les encadreurs sont d'anciens formateurs ayant une formation spécialisée dans le domaine de compétences en question ou un certain nombre d'années d'expérience. Pour ce qui concerne le Secondaire et la formation professionnelle, la qualification des personnels d'encadrement varie grandement d'une institution à une autre et la plupart n'ont pas suivi de formation relative à l'administration scolaire, voire à la gestion des centres professionnels.

2.2.3. Durée de la formation et conditions de certification des enseignants et des personnels d'encadrement

En général la durée de formation dans les écoles normales d'instituteurs est de 3 années alors que dans les facultés des sciences de l'éducation, la durée d'études est de 4 ans.

Au terme des études dans les écoles normales, l'étudiant passe un examen officiel, ce qui lui donne droit au diplôme d'Etat. Néanmoins, un Certificat d'Aptitude Pédagogique (CAP) est délivré aux étudiants finissants ayant obtenu une moyenne qui varie entre 5 et 5,99 sur 10.

Quant aux certifiés des Facultés des Sciences de l'Éducation, ils reçoivent au terme d'un cycle d'études de 4 ans, une attestation de fin d'études assortie d'un relevé de notes des différents cours suivis sous réserve de la présentation et la soutenance d'un mémoire de sortie pour obtenir leur diplôme de licence (Voir annexe 2).

Deux phénomènes particuliers entourent la certification et la diplômation dans ces facultés des sciences de l'éducation. Les FSE fonctionnent selon un système de crédits alors que d'autres suivent un programme linéaire. La situation devient lacunaire quand un étudiant doit changer d'institution au besoin ou du moins quand une institution de recrutement doit décider sur les dossiers d'un candidat.

2.3. La formation continue

2.3.1. Au niveau de l'éducation préscolaire

La formation continue au niveau du préscolaire est plus présente dans le secteur non public. Le Ministère vient de valider le document de Politique Nationale de la Petite Enfance et d'élaborer le curriculum du Préscolaire. Le BUGEPE s'attèle à un travail important de structuration qui, à terme, systématisera les interventions dans le domaine. A terme, ce curriculum sera distribué au niveau national et un paquet de formation est programmé.

2.3.2. Au niveau de l'enseignement fondamental

A la suite du Décret du 5 juin 1989 créant la Direction de la Formation et du Perfectionnement (DFP), le programme de formation a été repris, mais s'est arrêté en raison d'un manque de financement. A partir des années 90, on a constaté une diversification de l'offre de formation continue. Le Ministère, certaines ONG et organisations religieuses organisent périodiquement des actions de formation de courte durée. Faute de coordination, de suivi et d'évaluation, ces programmes se sont caractérisés par leur redondance et n'ont pas pu aboutir aux résultats escomptés (certains enseignants recevant plusieurs fois les mêmes modules de formation).

Retenons, pour cette période, l'expérience de la FONHEP, avec l'implantation d'un programme de formation de niveau intermédiaire, sanctionné par un certificat d'aptitude en enseignement de base (CAEB). Il s'agissait, au constat du faible niveau académique des enseignants, de leur permettre d'acquérir les compétences les habilitant à travailler au 1er cycle de l'École Fondamentale. Cette stratégie était toutefois en rupture avec les prescrits du système éducatif haïtien : l'enseignant devant être capable d'intervenir aux deux premiers cycles de l'école fondamentale.

Transformation de l'enseignement en Haïti (TEH)

A la suite du séisme survenu le 12 janvier 2010, une mission française du Centre National des Etudes Spatiales (CNES) et de l'Académie des Sciences, venue explorer les possibilités d'appui au système éducatif haïtien, a été orientée par les autorités du Ministère vers des actions de formation à travers les EFACAP. En utilisant les technologies de communication, un jumelage entre des équipes pédagogiques françaises et haïtiennes a été opéré pour la coproduction de matériels éducatifs en sciences expérimentales, en mathématiques, en français, en TICE et sur des activités d'inclusion. S'en est suivi un projet de formation à forte composante télé enseignement dans onze (11) EFACAP appelé : Transformation de l'Enseignement en Haïti (TEH). Le concept était articulé autour d'une activité de formation hebdomadaire que les enseignants devaient appliquer dans leurs classes respectives, au cours de la semaine suivante. Des problèmes de financement ont engendré la fermeture de ce programme, relativement peu coûteux dans sa mise en œuvre, en dépit des résultats intéressants relevés par les évaluateurs.

Initiative Francophone de Formation à Distance des Maîtres (IFADEM)

Avec l'Organisation Internationale de la Francophonie (OIF), dans les départements du Sud-est et du Sud, le Ministère a expérimenté un programme de formation de français pour 500 enseignants. Grâce à un système de tutorat et à l'utilisation de l'internet, les enseignants ont été formés à la didactique de la langue à côté d'un renforcement de leurs capacités langagières. Le programme est aujourd'hui étendu dans les départements de l'Artibonite, du Centre, des Nippes et de la Grande Anse et concerne 1600 enseignants environ.

2.3.3. Au niveau du Secondaire

Vers le début des années 80, l'Institut Pédagogique National, pour accompagner le système éducatif haïtien dans la mise en œuvre de nouveaux programmes de mathématiques appelés alors « mathématiques modernes », a réalisé des séminaires de formation à l'intention des professeurs du secondaire. Dans le même temps, un intérêt particulier se portait sur le français.

Une deuxième initiative qui mérite d'être prise en compte est celle visant, autour des années 1994-1995, la formation d'enseignants du secondaire dans la perspective de mettre en œuvre le Nouveau Secondaire. En mathématiques, en français et en physique, une cohorte de 1000 enseignants par champs disciplinaire a reçu une formation sur les programmes détaillés de la 1^{ère} année du tronc commun du Secondaire.

Enfin, en septembre 2007, quand il fallait lancer la phase expérimentale du Nouveau Secondaire avec 200 écoles, le Ministère a conduit des activités de formation pour le programme, y compris les nouvelles disciplines (Economie, Education Physique et Sportive, Education Artistique et Esthétique, Informatique, etc.). Un nombre important d'écoles (42) ont désisté arguant que ce programme requiert de grands débours. Ce qui a ramené les écoles de l'expérience pilote au nombre de 158. Force est de constater que les actions relatives à la formation au niveau du secondaire quoique peu nombreuses s'organisent pour combler des lacunes ponctuelles en didactique.

2.3.4 Au niveau de la formation professionnelle⁹

Les actions visant la formation des formateurs au niveau technique et professionnel ne sont pas nombreuses. En Juin 2013, l'INFP en partenariat avec l'Université Quisqueya a présenté à la communauté éducative, lors d'un atelier colloque sur la formation des cadres dudit secteur un projet de formation des maîtres au bénéfice des acteurs de ce pallier. Financé par la Banque Interaméricaine de Développement (BID) à hauteur de 275 mille dollars américains sur une période de 4 ans. Ce projet avait pour objectif de former un vivier de formateurs devant apporter une réponse à la demande de formation à l'échelle du pays. De concert avec le Centre International de Développement en Education (CIDE), plusieurs documents ont été produits. Une cohorte de vingt-cinq étudiants-formateurs a suivi le programme professionnel prévu. Cependant, les diplômés quoiqu'ayant reçu la formation, n'ont pas pu être placés dans les centres comme proposé dans le projet.

III. SITUATION ACTUELLE DU SYSTÈME DE FORMATION : QUELQUES CARACTÉRISTIQUES

Selon le Plan Opérationnel 2010-2015, le système de formation se caractérise par l'absence d'un système de suivi et d'évaluation des programmes, son caractère non systémique, la difficulté à capitaliser sur les acquis antérieurs tels la mise en place de la Commission Nationale de Formation Professionnelle et la révision des programmes professionnels. Des travaux de cette commission, est sorti le Plan National de Formation (PNF). Par la suite, plusieurs documents sont venus préciser les orientations inscrites dans ce plan. Citons le Programme Cadre pour la Formation des agents de l'enseignement fondamental, le Plan de Formation des Conseillers Pédagogiques, le Plan de Formation des Directeurs des EFACAP, le Plan de formation des Inspecteurs et les procédures d'habilitation des opérateurs de formation et d'homologation des modules de formation.

Il n'y a eu jusqu'à date aucune évaluation de la mise en œuvre du PNF. Il faut faire aussi remarquer que la plupart des opérateurs intervenant dans le secteur fonctionnent sans accréditation. Il n'existe pas non plus un système de suivi des actions de formation conduites par ces différents opérateurs. Ce qui fait que, malgré la disponibilité de tous ces outils et dispositifs, le système de formation reste et demeure lacunaire.

Au niveau des EFACAP, sur la base du PNF, les conseillers pédagogiques, les enseignants de l'EFA et des écoles associées ont reçu jusqu'à quatre cents (400) heures de formation. Là encore, pas de suivi, au point qu'il est impossible de retrouver pour un enseignant ou un CP ayant bénéficié de ces séances de formation, des traces écrites qui leur permettraient de valider ces parcours et d'envisager leur capitalisation. De nos jours, il n'y a pas d'intervention systématique en formation au niveau de ces structures (EFACAP).

Au terme de ce voyage à travers la formation continue au niveau du système éducatif haïtien, il apparaît clairement que :

⁹ Sylvestre Fils Dorcilus, HPN, 19 Juin 2013

- Les interventions se concentrent au niveau des deux (2) premiers cycles de l'école fondamentale ;
- Il n'y a pas de suivi dans la mise en œuvre des politiques publiques relatives à la formation des agents du système éducatif ;
- En général, les programmes et projets de formation ne sont pas évalués (Le MENFP ne dispose que de l'évaluation de la phase initiale d'IFADEM et de celle de TEH) ;
- Les ruptures au niveau du financement freinent considérablement les efforts de pérennisation des acquis en matière de formation ;
- Les dispositifs organisationnels devant assurer le management du système de formation continue sont soit inexistant, soit dysfonctionnels ;
- Il n'existe pas de d'information permettant de gérer les flux de données générées au niveau des activités de formation. Toutefois, un effort de systématisation des données est en cours à la DFP ;
- Les standards et les référentiels utilisés au niveau des centres de formation existent mais ne sont pas respectés. Chaque institution fonctionne suivant ses règles propres ;
- Les actions de recyclage se sont multipliées, dans la plupart des cas sans le contrôle de la direction de la formation, instance de régulation en la matière pour le MENFP ;
- Le dispositif national de formation paraît inadéquat par rapport aux besoins du secteur ;
- Le personnel d'encadrement, dont la formation est souvent en inadéquation avec les exigences des fonctions exercées, n'arrive pas à s'acquitter efficacement de ses tâches ;

En somme, en raison des limites évoquées, à la fois dans sa conception et dans sa mise en œuvre, le PNF n'a pas apporté toutes les réponses souhaitées aux besoins du secteur en matière de formation.

3.1. Au niveau des dispositifs de formation initiale

La diversité des dispositifs de formation donne lieu à des profils de sortie hétérogènes. Plusieurs raisons expliquent ce fait : (i) la variabilité de la durée, (ii) la différence de contenus des programmes de formation, (iii) les modalités de certification et de diplomation établies sur des bases qui ne correspondent pas toujours aux orientations de l'État et, en particulier, de l'Instance de régulation, (iv) des actions de formation entreprises par une multitude d'opérateurs publics et non publics agissant, la plupart du temps, selon leurs propres visions et en dehors du cadre de référence préconisé par le MENFP.

3.2. En ce qui concerne les profils des enseignants

Les carences et la diversification des dispositifs de formation initiale sont essentiellement à la base du faible niveau de compétences et la variation des profils des enseignants du fondamental. Il en ressort des pratiques pédagogiques disparates et obsolètes.

La situation est encore pire avec la généralisation du nouveau secondaire. En effet, les enseignants n'ont pas reçu de formation leur permettant d'assurer le processus d'enseignement-apprentissage tel que prévu par la politique éducative. Les programmes d'études, qui sont définis suivant l'approche par compétences et l'organisation scolaire en cycles d'apprentissage, requièrent une formation appropriée et adaptée aux exigences du nouveau secondaire.

Au niveau de la formation Professionnelle, le document de diagnostic de 2013 mentionne que la sous-qualification des formateurs au point de vue technique et le déficit d'une formation pédagogique caractérise ce sous-secteur. Au regard de l'inexistence d'un dispositif de formation initiale pour les formateurs, la majorité d'entre eux ont procédé par tâtonnement pour exercer leur profession.

3.3. Au niveau de l'encadrement des enseignants

L'encadrement des enseignants, conduit par différents personnels (Directeurs d'écoles, Conseillers pédagogiques, Inspecteurs etc...), en particulier au niveau des deux premiers cycles de l'école fondamentale, paraît le plus effectif. Cependant, non seulement les problèmes structurels en matière de supervision l'affectent profondément, mais aussi les personnels en charge n'ont pas toujours les compétences requises pour assurer correctement la fonction d'encadrement.

L'inapplication des dispositions et la faiblesse de gestion ont amené bon nombre d'organisations à appliquer leurs propres stratégies d'encadrement des enseignants. À l'intervention non référencée des organisations non publiques, les enseignants, même ceux qui sont pris en charge par l'État, reçoivent des outils d'accompagnement différents.

La diversité de profils des personnels d'encadrement est à l'origine de la faible qualité des services offerts aux enseignants en matière d'accompagnement pédagogique. Il faut préciser surtout que les lieux de formation des personnels d'encadrement ne sont pas encore convenablement outillés pour fournir les résultats escomptés.

3.4. Par rapport à la qualité de l'enseignement et de l'efficacité interne

Il ne fait aucun doute que l'acte posé par les enseignants en classe constitue l'un des plus importants déterminants scolaires de l'apprentissage et de la réussite des élèves. À ce propos, bien que toutes les pratiques pédagogiques ne soient pas nécessairement similaires, dans l'ensemble il s'agit d'un enseignement magistral, dominé par l'enseignant, reléguant les élèves à un rôle passif, réduisant leurs activités en classe à la mémorisation de données, à la récitation, et se limitant surtout à faciliter l'acquisition de connaissances. Malgré le caractère innovant de certaines formations reçues par les enseignants, s'appuyant sur la pédagogie par objectifs, l'enseignement traditionnel reste prédominant. Autrement dit, les nouvelles perspectives pédagogiques qui sont préconisées ne cassent pas véritablement la routine ou le cercle vicieux dans lequel s'ancrent les pratiques d'enseignement.

En effet, les performances scolaires sont, d'une manière générale, faibles. En ce qui concerne les examens officiels de 2017, les taux de réussite sont relativement satisfaisants pour la 9^{ème} année fondamentale (70%) et très faibles pour la philo (30%). Cette situation est d'ailleurs récurrente. Il convient de même de faire mention du manque de formation disciplinaire et pédagogique des enseignants à tous les niveaux du système, de l'absentéisme des enseignants du secteur public, du non-respect du volume horaire, comme motifs principaux de ces résultats.

La majorité des éducatrices du préscolaire et des instituteurs/trices des deux premiers cycles du fondamental sont peu qualifiés. Ils n'ont pas reçu une formation initiale adéquate correspondant au pallier d'enseignement où ils évoluent et leur niveau académique ne dépassent pas, dans la plupart des cas, le 3^{ème} cycle fondamental. D'après le dernier recensement scolaire (2015-2016), seulement 25% pour le préscolaire et 40% pour le fondamental sont qualifiés.

Pour le troisième cycle et le secondaire, le personnel d'enseignement est moyennement qualifié au plan des compétences disciplinaires mais vieillissant. En effet, plus de 86% des 7.000 enseignants ont atteint l'âge de la retraite¹⁰. Aucune disposition n'est encore envisagée et adoptée pour assurer le renouvellement du corps et attirer des jeunes dans la carrière. Il faut se rappeler également que les rendements scolaires constituent un instrument privilégié de mesure d'efficacité des services d'enseignement. Des contenus d'enseignement, des conditions inadéquates d'apprentissage des élèves et d'enseignement, des curricula désuets, effectifs de classe pléthoriques (ratios élève/ maîtres élevés), indisponibilité et inadaptation des manuels scolaires, méthodes d'évaluation désuètes des apprentissages, faibles conditions sanitaires et nutritionnels des élèves en sont, entre autres, des déterminants à considérer.

Il faut aussi souligner que plusieurs facteurs concourent à l'appréciation des conditions de qualité de ces services et que celle-ci est la résultante de facteurs endogènes et exogènes. Cela

¹⁰ Assises sur la qualité de l'éducation, MENFP 2013.

montre qu'il existe une corrélation entre les rendements scolaires et les qualifications des enseignants.

3.5 Au niveau de la formation continue

Les formations continues servent à faire progresser les enseignants et les personnels d'encadrement dans leur carrière professionnelle, les perfectionner en renforçant leurs compétences. Elles font partie de la formation professionnelle tout au long de la vie. Cependant, le soutien nécessaire qu'ils devraient recevoir, pour leur permettre d'assurer un enseignement de qualité tant sur le plan du contenu que sur le plan pédagogique, n'est pas systématisé. Bien qu'il y ait eu de nombreuses actions de formation continue, les enseignants ne développent pas les habiletés requises pour l'ensemble des tâches qu'ils doivent assumer.

Le travail pédagogique d'aujourd'hui demande plus de réactivité, de flexibilité, de disponibilité de la part des enseignants pour exercer au mieux leur métier. Il est donc pertinent qu'ils consolident leur savoir-faire par le perfectionnement.

Réalisée généralement en cours d'emploi, la formation de perfectionnement s'effectue à la demande des enseignants, à celle du MENFP (Plan de formation) ou des organisations qui supportent le système éducatif. Il se trouve que les compétences acquises lors de ce type de formation ne sont pas véritablement transférées sur le terrain.

3.6. En ce qui concerne l'efficacité externe

L'application des programmes d'études dans les classes devrait faciliter l'émergence du profil de sortie des élèves non seulement en termes des compétences et savoirs scolaires développés au terme de chaque ordre d'enseignement. Elle devrait aussi leur permettre de développer la capacité à mobiliser et à utiliser de manière congrue leurs compétences dans la vie courante.

Le document d'évaluation du Plan Opérationnel de 2010-2015 met en évidence les limites des élèves en fin de cycle en termes de capacités natives qui devraient s'extérioriser dans la vie pratique et/ou dans la résolution des problèmes de la vie quotidienne. Les compétences liées à la capacité de communication et d'expression des talents, la créativité et l'adresse manuelle et/ou corporelle ne sont pas démontrées.

Il est indéniable que l'action des enseignants n'aide pas véritablement les élèves dans ce sens car elle ne prend que rarement en compte les circonstances de la vie quotidienne. La réalité ne saurait être différente quand on sait que ces enseignants eux-mêmes n'ont été exposés durant tout leur parcours de formation qu'à un modèle théorique de type behavioriste.

En outre, il est important de souligner que le profil et les compétences des jeunes ne répondent pas toujours aux attentes du marché du travail, les programmes ne correspondant pas aux réalités socioéconomiques. Une telle situation pose non seulement le problème de l'adaptation des programmes d'études relatifs aux ordres d'enseignement du Fondamental et du Secondaire, mais aussi ceux destinés aux enseignants et formateurs. En ce sens, il est impératif de lancer le chantier visant la refonte des programmes au niveau de l'éducation.

3.7. Au niveau de la certification

Il n'existe pas un référentiel officiel permettant d'apprécier les dossiers d'un diplômé venant d'une institution d'enseignement supérieur. En outre, les institutions décident de leur propre gré la façon d'accommoder les étudiants car les passerelles ne sont pas clairement définies. Ainsi, un diplômé de l'ENI, par exemple, se voit accepter en année préparatoire dans la majorité des cas dans une institution d'enseignement supérieur malgré ses trois ans de formation.

Compte tenu des disparités constatées dans les programmes et l'absence d'un cadre réglementaire, il est nécessaire que le MENFP se prononce sur les standards devant sanctionner la fin des études.

3.8. Particularités de la formation professionnelle

Au niveau de la formation professionnelle :

- La formation des ouvriers et employés dispensée par les Centres Ménagers (CM) ou Centres de Formation Professionnelle (CFP) exigent un niveau d'alphabétisation de base. La durée et les niveaux de formation sont variables ;
- Les Etablissements d'Education Professionnelle (EEP) où l'accès est possible à l'issue de la sixième année de l'école fondamentale. La scolarité dure trois ans et est essentiellement pratique ;
- La formation des techniciens s'effectue dans les Etablissements d'Education Technique (EET) où l'accès est possible à l'issue de la neuvième année de l'école fondamentale. La scolarité dure trois ans et la formation est à la fois pratique et théorique.

Les étudiantes reçoivent un training dans les domaines traditionnellement réservés aux femmes, domaines déjà saturés et caractérisés par une faible productivité et de faibles salaires. Une absence d'orientation professionnelle et un manque d'opportunités et d'emplois pour les femmes dans le secteur technique du marché du travail sont flagrants et à déplorer.

Il existe quatre niveaux de certification auxquels l'étudiant accède en fonction de son nombre d'années d'études classiques.

- L'attestation d'aptitude professionnelle (AAP), qui est le niveau de qualification le plus faible, est fournie par les centres ménagers à des jeunes ou adultes sachant lire, écrire et compter. La durée de cette formation varie entre 200 et 600 heures.
- le certificat d'aptitude professionnelle (CAP) est accessible à des personnes ayant atteint le niveau de 6^e année fondamentale. La durée de cette formation est de 900 heures.
- le brevet d'aptitude professionnelle (BAP) est destiné au public ayant accompli 9 années d'études classiques. La durée de cette formation est de 1800 heures.

- le diplôme technique (DT), le niveau de qualification le plus élevé, est destiné au public ayant le niveau du Secondaire II. La durée de cette formation est de 2700 heures.

En somme, le faible niveau de qualification des enseignants de la FTP explique en partie l'inefficacité des centres de formation.

3.9. En ce qui concerne l'éducation non formelle

La formation des enseignants de l'éducation non formelle est quasi inexistante ou s'est faite souvent de façon ponctuelle et au gré des partenaires. Dans ce secteur de formation, la qualification des enseignants n'est pas prise en compte systématiquement, ce qui donne la possibilité à toute personne qui le désire d'enseigner dans les centres qui accueillent ce groupe d'apprenants.

3.10. Au niveau de la gouvernance de la formation

La gouvernance du système de formation dans le secteur de l'éducation est caractérisée par la faible capacité du MENFP à assurer son pilotage et à exercer ses fonctions de contrôle et de régulation, en raison notamment des écarts existant entre le profil réels des enseignants et les référentiels de compétences établis. L'entrée en fonction dans les ordres d'enseignement n'est pas contrôlée de manière rigoureuse. Les recrutements sont généralement effectués sans aucune référence à des critères et des normes. Le plus souvent, le fait de fréquenter une institution de formation peut suffire à un individu pour être embauché en tant qu'enseignant. Dans d'autres cas, certains enseignants recrutés n'ont même pas le niveau de formation classique requise pour accéder à une institution de formation initiale.

Plusieurs institutions de formation initiale évoluent sans mettre en application les orientations du MENFP. Un manque d'articulation est aussi noté entre les différentes instances publiques et non publiques qui assurent la formation des enseignants.

Au niveau du fondamental et du secondaire, les structures centrales et départementales en charge du management local du système ont peu d'impact sur les institutions de formation. En raison de leurs faibles capacités structurelles, elles accomplissent difficilement, d'une part, les tâches de contrôle et de supervision de ces institutions, et d'autre part, celles qui se rapportent à l'encadrement et à l'appui pédagogique.

La faible capacité du Ministère à assurer l'encadrement et la supervision pédagogique en raison de l'insuffisance des personnels d'encadrement, (Inspecteurs et Conseillers pédagogiques, etc.), la sous-qualification académique et professionnelle des Inspecteurs de zone et du faible ratio inspecteurs-écoles explique le peu de progrès enregistré dans ce domaine.

Somme toute, l'absence de cadre de référence, la diversité des acteurs et l'hétérogénéité des interventions ne facilitent pas l'encadrement pédagogique des enseignants.

Les lacunes de gouvernance au niveau de l'INFP est lié à ses faiblesses institutionnelles et à son incapacité remplir sa mission et ses attributions savoir la régulation et le pilotage de ce sous-secteur. Ajouter à cela, l'épineux problème de financement y compris l'absence d'une base de données fiable et valide aux fins de prise de décisions.

IV. ENJEUX ET DEFIS DE LA FORMATION DES ENSEIGNANTS ET DES PERSONNELS D'ENCADREMENT

4.1. Enjeux de la formation

La promotion d'une éducation de qualité au profit des élèves, le problème du rôle des enseignants, de leur recrutement, de l'adéquation de leur profil et de leur fonction, de leur formation, de leur reconnaissance sociale et de leur statut représentent un défi non encore jugulé. Pour que la qualité du processus enseignement-apprentissage s'améliore, il est indispensable d'avoir des enseignants compétents en nombre suffisant.

Un système éducatif qui a pour objectif d'offrir un enseignement de qualité doit pouvoir compter sur des enseignants bien formés, convenablement rémunérés et capables de s'adapter au processus d'évolution des connaissances et de leur structure.

Du reste, ce système doit pouvoir compter sur des professionnels qui soient en mesure d'appréhender les situations problématiques, de comprendre les contraintes du moment et les défis mais surtout de saisir les multiples enjeux de la formation. Dans cette optique, il faut :

Enjeu 1 : Adapter la formation à l'évolution de la fonction enseignante

Quelle que soit l'époque ou le palier d'enseignement considéré, outre certains aspects permanents qui caractérisent la profession enseignante, d'autres ne cessent de changer avec le temps : les savoirs, leur mode d'accès, l'influence des TIC, les attentes de la société, l'environnement social, la culture des apprenants et des enseignants, la vie sociale etc. L'enseignant est de plus en plus amené à devenir un « médiateur ou un encadreur dans le processus de construction de connaissances, en s'écartant du rôle traditionnel fondé sur la transmission du savoir. Dans ce nouveau rôle, il est aussi appelé à favoriser le développement de compétences sociales chez les élèves et à instaurer dans sa classe un climat d'enseignement/apprentissage susceptible de les aider à apprendre à vivre ensemble et à devenir des citoyens responsables.

Par exemple, l'adaptation des curricula du secondaire prônant l'Approche par les compétences (APC) en lieu et place de la pédagogie par objectif (PPO) en est une illustration. La finalité d'une telle option consistait à rendre les enseignements plus proches des besoins et de la réalité de leur milieu

C'est aussi dans ce sens qu'il convient de comprendre la nécessité d'adapter la formation au nouveau contexte par l'intégration de certains thèmes émergents dans les programmes de formation, notamment des questions relatives, au genre, à la citoyenneté, à l'intégration et à

l'utilisation des TIC et des ressources numériques, à la violence, l'approche par compétences, la maîtrise et l'utilisation des TIC, la gestion de l'environnement, etc.

D'un autre côté, il importe de souligner que l'entrée des enseignants non qualifiés dans le système scolaire pendant des décennies a négativement influé sur la performance du système éducatif. Il en résulte une baisse de confiance de la communauté nationale dans la qualité du système éducatif. Ce qui entraîne une désaffection de la profession enseignante. Il faut donc impérativement envisager une stratégie de résorption du déficit de formation initiale de toutes les cohortes d'enseignants qui ne sont pas encore proches de la retraite, vacataires ou à temps plein. Les programmes de formations continues diplômantes, représentent une bonne alternative.

Enjeu 2 : Améliorer la qualité des apprentissages, l'efficacité interne et externe par la formation

La formation doit viser en bout de ligne l'amélioration de l'efficacité tant interne qu'externe du système éducatif. Ce ne sont pas les écoles disposant des ressources les plus adéquates qui donnent obligatoirement les résultats satisfaisants. L'utilisation rationnelle des ressources humaines et matérielles est indispensable. Il faut donc que la formation des personnels enseignants et d'encadrement prenne en compte cette dimension.

Enjeu 3 : Promouvoir l'éthique et la déontologie au cœur de la formation

L'éthique et la déontologie dans la formation des enseignants apparaissent aujourd'hui comme une nécessité au regard du déclin que connaît le système éducatif haïtien depuis l'apparition des troubles sociaux, politiques et économiques.

En dehors des contenus d'enseignement, le comportement de l'éducateur est imité par l'élève : c'est ce qu'il est convenu d'appeler « le curriculum implanté ou implicite ». Le curriculum, qui est projet d'école et de société, détermine l'organisation des contenus et des activités d'enseignement/apprentissage, des disciplines ou d'une formation.

La formation que propose un curriculum doit aboutir à plus de réarmement moral, de développement de valeurs telles que : la citoyenneté, la discipline, le respect mutuel, la tolérance, respect de l'intérêt général pour ne citer que celles-ci.

4.2. Les défis

Il se pose le problème de l'efficacité et de l'efficience qui, somme toute, introduit la question de la formation des enseignants et des personnels d'encadrement. Il s'agit clairement d'être capable de mobiliser les ressources, de les transférer jusqu'en classe afin de les transformer en résultats au niveau des apprentissages. Ce choix implique, d'un côté, la double nécessité de mettre en cohérence la formation, les attentes institutionnelles et les besoins des personnels ciblés, et de l'autre celle de scruter la problématique du financement de la formation dans le but de mettre en place une gouvernance plus efficace et efficiente.

La situation actuelle du système de formation pose des défis qui méritent d'être mentionnées :

Défi 1 : Réguler le système de formation

La diversité des dispositifs de formation est l'un des facteurs caractéristiques du système de formation qu'il est important de considérer car elle pose le défi de sa régulation. Dans ce cas, la supervision et le contrôle des actions de formations dans les différentes institutions opérateurs de formation s'avère nécessaire afin de :

- Renforcer l'adéquation de la formation des maîtres aux besoins et normes du milieu scolaire ;
- accroître la cohérence entre la formation des enseignants et les finalités de la politique de l'éducation ;
- garantir la standardisation des formations initiales d'une institution de formation à l'autre ;
- améliorer la continuité des formations entre le préscolaire, le fondamental, le secondaire et le professionnel/technique ;
- tenir compte des approches et conceptions nouvelles de la formation et du métier d'enseignant.

Défi 2 : Mettre à niveau la qualification des enseignants

La diversité des profils des enseignants représente un sérieux défi qu'il faut impérativement aborder. Pour y apporter une réponse, il est impérieux d'assurer une formation initiale et continue de qualité de tous les enseignants en exercice quel que soit leur palier d'enseignement d'accueil dans les institutions de formation.

Défi 3 : Mettre en cohérence la formation initiale et la formation continue

Tirant les leçons des expériences de formation initiale et continue que le pays a connues depuis la réforme Bernard et les ambitions tournées surtout vers la nécessité de disposer de ressources humaines de qualité, la question de l'articulation de la Formation initiale et de la Formation continue mérite une attention soutenue. Cette mise en cohérence s'impose du fait que les actions de formation doivent se situer dans le cadre de la politique du MENFP et être harmonisées dans l'idée de garder le cap sur un enseignement de qualité en vue d'atteindre les objectifs éducatifs visés.

Défi 4 : Satisfaire les besoins quantitatifs et qualitatifs de formation à l'horizon de 2030

Tenant compte de l'objectif de faire d'Haïti un pays émergent, selon le Plan Stratégique de Développement d'Haïti, il y a lieu de considérer la satisfaction des besoins quantitatifs et qualitatifs de formation d'enseignants à l'horizon de 2030, comme un défi compte tenu de l'importance que joue l'éducation dans le cadre de la refondation sociale promue par ledit plan.

Sur le plan qualitatif, il faut penser à former également les enseignants sur les thèmes tels que le genre, l'importance de l'eau, l'approche par les compétences, les TIC. Il serait nécessaire

de les amener à développer les capacités à prendre en charge le milieu, le savoir communiquer, bref tous les savoirs qui font l'objet des stages et séminaires de renforcement des compétences utile à la profession enseignante. Cela nécessite donc l'émergence d'un nouveau profil d'enseignant.

Sur le plan quantitatif, le MENFP envisagera de projeter, en termes de cibles, le nombre d'enseignants qualifiés qui devra intégrer le système scolaire à l'horizon de 2030 et de programmer toutes les charges financières que cela implique.

La mise en place d'un système de diplomation, de certification et de validation des acquis de l'expérience (équivalence) constitue un besoin supplémentaire qu'il faut prendre en compte.

4.3. Opportunités et limites

4.3.1. Opportunités

En dépit du caractère problématique de la situation de la formation, elle présente quelques avantages qu'il convient tout de même d'exploiter.

Opportunité 1 : renforcer les structures de formation existantes

Dans l'optique d'harmoniser les interventions dans le domaine du renforcement des capacités des enseignants et des personnels d'encadrement, le MENFP a procédé, en plus des ENI existantes, à la création du CFEF, du CFCE, les UPR et des EFACAP. Il s'agit d'améliorer tout le dispositif administratif, d'élaborer les contenus, de donner forme aux programmes et de les adapter aux besoins actuels des personnels. Ainsi, les mesures institutionnelles ci- après pourraient être envisagées :

- Actualiser et finaliser les textes réglementaires organisant le recrutement des personnels et le fonctionnement des structure de formation susmentionnées ;
- Développer des relations fonctionnelles entre les Directions d'enseignement et ses organes déconcentrés avec des pistes et modalités de coordination ;
- Intégrer la formation des personnels d'encadrement dans l'offre de formation de ses structures ;
- Harmoniser les crédits horaires
- Définir les modalités de communication entre formation initiale et formation continue ;

Opportunité 2 : optimiser les plans ou programmes de formation existants

Plusieurs sessions de formation dans différents champs sont régulièrement organisées à l'intention des personnels d'encadrement et des enseignants par le MENFP et ses différents partenaires, à l'aide de plans et de programmes existants. Il devient impératif de recadrer ceux-ci afin de les articuler et maximiser la performance de leur mise en œuvre.

En fait, il apparaît de plus en plus nécessaire de disposer d'un référentiel des métiers pour une meilleure mise en cohérence des emplois et des compétences relatif aux personnels concernés.

Opportunité 3 : Catégoriser la formation initiale certificative ou diplômante et relever les exigences du niveau de recrutement

L'obtention du permis d'enseigner introduit *ipso facto* l'obligation de qualification de tous les enseignants par le biais d'une formation initiale ou du parachèvement de leur formation dans le cadre d'un programme de formation continue. Dès l'application de cette mesure, aucun enseignant ne peut accéder au système scolaire sans boucler sa formation initiale et sans être certifié ou diplômé. Désormais, la formation initiale devient une condition sine qua non pour exercer la fonction enseignante. Dans cette optique, le MENFP a également pris des initiatives pour la mise en place d'un système d'équivalence de la certification par la validation des acquis de l'expérience.

En se basant sur ces acquis, il conviendrait :

- Renforcer les dispositifs d'organisation des épreuves de fin d'études,
- Revisiter les critères d'octroi des diplômes,
- Réglementer la certification dans le cadre de la formation continue.

Opportunité 4 : Exploiter l'existence de certaines institutions de formation en éducation (UPR, ENI, FSE, CFEF, ENS, Autres institutions de formation)

La formation initiale dispensée dans les institutions de formation semble aujourd'hui inadaptée à la réalité et aux besoins du secteur de l'éducation (formation en didactique, méthode pédagogique, etc.). De ce fait, le MENFP aurait intérêt à prendre en main la formation des personnels du secteur au regard de la nouvelle politique qu'il compte promouvoir et à proposer même une refonte des programmes correspondants.

La situation actuelle du CFEF fait l'objet de profondes préoccupations et nécessite une intervention dans une perspective de redynamisation de l'institution. Il pourrait être ainsi la base de l'Université Publique de l'Ouest afin de suppléer les carences qu'il accuse. En acquérant le statut universitaire, le CFEF pourvoirait aux besoins en formation d'enseignants et personnels d'encadrement à tous les niveaux (Préscolaire, fondamental et secondaire) en attendant qu'il soit complètement transformé.

Les programmes de formation de l'ENS sont désuets au regard des besoins en formation d'enseignants et ne sont pas en adéquation aux programmes des différentes filières du secondaire. Cette situation interpelle le MENFP en tant qu'organe régulateur du secteur de l'éducation. Un partenariat entre le MENFP et l'ENS devrait être envisagé pour garantir une réorientation des programmes de formation de ladite institution.

D'un autre côté, le MENFP peut profiter de l'opportunité que présentent les UPR du fait de leur présence dans neuf départements pour les renforcer afin de les habiliter à former également les enseignants et les personnels d'encadrements (Précolaires, fondamental et

secondaire). Les UPR deviendraient les principaux lieux d'offre publique de formation à l'intention des enseignants et de personnels d'encadrement. L'avantage de cette option réside, d'une part, dans la déconcentration de l'offre et d'autre part, dans l'efficacité des actions de formation en raison de la possible compression des coûts.

Dans la foulée, les ENI publiques seraient rattachées aux UPR, à travers un partenariat, afin d'assurer leur renforcement et servir *ipso facto* de créneaux à l'extension de la formation initiale et continue dans chaque département. Dans ce sens, il serait souhaitable de les habiliter à favoriser notamment la réalisation de la formation à distance qui serait dispensée par les formateurs des UPR.

Le MENFP conviendrait d'établir et/ou d'encourager des partenariats et la mise en réseau entre les UPR et avec des universités étrangères pour un accompagnement dans la mise place des programmes de formation, de même que pour la formation et le perfectionnement des formateurs. Les mises en réseaux peuvent être de puissants atouts pour atteindre les résultats souhaités à la suite de la mise en place des nouveaux dispositifs de formation initiale et continue.

De même, la rénovation du CFCE s'impose sans conteste. Il deviendrait ensuite une entité structurelle de formation continue intégrée dans l'Université publique de l'Ouest. À ce titre, la DEF l'habiliterait à prendre effectivement, avec régularité, en charge la formation continue et le perfectionnement des personnels de l'éducation.

De son côté, la DESRS, s'occuperait, à la fois, de l'uniformisation des programmes de formation et des grades d'études dans toutes les institutions de formation accréditées en fonction du cadre de référence établi.

4.3.2. Limites

Étant problématique, la situation actuelle du système de formation fait face à quelques contraintes et difficultés :

Limite 1 : Insuffisance de moyens

La formation des personnels risque d'être confrontée aux limites des budgets qui seront alloués. En effet, malgré l'augmentation relative de la part du budget national consacré à l'éducation, la formation des personnels d'enseignement et d'encadrement n'a jusqu'à présent fait l'objet d'une dotation significative.

Les institutions de formation ne remplissent pas les conditions appropriées, en matériels et en formateurs, pour offrir une formation répondant aux besoins du système éducatif.

Limite 2 : Des limites dues aux mécanismes et procédures de recrutement

Depuis des lustres, la nécessité d'une politique adéquate de recrutement dans l'administration publique se pose. Ceci porte à s'interroger sur l'avenir de l'offre de formation et du recrutement des personnels enseignants et d'encadrement car jusqu'à maintenant leur gestion laisse à désirer.

En outre, cette situation risque de s'aggraver avec le déplacement du centre de responsabilité du recrutement vers l'OMRH car les mécanismes et procédures ne sont pas encore tout à fait clairement établis et mis en place. Le processus de recrutement peut conséquemment s'alourdir. Pourtant, l'amélioration de la qualité de l'enseignement passe par la mise en place de personnels d'encadrement et d'enseignement qualifiés. Relevant de la gestion des ressources humaines, la mise à niveau de ceux qui sont dans le système et ne répondant à une qualification faible ou inappropriée étant aussi urgente, il est fort probable que les nouvelles dispositions retardent les résultats escomptés dans le court et le moyen terme à l'horizon de 2030.

Limite3 : lacunes du cadre juridique et réglementaire

L'analyse de la situation juridique de la formation fait ressortir des problèmes tant au niveau stratégique qu'opérationnel. En effet, en scrutant les textes qui régissent la formation depuis le statut général des fonctionnaires, le code du travail jusqu'aux arrêtés et circulaires ministériels, en passant par le statut particulier de l'enseignant, la loi d'orientation de 1984, les plans sectoriels et autres textes concernant les systèmes de formation, on se rend compte de beaucoup d'insuffisances sont constatées dans la prise en charge de cette problématique.

Au bout du compte, tout le dispositif de la formation mérite d'être organisé et encadré : depuis le droit à la formation initiale, les devoirs ou obligations de formation continue des enseignants, l'organisation des formations, les avantages ou opportunités, la certification et la diplomation, les structures concernées et leurs statuts, les formateurs et leurs statuts.

V. LA POLITIQUE NATIONALE DE FORMATION DES PERSONNELS D'ENSEIGNEMENT ET D'ENCADREMENT : NOUVELLES ORIENTATIONS DU SYSTÈME DE FORMATION

Les observations précédentes établissent très clairement les caractéristiques d'une situation problématique de la formation des enseignants et des personnels d'encadrement. Il ne fait aucun doute qu'il faut changer cette situation pour apporter un nouveau souffle à l'école. Dès lors, il devient impératif d'adopter une nouvelle politique qui soit à même d'enrichir les décisions relatives au rôle que doit jouer la formation des cadres et des personnels dans le système éducatif haïtien.

L'amélioration de l'efficacité interne et externe du système éducatif haïtien constitue l'une des priorités du MENFP en matière d'Éducation et de Formation. Pour y arriver, le MENFP doit mettre un accent particulier sur la rénovation du système de formation initiale et continue des personnels d'enseignement et d'encadrement. En effet, cette rénovation nécessite l'harmonisation et la régulation des actions de formation dans le secteur.

La politique de formation envisage d'orienter la formation générale des enseignants et des personnels d'encadrements vers la professionnalisation. L'idée consiste à rendre ces derniers aptes à s'adapter à des contextes évolutifs et changeants, et à les inclure dans un processus d'éducation continue. C'est dans cette perspective que l'introduction des Technologies de

l'Information et de la Communication (TIC) et la pédagogie numérique¹¹ dans la formation initiale sont devenues impératives pour une formation continue tout au long de la vie professionnelle.

Pour cela, cette politique tend à accroître la cohérence entre la formation de ces personnels et les finalités de la politique éducative, selon les engagements issus des assises internationales dont Haïti est signataire et les plans nationaux en matière d'éducation et de formation.

5.1. Vision globale

Cette politique entend pouvoir le système éducatif haïtien en personnels enseignant et d'encadrement qualifiés adhérant aux valeurs éthiques, respectant les droits humains et les règles déontologiques établies par la loi haïtienne. Dotés de compétences disciplinaires et professionnelles de référence, ces personnels seront en mesure de former des citoyen(ne)s respectueux (ses) des valeurs, des normes et des principes d'une société démocratique et de contribuer, par leur formation à la fois intellectuelle, manuelle et technologique, à l'émergence d'une société globale basée sur l'égalité, l'équité entre les sexes, inclusive, orientée vers le progrès et le développement durable.

Cette nouvelle vision :

- 1- S'accorde avec les engagements pris dans les assises internationales

La déclaration d'Incheon et le Cadre d'action (2015), «Vers 2030 : pour une nouvelle vision de l'éducation», servent de fondements au document qui consigne les nouveaux engagements internationaux «en faveur d'un agenda pour l'éducation unique et renouvelé qui soit holistique, ambitieux et mobilisateur, en ne laissant personne de côté.»¹² Faisant de l'éducation le vecteur principal du développement, poursuit le document, la nouvelle vision prônée trouve sa pleine expression dans l'ODD 4 proposé, à savoir : « Assurer une éducation inclusive, équitable et de qualité et promouvoir des possibilités d'apprentissage tout au long de la vie pour tous ».

Revêtant un caractère transformateur et universel, ces nouveaux engagements s'incrustent dans le « chantier inachevé » de l'agenda de l'EPT et des Objectifs du Millénaire pour le développement relatifs à l'éducation et visent à relever les défis de l'éducation aux niveaux mondial et national. Ils s'appuient également sur une vision humaniste de l'éducation et du développement fondée sur les droits de l'homme et la dignité, la justice sociale, l'inclusion, la protection, la diversité culturelle, linguistique et ethnique.

La nouvelle vision est primordiale pour fonder la paix, la tolérance, l'épanouissement de l'individu et le développement durable, toujours selon la Déclaration d'Incheon. Celle-ci reconnaît que l'éducation est un facteur clé pour parvenir au plein emploi et éliminer la

¹¹ En Haïti nous entendons par pédagogie numérique.....

¹² UNESCO, *Déclaration d'Incheon et cadre d'Action ODD4-Éducation 2030*, Incheon, République de Corée, 21 mai 2015.

pauvreté. Elle suggère entre autre, de concentrer les efforts sur l'accès, l'équité, l'inclusion, la qualité dans la perspective d'un apprentissage tout au long de la vie.

Dans son objectif «S'attacher à la qualité et à l'apprentissage», la Déclaration d'Incheon stipule ce qui suit à propos des enseignants et de leur formation :

Des politiques et des réglementations relatives aux enseignants doivent être mises en place afin de faire en sorte que les enseignants et les éducateurs aient les moyens d'agir, soient recrutés et rémunérés de manière adéquate, jouissent d'une formation et de qualifications professionnelles satisfaisantes, soient motivés, soient déployés de manière équitable et efficace dans l'ensemble du système éducatif, et soutenus au sein de systèmes gérés de manière efficace et efficiente, et dotés de ressources suffisantes¹³.

Dans cette optique, il importe que tous les personnels d'encadrement aussi bien que ceux qui sont chargés de la gouvernance aient des capacités à la hauteur de leurs rôles, de leurs responsabilités et des opportunités de mettre à jour ou d'améliorer leurs compétences de manière régulière.

Promouvant des possibilités d'apprentissage tout au long de la vie pour tous, la Déclaration d'Incheon soutient également « un accès équitable et élargi à l'enseignement et à la formation techniques et professionnels, ainsi qu'à l'enseignement supérieur et à la recherche, avec une attention particulière portée à l'assurance qualité. ». Spécifiquement, par rapport à l'agenda Éducation 2030, attachant une grande importance au développement des compétences techniques et professionnelles, l'UNESCO a jugé nécessaire d'appuyer «...les efforts des États membres visant à moderniser les qualifications et les programmes d'études, former le personnel enseignant, et renforcer l'apprentissage et la reconnaissance de ces compétences en milieu de travail.¹⁴ »

Autrement dit, ce palier d'enseignement est aussi au cœur des priorités internationales en ce qui concerne la formation des enseignants ou des formateurs.

Fort des engagements susmentionnés, il est donc impérieux d'assurer une formation initiale et continue de qualité à tous les enseignants quel que soit leur niveau d'intervention dans les institutions de formation. Dans le cadre de cette politique de formation des enseignants et des personnels d'encadrement, il convient de :

- appuyer les enseignants de tous les niveaux d'enseignement dans leur développement professionnel ;
- intégrer la formation des enseignants et des personnels d'encadrement ainsi que leur développement professionnel dans une vision holistique tenant compte de la formation tout au long de la vie, selon la vision prônée par la Déclaration d'Incheon ;

¹³ *Ibid*, p.33

¹⁴ UNESCO, *Stratégie pour l'enseignement et la formation techniques et professionnels (EFTP) (2016-2021)*, Paris, UNESCO, 2016, p.11.

- établir des cadres communs de qualification des enseignants basés sur des standards minima ;
- développer et respecter des critères¹⁵ minima relatifs au recrutement, à la formation, au développement professionnel des enseignants.

2- Est en lien étroit avec les plans nationaux

Globalement, la vision en matière de formation repose sur le Plan opérationnel (2010-2015), en attendant la diffusion officielle du plan décennal de l'éducation (2017-2027). Elle est corroborée par le Plan stratégique de développement d'Haïti-2030 (PSDH 2030) et la stratégie 2030 de développement des ressources humaines de la communauté des caraïbes (stratégie pays 2017-2021). En effet, dans le cadre de la mise en œuvre de la politique éducative, le MENFP se fixe des orientations parmi lesquelles est retenue celle-ci :

Un corps enseignant professionnel et qualifié disposant d'un plan de carrière pertinent et ayant à sa disposition des institutions de formation qui répondent aux normes de qualification¹⁶.

Dans le PO (2010-2015), la formation des personnels ciblés a pris en compte une direction différente de celle de la situation actuelle. En effet, il s'agit d'instaurer des mécanismes de renforcement des capacités de tous les personnels (depuis les cadres supérieurs jusqu'aux personnels de soutien en passant par les enseignants, directeurs d'écoles et inspecteurs) du système éducatif selon des dispositifs de formation initiale et continue certifiée et valorisée à travers un plan de carrière. La formation continue des personnels pédagogiques et administratifs des écoles est assurée à travers les EFACAP sous l'égide de la DFP. Quant à la formation initiale des enseignants du préscolaire et du fondamental, elle doit être prise en charge par les Facultés des Sciences de l'Éducation (FSE) qui sont attachées à des universités accréditées et des universités publiques. De ce fait, les Ecoles Normales d'Instituteurs (ENI), le Centre de Formation des Enseignants du Fondamental (CFEF) doivent passer au stade d'institutions de formation des enseignants et seront incluses dans des universités.

En ce qui a trait à la formation initiale des enseignants du secondaire qui se donne dans les FSE et l'ENS, il convient de procéder à un certain alignement du curriculum : les FSE vers un renforcement disciplinaire (l'équivalent d'un majeur) tandis que l'ENS renforcerait les compétences pédagogiques de ses étudiants (l'équivalent d'un mineur).

La formation du personnel de soutien (voir aussi le personnel d'encadrement) est de la responsabilité du CFCE (lorsqu'il s'agit du développement de l'éthique et de la culture institutionnelle) et des centres de formation technique et professionnelle (lorsqu'il s'agit de la connaissance du métier). Il peut aussi solliciter, à partir de ces besoins spécifiques de formation, les services des universités pour la conception et l'exécution des programmes.

Toujours dans les perspectives du PO, la formation des enseignants introduit des changements chez les enseignants et dans leurs pratiques :

¹⁵ Ces critères sont définis par le ministère.

¹⁶ MENFP, *Plan Opérationnel (2010-2015)*, Port-au-Prince, MENFP, 2012, p. 47.

Quant aux enseignants, dont les statuts seront revus, ils pourront en outre développer beaucoup mieux – au profit de la qualité de l'éducation - leurs capacités d'analyse, leur sens critique et leur esprit d'initiative, leur passion pour l'enseignement et pour l'apprentissage des élèves qui se traduiront par une capacité des élèves à développer des schémas logiques de pensée et d'attitudes pour mieux s'intégrer dans la société moderne et agir sur elle¹⁷.

Le PSDH-2030 prévoit des programmes d'actions de renforcement des capacités au niveau des différents niveaux d'enseignements. Ces programmes intègrent également la formation dans le secteur.

Une formation initiale de qualité est essentielle pour l'atteinte des finalités de l'éducation en Haïti. Elle sous-entend également une réflexion sur la formation des formateurs. Il reste que l'accompagnement des jeunes enseignants est primordial. Lorsqu'ils terminent leur formation et commencent à enseigner, ils doivent tout d'abord être étroitement supervisés au début de leur carrière. Au cours de cette période, l'enseignant débutant doit être suivi de près par des encadreurs et poursuivre sa formation dans un contexte de proximité.

Dans le cadre de l'accompagnement, ils peuvent aussi (i) avoir la possibilité de retourner à l'université pour parfaire leurs connaissances sur des cas pratiques ; (ii) appliquer les TIC et utiliser le numérique en permettant à leurs collègues de partager via Internet les méthodes pédagogiques innovantes et (iii) créer des communautés pratiques d'enseignement et des sectes de qualités en vue de participer à l'organisation de séminaires entre enseignants pour mettre en commun leurs méthodes pédagogiques et échanger sur des études de cas.

Pour faciliter l'évolution professionnelle des enseignants et des personnels d'encadrements, une place prépondérante doit être accordée à la formation continue car elle a autant d'importance que la formation initiale dans le succès du dispositif de formation globale. En outre, il est aussi fondamental pour eux de développer des compétences et de nouvelles pratiques pédagogiques susceptibles de les aider à faire face à des classes de plus en plus hétérogènes.

En raison de l'évolution du métier d'enseignant et de l'importance des personnels encadrements, il est essentiel que ces enseignants disposent des moyens de se perfectionner en utilisant entre autres, les nouvelles technologies en particulier le numérique dans l'apprentissage. L'investissement dans des centres multimédias est un choix stratégique à faire afin de réduire le coût de la formation et faciliter ainsi les actions de formation continue.

En raison de son caractère innovant, les TIC constituent un outil important dans le processus enseignement-apprentissage. Elles permettent de diversifier les moyens d'enseignement et d'évaluation et rendent les élèves plus autonomes dans le développement de leur savoir, savoir-faire et de leur savoir-être. Donc, la formation des enseignants et des personnels d'encadrement à l'usage des TICE est un choix incontournable.

¹⁷ *Ibid*, p. 58-59

En outre, l'amélioration de l'efficacité interne du système éducatif passe par l'augmentation de la performance des apprentissages des élèves, l'accroissement des rendements scolaires, l'évolution optimale des cohortes et l'accroissement du taux de réussite. Dans ce sens, il est impérieux d'adopter des mesures susceptibles de renforcer la qualité des enseignements. Pour cela, le système éducatif doit disposer d'enseignants aux compétences professionnelles avérées et fiers d'appartenir à la profession et que le processus de développement des connaissances et d'apprentissage se déroule dans les meilleures conditions possibles. Les qualifications requises pour être enseignant doivent être définies par le ministère.

Sur le plan de l'efficacité externe, l'éducation doit pouvoir remplir sa triple fonction : sociale, culturelle et économique. Pour cette raison, l'une des dispositions à adopter est de doter les enseignants d'une formation adaptée aux réalités sociales, culturelles et économiques globales afin de préparer leurs élèves à s'insérer dans la société.

De même, en raison des changements rapides et importants qui se produisent sur le marché de l'emploi et qui exigent un rehaussement du niveau de formation de base requis pour fonctionner, de façon active, dans la société et obtenir un emploi, la formation doit y apporter des réponses idoines. En somme, ces changements ont une incidence directe sur le rôle, les missions et le fonctionnement de l'école.

3- Promeut la modernisation du système de formation

Parmi les priorités à prendre en compte en matière de formation figurent principalement l'option politique d'améliorer la qualité des processus pédagogiques en mettant un accent particulier sur la réforme et la modernisation du dispositif de formation initiale et continue des enseignants. Pour cela, il est nécessaire de passer de la conception traditionnelle de la formation vers une conception intégratrice et inclusive. Il importe de rappeler que la conception traditionnelle est caractérisée, entre autres, par l'enracinement des coutumes et démarches scolaires, par des procédés basés sur le modèle de transmission de connaissances et un type d'évaluation recherchant la satisfaction en fin de formation.

Le nouveau modèle préconise l'identification des besoins, la détermination des compétences disciplinaires et professionnelles à installer, des types d'évaluation pour assurer l'efficacité interne et externe de la formation. Il favorise le redéploiement des enseignements, leur restructuration en modules, afin d'y intégrer de nouveaux sujets particulièrement du secteur non formel permettant de renforcer les connaissances théoriques et méthodologiques de base du métier d'enseignant.

Trois aspects du système de formation doivent donc être pris en compte :

- Le diagnostic de la formation ;
- La demande de formation
- L'offre de formation ;

Dans ces conditions, la formation doit : (i) être ouverte à une multitude de stratégies de mise en œuvre en harmonie avec les valeurs et les finalités des différents ordres

d'enseignement ; (ii) laisser une large place à la fois à la formation des formateurs et à la recherche action.

Il est aussi essentiel de promouvoir la mise en réseau dans le système de formation. En effet, elle permet de favoriser les synergies de différentes potentialités existantes dans les partenariats dans les institutions de formation. Ce réseautage permet aussi de parvenir à une meilleure intégration, consolidation et pérennité des réussites. Ainsi, par exemple, les EFACAP qui constituent des plateformes pour la formation devront développer la mise en commun de toutes les ressources diversifiées en vue de mobiliser tout le potentiel nécessaire à favoriser l'impact de la formation.

4- Encourage la professionnalisation des métiers d'enseignant et des agents des personnels d'encadrement

L'Accès à un métier suppose avant tout une formation correspondante. La personne concernée est alors reconnue qualifiée comme spécialiste par exemple ou autre dans un domaine particulier de la division sociale du travail. Compte tenu de la réalité qui caractérise le personnel enseignant du système éducatif haïtien, il se pose la nécessité d'engager sa professionnalisation, ce qui revient à orienter les enseignants vers un processus de socialisation spécifique, un passage progressif d'une formation générale à une formation professionnelle.

Alors, la professionnalisation du métier d'enseignant fait progressivement l'objet d'une formation de plus en plus spécifique, pédagogique, didactique, technique, proprement professionnelle, en plus de la maîtrise des savoirs à enseigner. Autrement dit, elle peut être considérée comme un processus de qualification, une évolution progressive vers un modèle d'exercice du métier plus rigoureux et plus efficace. La professionnalisation suppose des changements profonds de la part des enseignants et de leurs structures de travail.

En termes clairs, la professionnalisation du métier d'enseignant étant comprise comme mutation progressive des compétences et des pratiques pédagogiques, est aussi parallèlement celle du mode de gestion des établissements d'enseignement. Ainsi, la formation initiale en est au départ un vecteur primordial. Cependant la formation continue est une importante source potentielle de professionnalisation et constitue un des leviers importants pour poursuivre et pérenniser ce processus.

En effet, cette dernière offre aux enseignants l'occasion de mettre à jour leurs connaissances, de se perfectionner, de maîtriser de mieux en mieux les qualifications et les règles éthiques à mettre en œuvre pour atteindre les objectifs fixés dans les programmes d'études de façon efficace. Dans ce sens, les niveaux de compétences des enseignants permettent d'évaluer l'état de leur professionnalisation.

Dans ces conditions, la démarche de professionnalisation s'appuie sur un processus de transformation et de renforcement des capacités des enseignants et des personnels d'encadrement tout au long de leur carrière en développant les compétences disciplinaires et professionnelles nécessaires à l'exercice de leur fonction. Ce processus s'opère dans un contexte marqué par des apprentissages autonomes et interdépendants des formé(e)s qui jouent à la fois le rôle d'acteur et de premier responsable de leur formation, tout en contribuant à celle de leur pairs par le partage de pratiques professionnelles.

Dans le contexte de l'enseignement, la professionnalisation se traduit par la mutation progressive des compétences et des pratiques des enseignants en place, et parallèlement, par celle du mode de gestion des établissements scolaires et de l'accompagnement à ces derniers.

Pour renforcer l'apport de la formation initiale et continue, la Politique encourage aussi le développement d'une professionnalisation interactive. Autrement dit, il convient de mettre l'accent sur la coopération comme facteur d'évolution des enseignants et des modes de fonctionnement des établissements et de toutes les structures qui sont impliquées d'une manière ou d'une autre dans leur gestion et leur supervision.

En somme, pour disposer d'un personnel enseignant performant, la Politique de formation recommande d'avoir : (i) des enseignants ayant achevé avec succès un cycle de formation initiale et de formation continue requises ; (ii) des Formateurs de formateurs avec une formation universitaire appropriée ayant démontrée une expérience avérée dans son champ de spécialisation ; (iii) un personnel d'encadrement ayant poursuivi avec succès une formation initiale spécialisée relevant de l'encadrement et l'accompagnement pédagogique.

5.2. Finalité, but et objectifs

5.2.1. Finalité

- Améliorer l'efficacité interne et externe du système éducatif haïtien.

5.2.2. But

- Accroître l'efficacité de l'action pédagogique et la qualité du processus enseignement-apprentissage.

5.2.3. Objectifs

- Former tout le personnel enseignant et le personnel d'encadrement à partir des fondements de leur champ de métier ou d'interventions spécifiques ;
- Faire progresser la qualification des enseignants et des personnels d'encadrement en poste vers les référentielles établies,

- Accompagner tous les enseignants et les personnels d'encadrement (futurs et en poste) à développer les savoirs indispensables à l'exercice de leur métier ;
- Favoriser l'appropriation des nouvelles approches pédagogiques et didactiques par les enseignants pour garantir l'émergence des profils de sorties prévus pour les différents paliers (préscolaire, fondamental, secondaire, technique et professionnel).

5.3. Principes directeurs de la formation

La présente politique s'appuie sur des principes directeurs qui en constituent les fondamentales à savoir une formation :

- intégrée, holistique tout au long de la vie inspirée de la déclaration d'Incheon ;
- inclusive prenant en compte tous les personnels enseignants et d'encadrement des divers paliers d'enseignement et encourageant une large et active participation des femmes ;
- ancrée dans les réalités du système éducatif haïtien, tout en étant ouverte aux innovations pédagogiques et didactiques du monde contemporain ;
- accentuée sur la pratique de la démarche réflexive dans l'action d'enseigner et sur celle-ci, et accordant une grande importance à l'accompagnement des praticiens en vue d'assurer leur perfectionnement ;
- basée sur une approche favorisant la construction des savoirs et des compétences, tout en restant ouverte à l'utilisation d'autres approches non contradictoires et en harmonie avec les valeurs et aux finalités de l'éducation ;
- destinée à accompagner efficacement les enseignants utilisant des dispositifs de proximité intégrant les technologies de l'information et de la communication et surtout la formation à distance afin de renforcer la professionnalisation des personnels ciblés ;
- Fondée sur la cohérence globale entre la formation initiale et la formation continue comme étant complémentaires.

Ces principes directeurs tiennent compte du partenariat public-non public en impliquant les différents acteurs et partenaires politiques, techniques, financiers et sociaux dans la formulation et l'exécution et le suivi des actions de formation chacun en ce qui le concerne.

5.4. Approche de la PNF/PEE

Les nouvelles orientations tendent à renforcer l'accès à des dispositifs pédagogiques qui privilégient la créativité et le développement des connaissances, des compétences fondamentales en lecture, en écriture et en calcul dans la perspective d'une citoyenneté mondiale. Elles favorisent le développement des compétences d'analyse et de résolution de problèmes, et d'autres aptitudes cognitives, interpersonnelles et sociales. Elle développe également les compétences, les valeurs et les attitudes qui permettent aux citoyens de mener une vie saine et épanouissante, de prendre des décisions éclairées et averties. Pour cela, il convient d'adopter une approche idoine.

L'approche de formation consiste à préparer les étudiants/futurs enseignants ou les formés à découvrir différentes façons d'apprendre et à développer des stratégies d'apprentissage efficaces, directement applicables non seulement dans leur vie professionnelle mais aussi dans leur vie quotidienne. C'est une approche concrète qui permet l'acquisition de compétences durables et transférables dans des contextes changeants et de nombreuses situations d'enseignement. Elle favorise aussi le développement de l'autonomie, la facilité et le goût d'apprendre.

5.4.1. Une approche intégrée et holistique

La mise en œuvre et le suivi de la politique de formation sont des défis à relever. Face à la diversité des offres éducatives et à l'option stratégique qui exigent la prise en compte des divers besoins des secteurs de la vie nationale, cette politique de formation tente de répondre à l'harmonisation des interventions et à la constitution d'une masse critique d'intervenants hautement qualifiés pour les différents ordres de formation professionnelle.

Une approche holistique de l'éducation en tant que système intégré, avec une vision centrée sur les bénéfices croisés et globaux d'un soutien accordé à tous les niveaux (préscolaire, fondamental, secondaire, technique et professionnel) est retenue et priorisée. Elle suppose que l'éducation soit considérée dans sa globalité dans tous les ordres d'enseignement qu'ils soient formels, informels, non-formels. Dans cette perspective, la promotion d'une plus grande expansion de l'éducation de qualité nécessite une vision plus large axée sur la diversité des types d'apprenants, sur l'éventail des opportunités d'apprentissage par rapport aux besoins et demandes de la formation professionnelle.

Par ailleurs, aucune perspective de développement durable n'est envisageable sans un enseignement accessible et de qualité, et ce, à tous les ordres d'enseignement.

Pour cela il est impérieux que le développement de la formation repose sur une démarche intégrée qui prenne en compte la manière dont le système éducatif peut être renforcé par l'intermédiaire des différents niveaux d'éducation. Il faut d'abord un enseignement de base de qualité pour tous comme socle principal au départ du parcours éducatif. De même, la formation initiale et continue se révèle nécessaire pour disposer d'enseignants qualifiés et d'un personnel d'encadrement formé et avisé.

5.4.2. Une approche qui prend en compte l'inclusion et l'équité

L'éducation inclusive répond à des besoins particuliers, en matière d'enseignement et d'apprentissage, de tous les enfants et jeunes en situation de marginalisation et de vulnérabilité. En s'appuyant sur l'équité, il est possible d'assurer l'égalité de l'offre pour tous les enfants peu importe leur condition sociale, économique d'origine etc. Dans ce cas, l'éducation est basée sur la valorisation de la diversité des bénéficiaires.

L'approche de formation intègre dans ces conditions l'inclusion et l'équité afin d'élargir les services éducatifs de qualité à toutes les catégories d'enfants. Elle permet ainsi d'enrayer

toutes les formes d'exclusion et de marginalisation dans le système scolaire, de même que toutes disparités et inégalités en matière d'apprentissage.

5.4.3. Une approche par compétences (APC)

Si enseigner est un métier qui s'apprend tout au long de la vie, cela n'est véritablement possible qu'en s'inscrivant dans un processus de développement intégré de savoirs, de savoir-faire et de savoir-être qui se manifestent à travers les compétences professionnelles dans le contexte d'exercice du métier. Dans ce sens, ces dernières sont fédérées dans un cadre de référence commun à tous les professionnels de l'éducation et de la formation.

C'est ainsi que l'Approche par compétences (APC) est à promouvoir, car elle demeure cohérente à l'objectif de former des personnels réflexifs, qui fondent et ajustent leur action pédagogique sur l'évaluation des besoins et des progrès des élèves. C'est une approche qui consiste essentiellement à définir les compétences inhérentes à l'exercice d'un métier et à les formuler en objectifs dans le cadre d'une formation (source). Ainsi, les référentiels de formation et d'évaluation sont basés essentiellement sur les compétences requises pour exercer chacun des métiers ciblés.

Elle place l'étudiant/futur enseignant et la qualité au centre du projet pédagogique que soutient la présente politique. Parmi les points fondamentaux sur lesquels s'appuie l'APC et qui fondent son choix, ceux-ci peuvent être considérés :

- la détermination et la prise en compte de la réalité de l'enseignement et de l'encadrement, tant sur le plan global que sur un plan plus spécifique, liés à la description des caractéristiques des métiers qui y sont liés et à la formulation des compétences attendues pour l'exercer ;
- le développement du matériel pédagogique comprenant le référentiel de formation, le référentiel d'évaluation, divers documents d'appoint destinés à appuyer la livraison de la formation et à favoriser sa standardisation ;
- la mise en place, dans chaque institution de formation, d'une approche pédagogique centrée sur la capacité de chaque étudiant de mobiliser ses connaissances dans la mise en œuvre des compétences liées à l'exercice du métier qu'il a choisi.

5.4.4. Une approche privilégiant un modèle pédagogique et didactique ouvert

La politique de formation met l'accent sur la nécessité de former les enseignants à l'aide d'une approche transversale aux différents paliers d'enseignement qui privilégie un modèle pédagogique et didactique ouvert pour mieux lutter contre l'échec scolaire ; rénover les contenus et les démarches didactiques voir la mobilisation des pédagogies actives, participatives et coopératives.

5.4.5. Une approche de formation qui intègre les TIC dans la formation des enseignants pour des pratiques pédagogiques nouvelles

Sur le plan éducatif, les TIC sont aujourd'hui de grande importance et doivent être aussi placées au cœur de l'approche de formation en tant que véritables alliées de l'enseignement. Elles modifient la relation pédagogique enseignant-enseigné et changent également le rapport au savoir.

La politique soutient l'intégration des TIC dans le cadre de la formation des enseignants. L'utilisation de celles-ci favorise le développement des compétences disciplinaires, mais aussi celui des compétences transversales. De plus, sur le plan de l'enseignement, le numérique, dans ses usages pédagogiques, sont des outils à part entière d'apprentissage, modifiant profondément les stratégies des élèves pour apprendre, et des enseignants pour enseigner. Formé à l'usage des TIC, dans le contexte scolaire, l'enseignant peut en faire deux usages principaux :

1. Un usage professionnel

L'utilisation professionnelle se fait en deux étapes : la motivation et l'appropriation-exploration. À ce niveau, l'enseignant recherche de l'information, communique, échange et produit des ressources et outils pédagogiques, mais dans un objectif professionnel.

2. Un usage pédagogique

Quant à l'utilisation pédagogique, cinq (5) étapes sont nécessaires pour la compléter.

- Au début, l'utilisation des technologies par l'enseignant à des fins éducatives est directement liée à l'apprentissage, à l'apprenant et à l'enseignant. Donc, à ce stade, l'élève fait lui aussi usage des technologies.

Dans cette optique, la familiarisation, l'exploration, l'infusion et l'appropriation constituent les quatre étapes de ce stade. À travers celles-ci, la tâche de l'élève évolue et change :

- À la deuxième étape (familiarisation), l'enseignant engage ses élèves dans l'utilisation des TIC comme récompense ou occupation. Cette activité rapporte à l'élève le désir d'apprendre et un apprentissage de base.
- Ensuite, à l'étape d'exploration, l'enseignant vise l'acquisition, la compréhension et l'application des connaissances par les apprenants.
- Après, à quatrième étape (infusion), les activités pédagogiques organisées par l'enseignant favorisent le développement des compétences disciplinaires chez les apprenants. Il leur propose des activités de construction de connaissances. Les élèves sont plus impliqués et utilisent ponctuellement les TIC.
- Enfin, à la dernière étape (Appropriation), l'utilisation des TIC par les élèves est fréquente et régulière. L'enseignant propose à la fois des activités de transmission et

de construction de connaissances orientées vers la poursuite d'un but, ce qui développe chez les élèves des compétences disciplinaires et transversales.

En résumé, l'approche de formation doit aider les enseignants à développer la compréhension de la nécessaire ouverture de l'école sur la vie. Ils doivent comprendre qu'il faut partir du vécu des élèves ; reconnaître la diversité des cultures ; élargir le dialogue avec les parents, et favoriser leur participation à la vie de l'école.

En somme, les éléments suivants sont importants à considérer dans le cadre de l'approche de formation :

- Chaque ordre d'enseignement dispose des ressources humaines qualifiées (enseignants et personnels d'encadrement) et suffisantes maîtrisant les TIC ;
- La formation initiale et continue de l'ensemble du personnel enseignant est dispensée par des institutions et/ou opérateurs de formation reconnues par le MENFP quelle que soit l'offre éducative dans laquelle évolue ce personnel ;
- Un plan de carrière harmonisé pour l'ensemble des personnels enseignants du formel comme du non formel est établi de manière consensuelle ;
- Les services déconcentrés, les Collectivités locales, le secteur non public de l'éducation et les partenaires sociaux et opérationnels en éducation disposent de ressources humaines qualifiées (enseignants et personnels d'encadrement) ».

VI. VALEURS, ETHIQUE PROFESSIONNELLE ET DEONTOLOGIE DANS L'EXERCICE DES METIERS DE L'ENSEIGNEMENT ET DE L'ENCADREMENT

Dans le cadre de cette politique de formation, le professionnalisme suppose que, dans l'exercice de sa fonction, l'enseignant respecte les normes et procédures partagées dans le système éducatif, tandis que l'autonomie professionnelle, quant à elle, renvoie à son éthique de responsabilité. Dans ce domaine de compétences, il est attendu des enseignants qu'ils s'investissent dans leur action et s'engagent à accorder une attention appropriée à tous les élèves qu'ils accompagnent. Il est également essentiel qu'ils puissent expliquer et argumenter leurs décisions pédagogiques et répondre de leurs actions.

Par ailleurs, l'Etat fixe le mode de conduite des personnels d'enseignement et d'encadrement auxquels le décret du 17 mai 2005 attribue le rang de fonctionnaire en raison de leur parcours dans la fonction publique jusqu'en fin de carrière. Ensuite, l'arrêté présidentiel du 11 avril 2013 sur la déontologie et l'éthique professionnelle, dans ses articles 12 à 17, prescrit les règles applicables dans l'exercice des métiers d'enseignant et d'encadreur. Les articles 16 et 17 dudit arrêté mettent le fonctionnaire en garde contre toute manœuvre ou tout comportement répréhensible pouvant nuire non seulement à la bonne renommée de l'institution publique à laquelle il appartient, mais aussi à la société en général. Le trafic d'influence, les activités incompatibles avec la fonction et la poursuite de l'intérêt personnel au détriment de celui de

l'administration constituent des dérogations graves aux principes déontologiques et valeurs éthiques qui doivent caractériser le fonctionnement de tout personnel de l'enseignement et de l'encadrement du secteur public.

La Politique Nationale de formation juge nécessaire d'étendre les principes éthiques et déontologiques à tout le réseau car l'éducation est un service public.

Dans le même temps, la présente politique promeut des valeurs fondamentales prescrites par la Constitution de 1987 auxquelles les enseignants doivent impérativement adhérer. Elles sont reprises dans différents documents-cadres de l'Éducation, les curricula en particulier. Il s'agit des valeurs et normes suivantes autour desquelles s'articule la formation :

- Moral et humain : respect mutuel, intégrité, tolérance, probité, solidarité, éthique professionnelle ;
- social et politique : justice, démocratie, égalité (justice et équité sociale, inclusion des filles et des femmes, des personnes vulnérables, des enfants, des personnes en situation de handicap ;
- culturel et scientifique : respect du patrimoine - matériel/immatériel- et de l'environnement naturel, de l'œuvre et du travail humains, des différentes formes artistiques, rigueur, analyse, questionnement, esprit critique, probité intellectuelle.

Outre la promotion de ces valeurs, la formation initiale ou continue des enseignants/es et des personnels d'encadrement outille les personnels en charge de la formation et de l'éducation pour les diffuser, les faire respecter et les réinvestir à l'école.

VII. VERS LA PROFESSIONNALISATION DES PERSONNELS D'ENSEIGNEMENT ET D'ENCADREMENT

Les changements introduits dans les structures et les programmes, s'attaquent ouvertement et institutionnellement, au vécu quotidien des élèves et des enseignants sur le plan pédagogique. De ce fait, pour que la situation décrite dans le contexte ne perdure, la politique doit amener des progrès par la professionnalisation des personnels ciblés. En effet elle ne portera ses fruits que si elle est relayée par de nouvelles pratiques pédagogiques efficaces. Les enseignants doivent être préparés au respect des exigences et des attentes du système scolaire, favorisant ainsi l'évolution du métier vers plus d'autonomie et de responsabilité.

L'adoption de cette ligne directrice sous-entend l'idée de former des personnels capables de penser, d'agir et de communiquer parfaitement de façon autonome et responsable à partir d'objectifs généraux et de principes éthiques véhiculés à travers les curricula. En cela, la formation, tout en étant ouverte à une pluralité de stratégies de mise en œuvre, doit rester congruente aux valeurs et aux finalités du système éducatif. Ainsi, la PNF encourage la

participation active d'hommes, de femmes et de personnes en situation de handicap dans toute la chaîne de formation.

La nouvelle politique s'intéresse à améliorer le système de formation de sorte que les enseignants de tous les niveaux d'enseignement considérés aient les capacités d'agir afin de d'aboutir à une efficacité interne et externe satisfaisante au niveau de tous les maillons de la chaîne éducative. Il faut aussi qu'ils aient développé les compétences reconnues par le MENFP et acquièrent les qualifications requises pour accéder aux métiers qu'ils comptent exercer.

7.1. Le cadre référentiel

Pour répondre aux mutations qui traversent le système éducatif haïtien et anticiper leurs conséquences sur l'enseignement en particulier, la politique privilégie une gestion des compétences, dont la reconnaissance et la validation représentent un enjeu important. Il ne fait aucun doute que cette option requiert de nouvelles modalités de formation et introduit *ipso facto* l'idée d'une rénovation du système de formation.

Les importants changements, notamment technologiques, les transformations du contexte social et économique du pays, induisent un remaniement du système éducatif et conséquemment une nouvelle organisation pédagogique pour l'enseignement. Dans ce sens, les démarches ne sont plus reconductibles à l'identique, et la capacité à les remanier et les adapter devient plutôt stratégique. Les métiers d'enseignement et d'encadrement s'affirment alors comme le cadre d'expression de la compétence.

Le cadre référentiel contribue à identifier les compétences nécessaires à l'exercice des fonctions confiées, et celles liées à l'introduction de nouvelles activités. Il guide la description des traits distinctifs des métiers d'enseignant et des agents des personnels d'encadrement. Le cadre permet aussi de mettre en valeur l'étendue et la diversité des fonctions qui sont exercées. Il favorise l'adaptation des personnels concernés à l'évolution de leurs missions tout au long de leur carrière et d'élargissement de leurs champs d'activités.

À titre personnel, le cadre référentiel peut également servir à orienter et réaliser un diagnostic des compétences nécessaires pour évoluer vers un nouveau métier par la voie du perfectionnement ou de la requalification. Avec cet outil, il est aussi possible d'apprécier l'ensemble des compétences requises au bon fonctionnement des écoles, afin que le MENFP puisse anticiper les besoins de formation et mieux adapter les recrutements.

C'est donc un instrument destiné au service de l'enseignement et de l'encadrement (formel et non formel), pour :

- I- préparer et accompagner leur parcours professionnel,
- II- favoriser le développement et la mise en œuvre des compétences, des gestionnaires de ressources humaines,
- III- anticiper les évolutions et répondre aux besoins liés aux missions du système éducatif.

Adopter cette voie impose l'établissement du cadre référentiel avec des outils spécifiques, à savoir :

- I- un référentiel de métier ou d'emploi,
- II- un référentiel de compétences,
- III- un référentiel de formation
- IV- un référentiel d'évaluation.

Ils s'appliquent aux activités et compétences actuelles et à celles qui sont souhaitées par anticipation.

7.1.1. Référentiel de métiers

Le référentiel des métiers offre une vue d'ensemble des domaines d'activités et de la cartographie des métiers que peuvent exercer les diplômés de la formation promue par la présente politique. Le métier constitue la maille d'analyse des situations professionnelles qui sont décrites dans ce référentiel. L'ensemble de ces métiers est regroupé au sein d'un certain nombre de familles professionnelles définies par la DFP conjointement avec la DRH et l'OMRH. Chaque famille professionnelle est représentée dans la cartographie des métiers qui établit une vision globale de l'ensemble des métiers pour chaque catégorie convenue.

Ce référentiel décrit les missions et activités des différentes fonctions du domaine et en expose les détails. Pour l'élaborer, il est nécessaire de faire une analyse de la situation du travail relatif à chaque métier consistant à recueillir de l'information sur ce dernier. Cette information est indispensable à la détermination des compétences et à l'élaboration du référentiel de formation. Elle sert à concrétiser et à assurer la pertinence d'un tel projet. Autrement dit, il s'agit d'établir la description de l'environnement général du métier, en considérant son évolution globale dans le système éducatif (environnement socio-économique, législation, etc.) et l'évolution spécifique dans les établissements d'enseignement par rapport aux politiques éducatives (nouvelles missions, TIC etc.). La description des métiers d'enseignement (pour chaque palier d'enseignement) et de ceux des personnels d'encadrement peut comprendre par exemple : intitulé, finalité, conditions de réalisation (matériels et équipements pédagogiques, contraintes...), résultats attendus, relations internes et externes etc. En adoptant une méthodologie rigoureuse de recueil d'informations. Les activités sont classées par grands domaines, le référentiel de métiers permet d'établir les activités et compétences liées, entre savoirs, savoir-faire et savoirs-être. Il représente :

- un outil de gestion de l'enseignement ;
- un outil de recrutement pour les fonctions RH, pour élaborer des fiches de poste par exemple ;
- un outil d'analyse et d'évaluation pour les recrutements ;
- un outil de communication.

7.1.2. Référentiel de compétences

Ayant trait à la fois à la personne et au métier, la compétence nécessite une dynamique d'adaptation permanente entre les capacités des enseignants et des agents des personnels d'encadrement et les exigences du système éducatif haïtien qui s'imposent en conséquence. Il est fondamental de garder une conception dynamique de la compétence avec un recentrage sur les processus d'apprentissage de l'élève, afin de mettre en synergie l'acquisition de connaissances, le développement de capacités (aptitudes ou habiletés) et l'adoption d'attitudes.

Une compétence consiste en la mobilisation d'un ensemble de ressources diversifiées internes (connaissances, capacités, habiletés) et externes (documents, outils, personnes) renvoyant à la complexité de la tâche et au caractère global et transversal de la compétence. Elle s'exerce dans des situations contextualisées mais diversifiées qui impliquent un processus d'adaptation (et non de reproduction de mécanismes) et de transfert d'une situation à l'autre. Elle revêt également un caractère opérationnelle dans la mesure où elle s'applique dans un cadre curriculaire précis (structure, horaire, programme, pratiques pédagogiques et didactiques, matériels), ce qui donne toute son importance à la situation d'apprentissage dans chacune des disciplines du programme et du domaine d'activité d'encadrement.

Différents aspects de la gestion des enseignants et des personnels d'encadrement peuvent désormais s'appuyer sur la démarche centrée sur la compétence : recrutement, constitution d'équipes plus performantes, reconversion ou requalification, anticipation des besoins en enseignants et en personnels d'encadrement, rémunération/salaire et autres. Tous les aspects de la formation peuvent être également pris en compte, en faisant choix de la compétence comme élément de référence de la formation : analyse des besoins, définition des objectifs, élaboration des programmes, évaluation de la formation.

Dans le cadre de cette politique, le référentiel de compétences représente la clé de voûte du système de pilotage des personnels d'enseignement et d'encadrement. Il permet d'articuler l'étude des métiers et l'étude du potentiel humain. C'est aussi un outil qualitatif de base qui permet d'ajuster les compétences aux besoins identifiés.

Pour chaque métier, il s'agit de définir ce que le postulant en formation doit avoir acquis pour l'exercer. Plus spécifiquement, au-delà des particularités propres à chaque niveau d'enseignement, l'unité du métier d'enseignant justifie des compétences transversales et communes dans le référentiel de compétences pour tout type d'enseignant.

Ce référentiel, englobant les personnels d'enseignement et d'encadrement, se trouve en amont de la phase de professionnalisation dont l'objectif est de développer et ancrer de nouvelles pratiques pédagogiques.

7.1.3. Référentiel de formation

C'est le référentiel qui consiste à professionnaliser le parcours des personnels d'enseignement et d'encadrement, lequel construit progressivement les éléments de sa compétence. Il décrit, de façon organisée, les savoir-faire, les connaissances, attitudes et comportements associés qui doivent être acquis au cours de la formation conduisant au diplôme. Ce référentiel présente de manière structurée des compétences à acquérir en vue de l'obtention d'un certificat ou d'un diplôme de qualification.

Le référentiel de formation est articulé autour du développement des compétences requises pour l'exercice des différentes activités des métiers d'enseignement et d'encadrement. Il met en place une alternance entre le développement des connaissances et des savoir-faire reliés à des situations professionnelles, la mobilisation de ceux-ci dans des situations pédagogiques, et, s'appuyant sur la maîtrise des concepts, la pratique régulière de l'analyse de contextes professionnels.

Dans cette optique, la formation se construit en référence au métier ou plus précisément aux compétences attendues, contrairement aux approches qui prônent uniquement les domaines d'enseignement ou les contenus de formation comme fondements. Elle repose sur un diagnostic des besoins, c'est-à-dire sur les compétences à acquérir. Ces compétences de référence dégagées par l'étude des besoins sont exprimées dans le référentiel de formation en termes de capacités qui sont les savoirs, savoir-faire et savoir-être, acquis et nécessaires à la mise en œuvre de compétences diverses.

Les besoins en formation se définissent en fonction des écarts entre les compétences visées et celles qui sont déjà acquises. Les compétences à développer sont ainsi identifiées. Elles correspondent aux objectifs de formation qui sont eux-mêmes déclinés en objectifs pédagogiques.

Quant à l'organisation de la formation, elle s'appuie sur des mises en situation professionnelle et accorde une importance particulière aux volets théorique et pratique. Les formations se déroulent suivant un modèle qui privilégie les Unités de compétences. Celles-ci permettent d'identifier les grands domaines de compétences qui sont nécessaires à l'exercice d'un métier et qui garantissent leur développement et leur validation sur tout le *continuum* de formation.

Le passage par les référentiels de métiers et de compétences permet au référentiel de formation, et aux programmes qui lui sont associés, de s'ancrer dans la situation professionnelle.

7.1.4. Référentiel d'évaluation

Le référentiel d'évaluation définit des objectifs et des exigences de qualité déclinés en critères d'évaluation. Ces critères sont concrets, observables et peu nombreux. C'est un outil qui permet d'évaluer les apprentissages et les pratiques dans les métiers. Le référentiel peut aussi faire usage de grille de collecte de données et de guide d'utilisation. À l'aide des critères d'évaluation, des éléments concrets et observables, il permet de porter un jugement sur la conformité de la pratique en fonction des compétences, des modalités et des outils d'évaluation établis.

Du fait que toute la pédagogie de la réussite sur laquelle repose l'APC nécessite une étroite association entre formation, apprentissage et évaluation, il est important que celle-ci soit intégrée aux différentes phases de développement des compétences. Elle doit également constituer l'un des piliers de la démarche d'apprentissage des étudiants. Le développement d'une compétence ne peut se faire sans que ceux-ci aient la capacité de juger des résultats obtenus et de la performance réalisée. Il est donc nécessaire de prévoir les modalités d'évaluation des acquis de la formation, notamment au retour sur la situation de travail pour chaque métier.

Ce référentiel met en particulier l'accent sur le caractère obligatoire de l'évaluation sommative ou de sanction des apprentissages. En effet, les résultats de cette évaluation seront codifiés et feront ultérieurement l'objet des communications de résultats et des documents officiels de certification ou de diplomation. Ce type d'évaluation doit être fait avec rigueur et porté sur toutes les compétences du métier qu'elle concerne. Chacune de ces compétences est évaluée à l'aide des outils et des critères contribuant à garantir la valeur du diplôme décerné.

L'évaluation de sanction conduit à l'émission d'un document officiel (certificat ou diplôme) qui atteste que le formé a acquis les compétences rattachées à l'exercice du métier choisi. Ce document peut être enrichi en y annexant un relevé de compétences. C'est sur la base de l'ensemble des critères établis qu'elle se fait. Par exemple, ceux-ci pourraient être considérés : critères éthiques, techniques, pédagogiques et didactiques, réglementaires, liés à l'expression orale et l'expression écrite...). C'est en fonction de cela que les procédures de certification et de diplomation sont applicables.

Cependant, la politique va au-delà de cet aspect qui consiste à porter un jugement exclusivement sur la maîtrise des compétences et sur la performance des formés qui souhaitent obtenir un diplôme. En clair, il faut faire en sorte que l'évaluation occupe aussi une place prépondérante au sein du processus de formation et d'apprentissage. En cela, le référentiel d'évaluation doit également permettre de comparer la pratique d'un enseignant ou d'un groupe d'enseignants à une référence validée avec l'objectif d'améliorer leurs pratiques d'enseignement. Pour être pertinent, il doit être adapté au mode d'exercice du métier en question.

En somme, il est judicieux de souligner que ces quatre (4) référentiels ne sont pas des outils figés et définitifs. Les structures du MENFP ainsi que les institutions de formation, veillent à leur actualisation pour qu'ils restent toujours en adéquation avec l'évolution et les nouveaux besoins du système scolaire et plus largement avec les mutations qui touchent le système éducatif.

7.2. Description des dispositifs de formation

La formation des personnels d'enseignement et d'encadrement est au service des objectifs de l'enseignement formel et non formel. Selon la PNF, le processus de formation, qui constitue un *continuum*, démarre dès que les postulants sont admis en formation initiale et se poursuit au début de leur insertion professionnelle. Pour maintenir le cap sur la qualité de l'enseignement, la PNF recommande de leur assurer, tout au long de leur carrière, une formation professionnelle continue dans le but d'adapter et d'affiner leurs compétences et leurs pratiques en fonction du contexte et de l'évolution du système éducatif ainsi que des nouvelles réalités socio-économiques et de la demande en formation.

La formation, initiale ou continue, peut être dispensée à l'aide des médias suivants : en présentiel, en alternance, à distance, en e-learning. Ces médias ne sont pas considérés comme des activités isolées dans l'institution, mais participent à la vision globale du MENFP comme entreprise formatrice. Dans tous les cas, le recours aux outils numériques sera systématisé.

7.2.1. Dispositif de la formation initiale

Dans le cadre de cette politique, la formation initiale est vue comme la phase institutionnelle de la professionnalisation qui leur fournit la possibilité d'obtenir leur diplôme d'aptitude. Elle aborde les fondements qui permettent aux personnels ciblés d'assurer leurs responsabilités et les préparer en tant que :

- I- professionnels qualifiés ;
- II- personnalités capables d'entretenir des relations en milieu professionnel
- III- professionnels réfléchissant sur leurs pratiques et le système dans lequel ils travaillent.

La formation initiale prépare des praticiens autonomes, responsables et réflexifs, c'est-à-dire des professionnels capables d'analyser une situation d'enseignement, de prendre des décisions dans les limites de leur rôle et de mener des interventions individuellement ou en équipe.

Chaque étudiant en formation développe des ressources en savoirs théoriques, pratiques et méthodologiques, en habiletés gestuelles et en capacités relationnelles. Il établit son portefeuille de connaissances et de compétences et prépare son projet professionnel. L'étudiant développe également une éthique professionnelle lui permettant de prendre des décisions éclairées et d'agir avec autonomie et responsabilité dans le champ de sa fonction enseignante ou d'encadrement. Exercés au raisonnement pédagogique et didactique et à la réflexion critique, les formés deviennent compétents, capables d'intégrer plus rapidement de nouveaux savoirs et s'adapter à des situations variées.

Trois dimensions sont ici prises en compte :

- une dimension sociologique : La formation initiale étant professionnalisante, elle doit permettre aux formés d'atteindre un niveau de formation, de connaissances et d'éthique élevé pour faire d'eux de véritables professionnels reconnus par la société haïtienne ;
- Une dimension individuelle : elle garantit le développement de leurs savoirs, savoir-faire et savoir-être ;
- Une dimension pédagogique : elle renforce le mode opératoire de la formation par des activités et contenus professionnels.

Organisation des Programmes de formation initiale

La formation initiale est dispensée à partir de programmes comportant un volet théorique et un volet pratique. Elle se déroule exclusivement dans des institutions supérieures de formation. En ce qui concerne celles qui appartiennent au réseau non public, elles sont dans l'obligation de détenir à la fois la reconnaissance de la DERSR et l'accréditation de la DFP pour être habilitées à dispenser des programmes de formation découlant de cette politique. Dans cette logique, les formateurs doivent être titulaires d'au moins un diplôme de Maîtrise ou avoir accompli dix-huit années de scolarité avec au moins deux ans de spécialisation dans la branche d'enseignement.

Chaque niveau d'enseignement, de même que chaque catégorie des personnels d'encadrement, comporte ses programmes de formation. Pour tout programme de formation d'une institution, au moins 120 crédits ou 1800 heures au minimum sont exigés et doivent être obligatoirement bouclés sur une période de 3 à cinq ans. 75% du temps sont consacrés à la formation théorique et 25 % à la formation pratique. Tous les programmes sont immanquablement en cohérence avec le cadre référentiel établi et sont homologués par le MENFP.

En raison de l'adoption de l'APC, la formation est organisée suivant une approche modulaire. A chaque compétence ou à un ensemble de compétences de même famille peut correspondre un module de formation. Le nombre de modules de formation développés correspond au nombre total de crédits ou alternativement au nombre d'heures total de la formation. Chaque module a une durée maximale fixée par la DFP.

Centré sur le développement des compétences, chaque module s'articule de manière progressive. Les programmes précisent pour chaque module : les objectifs de formation, les savoirs associés (théoriques, procéduraux et pratiques) et leurs modalités d'acquisition, les critères et les modalités d'évaluation et de validation. Les objectifs de formation décrivent les savoir-faire de chacune des compétences du référentiel d'évaluation (certification du diplôme). Ils correspondent à l'exigence minimale requise en formation pour délivrer le diplôme en vue de l'exercice des activités du métier. Ces objectifs sont centrés sur un apprentissage professionnel qui correspond au métier.

Concernant les personnels d'enseignement

Dans le cas des personnels d'enseignement, pour obtenir les profils souhaités et pour chaque composante du profil qui sera établi, la formation vise à développer des connaissances théoriques (notions, concepts, modèles et théories) et des compétences liées au « comment faire » susceptibles d'articuler la relation théorie-pratique. Les connaissances disciplinaires intègrent, dans un cadre conceptuel plus large, les savoirs qui font l'objet des apprentissages des formés. Dans son aspect pratique, la formation initiale accompagne la production des compétences professionnelles des personnels d'enseignements et d'encadrement.

1. Volet théorique

Pour tout palier d'enseignement, la formation initiale pourrait porter entre autres sur les points suivants :

- Le développement des connaissances et des compétences d'un professionnel de l'apprentissage : des connaissances disciplinaires, des connaissances psychologiques, des connaissances pédagogiques et didactiques, des méthodes pédagogiques et didactiques spécifiques pour les groupes d'enfants en situation spéciale (en particulier les handicapés), des connaissances relatives aux TIC, des compétences relatives à la gestion des apprentissages sociaux et cognitifs ;
- Le développement de la personne de chaque étudiant : Approche psychologique et philosophique, réflexion éthique, Développement de la relation-communication (évolution en groupe, travail d'équipe, relations partenariales, gestion des conflits, auto-évaluation etc.) ;
- Le développement d'un professionnel qui réfléchit sur sa pratique et le système dans lequel il travaille : des connaissances relatives au système éducatif, son histoire et ses relations à l'environnement, des compétences liées à l'approche réflexive du métier ;
- Le développement de compétences transversales : réflexion sur les valeurs, analyse, argumentation, synthèse, anticipation, gestion du temps, construction d'outils (expression orale et écrite, traitement de l'information, prise, méthodologie de la production écrite, etc.)

2. Volet pratique

Le volet pratique assure la formation professionnelle des personnels d'enseignement. Dans ce cas, la professionnalisation regroupe un ensemble de démarches et d'actions qui permettent à chaque étudiant de maîtriser toute activité qu'il exercera par la suite et de la faire reconnaître comme une qualification et un métier.

La PNF promeut une formation pratique qui aide tout étudiant à développer son identité professionnelle individuelle et sociale avec l'intégration d'une réalité professionnelle vivante, concrète et réelle. Ainsi, dans le contexte de la formation pratique, le futur enseignant apprend

les ficelles du métier, c'est-à-dire il apprend à planifier, à anticiper, à gérer la classe et les situations d'enseignement et d'apprentissage etc.

La formation pratique se déroule sous forme de stages basés sur des objectifs et des contenus spécifiques et appropriés. Ils sont organisés suivant des progressions. Les stages permettent à un étudiant de mobiliser adéquatement les connaissances développées en formation théorique pour les intégrer dans les différents aspects de sa pratique professionnelle. La formation initiale assure ainsi une expérience réelle et solide du terrain et maintient un va-et-vient entre la théorie et la pratique tout au long de la formation.

Pour qu'un stagiaire intègre les processus pratiques d'enseignement et d'apprentissage relatifs à son niveau d'enseignement, il est accompagné par des professionnels plus expérimentés qui garantissent la transmission de la coutume du métier (bien sûr avec des perspectives adaptées et suivant les nouvelles orientations éducatives).

Le processus de déroulement de la formation pratique se fait sous forme de stages pour tous les personnels d'enseignement (tous niveaux confondus). Les stages s'organisent en trois étapes. Chaque étape est constituée d'un dispositif élaboré pour atteindre certains objectifs de formation.

➤ Le stage d'observation

Il s'agit de la première étape de préparation au recrutement dans le métier. Les stagiaires sont présents dans les classes et sont toujours en processus de formation et sont encadrés et suivis. L'évaluation se fait selon les objectifs définis (6 crédits).

➤ Stage de tutelle

C'est un stage intermédiaire. Le stagiaire commence à pratiquer son métier sous tutelle d'un enseignant titulaire. Pour participer à ce type de stage, il doit avoir complété le stage d'observation. L'encadrement de la formation est confié aux enseignants des écoles d'application. L'évaluation et l'attestation des acquis consistent aussi en un rapport de stage rédigé et présenté devant un auditoire à la fin de chaque stage (9 crédits).

➤ Stage pratique en responsabilité

Le stage en responsabilité boucle la formation de l'étudiant. Pour participer à ce stage et finaliser son parcours, il doit avoir passé au moins les deux phases de stage précédentes et remplir toutes les conditions de réussite des cours. Le stagiaire prend en main la classe dans tous ses aspects de gestion des apprentissages et de la discipline. Il planifie, enseigne, évalue et anime toutes les activités de la classe. L'encadrement est assuré par l'enseignant qui gère la pratique quotidienne de la classe.

Le contenu de la formation est défini par une note de mise en stage. Compte tenu de sa place dans l'évaluation sommative, les contenus sont renforcés et portent sur la préparation de ses activités d'enseignement et ses interventions qui seront évaluées pour attribution d'une note finale de formation pratique.

L'évaluation, l'attestation des acquis et la certification de la formation pratique sont faites par une équipe composée de l'inspecteur de zone, du Directeur de l'école et de l'enseignant de la classe. Le tout est soumis au responsable de stage de l'institution de formation pour cotation finale (15 crédits).

Concernant les personnels d'encadrement

Pour les personnels d'encadrement la même démarche est suivie. L'encadrement est mis au service des apprentissages des élèves, par le truchement des enseignants, pour améliorer leur efficacité. Il s'agit d'un appui continu et individualisé apporté à la professionnalisation de ces derniers.

1. Volet théorique

Les responsables de l'encadrement appuient les performances des enseignants en classe et se consacrent à son développement professionnel. Pour garantir l'efficacité et l'efficience de l'encadrement, les personnels concernés reçoivent une préparation adéquate et savent générer et entretenir des interactions productives et construire des relations de confiance et positives avec les enseignants. Parmi les principales qualités d'un bon chargé d'encadrement, l'on compte de solides compétences de leadership, de communication et de relations interpersonnelles.

La formation doit également amener les personnels d'encadrement à s'imprégner du contenu des programmes détaillés et des approches pédagogiques et didactiques afin d'apporter l'appui nécessaire au travail des enseignants et assurer du même coup l'atteinte de résultats performants. Dans ce contexte, ils jouent conséquemment un rôle de modèle positif de référence.

D'une part, les programmes de formation à l'encadrement comprennent des modules de formation qui portent sur le contenu que les enseignants devront enseigner et sur des aspects particuliers de leur métier. D'autre part, ils comprennent d'autres modules qui seront conçus pour le développement de compétences spécifiques relatives, entre autres, à la psychopédagogie, aux didactiques des disciplines, à la supervision pédagogique et clinique, à l'administration scolaire etc.

2. Volet pratique

La phase pratique de la formation des personnels d'encadrement se déroule uniquement en forme de stage d'observation et d'encadrement. Au cours de cette phase, le stagiaire s'exerce à appuyer des enseignants en les observant à l'aide d'un guide. Il définit ses propositions d'appui qu'il discute avec des professionnels expérimentés. Le stagiaire utilise systématiquement des outils d'observation et d'évaluation aux fins d'évaluer les performances des enseignants au cours du stage, de déterminer des domaines à améliorer, de faire des propositions d'amélioration. Il devra pouvoir répliquer et améliorer ces expériences au cours de l'exercice de son métier.

L'évaluation du stage se fait selon des objectifs clairement définis. Le stagiaire produit et expose son rapport de fin de stage basé sur l'observation et l'encadrement de plusieurs activités d'enseignement de différents enseignants en particulier. C'est ce rapport qui est noté par le responsable de stage de l'institution de formation. Tout le temps prévu (25%) pour le volet pratique de la formation est entièrement affecté au stage.

Profil d'entrée/Conditions d'admissibilité

Pour tout postulant intéressé à produire une demande d'admission en formation initiale dans une institution d'enseignement supérieur, les exigences suivantes doivent être respectées :

- Avoir obtenu son diplôme de fin d'études secondaires ;
- Avoir obtenu la mention réclamée (au moins 6,5) au concours d'admission ;
- Réussir l'examen d'expression orale.

Certification et diplômation

L'utilisation d'un système intégré d'évaluation pour valider toutes les connaissances et compétences acquises à travers les différents programmes de formation quel que soit le format spécifique des voies d'apprentissage, le lieu et la méthodologie d'atteinte des résultats. Dans ce contexte, l'équivalence doit être établie entre tous les candidats qui se sont préparés pour un niveau bien précis.

Du fait qu'elle doit être valorisante, la formation est sanctionnée par la délivrance d'un diplôme ou d'un certificat de participation. Les certificats ainsi obtenus facilitent l'insertion dans la vie active, entrent en ligne de compte dans la promotion individuelle et dans la carrière de leurs détenteurs. Chaque diplôme délivré doit être signé par le Ministre de l'Éducation pour authentification.

Au terme de ses études, pour tout étudiant en formation initiale pour les niveaux Préscolaire et Fondamental I et II, le MENFP exige la réussite des cours et des stages. Dans le cas spécifique de tout étudiant en formation initiale pour l'un des autres niveaux d'enseignement (Fondamental III, Secondaire, Enseignement technique et professionnel) ou l'encadrement, en plus des exigences susmentionnées, il devra produire un essai qui est accepté par son institution de formation après évaluation.

Tout en étant une production écrite raisonnée de forme libre, l'essai doit être lié à des intentions de recherche ou à un problème abordé. Dans un essai, la créativité est mise à profit. Les innovations qui y sont proposées doivent s'appuyer sur des bases solides. L'évaluation d'un travail de fin d'études s'intéressera à ces aspects dans un essai.

En fonction de ces considérations, les différents niveaux de certification sont établis comme suit :

1. Préscolaire et le fondamental I et II

Pour ces niveaux d'enseignement, un diplôme de polyvalence correspondant à une licence sera décerné à tout étudiant, en formation initiale, à la fin de ses études, si les conditions suivantes sont remplies :

- avoir obtenu son attestation de réussite de tous les cours (mention minimale : 6.5/10) ;
- avoir obtenu son certificat de réussite de la formation pratique (mention minimale : 6.5/10);
- avoir obtenu la mention minimale moyenne de 6.5/10.

2. Fondamental III

Pour ces niveaux d'enseignement, un diplôme de bivalence correspondant à une licence sera décerné à tout étudiant, en formation initiale, à la fin de ses études, si les conditions suivantes sont remplies :

- avoir obtenu son attestation de réussite de tous les cours (mention minimale : 6.5/10) ;
- avoir obtenu son certificat de réussite de la formation pratique (mention minimale : 6.5/10) ;
- avoir obtenu la mention minimale de 6.5/10 pour l'essai de fin d'études.

3. Secondaire et Enseignement technique et professionnelle

Pour ces niveaux d'enseignement, un diplôme de spécialisation correspondant à une licence sera décerné à tout étudiant, en formation initiale, à la fin de ses études, si les conditions suivantes sont remplies :

- avoir obtenu son attestation de réussite de tous les cours (mention minimale : 6.5/10) ;
- avoir obtenu son certificat de réussite de la formation pratique (mention minimale : 6.5/10) ;
- avoir obtenu la mention minimale moyenne de 6.5/10 pour l'essai de fin d'études.

4. Personnels d'encadrement

Pour cette catégorie de personnels, un diplôme de spécialisation correspondant à une licence, selon la catégorie d'encadrement, sera décerné à tout étudiant, en formation initiale, à la fin de ses études, si les conditions suivantes sont remplies :

- avoir obtenu son attestation de réussite de tous les cours (mention minimale : 6.5/10) ;
- avoir obtenu son certificat de réussite de la formation pratique (mention minimale : 6.5/10) ;
- avoir obtenu la mention minimale moyenne de 6.5/10 pour l'essai de fin d'études.

Remarque importante : Pour être valides, tous les diplômes doivent être sanctionnés par le Ministère de l'éducation nationale et de la formation professionnelle.

Disposition particulière en cas de formation non complétée

En cas de formation incomplète (abandon, réorientation suivant les passerelles établies et autres), les acquis de formation devraient pouvoir être établis et certifiés pour le nombre de crédits ou le nombre d'heures correspondant. Ces crédits de formation seront considérés capitalisables dans toute autre formation faisant partie du cadre référentiel, notamment pour permettre aux étudiants concernés de poursuivre leurs études.

7.2.2. L'insertion professionnelle

Une préparation des nouveaux enseignants est nécessaire afin qu'il puisse assumer pleinement la responsabilité d'une classe ou l'enseignement d'une discipline. Cette politique introduit la mise en place d'un programme d'insertion ou de formation en milieu de travail, sur une durée d'un (1) an. Chaque diplômé ayant complété sa formation initiale entame la phase d'insertion professionnelle. Elle est considérée comme une étape qui lui permet de débiter dans le métier et de s'adapter à son rôle d'enseignant.

Lorsque les personnels d'encadrement démarrent leur insertion, il est aussi essentiel de leur apporter une supervision et un soutien afin d'assurer l'obtention des résultats satisfaisants.

7.2.3. La formation professionnelle continue et le perfectionnement

Dans le contexte socio-économique actuel en constante mutation, les personnels d'enseignement et d'encadrement en poste, ayant déjà accompli leur formation initiale, ont bien sûr la responsabilité principale de faire apprendre, mais sont aussi dans l'obligation d'apprendre, de manière à pouvoir relever les nouveaux défis. Or, la capacité des établissements scolaires de relever ces défis énormes auxquels ils font face est fortement liée au développement professionnel ou à la professionnalisation de ces personnels. Ils doivent notamment développer des compétences pour préparer les élèves à vivre dans une société du savoir où des compétences diverses et complexes seront de plus en plus exigées des individus, des citoyens et des travailleurs.

Du fait de ces considérations, la formation professionnelle continue, composante qui complète le *continuum*, est vue comme une démarche englobante favorisant une meilleure adaptation des services éducatifs aux défis de l'école d'aujourd'hui et à venir. Elle regroupe l'ensemble des activités de formation poursuivies pendant toute la carrière, inclut la mise à jour des connaissances et la professionnalisation des personnels.

Les compétences exigées pour enseigner sont multiples et se développeront progressivement à travers les étapes du continuum (formation initiale, insertion professionnelle). Elles se consolident dans la pratique du métier. Dès que les compétences de base sont acquises et l'insertion professionnelle devenue effective, l'apprentissage doit se poursuivre dans la pratique avec un retour à des exercices de formation plus structurés.

Il importe d'abord que les activités de formation professionnelle continue soient fondées sur une analyse des besoins collectifs et individuels perçus par les enseignants et les personnels d'encadrement. Cependant, à travers la PNF, le MENFP compte prioriser le choix des

activités à partir d'une vision d'ensemble des principales compétences exigées pour assumer efficacement les tâches complexes confiées aux personnels d'enseignement et d'encadrement. Pour maintenir une meilleure articulation entre formation initiale et formation continue, le cadre référentiel de formation demeure donc la principale boussole de celle-ci tout en considérant les axes de compétence définis, au regard duquel les personnels concernés sont appelés à poursuivre leur professionnalisation. La nature de cette articulation doit être définie eu égard aux finalités de la formation continue qui vise à perfectionner et à renforcer les capacités des personnels par rapport aux innovations.

L'organisation temporelle des activités de formation dépend de besoins identifiés. Dans cette optique, le MENFP définit un cadre ou un plan d'activités annuel de formation continue ou un catalogue de formation dont les périodes de réalisation sont fixées à travers le calendrier scolaire. Pour leur part, les responsables d'établissements scolaires ont la latitude d'offrir des programmes de formation à leurs personnels en fonction des besoins identifiés et exprimés par ces derniers.

Dans tous les cas, les projets de formation professionnelle continue devront être soumis à la DFP afin d'être validés. Les activités de formation seront réalisées par des opérateurs accréditées par le MENFP sur la base d'un ensemble de critères bien définis. Ces opérateurs doivent établir la preuve de leur capacité à conduire des programmes de formation continue, selon les exigences prônées par la DFP.

Tous les personnels en poste doivent atteindre impérativement le niveau de qualification décrit dans le cadre référentiel, au plus tard, au moment de la sortie de la première cohorte de diplômés à partir de la mise en œuvre de cette politique.

Formation continue des personnels d'enseignement/Perfectionnement professionnel

Dans le contexte de la mise en œuvre de cette politique, suite à l'accomplissement de leur insertion professionnelle, les enseignants doivent entrer dans les phases de la formation continue jusqu'à la fin de leur carrière. Il s'agit d'adapter leur préparation à la réalité du métier.

Les orientations de la PNF soutiennent le développement des compétences par les enseignants pour maintenir l'efficacité et la performance dans un cadre en perpétuelle transformation. Le personnel enseignant doit ainsi continuer à développer des connaissances, des habiletés et des attitudes pour participer aux choix pédagogiques de l'école, pour collaborer avec les parents, pour travailler conjointement avec les pairs de son palier d'enseignement.

Il est essentiel que les besoins en développement personnel soient pris en compte dans la planification des projets de formation continue des enseignants. Autrement dit, il est indispensable d'identifier des besoins avec des analyses effectuées par des professionnels. Il faut donc organiser des formations où les enseignants sont demandeurs et où ils s'impliquent en tant qu'acteurs (Des programmes de formation continue qui concordent avec leurs

problèmes et les aident à y trouver des réponses). Pour cela, les contenus de formation doivent être en adéquation avec la pratique quotidienne.

En outre, du fait que le métier d'enseignant fait appel à toutes les facettes de la personnalité de l'enseignant, la formation continue doit l'aider à développer des attitudes, malgré des conditions exigeantes de travail, qui puissent assurer la qualité des relations éducatives avec les élèves.

La PNF encourage également une autre dynamique qui tend à soutenir une participation plus active des enseignants à leur propre formation à partir de certaines modalités qui pourraient être implémentées dans les milieux de travail : autoformation, formation par les pairs, participation à des productions pédagogiques, participation à des projets de recherche-action, échanges à l'aide de l'utilisation des TIC (Forum, réseaux sociaux...), échanges réguliers par le biais de l'équipe-école.

Formation continue des personnels d'encadrement/Perfectionnement professionnel

L'encadrement peut revêtir des formes diverses, notamment le travail individuel avec les enseignants ou l'animation de discussions en groupe. Pour rendre l'encadrement plus efficace et assurer la professionnalisation des personnels d'encadrement, leur formation continue doit leur permettre d'associer l'encadrement à des techniques individualisées et collectives, en vue d'adapter le soutien aux divers besoins des enseignants et les mettre en communauté de pratiques.

Il faudrait aussi que les personnels d'encadrement utilisent systématiquement les outils d'observation et d'évaluation. Ces outils permettent d'évaluer les performances initiales des enseignants avec la participation de ces derniers, de déterminer des lacunes, d'en élaborer un plan d'amélioration et de suivi.

L'utilisation systématique des TIC est très utile pour accroître la fréquence des interactions entre enseignants et personnels d'encadrement. La politique recommande le recours à des outils et supports audio-visuels simples pour travailler avec les enseignants. Des vidéos, des *scénarii* peuvent contribuer à montrer aux enseignants comment réaliser une activité particulière. Les programmes de formation continue doivent prendre également en compte ces aspects dans la professionnalisation des personnels d'encadrement.

Formation continue des personnels en poste

Pour les personnels d'enseignement et d'encadrement qui sont en poste, le MENFP procède à l'institutionnalisation et à l'opérationnalisation des dispositifs de Validation des Acquis de l'Expérience (VAE). Il s'agit de la reconnaissance des compétences des personnels dans leurs domaines d'activités. Ces dispositifs tiennent compte des expériences professionnelles et donnent accès à un certificat ou un diplôme sous certaines conditions. Néanmoins, la VAE n'est pas une simple conversion d'années de travail en un diplôme, il s'agit avant tout d'un

processus d'accompagnement. Les institutions voulant utiliser ce processus doivent détenir une accréditation spécifique y relative.

Le personnel en poste n'ayant pas satisfait aux conditions lui permettant de bénéficier de la VAE sera dirigé vers un programme ciblé de formation. Ce programme de formation sera défini par la DFP et assuré par les institutions et opérateurs accrédités.

Le perfectionnement en tant que requalification/reconversion

La formation continue doit aussi assurer le perfectionnement des personnels sous forme de requalification. En clair, elle veillera à développer également les contenus propres à assurer l'accès à certaines certifications qui ouvriraient à d'autres fonctions dans l'éducation.

Dans cette optique, l'établissement des passerelles est nécessaire afin de mettre en place des structures opérationnelles favorisant les changements d'orientations. En même temps, la formation en cours de carrière doit être reliée à des passerelles internes et externes.

Les passerelles ouvrent aussi la voie à l'accès à des grades supérieurs à ceux qui ont déjà obtenu une licence et qui désirent poursuivre leur perfection en vue de l'obtention d'un diplôme d'études plus avancé dans les systèmes universitaires tant nationaux qu'internationaux.

La reconversion sera possible après au moins cinq années d'exercice du métier initial.

La certification en formation continue

Les certificats et autres diplômes universitaires dans un deuxième domaine des sciences de l'éducation, comme les approfondissements de la compétence pédagogique, sont, de ce fait, reconnus comme étant de la formation continue.

Dans ce cas, les instances certificatives représentent les opérateurs de formation accrédités. Par le biais de la VAE, composante du programme hybride, les concernés obtiendront un diplôme ou titre à finalité professionnelle signé par le Ministre de l'Éducation nationale et de la formation professionnelle. Les titres et diplômes obtenus par le biais de la VAE sont les mêmes que ceux délivrés par la voie de la formation initiale. Le document officiel ne mentionne pas la voie d'accès empruntée.

Un cadre de certification pour la formation continue positionne les certifications relevant des institutions de formation et doit également permettre de prendre en compte la validation des acquis d'apprentissages non formels et informels. Dans le référentiel de certification à construire, les niveaux proposés doivent concerner les résultats, ou acquis d'apprentissages associés ou assimilés aux compétences et non pas le temps passé à apprendre ni le contenu des programmes de formation.

Dans le cadre d'une formation organisée par un partenaire, les certificats délivrés doivent être signés par un représentant autorisé du MENFP pour authentification. Il peut s'agir du Directeur Général, du Directeur de la DFP ou du Directeur Départemental.

VIII. ORIENTATIONS DE LA PNF/PEE EN MATIÈRE DE GOUVERNANCE

La dynamique de changement dans l'éducation due notamment à l'accélération des innovations technologiques et d'autres facteurs d'ordre socio-économique réclame au système de formation, le développement d'une capacité d'adaptation et de flexibilité. En tenant également compte de la perspective récente de la formation tout au long de la vie prônée par le cadre d'Incheon (2015) en tant qu'élément clé pour doter et outiller la société des connaissances et l'aider à s'adapter aux processus rapides de changements technologiques, organisationnels et sociaux, il faut reconnaître que le système de formation se trouve confronté à une complexité sans cesse croissante.

Le fait de pouvoir améliorer les résultats et la qualité de la formation exige des prises de décisions opportunes. Dans ce contexte, la gouvernance acquiert la plus grande importance pour sa contribution à mettre en lumière le fonctionnement de la prise de décisions et des interrelations entre les différents éléments composant la gestion du système. Il est indispensable de générer un ensemble de critères de référence permettant une bonne gouvernance du système. Les prises de décisions doivent être fondées sur la participation, le consensus, la vision stratégique, la cohérence et la responsabilité.

Le MENFP, en tant qu'organe régulateur de la formation, oriente les prises de décisions en fonction du cadre établi dans une optique d'efficacité et d'efficience, d'équité et d'impartialité. Le rôle des acteurs impliqués pourraient comprendre la participation, la responsabilité, la redevabilité, la transparence et l'équité.

Une pratique de la reddition de comptes ainsi que la diffusion des résultats à tous les niveaux de la chaîne, des directions techniques en passant par les Directions départementales jusque dans les écoles, devra être rendue effective. De ce point de vue, les structures centrales et déconcentrées du MENFP joueront un rôle primordial dans la mise en œuvre de la PNF. Pour cela, ils doivent être dotés de ressources financières adéquates assorties de mécanismes de reddition des comptes, en plus de ceux qui sont déjà établis dans l'administration publique.

De même, il faudra envisager de :

- renforcer le partenariat regroupant les autres instances d'État concernées par la PNF, le secteur non public de l'éducation, la société civile et les partenaires techniques et financiers, les partenaires sociaux et opérationnels ;
- renforcer la gestion déconcentrée de la formation à travers les DDE conjointement avec les UPR, où leurs rôles et responsabilités sont clairement identifiés et définies ainsi que les domaines de collaboration entre eux sont délimités pour faciliter des prises de décisions efficaces et efficientes ;

Par ailleurs, les investissements accordés à la formation se justifieront dans la mesure où le MENFP s'applique à les mettre en étroite interaction avec les besoins de professionnalisation et répondent aux demandes venant du secteur de l'éducation.

A cet égard, il sera capital de faciliter le financement du système de formation par la mise en place d'un fonds, en impliquant les communautés et les partenaires à la mobilisation, à l'allocation équitable des ressources et à la systématisation de la reddition des comptes dans toutes les structures de formation.

La professionnalisation des personnels d'enseignement et d'encadrement, susceptible de mobiliser différents acteurs, est à priori complexe. Le niveau central, le niveau déconcentré, les universités, les institutions formation sont habilitées à intervenir dans ce processus. Il faut donc que les rôles et responsabilités de chacune de ces entités soient également définies et clarifiées pour que la gouvernance globale du système de formation soit bien assurée.

Au demeurant, le MENFP, relativement à la gouvernance du système de formation fixe un cadre analytique permettant une meilleure connaissance du fonctionnement de ce système, tout en créant un consensus autour des critères destinés à générer les meilleurs résultats souhaités à l'aide des ressources disponibles.

IX. RECHERCHE-ACTION, CAPITALISATION ET VULGARISATION DES RÉSULTATS

La recherche action consiste en la mise en place d'une série d'innovations introduites dans des contextes ciblés où est engagée une démarche de recherche ayant pour finalité non seulement d'obtenir des résultats dans l'action elle-même, mais aussi des données analysées et interprétées, communicables aux partenaires et aux décideurs. Le modèle à privilégier sera celui de résolution de problèmes, en vue de concorder les pratiques de terrain avec les théories de la recherche. Ce modèle, conduit en équipe, est basé sur des expérimentations participatives permettant de garantir des résultats concrets et crédibles ainsi que des informations et des enseignements fiables.

L'une des fonctions de la recherche-action est de constituer une série d'études susceptibles de capitaliser les acquis et de consolider par conséquent les initiatives innovantes réussies et d'importance.

Dans cette perspective, le MENFP motivera l'implication de chercheurs, des Universités et de centres spécialisés dans la conception, le suivi et la capitalisation des bonnes pratiques développées dans le cadre des initiatives de recherche-action. Cette option peut contribuer à la régulation des actions en cours de processus, de capitaliser les leçons apprises et de les diffuser pour étendre toutes les expériences pratiques.

X. SUIVI ET ÉVALUATION DE LA PNF

Le suivi-évaluation de la formation s'intéresse à la prise d'informations sur les actions, les projets et le fonctionnement du système pour renforcer la conduite de ses évolutions et y apporter les redressements nécessaires. L'implantation de nouvelles pratiques de suivi-évaluation interne et externe, diagnostiques et régulatrices devient donc impérative pour gérer de manière optimale la conduite des plans et programmes de formation et la réalisation des activités de recherches-action.

En intégrant systématiquement à l'action des instruments de suivi-évaluation, il sera possible de promouvoir de nouvelles attitudes plus objectives et rationnelles. Plus précisément, chaque plan, programme ou projet de formation devra être assorti d'un dispositif de suivi-évaluation permettant de faire les réajustements périodiques nécessaires. Il tiendra compte des mécanismes de certification, de diplomation ou d'équivalence des compétences acquises, établies afin de les affiner dans le temps et les adapter à la réalité et aux besoins du secteur de l'éducation.

Le MENFP est appelé à introduire des contrats de performance à tous les niveaux du système, en exigeant l'utilisation d'une approche axée sur les résultats pour le suivi de la politique de formation tant au niveau stratégique qu'opérationnel.

XI. LISTE DES DOCUMENTS CONSULTÉS

CANTAVE Tony et al., *Référentiel de l'enseignant à l'école fondamentale* (1er et 2eme cycle): *programme de formation à distance*, Port-au-Prince, GRAAH- GRIEAL, Mars 2013, 25 P.

MENARD E. Trouillot, « Cahier thématique-condition des femmes haïtiennes : L'éducation en Haïti : inégalités économiques et sociales et question de genre. La femme dans l'enseignement supérieur », *Haïti Perspectives*, vol. 2 no3, Automne 2013, pp 35-39.

MENFP, *Haïti : l'éducation en chiffres, Résultat du Recensement Scolaire. 2015-2016*, 3 p.

MENFP, *Plan Opérationnel 2010-2015 : Des Recommandations du Groupe de Travail sur l'Éducation et la Formation*, Port-au-Prince, Janvier 2013, 150 p.

MENFP, *Politique Nationale de Formation des Enseignants/es et des Personnels d'Encadrement (PNF/EPE)*, Mars 2016, 54 p.

Ministère de l'Éducation Nationale et de la Formation Professionnelle, *La stratégie nationale d'action pour l'éducation pour tous*, Port-au-Prince, septembre 2007.

Ministère de l'Éducation Nationale et de la Formation Professionnelle, *Plan national de formation*, Port-au-Prince, 2002.

Ministère de l'Éducation Nationale et de la Formation Professionnelle, *Plan national de formation des personnels de l'enseignement fondamental*, Port-au-Prince, 1997.

Ministère de l'Éducation Nationale et de la Formation Professionnelle, *Plan national d'éducation et de formation*, Port-au-Prince, 1997.

Ministère de la Planification et de la Coopération Externe, *Plan stratégique de développement d'Haïti, pays émergent en 2030*, Port-au-Prince, Mai 2012.

PARIAT Marcel ; LAFONT Pascal, *Plan stratégique de développement des conditions d'expérimentation et d'institutionnalisation des dispositifs de Validation des Acquis de l'Expérience Professionnelle au service des citoyens et de l'Etat d'Haïti*, Port-au-Prince, Avril 2013, 31 p.

TOUSSAINT Pierre, *Plaidoyer pour une éducation à la petite enfance en Haïti: Cahier thématique – Politique de la petite enfance et développement*, *Haïti Perspectives*, vol. 2 •no4 •, Maison Henry Deschamps, Port-au-Prince 2014, 34 p.

UNESCO, *Déclaration d'Incheon et Cadre d'action*, République de Corée, 21 mai 2015, 85 p.

UNESCO, *l'enseignement et la formation techniques et professionnels*, (EFTP) (2016-2021), Paris, 2016, 14 p. / <http://vecto2000.com/earth-vector/> (édité lors de la composition)

Articles

MENFP, 2002, Description des emplois génériques du personnel d'encadrement, des commissions scolaires

MENFP, *Haïti : l'éducation en chiffres*, 2015-2016

Webographie

- www.unicef.org/haiti/french/children_8837.htm

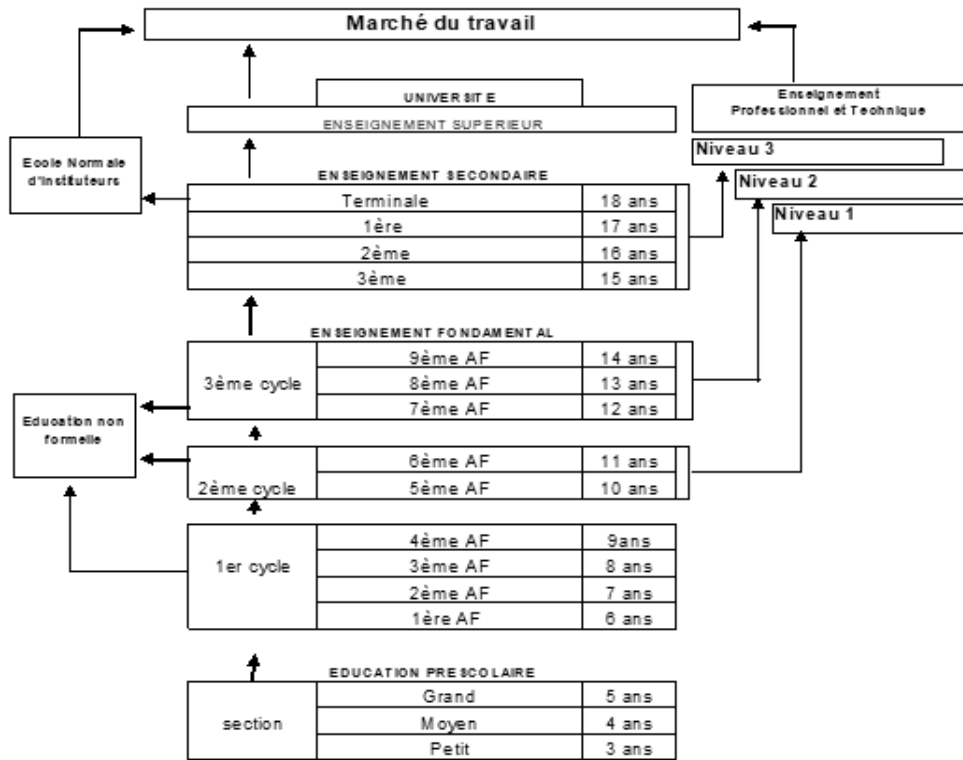
- menfp_Depliant_Scolaire_1516_avril2017_Draft_2
webographie

1- www.unicef.org/haiti/french/children_8837.htm

2- *Depliant_Scolaire_1516_avril2017_Draft*

XII. ANNEXES

ANNEXE I : Schéma



ANNEXE II : Formation de courte durée dispensée dans les FSE.

1. Enseignement préscolaire-primaire	7. Certificat en Pédagogie générale
2. Enseignement des sciences naturelles (chimie – biologie)	8. Certificat en enseignement du français et du créole
3. Certificat en Enseignement des mathématiques et de la physique	9. Certificat en Éducation des adultes
4. Certificat en Enseignement des sciences sociales (histoire et géographie)	10. Certificat en Technologies de l'éducation, et
5. Certificat en Enseignement des lettres et littératures	11. Certificat en Pédagogie Montessori.
6. Certificat en Enseignement des langues vivantes (espagnol et anglais)	12. Certificat en Administration scolaire

ANNEXE III : LISTE DE PRÉSENCE

LIEU : VILLAGE D'ENNERY

DATE LE 3 AOUT 2017 ;

Atelier sur la finalisation des documents de la politique nationale de formation des enseignants et des personnels d'encadrement

N°	NOM	PRENOM	FONCTION
1	CHERY	Jean-Claude	Directeur
2	JOSEPH	Gustave	Inspecteur General
3	MUTHONI	Wanjira	Spécialiste ENS. Sup. /FP
4	BRUNI	Daniela	Spécialiste de programme
5	ST JOUR	Claudin	Membre du Cabinet
6	JOSEPH	Lourdes Edith	Membre du Cabinet
7	PHANORD	Antoinia	Technicienne DCQ
8	ROBLAIN	Yves	Directeur DPCE
9	ESTIGENE	Emilio	Chargé de mission
10	JEAN FRANCOIS	Cirta	Chef de Service
11	BOURGEAU	Yves-Gerald	Technicien
12	DERUISSEAUX	Jn Gaspard	Assist.Directeur
13	VANDAL	Marie Yolaine	Directrice BUGEPP
14	JOSEPH	Regel homme	Assist.Directeur
15	VIXAMAR	Etzer	Directeur .ADJ
16	ETIENNE	Damus	Coord.Adj
17	LOUIS JEUNE	Brigade	Technicien Sénior I
18	SONY	Porcenat	Technicien Sénior II
19	FRANCK	Georges Wilbert	Technicien Senior I
20	CHARLES	Volvick Germain	Directeur DAEP
21	JOSEPH	Carl Henry	Chef de Service
22	LAROCHE	Alix	Responsab. de Section B/Com
23	DOMINIQUE	Sherley	
24	DESIR	Carène	
25	MIGUEL	Fleuri jean	Assist.Directeur DES
26	NICOLAS	Aky Alix	Directeur DCQ
27	ELIE	Weed-Leine Jasmine	Technicienne DG
28	DESINORD	Amente	Technicienne DG
29	COLAS	Jean François	Technicien
30	MASSENA	Jean Renaud	Radio Educative

31	SAINT-VIL	Eudes	Technicien
32	BLANTRISSE	Jean Berthony	Technicien UTICE
33	FRANCOIS	Melissa	Secrétaire USI
34	ALEXIS	James	Technicien
35	CADEAU	Lovely	Technicienne
36	BONNEFIL	Ernst	Directeur
37	JEAN BAPTISTE	Pierre	Ass.Directeur
38	JOSEPH HENRY	Marie Claire Nadine	Directrice
39	ATIS	Jean Gualbert	Ass.Directeur DAEPP
40	ALUC	Jean Barthol	Coordonnateur USI
41	PIERRE	Cénatus	Coord. Général Ens.et qualité
42	DUCARMEL	Lunes	AECID/PREMOSE
43	PIERRE BREDY	Etienne	Consultant
44	PAUL	Reginald	Consultant
45	FLEURANT	Joseph Rood Karll	Directeur DFP
46	JOSEPH	Junior	DRH
47	JOSEPH	Jose	DRH
48	DULIEPRE	Jean Lucien	Membre du cabinet
49	JANVIER	Louis Pierre	Directeur CASAS
50	PAUL	Yves Fausner	Directeur DESRS
51	CHARLES	Jean Michel	UNESCO
52	MESILAS	Maxime	Directeur DES
53	JEAN	James Wans	Tech. Senior II
54	LATORTUE	Hérol	UCDDE/ coordonnateur
55	ESTRIPILET	André Louis Samuel	Directeur CFCE
56	METELLUS	Denes	Coord. Général
Directeurs Départementaux			
57	JOSEPH	Odel	Directeur Dép. / Nippes

58	DORVAL	Jean Millord	Directeur Dép. /Sud
59	PIERRIN	Thervil	DDA /Ouest
60	JULSAINT	Mulatre	DDE-Centre
61	JEAN	Lionel Guivard	DDA /Sud-est
62	DORVILLE	Jasmin	Directeur Adj. /Nord
63	RENOIT	Écol	DDE-Art
64	FELIZAIRE	Yves	DDE-Nord-Ouest
65	JACQUES	Fritz	DDENE
66	DAUPHIN	Jean Erneseau	DDE-GA

ANNEXE IV : LISTE DE PRÉSENCE

LIEU: ROYAL DECAMEROUN DATE: DU 12 AU 14 NOVEMBRE 2017

No	NOM	PRENOM	ENTITE	TITRE
1	JOSEPH	Lourdes Edith	Cabinet	Conseillère
2	FATAL	Joseph Gamaliel	DFP	Ass.Directeur
3	PIERRE	Cénatus	DG	Coord. Général
4	NICOLAS	Aky Alix	DCQ	Directeur
5	DUBOIS	Marie Zulda	DFP	Chef de Service
6	ROBLIN	Yves	DPCE	Directeur
7	TELUSMA	Marie Marjorie	BUGEP	Direc-Adjoint
8	ETIENNE	Pierre Bredy	UNESCO	Consultant
9	BOURSIQUOT	Nehemie	DG	Technicienne senior
10	CHARLORIN	Cajuste	INFP	Directeur Planification
11	TELFORT	Renold	UNESCO	Consultant
12	FLEURANT	J. Rood Karl'l	DFP	Directeur
13	PAUL	Reginald	UNESCO	Consultant
14	BRUNI	Daniela	UNESCO	Specialiste de Programme
15	CHARLES	Jean Michel	UNESCO	Coordonnateur
16	FRANCK	Georges Wilbert	DFP	Technicien senior

*Politique Nationale de Formation des Personnels d'Enseignement et d'Encadrement
(PNF/PEE) : Document d'orientations*

17	ESTIGENE	Emilio	DFP	Charge de mission
18	JEAN FRANCOIS	Cirtha	DFP	Chef de Service
19	JN FRANCOIS PIERRE	Marie Philienne	DFP	Technicienne senior

No	NOM	PRENOM	ENTITE	TITRE
1	JOSEPH	Loures Edith	Cabinet	Conseillère
2	FATAL	Joseph Gamaliel	DFP	Ass.Directeur
3	PIERRE	Cénatus	DG	Coord. Général
4	NICOLAS	Aky Alix	DCQ	Directeur
5	DUBOIS	Marie Zulda	DFP	Chef de Service
6	ROBLIN	Yves	DPCE	Directeur
7	TELUSMA	Marie Marjorie	BUGEP	Direc-Adjoint
8	ETIENNE	Pierre Bredy	UNESCO	Consultant
9	BOURSIQUOT	Nehemie	DG	Technicienne senior
10	CHARLORIN	Cajuste	INFP	Directeur Planification
11	TELFORT	Renold	UNESCO	Consultant
12	FLEURANT	J. Rood Karl	DFP	Directeur
13	PAUL	Reginald	UNESCO	Consultant
14	BRUNI	Daniela	UNESCO	Specialiste de Programme
15	CHARLES	Jean Michel	UNESCO	Coordonnateur
16	FRANCK	Georges Wilbert	DFP	Technicien senior
17	ESTIGENE	Emilio	DFP	Charge de mission
18	JEAN FRANCOIS	Cirtha	DFP	Chef de Service
19	JN FRANCOIS PIERRE	Marie Philienne	DFP	Technicienne senior

16. エンドライン・テスト実施要領

ハイチ国「算数副教材作成支援プロジェクト」

エンドライン・テスト実施要領

2019年4月

実施日時（要調整）：2019年5月5日～10日

実施場所：中央県アンシュ市、ミルバレ市、トモンド市、マイサッドゥ市、セルカ・カヴァジャール市、トマシーク氏、セルカ・ラ・ソース市、ソードオウ市、ラスカホバス市、ベラデール市

実施者：プロジェクト・メンバー

教育省：教育と質総合調整官、国家試験局(BUNEXE)局長、DEF 局長と職員、DCQ 局長と職員、DFP 局長と職員、中央県教育局(DDE-C)職員、日本人専門家、ハイチ人アシスタント。

協力者：中央県教育局(DDE Centre)：教育局長、視学官、調整官、指導主事、調査対象校校長と教員

教育省：次官・総局、基礎教育教員養成校(CFEF)

調査対象校：計 16 校（中央県アンシュ市内公立校 3 校（大中規模校、うち 1 校は市街からやや外れに所在）、非公立校 1 校（中規模校）、アンシュ市郊外公立校 2 校（大中規模校）、トマシーク・セルカラソース学区公立校 2 校（大中規模校）、マイサッドゥ学区公立校 1 校（中規模校）、ミルバレ市内公立校 1 校（大中規模校）、ミルバレ市郊外 2 校（中規模校）、ミルバレ市内非公立校 2 校（小中規模校）、ラオスカホバス・ベラデール学区公立校 2 校（大中規模校））

	公立校 (大中規模校)	非公立校 (小中規模校)
西県ポルトープランス	5 (①②③④⑤) 下記手順に対応	
中央県アンシュ学区市内	3 (⑥⑦⑪)	1 (⑧)
中央県アンシュ学区郊外	3 (⑨⑩⑰)	
中央県ミルバレ学区市内	1 (⑫)	2 (⑭⑮)
中央県ミルバレ学区郊外	2 (⑬⑳)	
中央県トマシーク・セルカラソース学区内	2 (⑯⑱)	
中央県ラスカホバス・ベラデール学区内	2 (⑲⑳)	

対象人数：960 人＝各学校小学 1 年生から 6 年生まで、各学年（各クラス）10 名ずつ（男女 5 名ずつ）無作為抽出（10 人 x 6 学年 x 16 校）

5月5日 (日)	5月6日 (月)	5月7日(火)	5月8日 (水)	5月9日(木)	5月10日 (金)
全チーム	全チーム	チームA ① アンシユ・サ ン・トルベル チユール 国民学校	全チーム	チームA ⑪ セルカ・ カヴァジャ ール 国民学 校	全チーム
中央県へ移 動	中央県教 育局にて 打合せ	チームB ② インマ キユレ・ コンセブ シオン 国民学校	チームE ⑧ トリア ノ 国民 学校	チームB ⑫ トマシー ク 国民学校	チームE ⑯ ソーッ ド オウ・ギヤ ル 国民 学校
アンシユ着		チームC ③ ノート ルダム・ デュ・サ ンテス リ校	チームD ⑦ ルシア ン・エス テイメ 国民学校	チームC ⑬ セルカ・ ラ・ソース 国民学 校	
準備	児童リスト 回収・確 認、準備	車両1 ④ マイ・サ ッドウ・ア ンリ・ク スト 国民学 校	車両4 ⑨ ミルバ レ・サ ン・ピエ ール校	車両2 ⑫ トマシー ク 国民学校	車両5 ⑯ ソーッ ド オウ・ギヤ ル 国民 学校
		車両2 ⑤ マリ ー・オー グズリア トリ 国民学 校	車両5 ⑩ ミルバ レ・ブレ スピテ ラ ル・サン ルイ校	車両3 ⑬ セルカ・ ラ・ソース 国民学 校	
アンシユ泊	アンシユ または ミルバレ 泊	車両6 ⑥ ギ・マ ラリー 国民学 校 前校	アンシユ または ミルバレ 泊	車両4 ⑭ ベラデー ル・アン ノ・フィ ルマン 国民学 校	アンシユ または ミルバレ 泊
				車両6 ⑰ アスカ ホバス・ トゥサ ン・ルベ ル 国民学 校	
		アンシユ泊	アンシユ または ミルバレ 泊	アンシユ泊	
					アンシユ または ミルバレ 泊

テストの採点：

5月13日(月)	5月14日(火)	5月15日(水)	5月16日(木)	5月17日(金)
	テスト採点	テスト採点	テスト採点	振り返り、取り まとめ
中央県からの採 点官首都へ移動	採点結果データ 入力	採点結果データ 入力	採点結果データ 入力	中央県からの採 点官中央県へ戻 り

チームA	チームB	チームC	チームD	チームE
M. Cénatus PIERRE (総監督官)	Mme. Nadine HENRY (総監督官)	M. Aky Alix NICOLAS (総監督官)	M. Renan MICHEL (総監督官)	M. Pierre JEAN- BAPTISTE (総監督官)
Mme. Catheline Désir HERARD	M. Edgard Anthony JEAN	M. Miguel FLEURJEAN	M. Emilio ESTIGENE	Mme. Michelle MONTALAIS

ルウ	ルウ	ルウ	ルウ	ルウ	M. MACKENSON DESCOLLINES DEF
Inspectrice Marie Michéelle GÉRALDIE SAINT-JEAN DDE Centre	Inspecteur Wilson Louis DDE Centre	Inspecteur Marnès JUSTINE Enel THIMO DDE Centre	Inspecteur Yvon PICOT Inspecteur Friznel VALCIN DDE Centre	Inspecteur Pierre Rigaud DUBUISSON Christaniel ISSALEM DDE Centre	

教育省運転手：

教育省協力者

M. Jean Quénine FELIX (車両 1)

M. Meniol JEUNE (DG)

M. Wilner JOSEPH (車両 2)

M. Etzer VIXAMAR (DFP)

M. Friznel DERIBERT (車両 3)

M. Sadrac THOEDOER (RTE)

M. M. Emmanuel CHARLITE (車両 4)

Mme. Glacia REZEAU (DCQ)

M. Pierre JEAN-BAPTISTE (車両 5)

Mme. Atsuko YONEZU (JICA)

JICA プロジェクトチームメンバー：

M. Christhonne BARREAU (車両 6)

M. Robenson SANON

M. Renel VALCOURT (身辺警護員)

M. Kenichi TSUNODA

(M. Norito MITSUNAGA : データ処理)

試験概要：

- 1) 2～6年生には、前学年までのカリキュラム習得内容とする。1年生については当該学年の既習単元とする。
- 2) 設問は、図形などの問題を除いて四択式とする（ベースラインテストと全く同じ設問）。
- 3) 問題数は20～25問。1問1点とし、正答率（正答数／総問題数 x 100%）で得点を出す。
- 4) 試験時間は、1、2年生は20分とするが、一問一問クレオール（現地語）による口頭説明がないと答えられないため、実際は40～60分要する。3～6年生は40分とするが、3、4年生は試験開始時にクレオールによる口頭説明を行ってから始めるので、やはり60分要する。また、教育省は、ベースライン時と同様、子供達の家庭環境調査を実施するので（当プロジェクトとしては必ずしも必要としない）、実際はどの学年も60分以上を要する。
- 5) 各学年（クラス）10名ずつ無作為で抽出し（男女5名ずつ）、別教室を確保して試験をする。カンニング防止のため、違う学年の児童を間に挟んで行うようにする。
- 6) 試験監督は、各部屋2～3名。教育省員、中央県視学官・指導主事が行う。
- 7) 採点を、5月13日の週に光長専門家指導・監督の下、教育省員、中央県視学官・指導主事が行う。5月中旬に暫定結果を関係者官で共有。その後5月～7月にかけて現地コンサルタント、並びに光長専門家が帰国後分析を行い、8月に現地報告会開催予定。

必要予算（分析結果報告共有セミナー費用は除く）：教育省員の出張旅費、テスト用紙代、コピー代、筆記用具代等（約300万円）。

以上。

17. 光長専門家第8回業務結果報告書

ハイチ国
算数副教材作成支援プロジェクト(算数教育／教材作成)
現地業務結果報告書
(第8次派遣)

1. 専門家氏名 光長 功人
2. プロジェクト名 算数副教材作成支援プロジェクト
3. 指導分野 算数教育／教材作成
4. 派遣期間 2019年5月11日～2019年6月4日
5. 本邦所属先 株式会社 アイリンク
6. 供与・携行機材 なし
7. 専門家活動内容と成果達成状況

(1) 派遣期間の主なスケジュール

5月	10日 本部説明会(中島特別嘱託、梯職員、柴田職員、村田専門員) 11日 羽田発 12日 ポルトープランス着 プロジェクト専門家と協議 13日 最終試験採点準備、採点スタッフとの打ち合わせ 最終試験採点、入力、集計、BLS(ベースライン試験)ならびにMTS(中間試験)との比較分析 30日 教育省技官(DCQ)との結果共有 報告書作成、支所報告(ドミニカ共和国大塚次長同席) 31日 大使館報告
6月	2日 ポルトープランス発→マイアミ→ロサンゼルス泊 3日 ロサンゼルス発 4日 羽田着 6日 本部報告会(森下次長、小塚課長、梯職員、柴田職員、村田専門員、又地専門員、国枝専門員、水野専門員、森田職員、森本職員、吉田ジュニア専門員)

詳細は、添付資料1:「業務日程表」の通り

(2) 業務内容の確認

現地業務開始時に、プロジェクト専門家と協議し、業務内容について確認した。

(3) 業務内容

①最終試験(ELS)の採点と分析

到着前週の5月5日の週に中央県で最終試験は実施された。当初、懸念されていた道路封鎖やデモなど業務に支障をきたすような治安状況の悪化はなく、滞りなく、本専門家は予定業務を開始できた。

BLS、MTSにハイチ国教育省側の意向で実施した生活調査については、質問の意図を理解できない生徒に口頭で説明するなどの手間がかかる反面、回答への信憑性も弱く、また試験結果との相関がはっきりと見られるものではなかったため、ELSでは実施しなかった。

★最終試験の採点準備、採点スタッフとの打ち合わせ

BLS、MTS同様、選択式の問題で記述式のように答えを書くだけで選択肢を選んでいないときは、書いた答えを尊重すること、複数の選択肢を選んでしまったりしている場合は不正解とするなどの採点基準を確認した。詳細は、「添付資料2 採点基準例」を参照。

②結果

★全体

全体で、副教材導入前に比べて、14ポイント(34%→48%)改善された。

対象 16 校	平均正答率	t 値
副教材導入前	34%	13.14***
副教材導入後	48%	

t 値は配布前と配布後の平均の差の検定の統計量。***は 1%水準で統計的に有意。

以下、2017年にBLSから試験を実施した学校(10校)については、2017年と2019年を比較、2018年にMTSから試験を実施した学校(6校)については、2018年と2019年を比較した。

全ての導入校で、成績が改善された。

★学校別

2017年BLSから試験実施した学校 2018年MTSから試験実施した学校

	Ecole		Myn		Ecole		Myn
1	Guy Malary	2017	33%	1	Anténor Firmin de Belladère	2018	33%
		2019	44%			2019	45%
2	Toussaint Louverture de Hinche	2017	31%	2	Thomassique	2018	21%
		2019	51%			2019	51%
3	Saint-Esprit	2017	55%	3	Garçons de Saut d' Eau	2018	32%
		2019	61%			2019	48%
4	Trianon Mirebalais	2017	24%	4	Henri Christophe de Maïssade	2018	34%
		2019	37%			2019	39%
5	Marie Auxiliatrice de Thomonde	2017	57%	5	Los Posos Cerca la Source	2018	23%
		2019	78%			2019	35%
6	Luciene Estimé	2017	30%	6	Toussaint Louverture de Lascahobas	2018	31%
		2019	49%			2019	51%
7	Immaculee Conception	2017	36%				
		2019	39%				
8	Cerca Cavajal	2017	32%				
		2019	40%				
9	Saint Louis Mirebalais	2017	38%				
		2019	55%				
10	Saint Pierre Mirebalais	2017	42%				
		2019	45%				

t 値は導入前と導入後の平均の差の検定の統計量。***は 1%、**は 5%水準で統計的に有意。

黄色は、20ポイント以上の成績改善が見られた箇所(以下同様)

・20ポイント成績が改善している学校

MA Thomondo (57%→78% 21ポイント改善)

Thomassique (21%→51% 30ポイント改善)

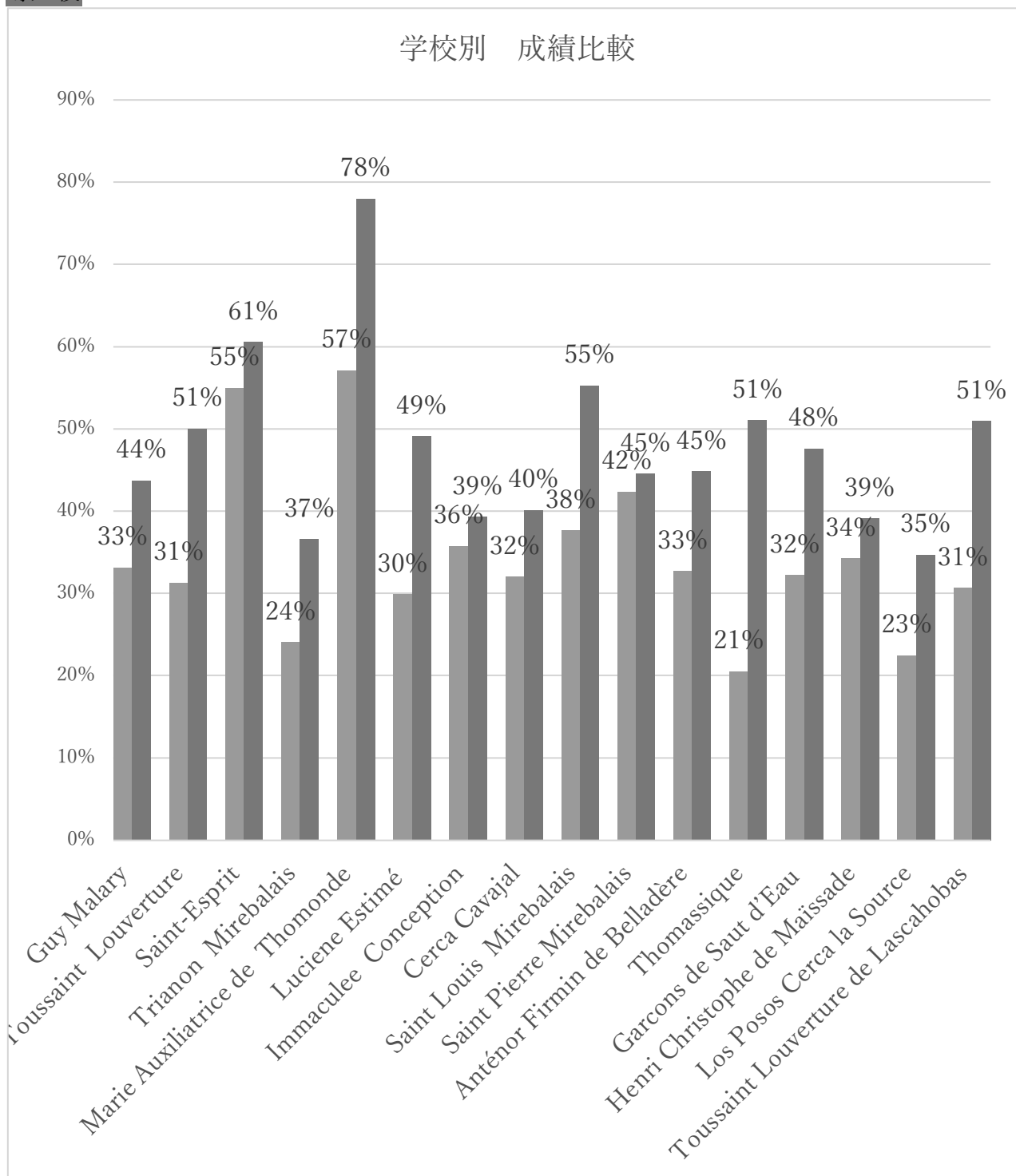
Toussaint Louverture de Lascahobas (31%→51% 20ポイント改善)

Toussaint Louverture de Hinche (31%→51% 20ポイント改善)

なお、Luciene Estimé (30%→49% 19ポイント改善)も、大きく改善された。

導入前

導入後



20ポイント以上の改善が見られた学校の主な理由を以下の通り考察した。

・MA Thomondo : 当初から全支援対象校中最も優れた学校であったが、後述のように校長の強いリーダーシップの下、既に使い始めて2年目となる副教材の実践を徹底させたことが今回の上昇の主要因と考えられる。また模擬試験の結果、2月にとりわけ弱点・改善すべき単元を校長および各担任に本専門家から助言できたことが大きかったと考える。

・Thomassique : 昨年のテスト結果が思わしくなかったため、今学期中意識してこまめにモニタリング訪問し、教員や生徒を支援したことが結果に結びついたと考える。また、治安悪化による避難一時帰国となる前の2月に、模擬試験を同校で実施でき、校長および各担任に弱点・改善すべき単元を助言し、奮起を促せたことが大きかったと考える。

・Toussaint Louverture de Lascahobas : 1月に、それまでの副教材の活用状況の鈍さを校長と担当視学官に伝え、奮起を促したことが今回の結果に功を奏したと考える。

・Toussaint Louverture de Hinche: 校長と教頭のリーダーシップの下、各教員も副教材活用2年目で、モニタリング訪問する度に教員の活用技術が上がっていることを確認していた。こうした日頃からの積み重ねの努力が結果につながったと考える。

・Luciene Estimé : 2018年9月(新学期)に校長が交代した際、プロジェクトについて説明し、理解と協力を得たことで、2年目も継続して副教材を活用できたことが大きかった。また、1年目研修に参加できなかった教師を2年目の追加研修に参加させ、モチベーションを高めたことも効果的であったと考える。

★学年別

全ての学年で、成績が改善された。

導入校 16校	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	Myn
Avant	47%	27%	27%	37%	35%	34%	34%
Après	59%	46%	47%	47%	43%	46%	48%
t 値	4.01***	7.64***	8.62***	3.91***	3.47***	6.34***	

t 値は配布前と配布後の平均の差の検定の統計量。***は 1%、**は 5%、*は 10%水準で統計的に有意。

2年生、3年生で全体平均(14ポイント)より成績が改善されている(赤字)。

4年生、5年生で全体平均(14ポイント)ほどは成績改善が及ばなかった(改善はしている)(青字)。

上記結果から、中央県の導入校で BLS、ELS を実施した首都の公立校を凌ぐレベルまで平均が上がったことがわかる

首都 未配布校 5校	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	Myn
Avant	55%	36%	42%	52%	41%	31%	43%
Après	50%	37%	51%	57%	46%	40%	47%

★クラス別

学年	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
20 ポイント以上改善したクラス数(全 16 校中)	5 校	7 校	9 校	5 校	2 校	3 校

顕著な改善は、どの学年でも一定数見られたが、特に、2 年生、3 年生でより多く見られた。

★学校別、学年別

TOTAL		1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	oyen
1 Guy Malary	2017	44%	24%	39%	36%	26%	29%	33%
	2019	45%	36%	49%	54%	40%	39%	44%
2 Toussaint Louverture	2017	54%	31%	20%	24%	33%	26%	31%
	2019	59%	53%	51%	47%	44%	46%	50%
3 Saint-Esprit	2017	53%	51%	51%	55%	52%	68%	55%
	2019	63%	53%	60%	68%	66%	53%	61%
4 Trianon Mirebalais	2017	38%	11%	16%	30%	23%	27%	24%
	2019	73%	15%	39%	27%	33%	33%	37%
5 Marie Auxiliatrice de Thomonde	2017	83%	44%	46%	65%	58%	46%	57%
	2019	86%	72%	75%	69%	75%	92%	78%
6 Luciene Estimé	2017	33%	27%	15%	41%	42%	22%	30%
	2019	48%	43%	50%	69%	45%	40%	49%
7 Immaculee Conception	2017	63%	35%	16%	31%	40%	30%	36%
	2019	53%	29%	45%	46%	25%	40%	39%
8 Cerca Cavajal	2017	53%	19%	20%	32%	31%	38%	32%
	2019	54%	71%	35%	31%	25%	25%	40%
9 Saint Louis Mirebalais	2017	39%	20%	26%	43%	54%	45%	38%
	2019	63%	48%	54%	49%	61%	58%	55%
10 Saint Pierre Mirebalais	2017	58%	27%	43%	45%	50%	32%	42%
	2019	40%	28%	56%	59%	40%	45%	45%
TOTAL		1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	oyen
1 Anténor Firmin de Belladère	2018	48%	32%	30%	34%	29%	24%	33%
	2019	53%	35%	40%	44%	50%	48%	45%
2 Thomassique	2018	15%	24%	7%	34%	18%	26%	21%
	2019	71%	76%	42%	37%	40%	40%	51%
3 Garçons de Saut d'Eau	2018	37%	29%	35%	27%	35%	31%	32%
	2019	74%	52%	41%	51%	30%	38%	48%
4 Henri Christophe de Maïssade	2018	63%	22%	32%	35%	24%	30%	34%
	2019	58%	39%	28%	32%	38%	41%	39%
5 Los Posos Cerca la Source	2018	43%	22%	6%	24%	15%	26%	23%
	2019	58%	28%	32%	21%	25%	45%	35%
6 Toussaint Louverture de Lascahobas	2018	26%	18%	29%	37%	38%	37%	31%
	2019	47%	50%	56%	57%	44%	53%	51%

De 2017


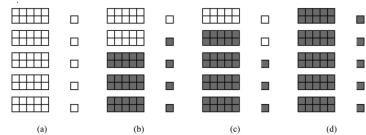
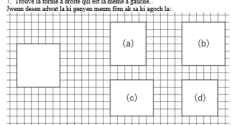
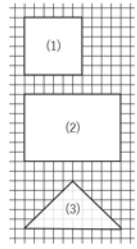
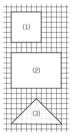



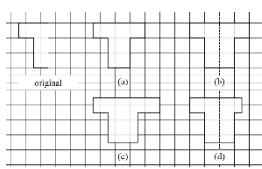
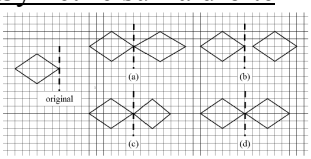
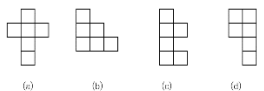


De 2018



★問題別

「学年別分野別正答率比較」で確認すると、下記の問題で成績の著しい改善が認められた。

1 年生	2 年生	3 年生
<p><u>Notion de numéro</u></p>  <p>56%→79%</p>	<p><u>Compter l'argent</u></p> <p>10G 10G 10G 10G 10G 34%→62%</p> <p>10G 10G 10G 10G 1G 1G 1G 1G 1G 28%→54%</p> <p><u>Notion de dizaine</u></p> <p>2. Entoure le dessin qui a 34 carrés. Autour des carrés qui forment 34 carrés.</p>  <p>(a) (b) (c) (d)</p> <p>23%→47%</p> <p><u>Identifier le carré</u></p> <p>7. Trouve la forme à droite qui est la même à gauche. Trouve dans chaque la figure la même que celle à gauche.</p>  <p>(a) (b) (c) (d)</p> <p>28%→59%</p> <p><u>Nommer les figures</u></p>  <p>(1) 27%→49%</p> <p>(2) 14%→43%</p> <p>(3) 18%→48%</p>	<p><u>Compter l'argent</u></p> <p>100G 10G 10G 30%→64%</p> <p>100G 100G 100G 10G 10G 10G 10G 1G 1G 28%→63%</p> <p><u>Addition, soustraction</u></p> <p>(1) $7 + 94 =$ 40%→63%</p> <p>(4) $101 - 3 =$ 11%→36%</p> <p><u>Nommer les figures</u></p>  <p>(1) 44%→61%</p> <p>(2) 31%→56%</p> <p>(3) 30%→53%</p> <p><u>L'heure</u></p>  <p>15%→39%</p> <p><u>Addition, soustraction</u></p> <p><u>Soustraction</u></p> <p>Tu as 16 bonbons. Si tu mets 18 autres. A la fin, combien de bonbons tu as en tout? 43%→68%</p> <p>Au début, tu avais 39 bonbons. Si tu en prends 17, combien de bonbons il te reste à la fin? 26%→47%</p>

4 年生	5 年生	6 年生
<p><u>Symétrie sur la droite</u></p>  <p>original (a) (b) (c) (d)</p> <p>24%→52%</p>	<p><u>Symétrie sur la droite</u></p>  <p>original (a) (b) (c) (d)</p> <p>25%→48%</p> <p><u>Le patron (modèle) d'un cube?</u></p>  <p>(a) (b) (c) (d)</p> <p>14%→39%</p>	<p><u>Les nombres pairs</u></p> <p>(a) 1 001 (b) 1 033 (c) 1 557 (d) 1 558 42%→72%</p> <p><u>Fraction</u></p>  <p>32%→55%</p>  <p>32%→54%</p> <p><u>Fraction</u></p> <p>(3) $1 + 1/6 =$ 28%→48%</p> <p><u>Proportionnalité</u></p> <p>Trouver la relation entre la base et l'aire. 36%→58%</p>

③分析と提言

上記結果の分析と提言を分野別に以下に記す。これまでの BLS, MTS 同様、今回の ELS も各クラスから生徒を 10 名ずつ(男女5名ずつ)無作為で抽出してのテストであるが、一定の統計的有意は確認できた。また、以下にある分析のように、これまでのモニタリングを通して確認してきた傾向と一致する傾向が確認できたことから、今回のテスト結果の信憑性は低くないと考察している。

また、今回の算数テスト結果は、以下の理由から、当プロジェクトによる副教材導入を通じた支援以外の貢献要素は、ほぼ考えつかないと言える。

1) 当プロジェクト支援対象の中央県には、当プロジェクト以外で初等算数教育を支援する介入や副教材を配布するような活動を行っている開発パートナーは存在しない、

2) ハイチ国教育省も、生徒の算数学力向上に直結するような教員研修や生徒への補習プログラム等、当プロジェクトによる支援による介入以外の効果的な介入・支援は行なっていない、

3) 支援対象校の複数の校長から、当プロジェクト介入以降、各校実施の定期テストにおいても、算数の学力向上を実感できているとの声が聞かれている。

【数】

2 年間(2017 年-2019 年)のモニタリング期間を通じて、数は他の分野に比べて積極的に学習していたことを確認した。MTS ではまだ成績の改善は確認できなかったが、今回の ELS で、お金の数え方の複数の問題(2 年生:34%→62%, 28%→54% 3 年生:30%→64%, 28%→64%)で顕著な改善を確認できた。

MTS の実施後、成績が上がらなかった一つの理由としては、解答集がないと教師が自信をもって教えられていないのではないかと考えた。そこで、2018 年度は教師用解答集(ガイド)を全校に配布した。解答集を手渡した時の教師が安心した表情を見て、配布は効果的であったと考える。

成績改善のためのもうひとつの障害として、ハイチ国ではお金の数え方が数字(数字 10 グルド = 読み 2 ハイチドル)と異なるためと考えた。プロジェクトの運転手に「乗合バスは 1 回いくら?」と聞くと「(指 2 本を見せて)10 グルド」と答える。つまり、お金に書いてある数字を読むのではなく、図柄に数字(ハイチドル)を対応させている。ハイチのカリキュラムでは、グルドを公式通貨として教えることになっているが、日常生活では(ハイチ)ドル(5 グルド=1 ドル)が定着してしまっている。中央県では、ハイチドルでスーパーのレジのレシートも表記されている。学校のキオスク(売店)でもハイチドルで普通にやりとりしている。

そこで、2018 年の研修では、研修講師である視学官に実物のお金で説明するように(日常ではハイチドルとして使っているが、正式な通貨としては紙幣に書いてある数字をグルドとして見ること)強調した。このアドバイスが ELS で一定の効果となったと考えている。

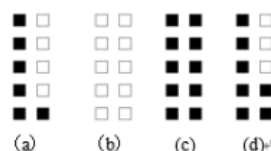
お金の数え方で一定の改善が見られた結果、10 を一つの塊として考える問題でも、改善が見られた。

1 年生



56%→79%

7

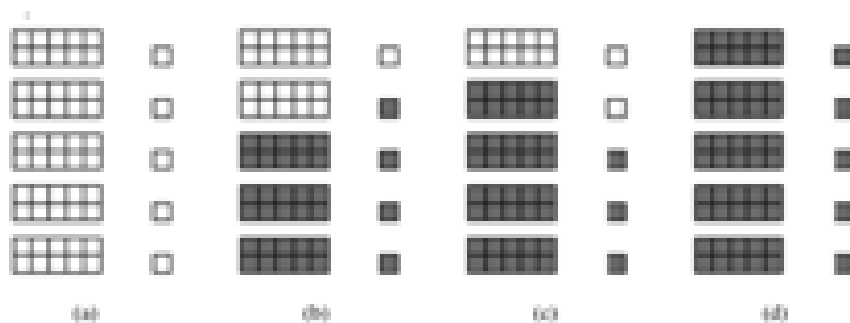


63%→69%

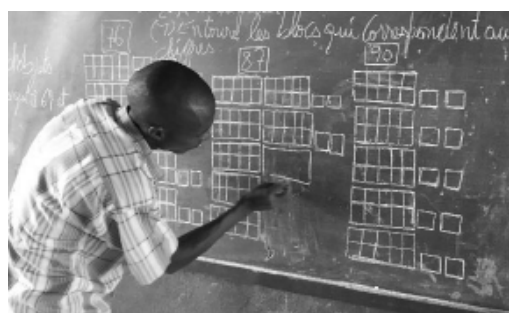
例えば、左上の指の8を答える問題に比べて、右上のブロックで7を表す問題の正答率はそれほど改善されなかったが、それでも約7割の正答率を得ている。

また、下の34をブロックで表す問題は、50%まで至っていないためまだ改善の余地はあるが、正答率は大きく改善された。授業でも指やブロックを使っていることは確認できた。

2年生



23%→47%



これらの改善は、好意的に評価して良いと考える。

イギリスでも、フランスでも、数を習うとき、数え主義と言われる1から10までの続きで11を教える。一方、日本では、そろばん影響もあり、10の塊を意識させる。

英仏式



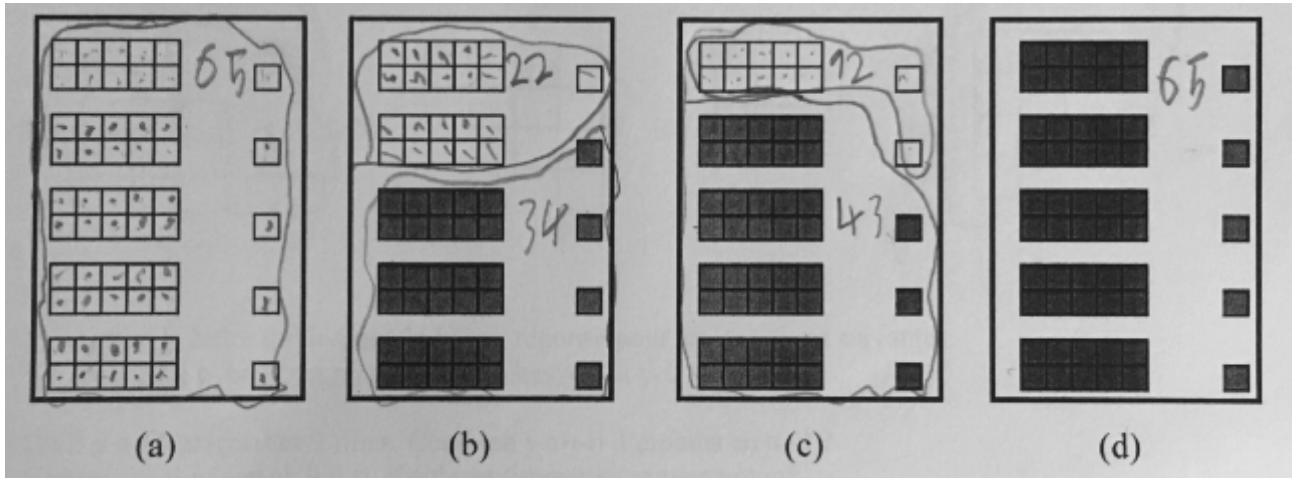
日本



さらに日本では、戦後の水道方式による、5の塊で区切って(生徒にそのことは教えないが、教科書の挿絵で5ずつ分けて書かれている)教えることも意識されている。



数え主義を基本に教える英仏でも、2年生で10の塊、3年生で100の塊を桁と一緒に教えていく。ハイチでもシラバスでは、10の塊で教えることになっている。しかし、実際は、高学年の生徒さえ、1からでしか数を数えられない。中学年でも、8本の指を、「1, 2, 3...8」と数えてしまっている。



教師や視学官も同様である。今回の副教材を配布したとき、せっかくだが10冊ずつに紐で止められているのをわざわざばらして1冊ずつ数えて冊数を確認していた。生活の具体的な場面で10の塊を使わない社会の中で育っているのである。

このことは、BLSを実施した際に確認できていたので、10ずつ数を数えられるように、副教材で11を教える際に、お金(10グルドと1グルド)で紹介した。

お金の数え方での正答率の顕著な改善で、多くの生徒がお金を10ずつ数えることができ始めていることは確認できる。10グルド、20グルドと10ずつ数えられることに伴い、10の塊の理解にどこまでつながっているかはさらなる調査、研究を要するが、副教材の配布を通じて、50以上の数でも1ずつ数えている生徒は確実に減った。今回の試験結果では、少なくとも副教材の導入を通じて10の塊の理解促進に貢献できたのではないかと考える。

今後の提言として、次のように、さらに細かいステップを提示したい。数の概念の育成に使われている棒を10本ずつ、もしくは5本ずつ書かせることで、具体物と半具体物の橋渡しとするのである。

11



【計算】

計算も、数と同様に積極的に学習されていた。

そのおかげもあり、3年生までは、すべての問題で成績は改善された。特に、3年生の下記2問は、顕著であった。

(2) $7+94 =$ 40%→63% (4) $101 - 3 =$ 11%→36%

一方、掛算/割算(3年生-5年生)で、20ポイント以上の改善が見られた問題はなかった。これは、九九の正答率が低い(3年生 55%、4年生 60%)からである。このままでは、割算や、筆算で正答率の改善は望めない。

もともと成績の良い学校(Saint-Esprit, MA Thomonde, Saint Louis, Saint Pierre)の5年生の筆算で、BLS(掛算 70%割算 80%)からELS(同 75%同 85%)と元々高い正答率がさらに改善できたのは、偶然ではなく、九九の暗記がある程度できているからである。

教訓として、中学年と高学年の最後の24ページにある計算練習を徹底させる必要がある。

分数、小数の足算/引算/掛算/割算(6年生)では、分数の計算で概ね10ポイント以上の改善が見られた。特に、MA Thomondoでは50ポイント近い改善(39%→88%)を見せた。

全体で見ても、分数の足算(仮分数)で20ポイントの改善が見られた。

$1 + \frac{1}{6} =$ 28%→48%

正答率は改善したが、依然50%以下の正答率であるので、さらなる向上が必要である。まずは教師の能力強化が喫緊の課題である。

教師の書く $1/6$ 、 $1/9$ は、右の通りである。

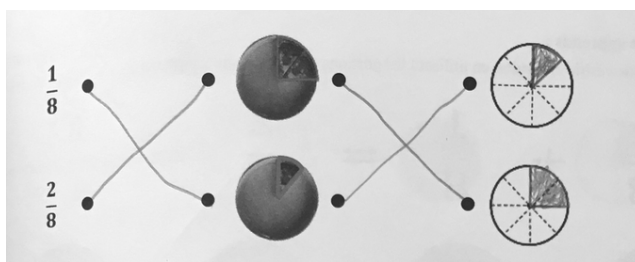
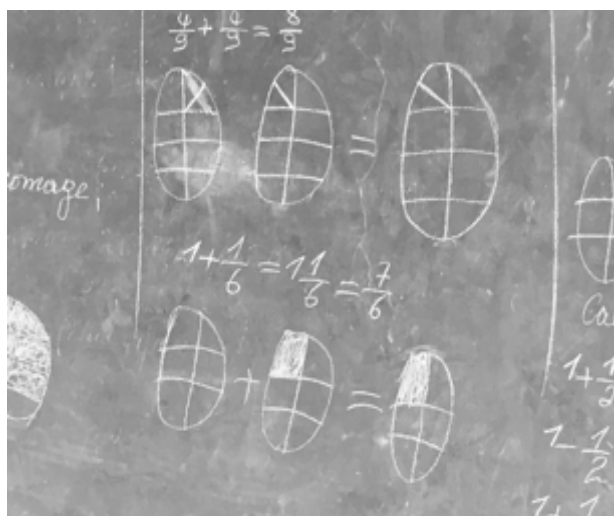
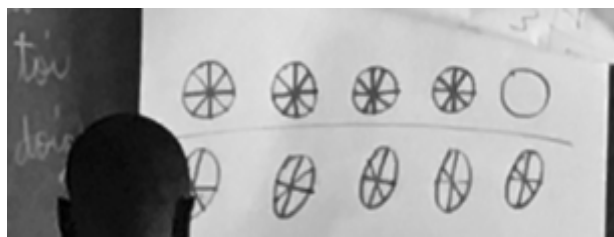
ここでは、「1を等しく●個に等しく分けた▲個分」という分数の定義を教師が理解していないことがわかる。

他の国でも同様の問題は見られた経験があるので、副教材で6個入りのチーズや8個入りのチーズ(具体物)を使い、正しい分数のイメージを理解させようとした。大きな円の $1/6$ と小さな円の $1/6$ が違うことを理解できていない教師(おそらく視学官も理解していない)でも、教えられるよう工夫したのである。

生徒の多くが数字とチーズ(具体物)とモデル(半具体物)を結ぶことはできていた。

しかし、先の数でも説明したが、基本となる10と残りの1で11という考えのないハイチで、

1と残りの $\frac{1}{6}$ で $1\frac{1}{6}$ という考えは理解しづらいことが予想できる。分数の元になる1を正しく理解できていないのである。正方形の紙を切って $1/4$ を作っても $1/4$ の理解が改善されない5年生(23%→16%)の例からもそのことは確認できた。基本となる数と残りの数という考え方が理解できないと難しいのは小数も同様である。



将来の提言として、現行版で扱っている $\frac{1}{6}$, $\frac{1}{8}$, $\frac{1}{10}$ だけでなく、4個入りクッキーの1個が $\frac{1}{4}$ 、5枚入りのガムの1枚が $\frac{1}{5}$ であることなどを紹介して、分数の概念を獲得させたい。

仮分数の学習でも、この $1 + \frac{1}{6} = 1\frac{1}{6}$ だけでなく、4個入りのお菓子で $1 + \frac{1}{4} = 1\frac{1}{4}$ 、5枚入りのガムで、 $1 + \frac{1}{5} = 1\frac{1}{5}$ であることなどを紹介して、分数の計算の規則を理解させたい。

【幾何】

2年生で長方形の同定 (28%→59%) 2年生と3年生で、図形 (三角形、正方形、長方形) の名称と区別 (20%→47%)

4年生でTシャツを用いた対称形 (24%→52%)

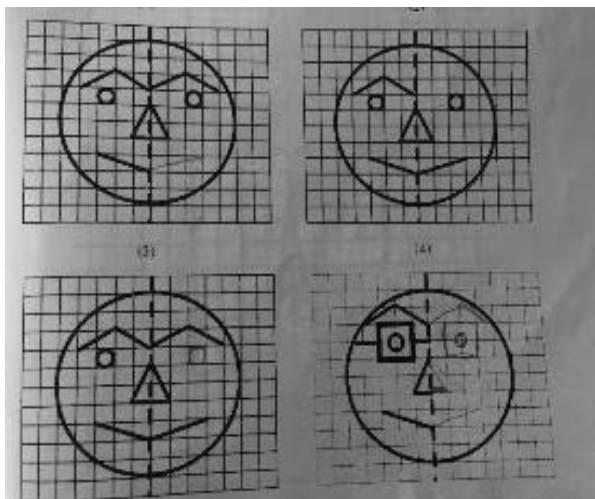
5年生で、ひし形の対称形 (25%→48%)、立方体の展開図 (14%→39%) で

20ポイント以上の改善が見られたことから、副教材の一定の効果があったと言えよう。

長方形の同定は、形を長さと一緒に捉えられない生徒に格子の枠を数える副教材の手法が的確であったと思われる。

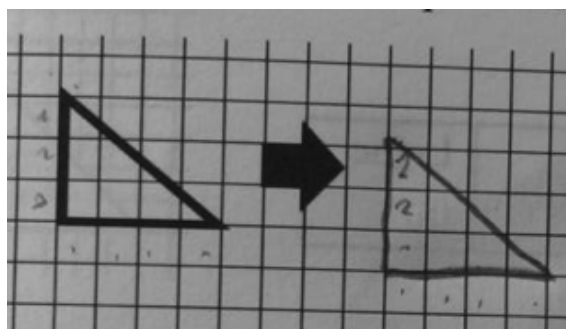
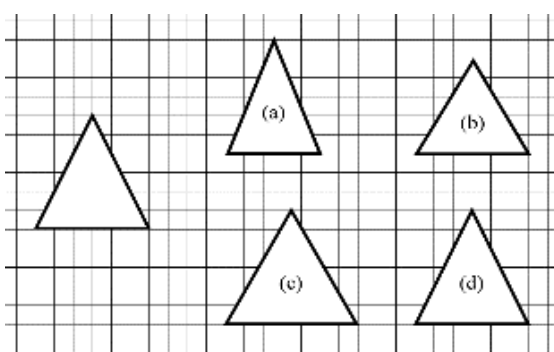
対称形も、言葉で教えるのではなく、顔の絵を方眼紙上で完成させる活動を通じて対称形の感覚を育てるスモールステップが功を奏したと考える。

研修でも、講師たちが、Tシャツやメガネの例を取り上げながら、説明していたことが教師に理解できたのであろう。研修では、視学官自らが作成した立方体の展開図モデルは、参加者から大評判であった。



一方、3年生で三角形の同定では、改善が思わしくなかった (24%→28%)。これは、第7回報告書でも述べたように、教師でさえ、格子の中で斜辺を追えず、同じ三角形を選べないからである。







将来の提言としては、いきなり二等辺三角形を同定させるのではなく、直角三角形の同定から紹介したい。



【測定】

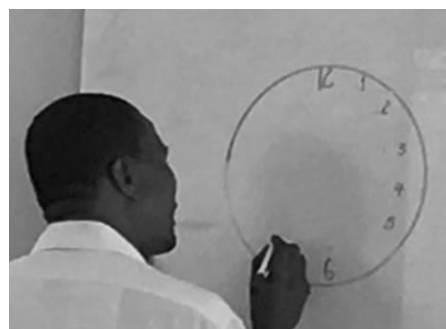
測定の学習(時計、単位変換、面積/体積)は、改善が困難であった分野である。

時計の読み方は、3年生で「●時30分」の読み方で改善(15%→39%)が確認できた以外は、苦戦を極めている。まず、長針が読めない生徒が多く、2年生で7時00分を7時12分と読んでいたり、5年生になっても4時1分と読んでしまったりする生徒が多かった。

2年生		3年生		4年生	
					
21%→26%	11%→15%	15%→39%	11%→28%	11%→27%	8%→10%

この主要因として、生活の中に針時計がないことが挙げられる。右端の11時55分の読み方は、視学官や教師でも研修で理解していない事例が研修で散見された。

教訓としては、時計の数字の充て方として、12、6、3、9を先に配置するなどの説明を副教材で説明した方が良さだろう。11時55分の読み方は、11時0分、5分、10分、15分、、、45分、50分、55分、12時0分と針を動かしながら確認していくことを提案する。~



5年生の単位変換(35%→41%)、6年生の面積(9%→20%)、体積(16%→26%)も改善は見られたものの、まだまだ改善の余地が残されている。面積、体積を求めるのに、掛算でなく、足算を使う生徒が相変わらず多く見られた。周囲の長さと同様で混同している。これは、社会に長さの単位という概念が存在しないせいであると考えられる。これまでの報告書で述べたが、研修で教師だけでなく、視学官でさえ、インチ、センチの両方の目盛りがついた定規を使う際、混同して図っている事例が見られた。長さの単位の概念がなければ、面積と体積の区別は難しい。

そもそも、数と同様、長さも基準となる長さ(フィートや尺)とその残り(インチや寸)という考えが基本となっている。家具屋でインチ、布屋で「オーヌ¹」という単位が使われるのみで長さを表現する生活体験が乏しく、面積、体積の単位を全く意識しないハイチ社会で、秤を使ったことのない生徒に重さの単位を教えることはさらに困難である。

2019年のモニタリングで、Saint Esprit(私立校)の5年生の教師と容量について次のようなやりとりをした。

専門家「左の容器の容量が1ガロンなのはわかる？」
 教師「わかるよ。3,785L=1ガロンだ」
 専門家「じゃあ、右の容器の容量はどれくらいかわかる？」
 教師「わからない」
 専門家「おそらく1ガロンじゃないかな？」
 教師「そんなはずはない」
 専門家「どうして？」
 教師「形が違うから1ガロンとは言えない」
 専門家「形？」
 教師「そう。同じ容器じゃないから、1ガロンとは言えない」



¹ 1オーヌは、約1.2メートル

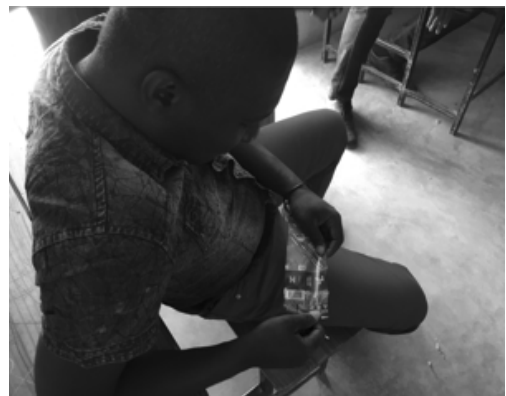
専門家「形が違って、同じ容器でなくても、1 ガロンは 1 ガロンだよ」

教師「??？」

専門家「コーラの細長い瓶とペットボトルは形が違うけど、500ml は 500ml で同じでしょ？」

このときは、実際に右の容器から左の容器に水を移し替えて見せることで、右の容器の容量も 1 ガロンであることに納得した。ここで大切なのは、比較的教育レベルの高い私立学校の教師でさえ、容量を普遍的な単位で測る経験を日常生活でしていないため、容器の形状が変わると容量も変わると考えてしまっていることである。ほとんどの生徒が容量について、同じような理解をしているのかもしれない。

研修後、教師がジュースの容量を確認し始めるなど、教師の興味は上がっている。「違う容器を移し替えても、容量は変わらない」ということを説明する単元を用意するなど、さらなるきめ細かい対応を考えたい。



単位変換はさらに困難である。このことは、日本人がインチで身長を測って、エーカーで面積を求め、ガロンで体積、ポンドで重さを計算する方法を習っても、使わなければ忘れてしまうことを考えればわかりやすいかもしれない。単位の概念のないハイチ社会では、さらに難しい。

提言としては、今回のように単純にシラバスに沿って様々な単位変換を教えるのではなく、長さ、面積、体積、重さのそれぞれで 1 となる基準単位 (1mm, 1cm, 1m, 1mm², 1cm², 1m², 1cm³, 1m³, 1L, 1Gallon) となる身の回りの物を最初に紹介することから学習を開始することを提案する。その後、ノートの長辺 (20cm) やペンの長さ (15cm) など規格品の長さを確認させ、自分の身長を理解につなげられれば良いと思う。

【文章題】

足算/引算の文章題については、3 年生で顕著な改善が見られた。

足算「16 個飴玉がありました。18 個、新たに入れました。全部でいくつですか？」(43%→68%)

引算「39 個飴玉がありました。17 個取りました。最後にいくつ残りますか？」(26%→47%)。

また、2 年生、4 年生でも 10 ポイント以上の改善が見られた。これは、モニタリング訪問時、複数の学校でこれらに類似した副教材の問題に力を入れて取り組んでいたことからの要因に加え、副教材の下記の工夫が効果的であったためと思われる。

足算では、2 年生と 3 年生で「合わせて」という言葉を入れて足算と判断しやすくなるよう配慮した。引算では、4 年生で「残りますか？」という言葉を入れて引算と判断しやすくなるよう配慮した。生徒のフランス語の理解力に問題があるので、もし、上記引算で、



「同じ個数になるためには何個あればいいか？」

「何個足りないか？」

と聞いていたら、正答率は変わっていただろうと推察される。

また、「飴玉が5個ありました。子どもが6人いました。食べられない人は何人ですか？」のように、扱う数が、片方が人、もう片方がモノだとしたら、難しかったのではなかろうかと、日常のハイチ人の考え方や行動から推察される。

文化の違いも重要で、上記問題で、「飴玉は、あといくつ必要ですか？」と聞いたら、全員に飴玉を行き渡らせる必要はないと考えてしまい、問題の意味を理解しにくいかもしれない。

6年生の文章題であるパーセントでは、「ハイチの人口1千万人のうち、女性は52%である。女性の人口を求めなさい」を出題した。パーセントという概念がない社会でも、事実として覚えておいてもらいたいという意図があった。

一定の改善(38%→54%)が見られたが、課題は残る。教師の多くがこの計算をするのに計算機を使おうとすることである。暗算の学習で、小数点を動かすことや、ゼロの数を足したり、削ったりすることを教えても、実際の計算の場面に応用するまでにさらなる説明を要する。

提言としては、パーセントのページに、「P109を参照」という記述を加え、P109にパーセントに即した割算(例: $100 \times 52/100 = 52$)を追加することが考えられる。

【比例】

高さが同じ(3cm)の長方形で、底辺が長くなる(1cm→4cm)にしたがい、長方形の面積が大きくなる関係を表と式で聞いている。

問1の表で35%→54%、問2の式で36%→58%と改善された。

この問題も、パーセントと同じく、比例関係を意識しない社会でも、知らず知らずのうちに比例関係を使っていることに気づかせる意味で取り上げた。

副教材では、説明例として「1個5グルドの飴玉を●個買う」という状況で、飴玉の個数が増えるにしたがって、5グルド硬貨が増えていくことを紹介した。

2例とも、単位(cm^2 、グルド)がわからなくても、数や量の比例関係で視覚的に理解できるように工夫したことが効果的であったと考える。

さらなる改善の提案として、例えば、他の身の周りの比例関係を取り上げたい。そのことで、生徒に比例関係の規則性(5グルドの飴玉の買い物の比例定数は5)に気づく生徒を増やしたい。



TITRE : CALCUL MENTAL 6-VI-06

Objectif spécifique :

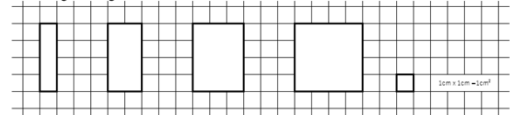
Diviser un nombre entier ou décimal par 10, 100, 1000

1. Observe et apprends :

$$20 \div 10 = 2 \quad 300 \div 100 = 3$$

$$4000 \div 1000 = 4 \quad 34000 \div 1000 = 34$$

9. L'aire d'un rectangle dont la base mesure 1 cm et la hauteur 4 cm est 4cm^2 . Trouve l'aire du rectangle en augmentant la base de 2 cm à 4 cm.

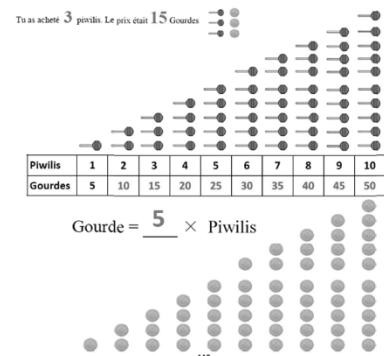


(1) Choisis le tableau qui correspond à l'aire des rectangles :

(a)	La base (cm) B	1	2	3	4	(b)	La base (cm) B	1	2	3	4
	L'aire (cm^2) A	0	0	0	0		L'aire (cm^2) A	1	2	3	4
(c)	La base (cm) B	1	2	3	4	(d)	La base (cm) B	1	2	3	4
	L'aire (cm^2) A	4	5	6	7		L'aire (cm^2) A	4	8	12	16

(2) Trouve la relation entre la base (B) et l'aire (A)

- (a) $A = 0$ (b) $A = B$ (c) $A = B + 3$ (d) $A = 4 \times B$



【その他さらなる成績改善のための提言】

a) 計算力強化の必要性

今回の副教材の作成にあたっては、プレテストで生徒の実態を把握し、生徒の実態にあったレベルの単元をシラバスから選び出した。そして、そのことは、2年生、3年生の学力改善(20ポイント以上改善した学校が5~9校)に寄与したと考える。一方、4年生以上の学年に関しては、改善は限定的であった(20ポイント以上改善した学校が2~5校)。これは、算数という教科が他の教科よりも積み上げ式で学習する傾向が強いためである。例えば、一桁の足し算や九九が不確かなままで上の学年で筆算を学習しても成績の改善が現れにくいことが理由としてあげられる。

そこで、副教材では、中学年と高学年の最後に計算練習を24ページ用意した。教師の答え合わせは、必要ないような工夫が施してある。今後の研修で、このページの学習が成績改善の鍵であることを強調したい。

b) よりスモールステップな単元設定や単元追加

3年生までで、より顕著な成績改善が見られた一因として、現地作業1ヶ月を国内作業に振り替えて、副教材開発に専念し、単元設定をスモールステップにしたことが功を奏したと考えられる。

そこで、中学年以降のさらなる成績改善のための提言として、副教材の単元選定を、よりスモールステップにすることを挙げたい。

単位の分野の分析でも述べたが、生徒、教師の実態からすると、単位の変換の前に、単位の導入の単元を用意する必要がある。2018年9月以降確認したグッドプラクティスで、 $1G=3,785L$ と説明するのに教師が容器を見せていることを紹介したが、容器を見せても、そもそも、ガロンが体積を示す単位であることや、容器が変わっても容量は一定であることを先に紹介しなくてはならない。

より、スモールステップで教えていくと、グッドプラクティスがさらなる成績の改善につながると期待できる。単位だけでなく、他の分野でも同様である。図形でも、いきなり二等辺三角形を導入するのではなく、直角二等辺三角形の同定のページを追加したり、面積では長方形の面積の計算の前に、長方形の中の格子の数を数えさせたりするような単元を用意すれば成績のさらなる改善が見込めると思料する。

また、図形(三角形、正方形、長方形)の名称と区別ができるようになったことから、椅子や机などの身近な例を紹介することは効果的であったことは確認できた。平面図形だけでなく立体図形の名称の区別を扱う単元も副教材に追加することも検討したい。

c) サポート型モニタリングの重要性

BLS以来、本専門家は、派遣期間のほとんどを中央県滞在に費やし、授業や研修のモニタリング、校長へのヒアリングと助言の提供を実施してきた。特に2018年度は、2018年9月、11月、2019年1月~2月と渡航を3回に分け、各校を頻繁に訪問し、モニタリングを実施した。本専門家の派遣期間以外でも、長期専門家が首都から中央県に出張した際、同様にモニタリングを繰り返し、授業ごと、研修ごと、ヒアリングごとに、本専門家に文章と写真で情報共有してきた。

また、プロジェクトで、下記のような進捗管理表を用意し、各学校の進捗状況を把握してきた。左側に縦に副教材のページ数、横に学年が用意しており、校長は、副教材の使用を確認したページに日付を記入し、プロジェクトに報告するシステムである

このような手厚いモニタリング(サポート型モニタリング)は、校長/教師あるいは生徒と専門家との間に、「聞けば答えてくれる」という信頼関係や「いつも見られている」という緊張関係の醸成に寄与し、そのことが成績の改善に少なからず貢献できたのではないかと思われる。今後現地視学官や教育省技官等が同様の活動を実施していけるかが課題となる。

Fiche de contrôle de leçon des matériels didactiques

✓ Ecole :

NB : Indéterminé = leçon de page est vue, mais l'enseignant ne s'en rappelle pas la date.

Page	Date de page 1 ^{ère} AF	Date de page 2 ^{ème} AF	Date de page 3 ^{ème} AF	Date de page 4 ^{ème} AF	Date de page 5 ^{ème} AF	Date de page 6 ^{ème} AF
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

d)進捗状況を共有するシステムを構築

下の進捗管理表は、成績が大きく改善された MA Thomodo(57%→78%)の進捗確認表である。

Page	12-03-19	04-04-19	12-03-19	14-03-19
110				
111				
112				
113				
114				
115				
116				
117				
118				
119				
120				
121				
122				
123				
124				
125				
126				
127				
128				
129				
130				
131				

校長が各学年の進捗を確認しており、その写真をSMSでプロジェクトに報告し、副教材を全ページ学習し終えたことが確認できていた。

他に、最も大きく成績を改善した Thomassique(21%→51%)でも低学年は、52ページ中50ページ、中学年121ページ中95ページ、高学年で131ページ中111ページまでの学習を終えていたことが確認できていた。もし、中学年、高学年で残りのページ(最後の24ページは計算練習)の学習を終えることができていたなら、計算分野の正答率はさらに改善されていたであろう。他校の表は現在回収中であるが、これらの成績の改善は、副教材の成果としてアピールしてよいであろう。

副教材の活用には積極的にない教師のモチベーションを上げる対策として、進捗確認表を校長室内で掲示し、積極的に活用している教師の頑張り具合を視覚化することが考えられる。本プロジェクト期間中は、逆に全ての教員にとって必要以上のプレッシャーになってしまったり、無理強いしたりすることは避けたかったためこうした方法は取らなかったが、今後そうした対策も検討の余地があるであろう。

また、SMSで進捗確認表を視学官に共有し、郡教育事務所や県教育事務所で、よく使用している学校名を掲示するなどして、副教材への関心を示すことで、校長を激励できるかもしれない。

教室内で生徒を励ます方法として、副教材の後ろにある計算練習を空いている時間に自習教材として使わせて、試験結果などに効果が現れた生徒を表彰することなども考えられる。

8. 添付資料

添付資料 1:「業務日程表」

添付資料 2:「採点基準」

添付資料 3:「学年別分野別正答率比較」

**MINUTES OF MEETING BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
MINISTRY OF NATIONAL EDUCATION AND PROFESSIONAL TRAINING OF
REPUBLIC OF HAITI
FOR
AMENDMENT OF THE RECORD OF DISCUSSIONS ON
PROJECT FOR SUPPORTING DEVELOPMENT OF MATHEMATICS MATERIALS FOR
STUDENTS' LEARNING IN REPUBLIC OF HAITI**

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and the Ministry of National Education and Professional Training (hereinafter referred to as “MENFP”) hereby agree that the Record of Discussions on the Project for Supporting Development of Mathematics Materials for Student’s Learning in the Republic of Haiti (hereinafter referred to as “the Project”) originally signed on the 23rd of March 2016 will be amended as the attached.

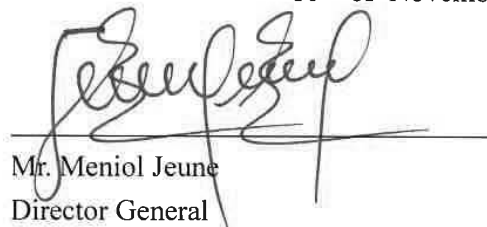
Done in Duplicate in the French and English languages, both equally authentic.

Port-au-Prince, Republic of Haiti

16th of November, 2018



Ms. Rumiko Yamamoto
Resident Representative of Haiti Office
Japan International Cooperation Agency
(JICA)



Mr. Meniol Jeune
Director General
Ministry of National Education and
Professional Training of Republic of Haiti
(MENFP)



Main Changes to be made on PDM (English)

	Original PDM	Revised PDM
Overall Goal	Students' active learning is promoted in the first to the sixth grade in basic education across the nation by an implementation of mathematics materials	Foundation of Mathematics Education for improvement of basic skills is strengthened from the first to the sixth grade in primary schools in Central and other Departments.
Verifiable Indicators (Overall Goal)	<ul style="list-style-type: none"> ● Average scores of mathematics in a national learning assessment for students in primary education are improved by XX% 	<ul style="list-style-type: none"> ● Baseline, Midline, and Endline tests prepared by the project among Central, Western, and other Departments are compared and results are improved. ● Questionnaire of “New material introduction” at some schools in other Departments shows the multiplied effects to the other Departments
Project Purpose	Mathematics learning outcomes of students of the first to the sixth grade in basic education are improved in public primary schools in Central department by development and introduction of mathematics materials	Foundation of Mathematics Education for improvement of basic skills is strengthened from the first to the sixth grade at selected pilot primary schools in Central department.
Verifiable Indicators (Project Purpose)	<ul style="list-style-type: none"> ● Average scores of national learning assessment/graduation assessment in mathematics for students in the sixth grade in primary schools in Central department are improved by XX% 	<ul style="list-style-type: none"> ● Average scores of mathematics tests prepared by the project is to be improved from the baseline results at pilot schools. ● Good practices among pilot schools are to be summarized¹ and improvement of the foundation are confirmed.
Output 3	Developed materials are used properly in pilot schools in Central department.	No change is required.
Objectively	3–3 The average scores of a	3–3 The scores of a mathematics

¹ The elements of the good practice will be identified through the further research

Verifiable Indicators (Output 3)	<p>mathematics learning assessment improve by X points by the utilization of developed materials (*The indicator will be set on the basis of the result of the report on Haitian mathematics education)</p>	<p>learning assessment improve by the utilization of developed materials.</p>
Output 4	<p>Developed materials are implemented to the students in the first to the sixth grade in all the public schools with basic education in Central department.</p>	<p>Developed materials are implemented to the students in the first to the sixth grade in the expanded pilot schools in Central department.</p>
Objectively Verifiable Indicators (Output 4)	<p>4-1 More than 90% of teachers of public primary schools in Central department participate in workshops for the use of materials.</p> <p>4-2 All the students and teachers of public primary schools in Central department utilize developed materials (Both 100% of students and teachers hold and utilize the developed materials)</p> <p>4-3 The average scores of the mathematics learning assessment improve by X points by the utilization of developed materials (*The indicator will be set on the basis of the result of the report on Haitian mathematics education).</p>	<p>4-1 The teachers of at least 10 schools besides the original pilot schools in Central department participate in the training for the use of materials.</p> <p>4-2 All students and teachers of the schools to which the developed materials are distributed in Central department use the materials (100% utilization rate).</p> <p>4-3 The scores of a mathematics learning assessment of the students of the expanded pilot schools improve compared to those before the utilization of the materials.</p>
Activity 4-1	<p>Develop workshop program regarding the use of developed materials for all the public primary schools in Central department.</p>	<p>Develop workshop program regarding the use of developed materials for the expanded pilot schools in Central department.</p>
Activity 4-3	<p>Conduct teachers' workshops for the use of materials for all the public primary schools in Central department.</p>	<p>Conduct teachers' workshop for the use of materials for the expanded pilot schools in Central department.</p>
Activity 4-5	<p>Conduct a same learning assessment which was implemented at B/L surveys in all the public primary schools in Central department.</p>	<p>Conduct a same learning assessment which was implemented at B/L surveys in the expanded pilot schools in Central department.</p>

Appendix 2: Original PDM

Appendix 3: Revised PDM

Project Design Matrix

Version 2
Dated November 16, 2018.

Project Title: The project for supporting development of mathematics materials for Students' learning

Implementing Agency: Ministry of National Education and Professional Training(MENFP)

Target Group: Students, teachers and principals in public primary schools and officers in Departmental Directorate of Education(DDE) in Central department


Period of Project: 3 years

Project Site: Central Department

Pilot Schools: 6 primary schools in Hinche and Mirebalais

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption	Achievement	Remarks
<p>Overall Goal Foundation of Mathematics Education for improvement of basic skills is strengthened from the first to the sixth grade in public primary schools in Central and other Departments.</p>	<p><input type="checkbox"/> Baseline, Midline, and Endline tests prepared by the project among Central, Western, and other Departments are compared and results are improved. <input type="checkbox"/> Questionnaire of "New material introduction" at some schools in other Departments shows the multiplied effects to the other Departments</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Results of a learning assessment of mathematics • Questionnaire surveys regarding a material utilization • Statistical data of MENFP 			
<p>Project Purpose Foundation of Mathematics Education for improvement of basic skills is strengthened from the first to the sixth grade at selected pilot public primary schools in Central department.</p>	<p><input type="checkbox"/> Average scores of mathematics tests prepared by the project is to be improved from the baseline results at pilot schools. <input type="checkbox"/> Good practices among pilot schools are to be summarized and improvement of the foundation are confirmed.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Results of a learning assessment of mathematics • Monitoring reports 	<ul style="list-style-type: none"> • Teachers work regularly and constantly at schools without being affected by teachers strikes and demonstrations 		
<p>Outputs Output 1 : Clarify a state of mathematics learning for students in primary education Output 2 : Develop mathematics materials to improve students' learning Output 3 : Developed materials are used properly in pilot schools in Central department</p>	<p>1-1 Elaborate a report on Haitian mathematics education 2-1 Developed mathematics materials are approved/censored by MENFP 3-1 All the students and teachers in pilot schools utilize developed materials (Both 100% of students and teachers hold and utilize developed materials) 3-2 More than 90% of students and teachers in pilot schools recognize the effectiveness of developed materials 3-3 The scores of a mathematics learning assessment improve by the utilization of developed materials.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Report on Haitian mathematics education • MENFP's approval/censorship • Products (Mathematics materials) • Workshop report • Schools monitoring report • Questionnaire/interview results • Results of the mathematics learning assessment 	<ul style="list-style-type: none"> • Basic education curriculum revision in mathematics does not affect project implementation • Living and learning environment for students in primary schools is maintained properly to assure their attendance at schools 		

<p>Output 4: Developed materials are implemented to the students in the first to the sixth grade in the expanded pilot schools in Central department</p>	<p>4-1 The teachers of at least 10 schools besides the original pilot schools in Central department participate in the training for the use of materials. 4-2 All students and teachers of the schools to which the developed materials are distributed in Central department use the materials (100% utilization rate). 4-3 The scores of a mathematics learning assessment of the students of the expanded pilot schools improve compared to those before the utilization of the materials.</p>	<p>• Workshop report • Schools monitoring report • Questionnaire/interview results • Results of the mathematics learning assessment</p>	
<p>Output 5: Present developed materials and review their utilization nationally and internationally or regionally</p>	<p>5-1 More than 90% of participants in dissemination seminar agree with the use of developed materials in the schools where they work</p>	<p>• Seminar report • Questionnaire/interview results</p>	

Activities	Inputs	Important Assumption
<p>1-1 Elaborate a baseline(B/L) surveys plan 1-2 Develop survey tools 1-3 Conduct B/L surveys 1-4 Collect and analyze the survey results 1-5 Develop a B/L survey report 1-6 Discuss the survey report with parties concerned</p> <p>2-1 Based on the survey results which is developed with Output 1, elaborate a basic design of mathematics materials 2-2 Finalize mathematics materials structure and editorial guidelines 2-3 Develop mathematics materials 2-4 Revise mathematics materials 2-5 Print mathematics materials</p> <p>3-1 Develop workshop program for the use of materials in pilot schools 3-2 Conduct training instructors' workshops for the use of materials in pilot</p>	<p>The Japanese Side <Japanese side human resource> 1. Long-term expert(s) for Coordination/Workshop planning 2. Short-term expert(s) for Mathematics education/Materials Development <Cost of activities > 1. Expenditures for workshops 2. Expenditures for printing and distribution of mathematics materials 3. Expenditures for M&E and surveys 4. Expenditures for dissemination seminars <Machinery and equipment> 1. One Vehicle 2. Office equipment (Copying machine, Personal computer, Telephone/FAX)</p> <p>The Haitian Side <Haitian side human resource> 1. Counterparts (1)JCC members: - X persons from MENFP - X persons from DDE in Central department (2)Project team: - X persons from MENFP - X persons (officers in DDE, principals and teachers in pilot schools) in Central department <Office space> Suitable office space with necessary equipment for the project (in MENFP) <Project implementation Cost> 1. Expenditures for workshops/seminars such as allowances which are not disbursed by JICA 2. Expenditures regarding mathematics materials development such as communication expenses and postage. 3. Expenditures for M&E and surveys such</p>	<p>• Mathematics classes are assured as scheduled in annual school plan • Counterparts and teachers stay working during the project period • Relations with other donor agencies are maintained properly</p> <p>Pre-Conditions Public primary schools' teachers do not oppose to the project and the implementation of mathematics materials in their schools</p> 

	as Haitian counterparts' travel expenses and allowances	<issues and countermeasures>
<p>schools</p> <p>3-3 Conduct teachers' workshops for the use of materials in pilot schools</p>		
<p>3-4 Training instructors and officers in DDE in Central department monitor the materials implementation in pilot schools</p> <p>3-5 Conduct a same learning assessment which was implemented at B/L surveys in pilot schools</p> <p>3-6 Collect and analyze results of the monitoring and learning assessment</p> <p>3-7 Develop monitoring and evaluation(M&E) report</p> <p>3-8 Discuss the survey report with the parties concerned</p>		
<p>4-1 Develop workshop program regarding the use of developed materials for the expanded pilot schools in Central department</p> <p>4-2 Conduct training instructors' workshops mentioned in 4-1</p> <p>4-3 Conduct teachers' workshops for the use of materials for all the expanded pilot schools in Central department</p> <p>4-4 Training instructors and supervisors conduct a monitoring of teachers and principals who participated in the workshops</p> <p>4-5 Conduct a same learning assessment which was implemented at B/L surveys in the expanded pilot schools in Central department</p> <p>4-6 Collect and analyze results of the monitoring mentioned in 4-4 and the learning assessment of the public primary schools in Central department mentioned in 4-5</p> <p>4-7 Develop M&E report</p> <p>4-8 Discuss M&E report with the parties concerned in Central department</p>		

<p>5-1 Prepare for a national dissemination seminar regarding the developed mathematics materials for people engaged in education nationwide</p> <p>5-2 Conduct a national dissemination seminar</p> <p>5-3 Develop reports on the dissemination seminar</p> <p>5-4 Discuss the reports with parties concerned including other donor agencies</p>	
---	--

5 modules of mathematics: Numeration, Operation, Geometry, Measurement, and Written problem



INTERNATIONAL MONETARY FUND

IMF Country Report No. 14/154

HAITI

POVERTY REDUCTION STRATEGY PAPER

June 2014

Poverty Reduction Strategy Papers are prepared by member countries in broad consultation with stakeholders and development partners, including the staffs of the World Bank and the IMF. Updated with annual progress reports, they describe the countries macroeconomic, structural, and social policies in support of growth and poverty reduction, as well as associated external financing needs and major sources of financing. This country document for Haiti is being made available on the IMF website by agreement of the member country as a service to users of the IMF website.

Copies of this report are available to the public from

International Monetary Fund • Publication Services
PO Box 92780 • Washington, D.C. 20090
Telephone: (202) 623-7430 • Fax: (202) 623-7201
E-mail: publications@imf.org Web: <http://www.imf.org>
Price: \$18.00 per printed copy

International Monetary Fund
Washington, D.C.

GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF HAITI

Ministry of Planning and External Cooperation

Ministry of Economy and Finance

**2014-2016 THREE-YEAR INVESTMENT
PROGRAM AND ITS FRAMEWORK**

**TO ACHIEVE ACCELERATED, BALANCED
ECONOMIC GROWTH AND REDUCE POVERTY**

**TOOL FOR IMPLEMENTING HAITI'S STRATEGIC DEVELOPMENT PLAN
MAKING HAITI AN EMERGING COUNTRY BY 2030**

June 2013

TABLE OF CONTENTS

LIST OF TABLES

LIST OF GRAPHS

LIST OF DIAGRAMS

LIST OF MAPS

LIST OF ACRONYMS

PREFACE: STATEMENT BY THE PRIME MINISTER

INTRODUCTION

PART 1: THE THREE-YEAR DEVELOPMENT FRAMEWORK

1. THE BASELINE SOCIAL AND ECONOMIC DEVELOPMENT SITUATION
2. THE POVERTY SITUATION
 - 2.1. An improved human development index
 - 2.2. The huge income inequality problem in Haiti
 - 2.3. The multidimensional poverty index
 - 2.4. A pronounced disparity in employment among the departments
 - 2.5. Poverty in the precarious districts
 - 2.6. Inadequate income to cover basic needs
 - 2.7. From social assistance to social protection
 - 2.8. The status of the millennium development goals
 - 2.9. Anti-poverty spending
 - 2.10. The impact of investment on the DSNCRP (2008-2010)
3. THE NEW FRAMEWORK FOR DEVELOPMENT PLANNING, PROGRAMMING, AND MANAGEMENT
4. THE MAJOR DEVELOPMENT GUIDELINES
 - 4.1. The long-term vision
 - 4.2. The main strategic choices
 - 4.3. The major areas of work for the future
 - 4.4. The government priorities for the period
 - 4.5. Evaluation of results

5. THE MAJOR MACROECONOMIC GUIDELINES FOR 2014-2016

- 5.1. The decision to build a new economy
- 5.2. The choice of an accelerated growth path
- 5.3. Consolidation and building engines for growth
- 5.4. Laying the groundwork for competitiveness
- 5.5. Monetary policy guidelines
- 5.6. The main lines of the employment policy
- 5.7. Promotion of a new trade policy
- 5.8. Evaluation of results

6. THE MAJOR MACROECONOMIC GUIDELINES FOR 2014-2016

- 6.1. The major area of territorial reform
- 6.2. The major area of economic reform
- 6.3. The major area of social reform
- 6.4. The major area of institutional reform

List of Graphs

- Graph 1: Human Development Index: Trends from 1980 to 2010
- Graph 2: Human Development Index: adjusted for inequalities
- Graph 3: Comparison of poverty measures
- Graph 4: Share of each indicator in the Multidimensional Poverty Index (MPI)
- Graph 5: Share of each indicator in the MPI, by urban, rural, or national area
- Graph 6: Map of poverty rates by region
- Graph 7: Jobless rates by region
- Graph 8: Proportion of unemployed persons by region

List of Diagrams

- Diagram 1. The principal public investment planning and programming tools
- Diagram 2A. The new development planning, programming, and management framework
- Diagram 2B. The new development planning, programming, and management framework
- Diagram 3A. The major areas of work for the recovery and development of Haiti
- Diagram 3B. The major work areas and programs for the recovery and development of Haiti
- Diagram 4. Programs and subprograms of the major area of territorial reform
- Diagram 5. Programs and subprograms of the major area of economic reform
- Diagram 6. Programs and subprograms of the major area of social reform
- Diagram 7. Programs and subprograms of the major area of institutional reform

List of Tables

- Table 1: Poverty measures for Haiti in 2001, 2006, and 2008
Table 2: Estimated poverty rates in 2010-2011
Table 3: Multidimensional poverty by geographical region
Table 4: Proportion of monthly income of less than 1,000 gourds, by region
Table 5: The status of MDGs in Haiti
Table 6: Evolution of some MDG indicators (1990-2008-2009)
Table 7: Evolution of anti-poverty appropriations and expenditures: 2007-2008 to 2012-2013 (in thousands of gourds)
Table 8: The general objectives of government priorities during the period
Table 9: Matrix of global development indicators
Table 10: 2012-2016 macroeconomic indicators
Table 11: Matrix of the expected results of the major area of territorial reform
Table 12: Matrix of the expected results of the major area of economic reform
Table 13: Matrix of the expected results of the major area of social reform
Table 14: Matrix of the expected results of the major area of institutional reform

LIST OF ACRONYMS

BRH	Bank of the Republic of Haiti
CAL	Health Center with Beds
CEP	Provisional/Permanent Electoral Council
CHU	University Hospital Center
CIRH	Interim Commission for the Reconstruction of Haiti
CLAC	Reading and Cultural Center
CNIGS	National Geospatial Information Center
CNSA	National Food Security Coordination
CSC/CA	Superior Court of Accounts and Administrative Litigation
CSL	Health Center without Beds
CSPJ	High Judicial Council
DCP	Fish-Aggregating Device
DSNCRP	National Growth and Poverty Reduction Strategy Paper
ECVH	Survey on Living Conditions in Haiti (IHSI)
EFACAP	Basic School for Application and Certification of Professional Skills
EMMUS	Survey on mortality, morbidity, and use of services
ENAPP	National School of Administration and Public Policies
ENSA	National Food Security Survey (CNSA)
HCR	Reference Community Hospital
HIPC	Highly indebted poor countries
HDI	Human Development Index

IDB	Inter-American Development Bank
IHSI	Haitian Statistics and Information Institute
INFP	National Professional and Technical Training Institute
MPI	Multidimensional poverty index
LAPOP	Latin American Public Opinion Project
LNBTC	National Laboratory for Construction and Public Works
MAST	Ministry of Social Affairs and Labor
MCFDF	Ministry of Women’s Status and Rights
MEF	Ministry of Economy and Finance
MGAE	External aid management module
MICT	Ministry of Interior and Local Governments xxx
MINUSTAH	United National Stabilization Mission in Haiti
MJSAC	Ministry of Youth, Sports, and Civic Action
MJSP	Ministry of Justice and Public Security
MPCE	Ministry of Planning and External Cooperation
MPI	Multidimensional Poverty Index
ODA	Official Development Assistance
OHSS	Haitian School Sports Bureau
ONI	National Identification Office
ONPES	National Observatory on Poverty and Social Exclusion
OPC	Citizens’ Protection Bureau
PARDH	Plan of Action for the Recovery and Development of Haiti
PNH	Haitian National Police
PSDH	Haitian Strategic Development Plan
SE/CISMO	Executive Secretariat – Intersectoral Commission for Coordination of Implementation
SYSGEP	System for management of information on investment programs and projects
TCA	Business tax
UEH	Haiti State University
UEP	Research and Programming Unit
VAT	Value-added tax

PREFACE: STATEMENT OF THE PRIME MINISTER

Fellow citizens,

Haiti is embarked on a path of change. When I delivered the Government's General Policy Statement to the Haitian Parliament in 2012, speaking before the entire nation, I voiced my intention to use every possible means to rebuild and develop the country. I also said that it was possible to turn the country around, and that it was up to all of us to take action to put Haiti on the road to progress. To achieve this, we have a plan, the Strategic Development Plan of Haiti.

The Plan is designed to make Haiti an emerging country by 2030. This will be accomplished by and for ourselves, on the basis of our vision and national development guidelines, our strengths and our weaknesses; the plan is our long-term road map for bringing about a lasting and significant improvement in the quality of life and standard of living of the people, of every Haitian man, woman, and child.

Today it is our task to reform Haiti on the basis of the following four sustainable development pillars:

- Economic reform and reconstruction, to be achieved through strong economic growth, based on an increase in our farming, manufacturing, and tourism potential, the creation of businesses, and foreign direct investment
- Regional development and planning, to achieve a balanced development of the territory and careful management of our natural resources and biodiversity;
- Social reform, using our resources for the development of all, with a focus on social cohesion, solidarity among regions and social groups, and the preservation of our cultural identity; and
- Reform of our government institutions and departments, to make them more attentive to the needs of the population, especially its most impoverished segments, and more accountable and fair to our people.

To initiate the desired changes and better guide and coordinate investment in the country, we should, however, spell out our short-term intentions. These can be found in our three-year development framework and the three-year investment program included in this document. Based on a frank and honest interpretation of our situation and the recent accomplishments of our government, it incorporates traditional factors of economic growth and poverty reduction to maintain our economic, social, and political stability, and combines them with innovative approaches in the chapters on regional restructuring and development, the economic partners needed, social redistribution, and good government, aimed at accelerating the pace of our development.

More specifically, this document describes the guidelines, choices, and projects to be implemented for rapid and sustainable economic growth, designed to maximize job creation, reduce poverty in all of its manifestations, and build a large, solid middle class, for a balanced distribution of the proceeds of growth throughout the country, and for

establishing the rule of law to ensure justice and security for all. It also details priority projects to be implemented in the short run to put the country squarely on the path of reform, while maintaining and expanding recent social gains. Finally, it constitutes a guide for including Haiti in the international trade circuit and thus enabling it to play its deserved role in the Caribbean.

In short, this document studies the environment that needs to be built if Haiti is to move away from reliance on international aid and gradually improve the living conditions in the country. It describes the ways and means to make Haiti an emerging country in the next 20 years, taking into account the many challenges facing us: major risks, environmental deterioration, poverty, social inequalities, endemic unemployment, a huge informal market, a fragile central government and weak local and regional governments.

These considerations are all reflected of course in a strategy designed to ensure accelerated and balanced economic growth and poverty reduction, to respond to the legitimate aspirations of the population. For this purpose, concrete regional, economic, social, and institutional measures are added to it, making it a comprehensive, bold, and ambitious program to be implemented on a three-year timeline. This document is special in the sense that it is the first time that the Haitian government has developed a three-year investment plan based on a long-term vision.

Our development partners and donors in the international community have an important part to play in our efforts to attain our objectives and in the development and reconstruction of our country. The present 2014-2016 Three-Year Investment Program and its framework will enable them to place their participation in the context of a pre-established whole, thus ensuring greater efficiency and sustainability.

As Prime Minister, I am committed to providing the leadership required to implement this Three-Year Investment Program. More specifically, I pledge to guide government action to ensure that it is implemented effectively, and to participate actively in seeking the necessary financing to achieve our national objectives.

Finally, this document is the product of a participatory process comprising all sectors of government, guided by a joint MPCE-MEF committee on the basis of a precise road map. I would like to extend my profound gratitude to all of those who participated in this process, including the participants in the round tables and workshops who joined in on this initiative to reform Haiti, and brought their enthusiasm and passion to the table.

Dear friends, I will repeat once more, *fwasa fok pep la jwenn, Ayiti ap vanse*.

Laurent Salvador Lamothe
Prime Minister of the Republic of Haiti and
Minister of Planning and External Cooperation

INTRODUCTION

The January 12, 2010 earthquake created an unprecedented situation in Haiti. Its repercussions touched all spheres and all sectors of society, and extended well beyond the zones directly affected by it. International aid was promptly mobilized in a spontaneous spirit of solidarity, and the international community actively came to the aid of the Haitian people and government. Subsequently, at the New York conference on March 31, 2010, our international partners pledged to provide speedy support for the reconstruction of Haiti, and agreed on the principle of long-term assistance on the basis of the Plan of Action for the Recovery and Development of Haiti (PARDH), which was prepared to present the major national guidelines for the reform of Haiti based on new foundations, while rebuilding the devastated zones.

PARDH served as a guide for government authorities and international partners, so that a series of urgent measures and key projects could be carried out to put Haiti on the path of change, to ensure that it will be an emerging country by 2030. At the same time, the national authorities developed a Strategic Development Plan for Haiti, to provide further details on the PARDH guidelines and include all public policies in a consistent global package, as a single programming approach.

The Haiti Strategic Development Plan presents the new framework for the planning, programming, and management of Haitian development, the vision and the strategic guidelines for the country's development, the four major work areas to be implemented to ensure the recovery and development of Haiti, the programs and subprograms to be implemented under each of them, and the major features of the implementation strategy. These choices are designed to make Haiti an emerging country by 2030, and testify to the clear intention of the authorities to seek a balanced, sustainable development that will guarantee and maximize the impact of the programmed activities. This approach will apply to the next three years covered by this document, which presents the three-year development program and the three-year investment program, the first tools for implementing the PSDH.

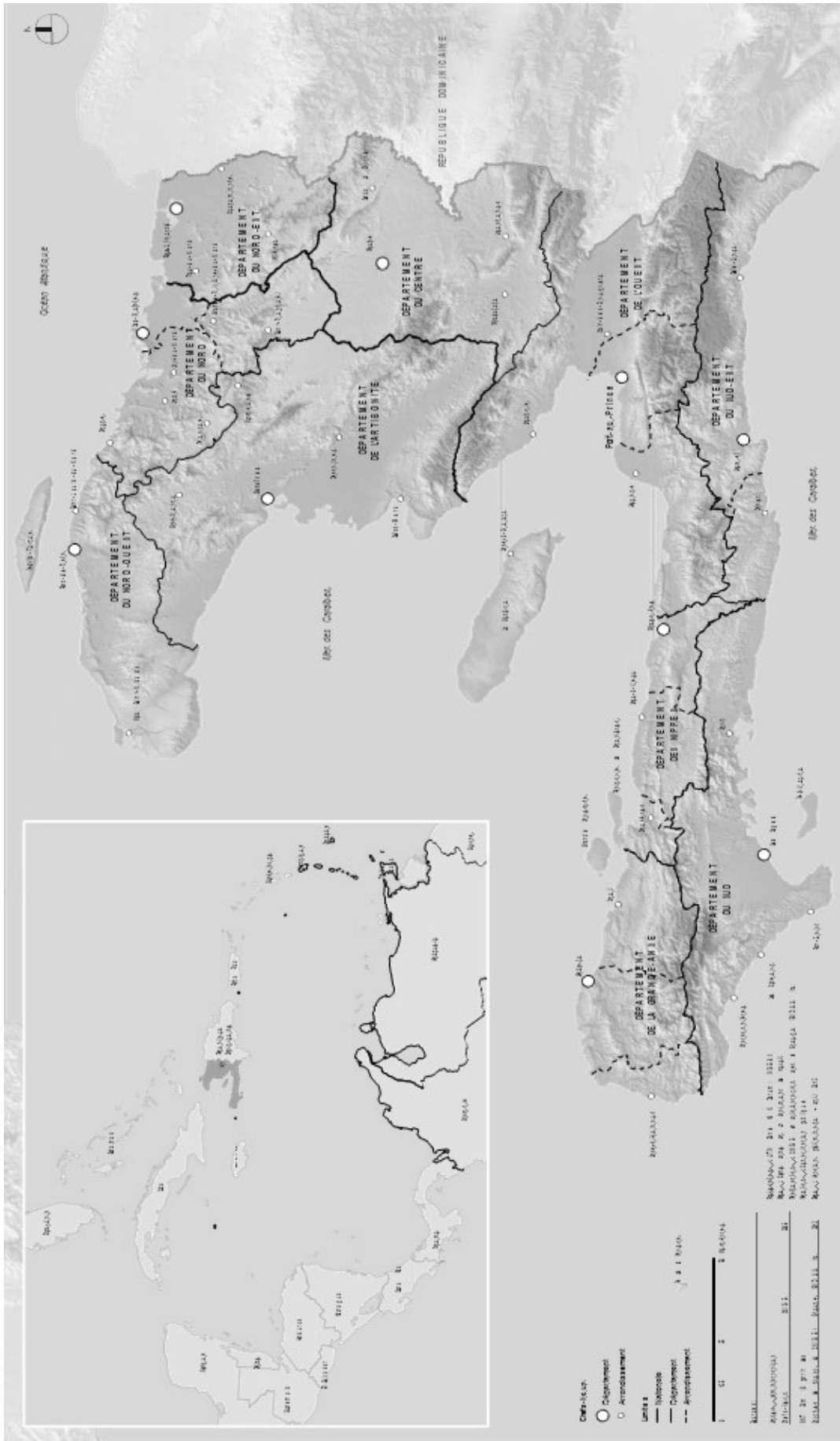
The first part of this document contains the three-year development framework. This framework is aimed specifically at accelerated, balanced economic growth and the sustainable reduction of poverty. It shows the road map the government will follow during the period to remain on target. It is also the vehicle to be used by the government to implement its activities, which have clearly formulated results indicators.

The second part of the document presents the 2014-2016 Three-Year Investment Program. More specifically, it lists the projects to be implemented. The projects chosen are a continuation of the following: recent action undertaken to begin the reform and reconstruction of Haiti; action carried out earlier under the National Growth and Poverty Reduction Strategy Paper (DSNCRP) to reduce poverty and social exclusion and meet the Millennium Development Goals (MDG); and, emergency post-Sandy measures and government priorities during that period.

The PSDH will be implemented through this first three-year development framework and this first three-year investment program in accordance with the principles of the Paris Declaration on the effectiveness of development assistance. This text stipulates the following:

- That beneficiary countries will exercise effective control over their development policies and strategies;
- That beneficiaries will coordinate action in support of development; and
- That donors will base all of their support on the national development strategies.

The tools for development planning, programming, and management are already available for this purpose, and mechanisms for coordination, monitoring, and evaluation are already in place, while others will be shortly.



PART 1. THE THREE-YEAR DEVELOPMENT FRAMEWORK

The Haiti Strategic Development Plan will guide public and private activities during the next 20 years, including those of Haiti's international partners. However, the PSDH's sights are on long term targets, which will require at least seven three-year frameworks and programs to achieve. The measures prioritized in these programs and frameworks will be selected on the basis of their specific context and the government's priorities for each time period. The same is true of the present three-year development framework.

Considerable efforts have been made in recent years to launch significant economic and social recovery. Although the work of laying the groundwork for the country's development has begun, a great deal remains to be done, particularly in the area of poverty reduction. To guide the country in its choices, it is important to begin by spelling out the major constraints to the country's development and to comprehend the poverty situation in Haiti.

Important efforts have also been devoted recently to determining the main lines of the country's long-term development and to defining the development planning, programing, and management framework required to identify the projects to be implemented, ensure that activities are coherent, facilitate coordination and evaluation of projects, and set the stage for the gradual introduction of a program approach. The results of these national efforts are the accomplishments we will build on as we reshape the foundations of the country's development.

Choices have to be made to put the country on the desired path of change. Everything cannot be done at once with our limited budget. We need to spell out the economic guidelines for the period and enhance the means to achieve them, in terms of financing and management of interventions. And we have to indicate our priorities to guide public and private action.

National authorities have already announced the five government priorities for the period in question targeting education and human and social development, the environment and regional development, the economy and employment, energy, and the rule of law and democracy. Implementation of urgent post-Sandy measures is also at the center of the government's concerns. Projects related to government priorities and to emergency post-Sandy measures will form the core of the public investments programmed in the next few years.

More specifically, in the past two years, several projects have targeted increased access to basic social services, especially for the most impoverished population segments. These efforts should be pursued and expanded. To achieve the country's development vision, it is also necessary to take immediate action to boost the per capital gross domestic product, create jobs, and increase the monthly income of the population, as these factors alone will

guarantee balanced and sustainable development in the short, medium, and long run. Protection and improvement of the environment and strengthening of the rule of law are also essential elements.

Thus the current three-year development framework comprises the following elements:

- The country's baseline economic and social development scenario;
- The status of poverty;
- The new development planning, programming, and management framework;
- The main guidelines for long-term development and government priorities during the period;
- The major macroeconomic guidelines for the 2014-2016 period;
- The objectives of the PSDH programs;
- The financing strategy; and
- The primary parameters for implementation, monitoring, and evaluation of the three-year framework, including the challenges and risks involved in its implementation.

Finally, matrixes of results indicators show the effects that the three-year development framework and investment program and the annual targets are expected to achieve over this time period.

CHAPTER 1. THE BASELINE ECONOMIC AND SOCIAL DEVELOPMENT SITUATION

Since 2006, the Haitian authorities, with the assistance of the international community, have worked hard to put in place certain basic conditions for the country's development and to launch significant economic and social recovery efforts. Between 2006 and 2007, the Haitian economy was on an accelerated growth path. Much still remained to be done, yet despite the impact of four successive hurricanes that struck Haiti in 2008, the country posted a 2.9 percent growth rate in fiscal year 2008-2009, the highest in the Caribbean. Some of the major advances achieved prior to the earthquake are as follows:

- Establishment and strengthening of democratic institutions;
- Improvement of public security;
- Consolidation of the macroeconomic framework;
- Achievement by Haiti of the completion point under the Expanded Poverty Reduction and Growth Facility and the Facility for Heavily Indebted Poor Countries, leading to the cancellation of over \$1.2 billion in external debt;
- Strengthening of anti-corruption efforts;
- Tighter budget control and initiation of the budget reform process; and
- Strengthening of revenue collection agencies and a considerable increase in tax revenue.

These important early steps towards the qualitative leap forward needed for the country's sustainable development were the direct results of both the so-called macroeconomic "stabilization" policy followed since 2006 and the design and implementation of the National Growth and Poverty Reduction Strategy (DSNCRP 2008-2010) adopted by the government in September 2007.

In early 2010, a second National Growth and Poverty Reduction Strategy (DSNCRP 2010-2013) was under preparation. Its objectives were expected to target pursuit of the structural measures initiated earlier, while at the same time stepping up economic growth efforts, and ensuring a significant increase in social investments, especially in the fields of health and education.

However, the January 12, 2010 earthquake completely changed the picture. Its effects were particularly devastating because they were centered in the area of the "Republic of Port au Prince." A great deal has been done to meet the people's needs or to put the country on the path of the desired changes. This can be seen particularly in the areas of access to basic social services and establishment of the infrastructure required for economic and social development and the development of tourism.

Of course, the current Haitian development situation is still rife with challenges. Prominent among them are the following:

- Lack of regional land use planning and organization;

- Deterioration of the country's natural and cultural heritage and overexploitation of natural resources;
- Towns that still need to be rebuilt or restructured since the earthquake;
- Precarious housing conditions;
- Networks of productive infrastructure covering only parts of the country;
- A widespread situation of under-employment and unemployment;
- Weak economic growth in a situation of strong population growth;
- Virtually constant food insecurity;
- Underinvestment in the job- and wealth-creating sectors of the future;
- An insufficient supply of social and recreational services to meet the need;
- An under-valuation of cultural creativity;
- Strong social inequalities;
- Fragile democratic institutions; and
- Weak government of the regions and communities.

These are the obstacles that Haiti must overcome today to become an emerging country.

CHAPTER 2. THE POVERTY SITUATION

The poverty trends in Haiti have been described by the National Observatory on Poverty and Social Exclusion (ONPES). The following text partially reflects ONPES documents.

The evolution of poverty in Haiti has been marked by three major events that occurred in the course of 2010, namely, the January 12 earthquake, Hurricane Thomas in November, and the cholera epidemic. These three events in Haiti led to the formation of a vicious circle, marked by recurring natural disasters striking the country at regular intervals (the four hurricanes in 2008) and increased vulnerability, mainly on the part of the poorest sectors of the population. The January 12 earthquake annihilated the work accomplished in 2009, which was reflected in a 2.9 percent growth rate, after long years of either declining growth or very low rates of increase. The economic improvement announced in 2009 was therefore short-lived, as the earthquake would cause losses of the order of 120 percent of GDP and a 5.1 percent drop in growth. In 2010-2011, recovery was seen in the form of an economic turnaround and a growth rate of 5.6 percent. However, the economy went back to its historic growth trend, recorded at 2.8 percent in 2011-2012, and an estimated 3.4 percent in 2012-2013. Moreover, poverty measurements are still producing alarming figures.

Estimates of extreme and absolute poverty rates for the past decade are presented below.

Table 1. Poverty measures for Haiti in 2001, 2006, and 2008

POVERTY MEASURES	2001	2006	2008
Poverty rate of USD 1 per day	62,25	47,6	44,8

Source: ECVH/UNDP/ONPES (Estimates based on LAPOP data)

Table 2: Estimated Poverty Rates for 2010-2011

Daily Income	% of population in extreme poverty	SOURCES	Sampling
0,50 UsD per day	50,0 %	LAPOP (2010)	1 752
1,02 UsD per day	40,0 %	CNSA/ENSA (2011)	3 557
0,81 UsD per day	51,1 %	ONPES (2011)	4 402

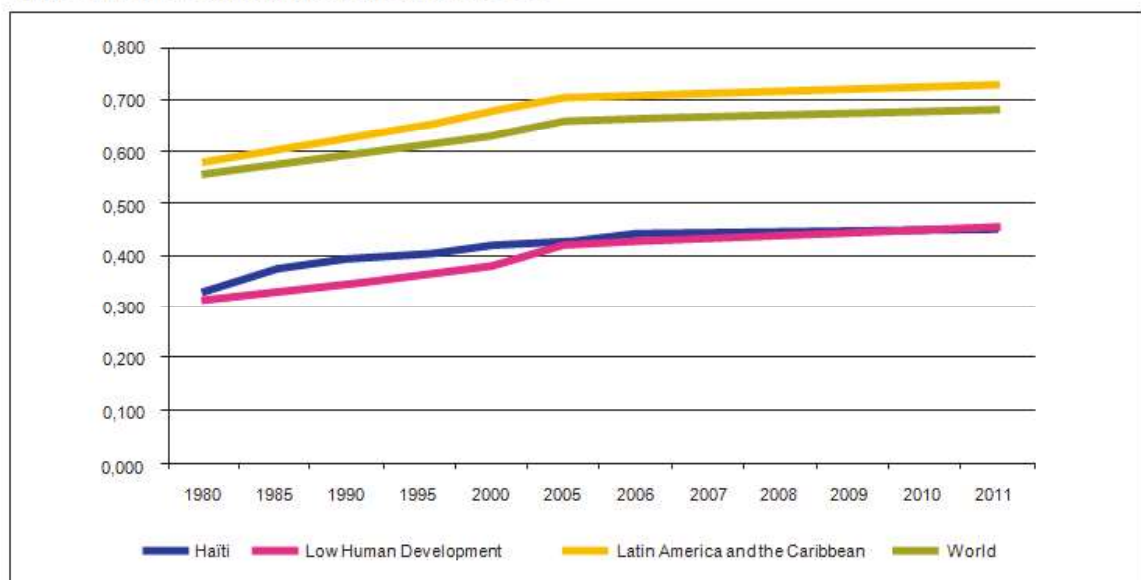
Sources: Computed on the basis of data produced by the institutions listed as sources.

2.1. AN IMPROVED HUMAN DEVELOPMENT INDEX

In the Human Development Report (UNDP 2011), Haiti's human development index (HDI) was reported at 0.452, on a scale of 0 to 1, putting it in 158th place in the world. This index places Haiti among the countries with the lowest human development index in the world, and makes it the lowest in Latin America and the Caribbean (the Dominican Republic has an HDI of 0.66).

However, the country's HDI has improved considerably in recent years, posting a 37 percent increase between 1980 and 2011. This improvement is attributed to the increased access to health and education services. In fact, the life expectancy at birth is currently placed at 63 years of age, the percentage of births attended by qualified health personnel has risen to 38 percent, and the coverage of prenatal care is at 90.5 percent. School attendance for the first two cycles of basic education is 77 percent according to preliminary data from EMMUS V.

Graph 1. Human Development Index: trends from 1980 - 2010

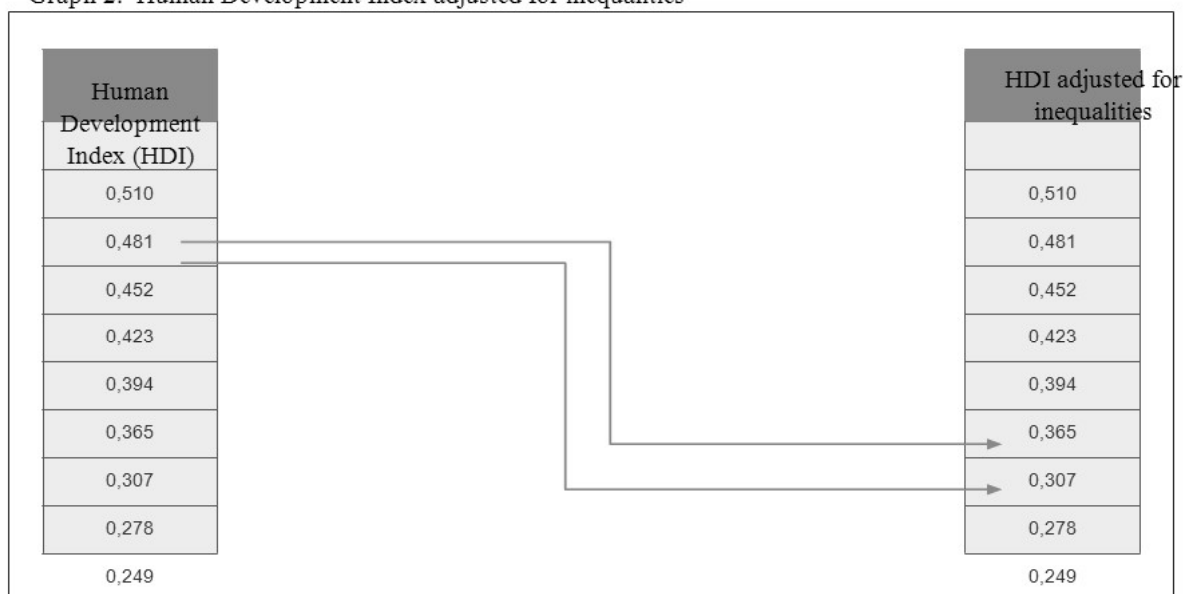


Source: UNDP 2011

2.2. THE HUGE INCOME INEQUALITY PROBLEM IN HAITI

The good performance of the human development index in Haiti is tempered by the inequalities seen in the principal dimensions of poverty underlying calculation of the HDI, namely health, education, and income. When adjusted for inequalities, the country's HDI declines from 0.452 to 0.278, i.e., it loses 0.274 points, for a drop of 40 percent, as is seen in the following graph. The reason for the low index can be explained by the development of the Gini coefficient, which for decades has been at such a high level that Haiti is considered the most unequal country in Latin America and the Caribbean.

Graph 2. Human Development Index adjusted for inequalities



As early as 2001, an ECVH survey showed an extremely high concentration of income in the country: 40 percent of the poorest sector of the population lived on only 5.9 percent of total income, while the wealthiest 20 percent had 68 percent. The poorest 20 percent had only 1.4 percent of income, and the wealthiest 2 percent had 26 percent of total income. Ten years later, this unequal income distribution has not really changed. Thus this is a strong trend in Haitian society that reinforces the mechanisms that perpetrate poverty and social exclusion.

2.3. MULTIDIMENSIONAL POVERTY INDEX

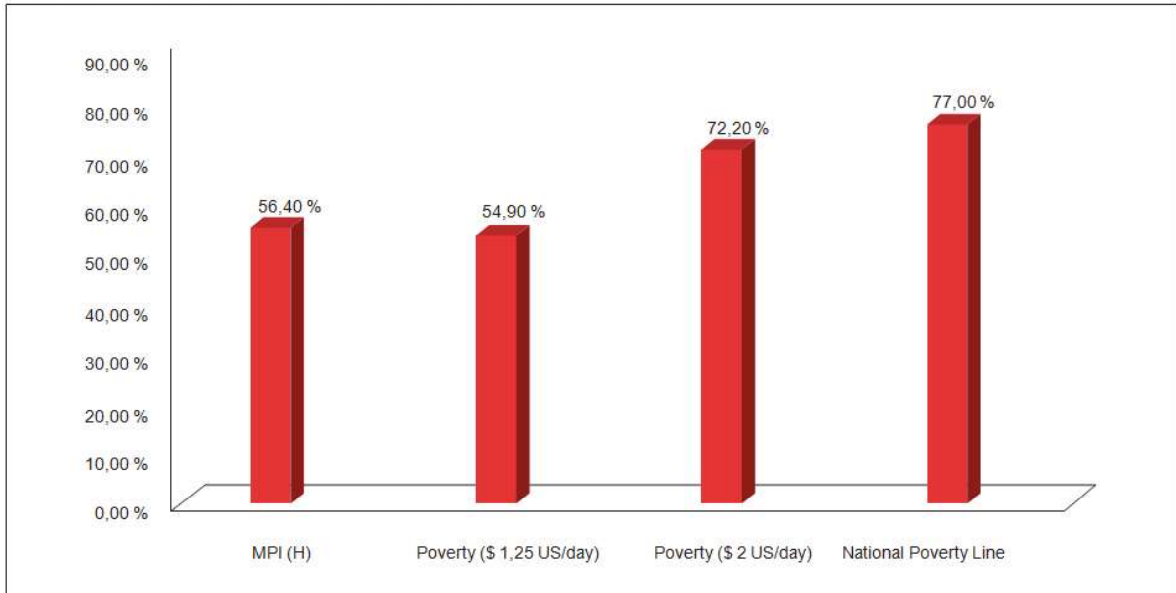
The multidimensional poverty index (MPI) measures the multidimensional deprivations of acute poverty. This index goes beyond monetary income to measure the incidence of poverty in the three dimensions covered by the human development index. Haiti has an MPI of 56.4 percent,³ far above the poverty rate of Latin American countries.

The proportion of the population living in multidimensional poverty with deficiencies in environmental services is 35.6 percent for drinking water, 52.2 percent for improved sanitation systems, and 56.2 percent for use of modern fuels. The following graphs and table

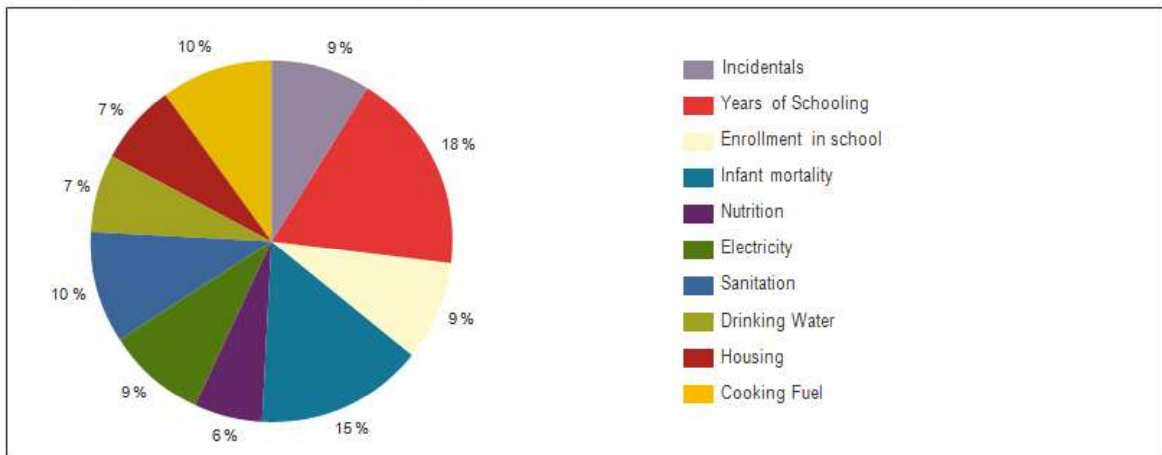
³ Calculated on the basis of EMMUS IV data. We would note that the data presented here are based on this survey. Therefore, the calculation of the multidimensional poverty index, based on EMMUS data from 2006, does not truly reflect the current situation, because the events of 2008 and 2010 are not taken into account in determining the index. This is why the data on multidimensional poverty are compared with the ONSA, LAPOP, and ONPES surveys, which are dated 2011.

compare the different poverty measures, the incidence of the different deficiencies for each of the indicators, the composition of the MPI, and the breakdown by region (also see the following text box for a more detailed presentation of the method used for Haiti).

Graph 3. Comparison of poverty measures



Graph 4. Share of each indicator in the MPI



Graph 5. Share of each indicator in the MPI by urban, rural, or national setting

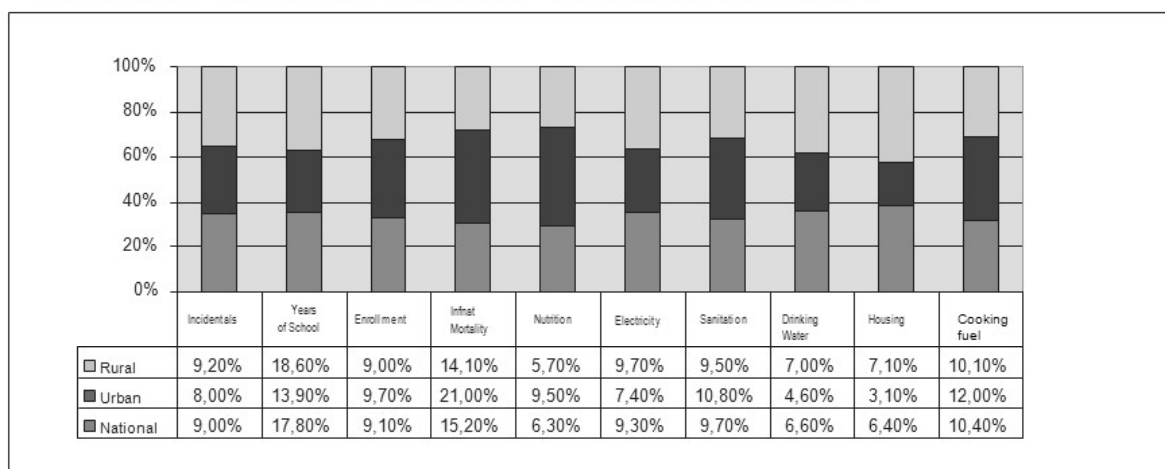


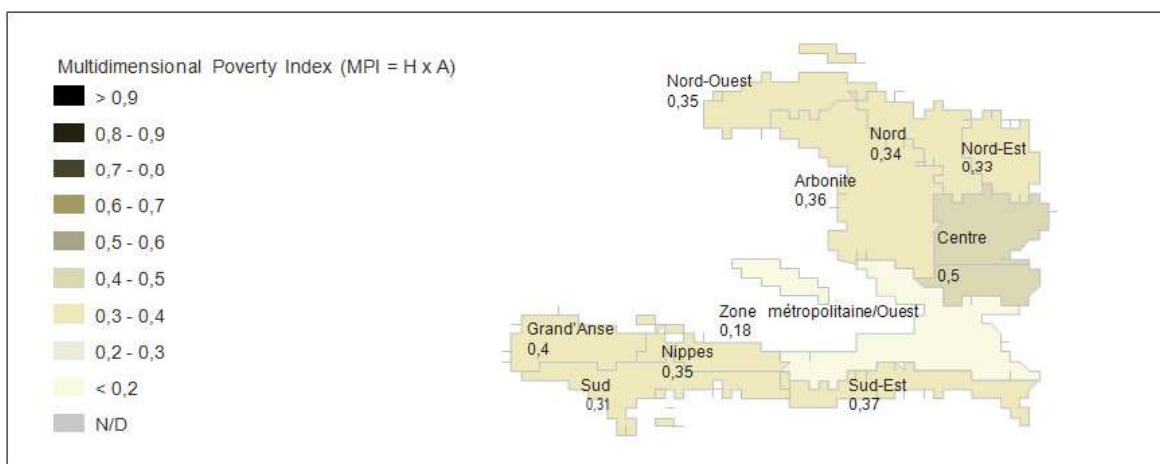
Table 3. Multidimensional poverty by geographical region

REGION	% OF POPULATION	Multidimensional Poverty Index	Poverty Index	Average Intensity of Poverty	Percent of Population Vulnerable to Poverty	% of Population in Situation of Extreme Poverty
Artibonite	16,2	0,357	66,7 %	53,5 %	19,2 %	40,3 %
Centre	8,4	0,499	84,1 %	59,4 %	10,6 %	61,0 %
Grande-Anse	4,2	0,398	72,3 %	55,0 %	18,9 %	45,4 %
AMP + reste Ouest	36,4	0,177	36,5 %	48,5 %	17,8 %	16,8 %
Nippes	2,7	0,349	67,0 %	52,1 %	24,1 %	38,8 %
Nord	9,8	0,343	62,3 %	55,1 %	19,3 %	36,8 %
Nord-Est	3,4	0,330	63,3 %	52,2 %	21,5 %	34,6 %
Nord-Ouest	6,0	0,345	66,9 %	51,7 %	20,7 %	36,2 %
sud	7,2	0,310	58,8 %	52,7 %	24,2 %	32,1 %
sud-Est	5,6	0,368	68,7 %	53,5 %	23,0 %	39,6 %

Table 3 shows that the Central Department is the one with the highest percentage of the population living in extreme poverty (61%), followed by Grande-Anse (45.4%), Artibonite (40.3%), and the South-East (39.6%).

In terms of the vulnerability to poverty, the departments of the South, South-East, and Nippes have the highest rates. The following graph shows the geographical distribution of poverty by region, according to the combined analysis of the multidimensional poverty index.

Graph 6. Map of poverty rates by region

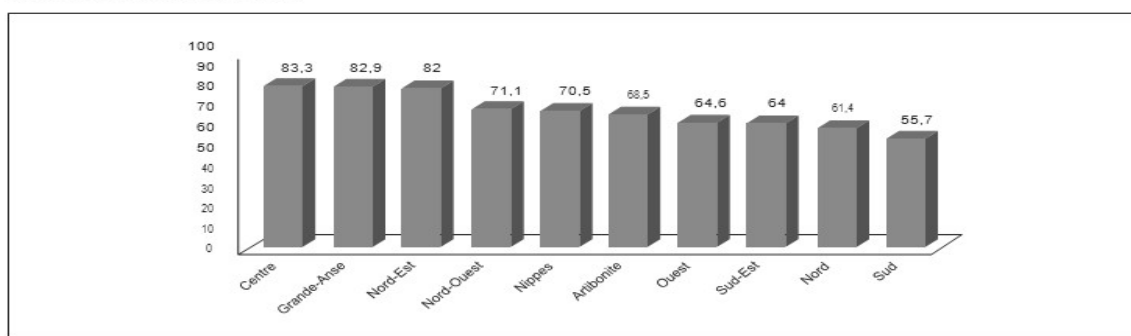


2.4. A PRONOUNCED DISPARITY IN EMPLOYMENT AMONG DEPARTMENTS

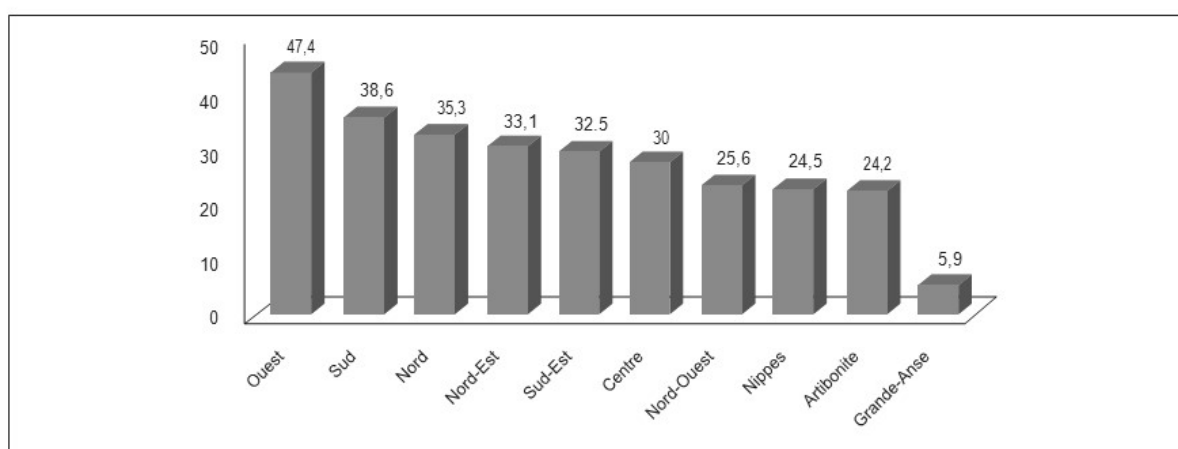
In 2011 the ONPES conducted a series of surveys, the results of which make it possible to evaluate the post-earthquake living conditions of households. The survey on DSNCRP investments was used in the ten departments and in the communes of the country. It provides a picture of employment and income of households from 2007 to 2010. According to the data collected, there is a pronounced disparity in employment figures among the departments. While the departments of the South and North have employment rates of 44.3 percent and 38.6 percent, the departments of the North-East, Grande-Anse, and the Center post decidedly lower rates, i.e., 18.0 percent, 17.1 percent, and 16.7 percent. As the following graph shows, none of the departments has an employment rate over 50 percent, and the national average is around 31 percent.

One of the survey's objectives was to determine to what extent households were reacting to the unemployment situation by developing their own income-generating activities. For Grand-Anse Department, the percentage of jobless that had developed such a strategy was 94.1 percent, or nine persons out of ten, while in Artibonite and Nippes, this percentage was 75.8% and 75.5%, respectively, or eight out of ten persons. The least dynamic departments in terms of seeking alternatives to formal employment were the departments of the South (61.4%) and the West (52.6%). The following graph shows the percentage of idle persons in the ten Haitian departments. An analysis of the data points to a rather alarming situation, and highlights one of the principal factors in the perpetuation of poverty. Thus the data confirm that in the past several years, there has been an expansion of food-related activities in the informal sector, and it shows that food expenses are a central in the life of citizens.

Graph 7. Jobless rates, by region



Graph 8. Proportion of unemployed persons by regions



The survey reveals the following information on income level: 51.1 percent of respondents are in the fringe of monthly income under 1,000 gourdes (i.e., at the current rate of 41 gourdes per US\$1, US\$0.81 per day, well below the World Bank’s baseline of US\$1.25 a day; 33.4 percent of those surveyed are in the income bracket of 1,000 to 5,000 gourdes, and the monthly income of 89.5 percent of the population is less than 5,000 gourdes.

The following table provides a breakdown by department of the persons with a monthly income of less than 1,000 gourdes (US\$0.81 per day). It shows that the departments posting the lowest incomes are Grande-Anse, where 81.2 percent of the people earn less than 1,000 gourdes, and the South, with 71.1 percent in that bracket.

Table 4. Proportion of monthly income of less than 1,000 gourdes, by region

ARTIBONITE	CENTRE	GRANDE-ANSE	NIPPES	NORD	NORD-EST	NORD-OUEST	OUEST	SUD	SUD-EST	AVERAGE
47,1	55,7	81,2	46,7	34,0	69,4	54,5	42,7	71,1	55,2	51,1

2.5. THE POVERTY SITUATION IN THE PRECARIOUS DISTRICTS

The ONPES survey, taken in ten so-called precarious districts scattered throughout the country and reputed to be poor neighborhoods, depicts the principal trends of living conditions of the poorest sectors of the population since the earthquake. The population of these districts has accumulated a certain number of handicaps that make their living conditions especially precarious. These handicaps include:

- A lack of job opportunities (due to distance from economic centers and employment hubs;
- Weak job skills and social capital;
- Social exclusion manifest in a certain stigmatization of the inhabitants of these districts and their exclusion from information flows on investment projects in the region where they live; and
- Few assets.

With regard to economic activity in these districts, the survey revealed that it is mostly in the form of precarious, very short-term micro-activities. These activities barely enable households to cover daily expenses, but they do not provide for regular inflows of money, so that some could be set aside to use during hard times or emergencies. ONPES wanted to learn the nature of the activities of heads of household. A large percentage of those surveyed work for themselves. In districts such as Boulaille (a commune of Petionville), Nan Savannes (town of Cayes), Nan Bannann (Cap-Haitien), the percentages are over 70 percent. The lowest self-employment rates were surveyed in Varreux 2 (23%), Bertin, a commune of Carrefour (36%), and Ste-Hélène, in Jeremie (37%).

2.6. INCOME INADEQUATE TO COVER BASIC NEEDS

The persons surveyed were asked about the coverage rate of their wages. The responses showed that a considerable proportion of heads of family estimate that their income covers only part of or none of their needs. In districts such as Raboteau, Bertin, Descahos, Jalousie, and Boulaille, this percentage was 97%, 82%, 92%, 85%, and 92%, respectively.

2.7. FROM SOCIAL ASSISTANCE TO SOCIAL PROTECTION

The main components of social protection are weak in Haiti. Social assistance, social insurance, and social transfers have not been adequately developed. Institutional arrangements have been made over time, with the creation of the Office d'Assurance Accidents du Travail, Maladie et Maternité (OFATMA) [Office for Work-Related Accidents, Sickness, and Maternity Insurance], Caisse d'Assistance Sociale (CAS) [Social Assistance Fund] of the Institut du Bien-Etre Social et de Recherche (BESR) [Social Welfare and Research Institute], l'Office National des Migrations (ONM) [National Immigration Office], and the Entreprise Publique de Promotion des Logements Sociaux (EPPLS) [Public Enterprise for Promotion of Public Housing], among others. In recent years, measures and initiatives were adopted to help correct this deficit and to

support the poorest population segments, while reducing their vulnerability. In fact, welfare, subsidy, prevention, and social assistance programs were initiated through the various facets of the EDE-PEP program, involving cash transfers, a mobile cafeteria, the “solidarity basket,” and the PSUGO program. In coming years, all of these programs should be strengthened, to ensure a lasting improvement in the living conditions of the population.

2.8. THE STATUS OF THE MILENNIUM DEVELOPMENT GOALS

Haiti is lagging behind its targets in the case of many of the millennium development goals (MDGs). Although it is difficult to obtain precise figures on the impact of the earthquake on MDGs, it is likely that it exacerbated the situation. The MDGs that were the furthest off-target prior to the earthquake were: poverty (MDG 1), maternal health (MDG 5), and the environment (MDG 7). However, it is also important to point out that Haiti managed to make headway on various goals, including increasing the primary school enrollment rate (MDG 2), gender parity in primary education (MDG 3), and fighting HIV/AIDS and other infectious diseases (MDG 6). It will need to continue this progress in the coming years, as well as to identify and eliminate the major obstacles to achieving the MDG targets that are lagging behind.

Table 5. The status of MDGs in Haiti

1. ERADICATING EXTREME POVERTY AND HUNGER	
Proportion of persons living in poverty (less than US\$2 per day)	76 %
Proportion of persons living in extreme poverty (less than US\$1 per day)	56 %
Unemployment rate	44,9 %
Food insecure households	45,2 %
Food insecure households (rural areas)	49,6 %
Underweight children	22,2 %
2. ACHIEVING UNIVERSAL PRIMARY EDUCATION	
Net rate of primary schooling	75 %
Literacy rate (15-24 years)	82,2 %
3. PROMOTING GENDER EQUALITY AND EMPOWERING WOMEN	
Girls and boys in primary school	96,9 %
Women members of parliament [<i>députées</i>]	5 %
Women senators	3 %
4. REDUCING CHILD MORTALITY RATES	
Child mortality rate	48,6 pour 1000
Child-youth mortality rate	86 pour 1000
Children vaccinated against measles	57,7 %
5. IMPROVING MATERNAL HEALTH	
Maternal mortality rate	630 pour 100 000
Childbirth assisted by skilled personnel	26,1 %
Rate of use of contraceptives	24,8 %
6. COMBATING HIV/AIDS, MALARIA, AND OTHER DISEASES	
Prevalence of HIV/AIDS	2,2 %
Use of condoms for most recent high-risk relations (15-24 years of age)	43,3 % (H), 29,2 % (F)
Prevalence of malaria	4,9 %
7. ENSURING ENVIRONMENTAL SUSTAINABILITY	
Forest coverage	< 2 %
Population with access to drinking water	55,2 %

Source: UNDP (<http://www.ht.undp.org/public/omdhaiti.php>), 2010

OBJECTIVES	INDICATORS	1990	1995	2000	2005	2008-09	2015	PROGRESS	GAP TO BE FILLED
OBJECTIVE 1: Eliminating extreme poverty and hunger	*Ratio employment/population, 15+, total (%)	56	54	55	55	56	78	Slow	Large
	% of underweight children	26,8	27,5	17,3	22,2	...	13,4	Slow	Large
OBJECTIVE 2: Achieving universal primary education	Net primary schooling rate	22,1	...	54,3	49,6	...	100	Slow	Relatively small
	Literacy rate	54,8	...	64,4	82,4	85	100	Rapid	
OBJECTIVE 3: Promoting gender equality and empowering women	Ratio of girls to boys in primary school	0,95	0,95	...	1	...	1	Rapid	
	Percentage of seats held by women in the National Parliament	...	4	4	4	4	50	Slow	Large
OBJECTIVE 4: Reducing mortality rates in children under 5 years of age	Percentage of children 12-23 years [sic] vaccinated against measles	31	49	55	58	58			
	Child mortality rate per thousand live births	105	98	78	62	57	36,7	Slow	Large
	Maternal mortality rate for 100,000 live births	152	98	109	84	76	60	Slow	Large
OBJECTIVE 5: Improving maternal health	Prenatal care coverage (%)	457	474	520	630	...	114	Backsliding	Very large
	Postnatal coverage (%)	71	68	79	85	85			
	Prevalence of contraception (%) women from 15 to 49	10	18	28	32	32			

OBJECTIVE 6: Combating HIV/AIDS, malaria, and other diseases	years of age)																								
	Percentage of tuberculosis cases detected and treated	...	2	19	44	49																			
OBJECTIVE 7: Ensuring environmental sustainability	Rate of prevalence of HIV in the population		5,0	5,5	2,2	2,2														1,5	Rapid	Relatively small			
	% of the urban population with access to an improved water source	52	54	56	58	58																94	Slow	Large	
OBJECTIVE 8: Developing a global partnership for development	% of the population using improved sanitation infrastructure	29	29,7	24	19	24																			
	Per capita aid (current USD)	24	92	24	54	73																			
	Mobile telephone service subscribers, per 100 inhabitants	0	0	1	5	33																			

Source: Annual Report of ONPES, 2010-2011, March 2012

2.9. ANTI-POVERTY EXPENDITURES

The Haitian government has demonstrated its determination to help and commitment to the people living in poverty, as seen in the following table that shows the evolution of expenditures to fight poverty and achieve the MDG between 2007 and 2012. Since the 2007-08 fiscal year, an automatic mechanism was introduced to monitor government spending on poverty reduction, through the general budget. During these five years, according to the mechanism, an average of 45 percent of total expenditures was allocated to reduce poverty, and about 90 percent of these appropriations were actually disbursed.

Table 7. Evolution of anti-poverty appropriations and expenditures from 2007-08 to 2012-13
(in thousands of gourdes)

	APPROPRIATION 07-08	EXPENDITURE 07-08	APPROPRIATION 08-09	EXPENDITURE 08-09	APPROPRIATION 09-10	EXPENDITURE 09-10	APPROPRIATION 10-11	EXPENDITURE 10-11	APPROPRIATION 11-12	EXPENDITURE 11-12	APPROPRIATION 12-13	EXPENDITURE 12-13 (1+2, T)
Employment	69 404	84 478	271 127	261 824	2 024 857	1 938 395	2 154 228	2 069 972	2 421 240	2 275 677	3 687 788	2 675 466
Food security	804 577	1 133 268	721 259	644 813	566 674	821 667	1 202 039	871 109	1 468 200	1 316 812	2 708 828	796 048
Energy supply	2 200 081	2 540 268	4 016 984	4 417 061	2 957 467	2 891 137	3 716 331	3 996 369	2 394 232	2 549 537	3 560 978	2 180 834
Transportation	2 082 554	713 921	429 396	452 940	559 392	546 557	1 572 145	679 666	1 861 017	603 318	10 757 819	2 996 023
Sanitation	454 268	447 786	347 411	399 803	422 609	417 110	805 739	529 137	1 166 088	784 716	2 248 857	1 432 551
Facilities and housing	354 954	233 688	276 452	207 115	833 713	831 767	706 063	385 140	1 419 430	852 474	9 048 590	483 249
Access to drinking water	51 451	37 452	27 327	23 404	24 487	23 550	39 413	30 716	62 531	24 256	94 531	131 796
Health	1 723 002	1 597 701	1 730 000	1 773 109	1 549 551	1 840 490	2 799 310	2 056 681	2 654 854	2 209 092	2 962 647	462 124
Education	6 110 331	5 329 784	5 070 930	5 508 697	6 146 604	5 960 435	7 925 684	6 854 468	9 054 849	8 192 792	10 570 460	3 466 629
Social welfare	1 291 027	1 016 526	1 160 241	1 347	2 418 911	2 365 465	1 401 638	1 217 604	1 645 993	1 488 748	2 843 228	869 850
TOTAL POVERTY EXPENDITURES	15 141 650	13 134 875	14 853 136	15 035 303	18 108 367	17 636 585	22 322 591	18 190 864	24 148 485	20 297 419	48 473 725	15 474 272
TOTAL APPROPRIATIONS / PUBLIC TREASURY	35 925 942	31 755 255	41 558 212	34 496 947	41 290 712	39 589 679	49 342 227	39 109 873	57 874 918	50 003 730	82 842 135	30 790 495
SHARE OF POVERTY EXPENDITURES OUT OF TOTAL SPENDING	42,1 %	41,4 %	36,0 %	44,0 %	44,0 %	44,0 %	45,0 %	46,0 %	42,0 %	41,0 %	58,5 %	50,3 %

Source: Ministry of Economy and Finance, General Directorate of the Budget (DGB), and Ministry of Planning and External Cooperation, Directorate of Economic and Social Programming (DPES)

2.10. IMPACT OF INVESTMENT ON IMPLEMENTATION OF THE DSNCRP (2008-2010)

The impact of investment on implementation of the DSNCRP (2008-2010) was evaluated by ONPES, under the aegis of SE/CISCO, between December 2010 and June 2011, by means of a national survey.

Every analysis of the survey leads to the conclusion that not only are the pillars supporting the Haitian economy unstable, but their load-bearing capacity is too low. The level of collective satisfaction with the Strategy measured since its implementation ranges mostly within a narrow band of 20 to 30 percent, and key problems such as access to food seem to have deteriorated since 2007. It would be relevant to compare here the real observed effects of the DSNCRP with the national objectives set for 2015. Let's look at nine objectives in relation to the observations noted in the survey. These are essentially the following:

1. Reduce by 50 percent income below 40 gourdes a day;
2. Reduce by 50 percent the number of persons without access to drinking water and sanitation;
3. Reduce by 50 percent the number of citizens suffering from hunger;
4. Deploy the PNH throughout the entire country;
5. Permit full access by all to the judicial system;
6. Increase the literacy rate from 58 to 77 percent;
7. Achieve at least 30 percent integration of women;
8. Ensure that all agriculture is modern and sustainable; and
9. Ensure that all communal sections have a primary school.

In comparison with the objective to reduce by 50 percent income below 40 gourdes a day (less than 1,000 gourdes a month), the results of the survey reveal that the process was much too slow, as only 4.9 percent of respondents acknowledged an improvement in their situation after 2007. The situation is even more critical when account is taken of the fact that over half of the target group (54.9 percent) responded that their income had dropped, with 40.2 percent indicating that it was unchanged.

On the goal of reducing by 50 percent the number of persons without access to drinking water and sanitation, we note a rather meager improvement in access to water and decent sanitary conditions. 25.8 percent of respondents believe that this access has improved either somewhat or quite a bit since 2007, but this is still less than 30 percent. Moreover, it is important to note the weak grade given the government (3.38/10).

On sanitation, the survey showed that four out of ten persons do not have access to water in their homes. The need to use "bokittes" to go and fetch water at a public cistern is a common practice in the country. Haiti is still one of the few countries in the world that continues to use latrines for toilets. Here too, the expected impact of the DSNCRP is inconsistent.

As for the objective of reducing by 50 percent the number of citizens who suffer from hunger, only 19.4 percent of those surveyed responded that they have improved access to food since 2007. Moreover, 68.4 of those persons say that they have little access to food. Here again, we see that the Strategy has had little impact. This result is somewhat expected in a country where prices are set by the market alone and where there are no agricultural production policies. One could therefore indirectly conclude that the process needed to achieve fully modern and sustainable agriculture has not yet been put into motion.

As for deployment of the PNH throughout the country, we note that a certain effort has been made in this direction, but that many communes among those selected for the sampling are still waiting for the realization of this objective. And, it is useless to establish under-equipped and/or under-staffed police stations. Our awareness of these deficiencies within the institution leads us to put more emphasis on access than on the actual deployment of the police. We note that only 20.6 percent of respondents believe that there is improved access, despite the fact that the institution's visibility is estimated at 88.2 percent.

As for 100% access to the judicial system, we note that the situation is not very different from that of the PNH. Courts have a visibility of 84.8 percent, whereas only 18.8 percent of respondents noted an improvement in access to judicial services. The situation is virtually stagnant, which does not speak well for the instrument being evaluated.

With regard to the objective of increasing the literacy rate from 58% to 77%, only 30.9 percent of respondents are aware of the existence of these centers, and only 19.1 percent say that they are aware that they are operating. In our opinion, the philosophy underlying the literacy program should be reviewed.

On the target of ensuring a primary school in every communal section, we note that the possibilities are good, in view of the general satisfaction of respondents, as nearly four out of ten respondents rate the government's efforts to ensure universal access to education from average to strong. This is a favorable rating that may surprise more than a few.

Finally, on the goal of achieving 30 percent integration of women, we note that 58.1 percent of respondents indicated that women's organizations were highly visible, 49.7 percent that their number had increased, and 35 percent said that efforts to include women in decision-making positions were effective. The gender equity movement could admittedly achieve its objective by 2015.

CHAPTER 3.

THE NEW DEVELOPMENT PLANNING, PROGRAMMING, AND MANAGEMENT FRAMEWORK

As a result of the January 12, 2010 earthquake, the national authorities were forced to change their approach to planning, programming, and management of development. Implementation of the National Growth and Poverty Reduction Strategy Paper for 2007-2010 (2007-2010 DSNCRP) and preparation of the 2010-2013 DSNCRP had to be suspended. A new framework for planning, programming and managing development was needed.

Initially, national and international development partners had to be urgently convened to work out an Action Plan for the Recovery and Development of Haiti (PARDH). This action plan, considered at the International Conference in New York on March 31, 2010, provided a long-term development vision for Haiti, briefly described the four major areas of work needed to rebuild the country, listed urgent measures to meet Haiti's short-term challenges, and indicated the key "trigger" projects to begin the process of reconstruction and recovery. The list of priorities was brought up to date at that time. Moreover, PARDH established two main stages for implementation: an 18-month initial stage, to put in motion urgent measures and trigger projects to respond to immediate priorities and to kick off the rebuilding of Haiti; and a later, 20-year period to complete the reconstruction and reform of the country and make Haiti an emerging country.

The government has been working on the basis of PARDH since April 2010, pursuing or initiating urgent measures and studying the initial trigger projects to rebuild and reform Haiti. It also drew up a 2010-2011 Public Investment Program, which included urgent measures still required and trigger projects targeting the reform of the country. These objectives were retained in the 2011-12 and 2012-13 fiscal years, and implementation of the corresponding investment programs in fact extended the period covered by the action plan.

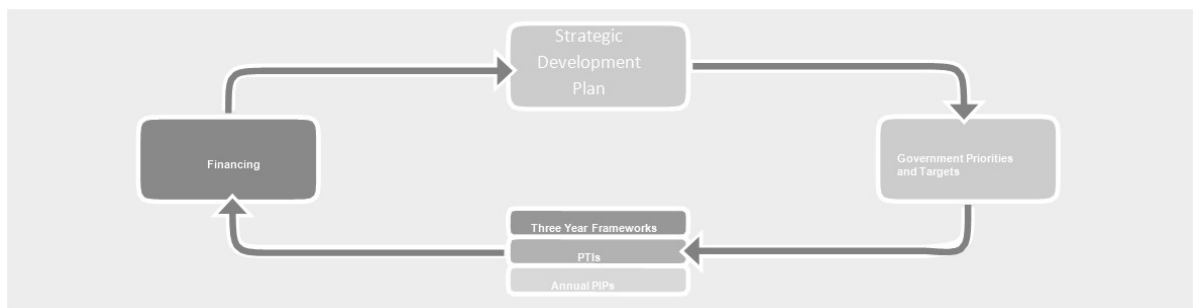
At the same time, in 2010 the government also began working on the Haitian Strategic Development Plan (PSDH), whose end goal is to make Haiti an emerging country by 2030. The PSDH presents the vision and strategic guidelines for the country's long-term development, the four major areas of work for the recovery and development of Haiti, which comprise development and reorganization of the territory and the economic, social, and institutional reform of the county, as well as the programs and subprograms to be implemented within this framework. Moreover, in 2013, the national authorities presented the government's priorities for 2014-2016, and it retained the post-Sandy emergency measures, some of which will continue in effect until 2014 and 2015.

In brief, priorities to implement the PSDH were identified, and are incorporated in the present three-year development framework for accelerated and balanced economic growth and poverty reduction, and consequently into the Three-Year Investment Program for 2014-2016, which will guide the preparation of the 2013-14, 2014-15, and 2015-16

public investment programs. Financing of the projects under the programs will put Haiti on the path of sustainable development, to make it an emerging country in the next 20 years. Finally, the projects will change Haiti’s development image, and will require an updating of the PSDH in three years. A new three-year development framework and a new three-year investment program for 2017-2019 will then be proposed to Haiti’s development partners.

The following diagram illustrates the links between the various public investment planning and programming tools.

Diagram 1: The Principal Public Investment Planning and Programming Tools



Evaluation of the realization of the general development objectives in the Haitian Strategic Development Plan and the more specific objectives of the present three-year framework will be based on results indicators and annual targets. Evaluation of the degree of realization of the objectives of each of the development projects to be implemented will follow a different approach closer to their purpose and the actual situation, or will be done on a project by project basis. Whenever relevant, a gender-specific approach will be used for each of these levels of indicators.

This 2014-2016 three-year framework, the prime tool for implementing the PSDH, has a series of indicators and targets necessary for evaluating the results achieved on the development front. Regular monitoring of the results will enable our national and international development partners to follow the evolution of the projects. The targeted results can only be achieved if the coordinated effort of all of the country’s development stakeholders and partners is consistent with the government’s priority measures and any emergencies that may arise. Chapter 8 of this three-year framework, which presents the principal parameters for its implementation, monitoring, and evaluation, will provide further details on the mechanisms and tools set up for coordination.

This three-year framework therefore represents a return to a normal planning cycle of development programming and management, based primarily on three-year and annual investment programs. It also includes the information needed for evaluation of the results of implementation.

The following diagrams illustrate Haiti’s new development planning, programming, and management framework.

Diagram 2A. The New Development Planning, Programming, and Management Framework

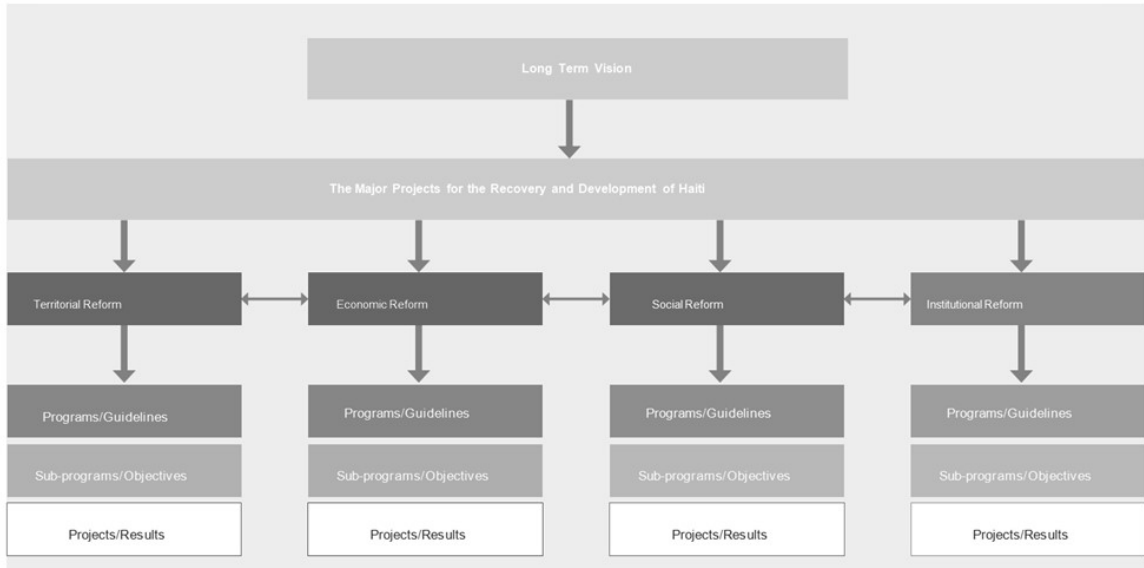
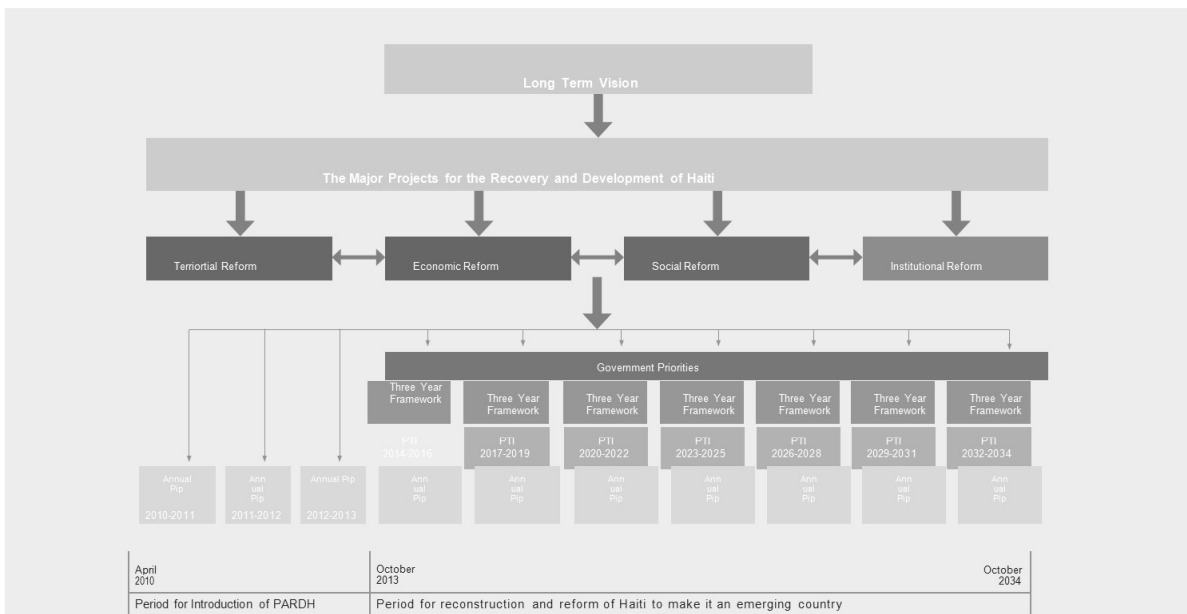


Diagram 2B: The New Development Planning, Programming, and Management Framework



CHAPTER 4. THE MAJOR DEVELOPMENT GUIDELINES

The country's major development guidelines include the vision targeted for the long-term development of Haiti, the main strategic choices for the recovery and development of Haiti, in addition to the programs and subprograms to be put in place. Having set the priorities for action over the period, the government can spell out the activities to be developed from 2014 to 2016.

4.1. THE LONG-TERM VISION

Haiti's long-term development vision entails the recasting or reform of the Haitian nation, to transform the January 12, 2010 disaster into an opportunity for Haiti to become an emerging country by 2030. This reform will produce the following results:

- An equitable, just, united, and peaceful society, living in harmony with its environment and its culture, a modern society where the rule of law and freedom of association and expression prevail, and where there is organized development of the regions;
- A society with a modern, diversified, strong, dynamic, competitive, open, and inclusive economy, that has a broad territorial base;
- a learning society where universal access to basic education, mastery of the necessary skills based on relevant vocational training, and the capacity for scientific and technical innovation nourished by a modern and effective university system mold the new type of citizens the country needs for its reform and reconstruction; and
- All supported by a unified, strong, accountable government, the guarantor of the rule of law and the citizens' interests, a government that is also highly deconcentrated and decentralized.

4.2. THE MAJOR STRATEGIC CHOICES

Strategic guidelines are needed to steer the activities put in motion and to rebuild Haiti on new foundations, in order to improve the well-being of the population. The government authorities will follow this approach in making the following choices:

- The choice to create wealth and jobs, without which it will be difficult to protect the environment or ensure social development;
- The choice of the national, regional, and international private sector, as the prime agent for creating wealth and jobs;
- The choice of a supply of basic services for the population, including as a pillar the creation of wealth and jobs;
- The choice of regional development poles, and thus the choice of the regions to structure and balance the country's socioeconomic development and territorial reorganization and development;

- The choice of district centers or hubs [*chefs-lieux d'arrondissement*] as local development poles, and thus the choice of the districts or *arrondissements* to structure the development and local reorganization of the territory;
- The choice of a rapid response to basic social needs and the need to protect the major components of the country's natural and cultural heritage;
- The choice of social inclusion in all its forms, in particular so as to offer opportunities to youth, women, and small farmers;
- The choice of strong, sustainable economic growth and development, to support the efforts of national and local stakeholders;
- The choice of voluntary control of population growth; and
- The choice of building a strong, deconcentrated, and decentralized government, essential for the creation of this new national pact.

4.3. THE MAJOR AREAS OF WORK FOR THE FUTURE

The PSDH established that the framework for the reconstruction of Haiti is centered on four major areas targeting territorial reform, economic reform, social reform, and institutional reform. In each of these areas, the PSDH has listed the principal “trigger” projects to be implemented to prepare for the future.

Each major area is composed of programs, which in turn are broken down into subprograms and then projects, described in terms of guidelines, objectives, and results. Project programming includes, among other elements, their location, their national, regional, or local scope, the estimated time for completion, and the principal parameters for their financing. The PSDH has a total of 32 programs and around 150 subprograms.

The **area of territorial reform** comprises regional reorganization and development, urban development, local development, environmental protection, correction of watersheds and urban renewal, establishment of a national transportation system, electrification of the country, expansion of communications and the digital network throughout the territory, and an increase in the capacity to supply drinking water and sanitation, including solid waste management. These programs will lead to construction of the economic infrastructure needed for growth and job creation, as well as access to social services; they will strengthen the regional economies, stimulate local development, structure development of urban centers and rural areas, and help to reconcile the requirements of economic development with protection and promotion of the country's natural and historic heritage and with risk management.

The **area of economic reform** comprises the following : implementation of a development-oriented macroeconomic framework; support for external and internal private investment; modernization and revitalization of farming, animal husbandry, and fishing; development of the competitive sectors of the Haitian economy, and especially the manufacturing and tourism industries; establishment of a true construction industry; development of the services sector; sustainable development of our geological resources; and, implementation of projects targeting job creation and improvements in productivity and employability. These programs will stimulate the creation of wealth and jobs, increase the income of individuals, strengthen

the private sector, promote the stabilization of the population, increase food security, and reduce the pressures on the environment and natural resources.

The **social reform area** comprises the following: creation of modern health and education systems throughout the country, including higher education and vocational and technical training; protection of cultural assets and support for cultural creativity; increased access to housing; development of civic action and sports and recreational activities; establishment of a social insurance system for all workers; organization of social solidarity, and a program promoting gender equality. These programs will eventually cover the entire territory with basic services; they will participate in setting up regional and local development poles, improve living and housing conditions, foster social inclusion, and form the pillars for creating wealth and jobs and accelerating the expansion of the middle class.

The **institutional reform area** will include the following: review of the legal framework; strengthening of the legislative, judicial, and independent institutions; modernization of the government, and especially in the areas of judicial and security services; an increase in the number of deconcentrated government employees; strengthening of the regional and local governments, and a strengthening of civil society. These programs will lead to the construction of a strong, deconcentrated, and decentralized government, and will establish a culture of transparency and accountability that will make corruption impracticable throughout the territory. They will also adjust the legal and regulatory framework to current needs, ensure better land management, and guarantee protection of private property.

The following diagrams illustrate these elements.

Diagram 3A : The Major Areas of Work for the Recovery and Development of Haiti

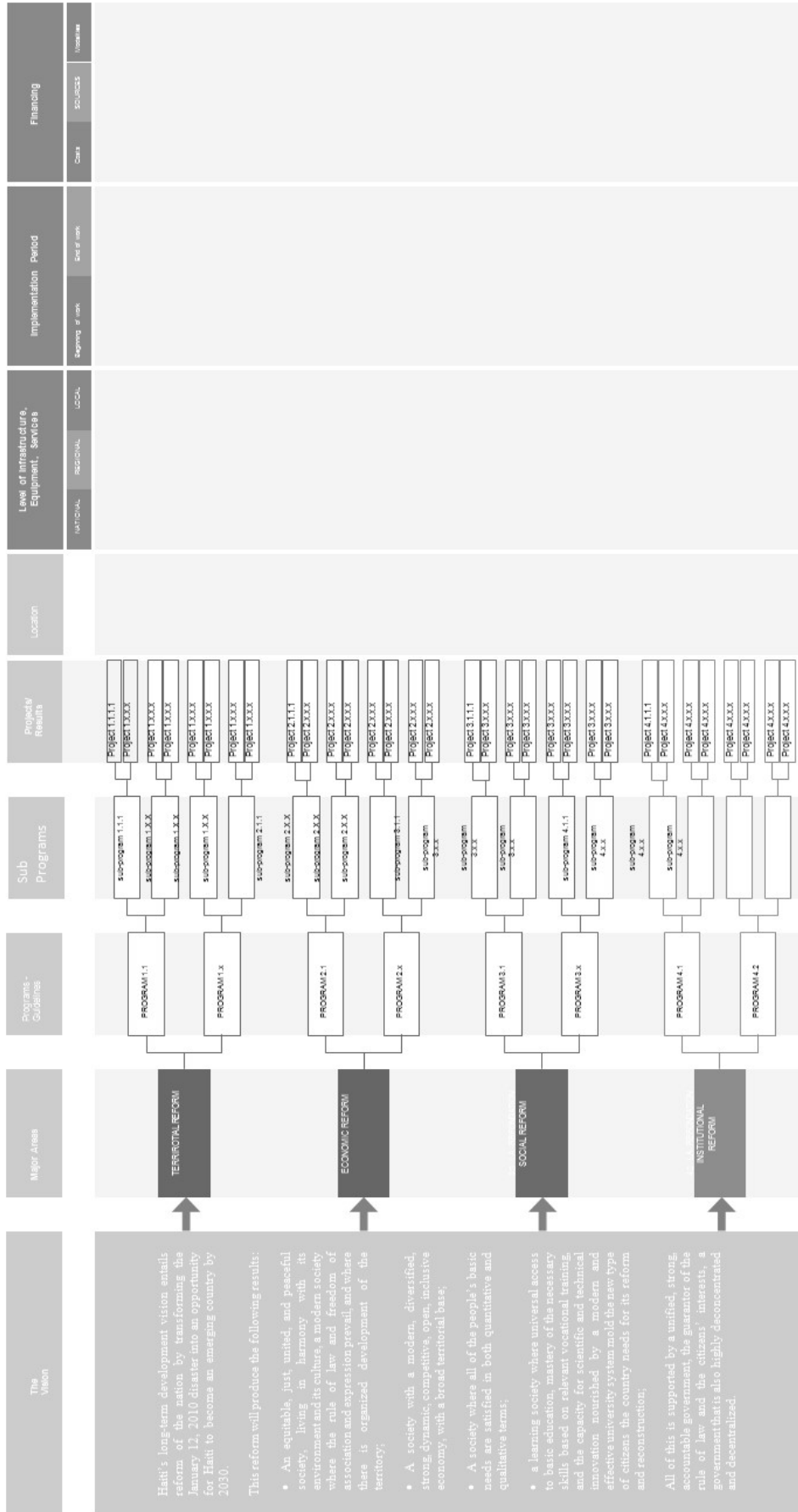
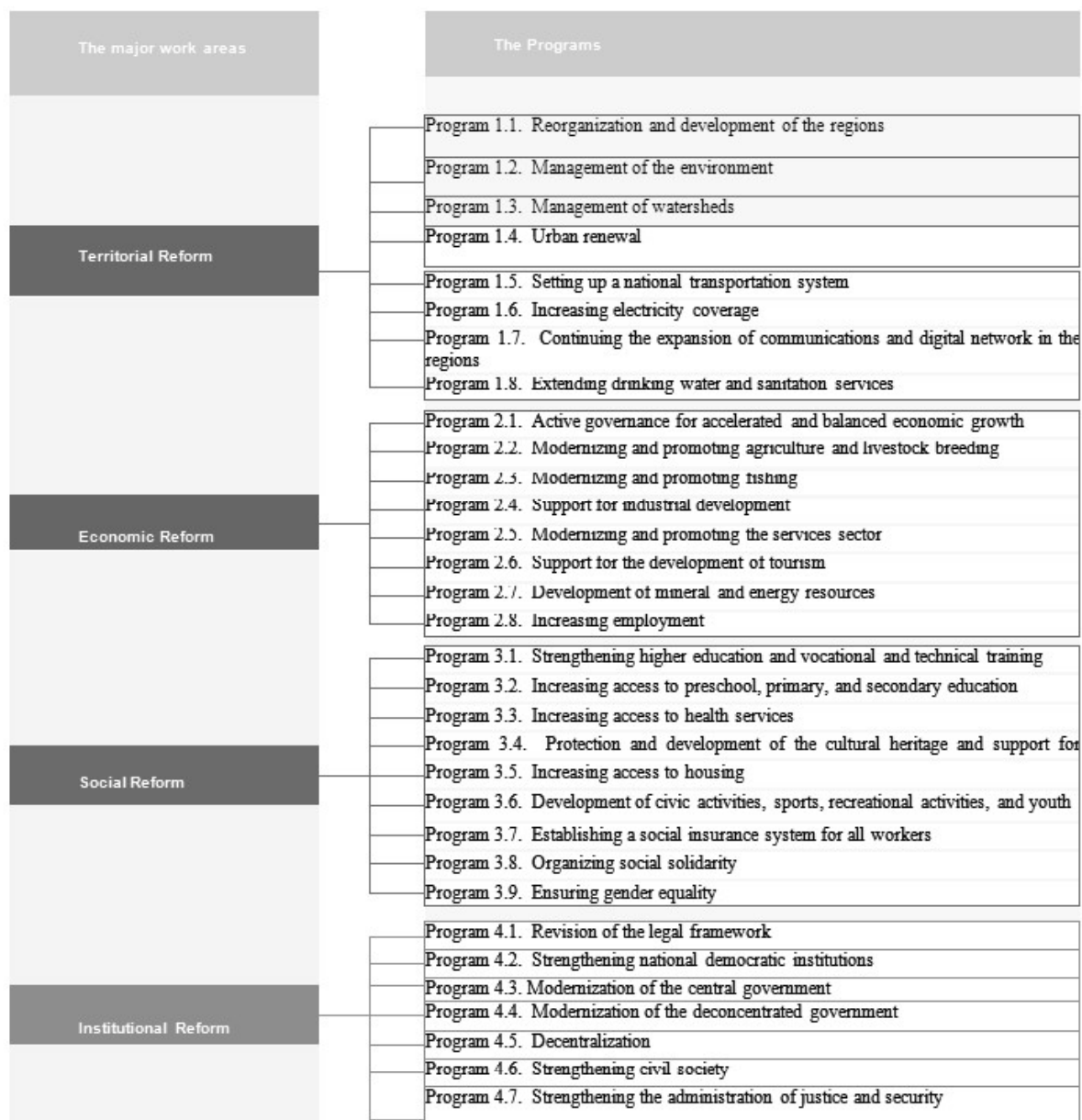


Diagram 3B: THE MAJOR WORK AREAS AND PROGRAMS FOR THE RECOVERY AND DEVELOPMENT OF HAITI



4.4. THE GOVERNMENT’S PRIORITIES FOR THE PERIOD

The government’s priorities for the period are to accelerate Haiti’s economic and social recovery, adequately structure the territory, gradually rehabilitate the country, and strengthen the rule of law. Completion of the projects associated with these priorities will create “engines” of development, and put in place a positive identification process for the population. Moreover, implementation of several projects stemming from these priorities will be based on true public-private partnerships. The large-scale repercussions of these projects will revitalize the economic,

social, and political situation in the country. Moreover, there must be a margin of maneuver in the event of natural disasters, which are continually afflicting the country.

Since the start of this presidential term, priority was given to post-earthquake activities and to putting in motion various measures that are part of the government's "social package." Considerable national and international efforts have already been put into this, and others will be in the coming years. For the national authorities, it is critical that all stakeholders in Haiti's development pursue the convergence of their efforts to increase access to basic social services, especially for the poorest segments of the population.

Other efforts of each of the country's development partners have of course targeted other sectors of activity. To achieve results commensurate with the stakes involved, the national authorities have decided to give the highest priority to the following:

- Job creation, as this is the prime vehicle of economic growth and social integration, and a way to alleviate pressures on the environment; it requires equipment and infrastructure that will in turn generate a large number of jobs;
- Protection and improvement of the environment, to ensure its sustainability, increase its attractions, improve the quality of life, and reduce vulnerability; and
- Strengthening the rule of law, to improve governance of public services, bring the services to the citizens, and increase local capacity and autonomy.

The government has therefore decided to increase investments targeting the following projects:

- Promising projects for protection and optimal use of natural resources, reduction of the environmental vulnerability of the territory and the people, accelerated and balanced economic growth, poverty reduction, and increasing the independent action of people and business in a more liberal and open society;
- Structural projects that promote gender equality, fight social exclusion, improve living conditions, ensure food security, and improve management of land and disaster risks;
- Projects with multiple leverage effects that generate collective wealth and individual development opportunities.

The government of the Republic of Haiti has selected five priorities on which it will focus its action in the next three years. These priorities are as follows:

- Education and human and social development;
- The environment and reform and development of the territory;
- The economy and employment;
- Energy; and
- The rule of law and democracy.

Their implementation will have a major positive impact, on a national as well as a regional and local level:

- On the governance of the entire country and the increased capacity of all communes and communal sections in the country to participate;
- On the structuring of the territory and the protection and optimum use of ecosystems and national resources;
- On raising the standard of living of the population and improving the living conditions of hundreds of thousands of persons; and
- On access to social services.

To target education and human and social development, the following must be done in the short run: promote universal primary education and expand school cafeteria services in the country; improve access to secondary schools, vocational and technical training, and universities; improve access to health services and step up efforts to fight endemic and epidemic diseases; improve access to social services for the poorest people; set up infrastructure to promote sports and recreational activities; develop culture and the cultural heritage; and, renovate housing and living conditions, especially by improving basic infrastructure.

To target the economy and employment, the following must be done in the short term: remove legal, financial, and land constraints to investment; continue putting in place major networks of infrastructure and productive equipment (transportation, energy, communications, etc.); support modernization and development of agriculture and increase its yield; establish manufacturing/industrial parks; help develop the supply of tourism products, including ecotourism and ethno-tourism; and, develop highly labor-intensive projects.

To target the energy sector in the short run, the following must be done: increase electricity production capacities; increase the capacity to transport electricity; expand the coverage of services to the population; improve the marketing of electricity; reduce technical and nontechnical losses; and, develop incentives to use energy-saving equipment.

To target the rule of law and democracy, the following must be done in the short run: ensure the optimum functioning of democratic institutions; re-engineer the government; reform the civil service; strengthen justice and public security; strengthen deconcentrated government services; strengthen regional and local governments; and, strengthen civil society.

Moreover, in the short run, it is also important to increase the availability and reliability of both technical and financial management data. For example, the basic geographical frame of reference involves many uncertainties; the location and condition of infrastructure, equipment, and public services are not all documented; the knowledge in real time of recent either ongoing or programmed development projects is not a given; and, few unit costs of infrastructure or equipment are available for investment programming purposes. Thus major efforts should be urgently devoted to these chapters in order to significantly improve control of development.

The following table presents the general objectives pursued for each of the government's priorities:

Table 8. The general objectives of government priorities during the period

GOVERNMENT PRIORITIES DURING THE PERIOD	GENERAL OBJECTIVES
PRIORITY No. 1. Education and Human and Social Development	<ul style="list-style-type: none"> • Meet the basic social needs of the population • Promote social inclusion in all its forms • Ensure access to basic education • Increase access to secondary, occupation, technical, and university education • Increase access to health services • Eradicate endemic and infectious diseases • Set up adapted, progressive social programs • Promote sports and recreational activities as a vehicle for social integration and civic action • Promote the value of culture and the cultural heritage for the purposes of identity, recreation, and tourism • Renovate housing and basic infrastructure
PRIORITY No. 2: The Environment and Development of the Territory	<ul style="list-style-type: none"> • Reduce the vulnerability of the population, territory, and economic and social infrastructures • Reduce risks during the rainy and hurricane seasons and in the fact of natural disasters • Protect and develop natural sites of interest • Protect natural resources critical to development • Increase forest coverage • Open up the territory • Improve the circulation of goods and persons • Structure the regions and requalify housing in the Cap-Haitien/Ouanaminthe corridor and housing in the northern periphery of Port-au-Prince • Rebuild downtown Port-au-Prince
PRIORITY No. 3. Economy and Employment	<ul style="list-style-type: none"> • Multiply job creation • Promote promising sectors with a high value-added • Increase income and build capacities in communities • Improve the balance of payments and increase GDP • Increase government income • Modernize and increase the production, processing, and distribution capacity of farm products and manufactures • Increase food self-sufficiency

- Promote development of commercial, manufacturing, and industrial zones
- Put in place tourist destinations in priority zones
- Stimulate private investment and foster public-private partnerships

PRIORITY No. 4
Energy

- Improve the reliability of energy supplies
- Increase sources of renewable energy
- Minimize polluting emissions
- Optimize the quality of services to the population and businesses
- Maximize the use of national potentials
- Create opportunities for private investment and business
- Reduce the pressure on wood

PRIORITY No. 5
The Rule of Law and
Democracy

- Pursue government reform
- Improve the quality of public services to the people
- Strengthen democratic institutions
- Modernize the government and the civil service
- Ensure that the government is present throughout the territory
- Strengthen justice and public security
- Strengthen the regional and local governments and civil society
- Structure and develop the regions
- Expand investment budgets to cover the entire territory

4.5. EVALUATION OF RESULTS

The preceding sections described Haiti's long-term development vision, summarized in the main strategic choices presented in the Haitian Strategic Development Plan, and indicated the priorities of the national authorities for the period. To help reduce the major constraints to development and reduce the vulnerability of the territory and population, the national authorities have also included in the PSDH cross-cutting targets which represent global development indicators.

These global targets/indicators of Haitian development are: creation of jobs; gender equality; fighting social exclusion; improving living conditions; improving food security conditions; improving management of risks and disasters; and, improving land management. In fact, above and beyond the results achieved in the area of infrastructure, equipment, and services, it is on the basis of the results achieved with these global targets/indicators that real long-term progress should be evaluated. When relevant to monitoring the expected results, a gender-specific analysis will be carried out.

These global development targets/indicators involve both the reconstruction and the reform of the country, and respond to government priorities, as indicated by the country's authorities. All projects to be implemented should take them into account from the outset.

The following table presents the expected impact, the results indicators and the annual targets for each of the global development indicators. In the first year of implementation of this 2014-2016 three-year framework, the national authorities will establish the reference point for each results indicator, in order to establish an effective basis for comparison adapted to the actual economic, political, and social situation. Since fiscal 2013-14 is the first year for implementing the new generation of three-year frameworks, half of the annual targets for this fiscal year are for 2014-15 and half for 2015-16. Finally, note that an expected increase of 7 percent a year corresponds approximately to a 100 percent increase over 10 years. Likewise, an estimated increase of 10 percent corresponds roughly to a 100 percent increase over 7 years.

Table 9. The matrix of global development indicators

MATRIX OF GLOBAL DEVELOPMENT INDICATORS
2014-2016 FRAMEWORK FOR THE ACCELERATED, BALANCED GROWTH
OF THE ECONOMY AND POVERTY REDUCTION

Indicators	Expected impact	Results indicators	Targets 2014	2015	2016
Job creation	Increase in collective wealth, increased participation in economic life, and a reduction in pressures on the environment	<ul style="list-style-type: none"> a) Increase in number of jobs per person b) Number of jobs created (all sectors together) c) Increase in average annual income d) Improved energy coverage e) Number of persons/year in highly labor-intensive projects 	<ul style="list-style-type: none"> a) 3,5 % b) 50 000 c) 3,5 % d) 5 % e) 200 000 	<ul style="list-style-type: none"> a) 7 % b) 100 000 c) 7% d) 10% e) 300 000 	<ul style="list-style-type: none"> a) 7 % b) 100 000 c) 7% d) 10% e) 300 000
Gender equality	Promotion of the participation of women in development	<ul style="list-style-type: none"> a) Increased number of women in public decision-making positions b) Increased value of public investments implemented by women c) Increased number of women in traditionally male trades d) Increased number of men in traditionally female trades e) Increased number of women employed in the civil service 	<ul style="list-style-type: none"> a) 5 % b) 5 % c) 5 % d) 5 % e) 5 % 	<ul style="list-style-type: none"> a) 10 % b) 10 % c) 10 % d) 10 % e) 10 % 	<ul style="list-style-type: none"> a) 10 % b) 10 % c) 10 % d) 10 % e) 10 %
Fighting social exclusion	An increase in school attendance and citizen involvement, as well as increased participation in economic activity on the part of women, youth, and persons with disabilities	<ul style="list-style-type: none"> a) Increased number of children enrolled in school b) Increased number of participation in civic activities c) Increased number of youth in training or internship programs d) Increased number of persons with disabilities in the labor market e) Reduction of extreme poverty 	<ul style="list-style-type: none"> a) 5 % b) 5 % c) 5 % d) 5 % e) 5 % 	<ul style="list-style-type: none"> a) 10 % b) 10 % c) 10 % d) 10 % e) 10 % 	<ul style="list-style-type: none"> a) 10 % b) 10 % c) 10 % d) 10 % e) 10 %

Improving living conditions	An improvement in general housing conditions and increased use of modern domestic facilities	a) Number of serviced plots b) Reduction in size of slums or shantytowns c) Number of families rehoused after losing their homes d) Reduction of crime (in urban and rural settings) e) Increase in developed public spaces	a) 15 000 b) 1 % c) 30 000 d) 3,5 % e) 3,5 %	a) 20 000 b) 1 % c) 35 000 d) 7 % e) 7 %	a) 25 000 b) 2 % c) 35 000 d) 7 % e) 7 %
Improving food security conditions	An increase in agricultural and livestock production and a reduction in food dependence	a) Increased volume of agricultural and animal production b) Decreased volume of imported agricultural food products c) Increased volume of fish products consumed d) Reduction of the relative value of the basic food basket	a) 5 % b) 5 % c) 1 % d) 1 %	a) 10 % b) 10 % c) 1 % d) 1 %	a) 10 % b) 10 % c) 2 % d) 1 %
Improving risk and disaster management	Sound, effective management of the natural environment, and increased preservation of its riches	a) Increased plant and forest coverage b) Development of watersheds c) Kilometers of regulated waterways	a) 5 % b) 5 % c) 5 %	a) 10 % b) 10 % c) 10 %	a) 10 % b) 10 % c) 10 %
Improving land management	Development and recognition of public and private property.	a) Increased property tax revenue b) Increased number of land owners c) Land register records	a) 1 % b) 1 % c) 1 %	a) 1 % b) 1 % c) 1 %	a) 1 % b) 2 % c) 2 %

CHAPTER 5. THE MAJOR MACROECONOMIC GUIDELINES FOR 2014-2016

The conduct of macroeconomic policy in the next three years will be guided by several considerations designed to ushering the economy into a new growth phase. It will be based on both the gains from stabilization to be preserved and the following major guidelines:

- The option of building a new economy
- The choice of an accelerated growth path
- Consolidation and construction of the engines of growth
- Establishment of the foundations for competitiveness
- Monetary policy guidelines
- The main lines of the employment policy
- Promotion of a new trade policy.

5.1. THE DECISION TO BUILD A NEW ECONOMY

Based on a vision of Haiti as an emerging country by 2030, the economic strategy is designed to facilitate the emergence of a strong, diversified, dynamic, competitive, open, and inclusive economy extending over a broad territorial base. Two major options should mark the economic path, i.e., strong growth and the enhanced attractiveness of the economy, in a situation that is rebalanced from a social, environmental, and spatial standpoint.

Along this path, 2014-2016 is a transitional period during which the institutional and strategic groundwork will be laid to guarantee the take-off of the economy on a viable and sustainable basis. This is a crucial period, when policies will anchor the medium- and long-term vision. Activities will therefore be firmly oriented to release the country's economic potential while relaxing the constraints it is subjected to and reducing inefficiencies that hamper its full growth. More specifically, the following must be done:

- Systematically seek rapid gains in all public policy lines to maximize the benefits for the population in the short run;
- Consolidate and build the engines for growth;
- Eliminate the bottlenecks that block free competition and curb private initiative and consequently growth; and
- Put in place an appropriate economic governance framework.

To ensure the viability of the strategy in a situation that is already dire, various risk factors should be taken into account: social distress, environmental degradation, and climate hazards. Consequently, the policy choices should take into account the following, in a coordinated and an intelligent way: management of the sources of vulnerability and the objective of sustainable medium- and long-term growth. Moreover, to revitalize the economy, businesses need to be

formalized, to enable the government to increase revenue and social welfare linked to employment, and thus to considerably improve the standard of living.

5.2. THE CHOICE OF AN ACCELERATED GROWTH PATH

The trend over the five years preceding the earthquake was one of low, erratic growth, estimated at an annual average of 2 percent. It was too weak, insufficient to reduce the advancing poverty. Human vulnerability took on increasing proportions, especially after the earthquake when thousands of persons had to retrench in temporary camps and shelters. The speed of economic recovery following the earthquake was also slower than expected. This had to do with meager growth, and is in no way incompatible with the vision of an emerging Haiti.

According to the vision of Haiti as an emerging country by 2030, it will be necessary to break this pattern by conducting a pragmatic, proactive policy to bring the economy eventually to sustainable growth at rates approaching 10 percent. This can be achieved only if appropriate policies and reforms are implemented in a decisive and coordinated way to stimulate investment and release creative energy.

In the course of the next three years of the transitional period, an annual growth rate of 5.6 percent on average is expected. This growth will be supported by increasing public and private investments. In a situation of declining international aid, the increase in public investment will come partly from the ability to mobilize domestic revenue, which should increase much more than economic activity, to a tax burden of more than 14 percent by the end of this period. Public investment will also depend on the capacity to mobilize domestic saving by issuing medium- and long-term treasury bonds. As for private investment, financing will depend largely on the capacity of the economy to attract foreign direct investment, notably through public-private partnerships.

5.3. CONSOLIDATION AND CONSTRUCTION OF THE ENGINES OF GROWTH

It is clear that recent investment, especially in infrastructure, cannot realize its full effect without lifting certain structural constraints, and without the direct, or proactive, stimulus of economic activity.

The process of stimulating growth will consist essentially in launching a dynamic, proactive effort to seek private investment, but also in promoting the productive sectors supported by framing policies that guarantee, among other things, training, an adequate organizational foundation, and access to the factors of production (labor, capital, technical advances), along with the appropriate incentives. In effect, lack of access to the factors of production may be one of the constraints hampering economic decisions. An appropriate legal framework and the creation of a business-friendly environment are other priorities in implementing the economic policy envisaged.

In the model proposed, the engines of the economy are selected for their short- and medium-term growth potential, but also for their impact on both social and external equilibrium.

The growth process is envisaged in two stages. The short-term opportunities in the construction (buildings and public works), agriculture, tourism, and textile sectors, for instance, will be used to advantage, while the structural reforms will prepare for a second stage of accelerated growth when specialization in promising sectors will ensure important gains in efficiency, supported by a dense fabric of expanding small- and medium-sized businesses.

5.4. LAYING THE GROUNDWORK FOR COMPETITIVENESS

The foundations for long-term growth depend not only on development of the internal market, but also on the capacity to attract and maintain an increasingly large share of external demand. To this end, an effort will be made to use Haiti's comparative advantages in the sectors of agriculture, manufacturing, and tourism, for instance. Moreover, improved efficiency will be sought through cost control and the supply of facilities. This will be achieved as follows:

- Implementation of infrastructure programs designed to reduce transaction costs in the areas of electrification, road transportation, communications, information technologies, ports, airports, and storage facilities;
- Implementation of plans for management and development of the national territory;
- Establishing integrated economic zones and industrial parks;
- Promotion of investment opportunities and the image of the country to the outside world, by instituting business diplomacy to attract foreign direct investment, especially from the diaspora;
- The accelerated building of human capital to improve its productivity;
- Reduction of transaction costs linked to administrative services; and
- Improving the operation of markets through legal and regulatory arrangements encouraging competition.

5.5. MONETARY POLICY GUIDELINES

Monetary policy will be designed to support economic growth and development of the financial sector. During the period, inflation will be contained and price increases will remain at an annual average of around 5 percent.⁴ National entities, and the Bank of the Republic of Haiti (BRH) in particular, will seek to strengthen monetary policy instruments and improve the liquidity management of the banking system. However, the Central Bank could intervene, if necessary, on the exchange market to prevent sharp fluctuations in the exchange rate of the gourd vis-à-vis the US dollar.

5.6. THE MAIN LINES OF THE EMPLOYMENT POLICY

The government will endeavor to boost job creation by direct and indirect intervention. On the one hand, temporary jobs could be quickly created under public investment projects, especially

⁴ These projections are based on the assumption of stable prices of food products and oil (US\$100 per barrel on the international market).

in infrastructure. Here, highly labor-intensive projects will be given precedence at times over the more capital-intensive projects with a greater economic yield. This choice is dictated by the need to respond rapidly to the social needs of the population through income distribution. Moreover, sustainable, better-quality jobs will be achieved through policies to promote small- and medium-sized businesses and private investment in general.

5.7. PROMOTION OF A NEW TRADE POLICY

The trade policy is designed to revitalize Haitian exports by promoting Haitian products abroad. Institution-building projects and projects to support the export sector will be carried out to diversify exports in accordance with the new approach of the integrated strengthened framework. Foreign direct investment will be sought in sectors with a high export potential, to take advantage of opportunities offered by preferential access granted to Haitian products by certain countries or regions (United States, MERCOSUR, the European Union).

5.8. EVALUATION OF RESULTS

The following table presents the principal macroeconomic targets for the period. More specifically, it shows the indicators used and the expected annual changes over the period. A gender-specific approach should make it possible to measure the impact on both men and women.

Table 10. Macroeconomic Indicators: 2012-2016 (Percentage change over the previous fiscal year, unless otherwise indicated)

GDP and PRICES					
GDP	2,8	3,4	4,5	5,8	6,4
GDP deflator	7,5	8,2	6,2	6,7	6,7
CPI (period average)	6,8	7,0	4,5	6,0	6,0
CPI (end of period)	6,5	6,0	5,0	7,4	7,4
EXTERNAL SECTOR					
Real imports	-6,5	1,3	3,3	5,0	6,7
Real exports\	3,5	9,1	12,6	12,7	12,3
MONEY AND CREDIT					
Nonfinancial credit to the public sector	41,6	-14,2	-56,6	-73,4	-58,9
Credit to the private sector	29,8	21,6	18,0	17,5	17,0
Base money (% growth rate)	-3,7	8,9	8,5	9,0	9,2
M3 (broad money)	6,9	8,0	7,8	8,0	8,1
PUBLIC FINANCE					
Current Revenue	8,7	6,0	20,5	20,1	20,1
Current Expenditure	8,8	13,1	20,3	13,3	14,5
Investment expenditure:	-8,6	4,2	8,5	2,1	10,2
including expenditure financed by Treasury funds	61,4	0,4	15,6	40,6	31,3
Tax burden	-	12,7	13,0	13,7	14,6

CHAPTER 6.

THE OBJECTIVES OF THE PSDH PROGRAMS

In order for Haiti to become an emerging country by 2030, the Haitian Strategic Development Plan puts forward a series of programs and subprograms to be implemented under each of the major areas for reform, i.e., territorial, economic, social and institutional reform. These programs and subprograms also represent the country's long-term development guidelines and objectives. Their implementation will be evaluated in terms of their contribution to gender equality, among other factors.

The following sections provide a short description of the programs and subprograms, including their expected impact, and the results indicators and annual targets for the time period, for each of the major areas of reform.

6.1. THE MAJOR AREA OF TERRITORIAL REFORM

The major area of territorial reform proposes implementation of eight programs.

PLANNING AND DEVELOPMENT OF THE TERRITORY

Rational use of the land and a balanced location of businesses require planning and management tools that are adapted to the different regional situations. Action should be guided and priorities should be determined according to the following considerations, in addition to the PSDH: a strategy for intervention in support of the islands; a national plan for structuring and development of the territory; regional development strategies; local planning and development schemes; urban development plans; rural development plans; and, a better knowledge of the territory and natural and manmade risks.

ENVIRONMENTAL MANAGEMENT

The advanced environmental degradation of the country is destroying agriculture, livestock production, and fishing, compromising economic development, limiting the potential for tourism, and directly affecting the health, living conditions, and standard of living of the people. Action will target environmental protection and safety (control of contaminants), establishment of a network of protected areas, restoration of natural environments, and management of wood use.

MANAGEMENT OF WATERSHEDS

The country has around thirty hydrographic zones where water flow, forest management, and use of the soil are interdependent. Poor management of one of these resources causes the degradation of the others, with dramatic consequences for the people, infrastructure, and the economy in the event of a natural disaster. The priorities identified are protection of watersheds, construction of earthworks to regulate flooding, dredging of rivers and drainage canals, and preparation for the rainy and hurricane seasons.

URBAN RENEWAL

There is a dual challenge here--to rebuild the damaged cities and towns and to improve living conditions--combined with efforts to rebalance the population to reduce the pressure on the capital. To achieve this, regional and local development poles will have to be renovated, including towns in buffer areas receiving migrant flows, and certain historic sectors and border towns.

CREATING A NATIONAL TRANSPORTATION NETWORK

The deficiencies of the road system and port and airport infrastructure (connectivity, quality, maintenance) impede the circulation of goods and persons and both internal and external economic trade. The national road system must be completed and linked to the local road network, urban and interurban circulation must be improved, reliable links with the main islands comprising the country must be established, and airport and port infrastructure must be rehabilitated or built.

INCREASING ELECTRICITY COVERAGE IN THE COUNTRY

The lack of access to electricity is a major constraint to economic development and in the life of citizens. Before the earthquake, the electricity supply was already largely inadequate to respond to demand, and was concentrated in a few areas of the country. After the last earthquake, the supply was sharply reduced in the damaged areas. The proposed measures will increase the capacity of the production, transportation, and distribution of electricity, in addition to improving its marketing. They will also promote development of potential renewable energy sources.

CONTINUING EXPANSION OF COMMUNICATIONS AND THE DIGITAL NETWORK THROUGHOUT THE TERRITORY

Mobile telephones and internet services offer enormous opportunities for the country's economic and social development (e.g., social and regional inclusion, risk management, knowledge of markets in real time, weather and transportation conditions, e-commerce, access to public services, distance learning, democracy, etc.). Efforts will focus on increasing connectivity in the country, developing the internet in public and community services, creating a network of multimedia centers, and supporting the production and dissemination of national content.

EXTENDING DRINKING WATER AND SANITATION SERVICES

The drinking water, sanitation, and solid waste management sectors in Haiti were already in an alarming state of affairs prior to the earthquake. The population explosion in the past 20 years has created huge demand, especially in urban areas where spontaneous, helter-skelter urbanization is the rule. Thus this program intends to build and rehabilitate the drinking water and sanitation networks (drainage and waste water) and strengthen or create solid waste management systems.

The diagram and table that follow show the list of subprograms under each program of the territorial reform area, as well as the expected impact, results indicators, and annual targets for each subprogram.

**Diagram 4. THE PROGRAMS AND SUBPROGRAMS
OF THE MAJOR AREA OF TERRITORIAL REFORM**

- 1.1. STRUCTURING AND DEVELOPMENT OF THE TERRITORY
 - 1.1.1. Planning national and regional development
 - 1.1.2. Preparing and implementing local plans for structuring and development of the territory
 - 1.1.3. Preparing and implementing urban development plans
 - 1.1.4. Preparing and implementing rural development plans
 - 1.1.5. Moving construction out of at-risk zones
- 1.2. ENVIRONMENTAL MANAGEMENT
 - 1.2.1. Protecting the environment and making it safe
 - 1.2.2. Establishing a network of protected areas
 - 1.2.3. Restoring the natural environment
 - 1.2.4. Managing and developing uses of wood
- 1.3. MANAGEMENT OF WATERSHEDS
 - 1.3.1. Protecting watersheds
 - 1.3.2. Building earthworks to regulate flooding
 - 1.3.3. Dredging rivers and drainage canals
 - 1.3.4. Reducing vulnerability during rainy and hurricane seasons
- 1.4. URBAN RENEWAL
 - 1.4.1. Renovate regional and local development poles
 - 1.4.2. Renovate buffer towns to receive flows of migrants
 - 1.4.3. Renovate urban areas for tourism purposes
 - 1.4.4. Renovate border towns
- 1.5. ESTABLISHING THE NATIONAL ROAD TRANSPORTATION SYSTEM
 - 1.5.1. Complete the national road network
 - 1.5.2. Ensure the linkage of local roads
 - 1.5.3. Improve urban and interurban circulation
 - 1.5.4. Establish reliable links with the country's principal islands
 - 1.5.5. Rehabilitate and build airport infrastructure
 - 1.5.6. Rehabilitate and build port infrastructure
- 1.6. INCREASING ELECTRICITY COVERAGE IN THE COUNTRY
 - 1.6.1. Increase the capacity to produce electricity
 - 1.6.2. Increase the capacity to transport electricity
 - 1.6.3. Increase the capacity to distribute electricity
 - 1.6.4. Improve the marketing of electricity
- 1.7. CONTINUED EXPANSION OF COMMUNICATIONS AND THE DIGITAL NETWORK IN THE TERRITORY
 - 1.7.1. Increase connectivity in the territory
 - 1.7.2. Develop uses and public and community services
 - 1.7.3. Set up a network of multimedia centers
 - 1.7.4. Support the production and dissemination of national content
- 1.8. EXTENSION OF DRINKING WATER AND SANITATION SERVICES
 - 1.8.1. Build and rehabilitate drinking water systems
 - 1.8.2. Build and rehabilitate sanitation systems
 - 1.8.3. Strengthen and establish solid waste management systems

MATRIX OF EXPECTED RESULTS OF THE MAJOR AREA OF TERRITORIAL REFORM

Table 11. MATRIX OF THE EXPECTED RESULTS OF THE MAJOR AREA OF TERRITORIAL REFORM

SUBPROGRAMS	EXPECTED IMPACT	RESULTS INDICATORS	TARGETS		2015		2016	
			2014	2015	2016	2016		
PROGRAM 1.1.: RESTRUCTURING AND DEVELOPMENT OF THE REGIONS	Reduced economic vulnerability and social inequalities	1. Use of defined tools and plans, adapted to and approved for rehabilitation and construction of urban and rural space 2. Ensuring a sustainable human environmental (MDG-7) 3. Reducing extreme poverty and hunger (MDG-1)	a) 50% b) 10% c) 10%	a) 75% b) 10% c) 10%	a) 100% b) 200%	a) 100% b) 10% c) 10%	a) 100% b) 10% c) 10%	
Planning national and regional development	Availability of national and regional tools for development and restructuring of the territory	a) Strategic plans and tools in place b) Increase in number of beneficiaries of the food security program c) Increase in the number of beneficiaries of the program to fight poverty and social exclusion	a) 50% b) 100%	a) 100% b) 200%	a) 100% b) 250%	100%	100%	
Preparing and implementing local plans for restructuring and development of the territory	Availability of local tools for land development and restructuring	a) Plans for regional development and land use in place b) Increase in program funds of the local fund for regional development and land use planning	50%	100% 50%				
Preparing and implementing urban development plans	Availability of urban development plans	Implementation of urban development plans of targeted cities						
Preparing and implementing rural development plans	Availability of rural development plans	Preparation of 20 rural development plans in targeted areas						
PROGRAM 1.2.: ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	Protection and development of natural resources	Presence of basic conditions for environmental improvement and disaster risk reduction	a) 50% b) 50%	a) 100% b) 100%	a) 100% b) 100%	a) 10% b) 100% c) 100%	a) 10% b) 100% c) 100% 100%	
Protecting the environment and making it safe	Better management of unsustainable uses	a) An integrated network of environmental measures in place	a) 100% b) 100%	a) 100% b) 100%	a) 100% b) 100%	a) 10% b) 100% c) 100%	a) 10% b) 100% c) 100% 100%	

<p>Establishing a network of protected areas</p> <p>Restoring the natural environment</p> <p>Managing and developing uses of wood</p>	<p>Protection and development of nature areas and sites of interest</p> <p>Stabilization and improvement of damaged natural environments</p> <p>Increase in forest coverage and rationalization of the use of wood</p>	<p>b)Measures to control environmental damage and protect the environment in place</p> <p>a)Reforestation of large natural parks and their annual increase</p> <p>b)Plans to protect major natural parks implemented</p> <p>c)Plans to protect and develop targeted water towers implemented</p> <p>d)Protection of targeted areas and sites of interest</p> <p>Completion of water budgets and action plans</p> <p>a)Annual implementation of the proposed action plans</p> <p>b)Implementation of a national plan for conversion to gas as a fuel</p> <p>c)Implementation of the national gas conversion plan</p>	<p>b) 50 %</p> <p>c) 50 %</p> <p>d) 100 %</p> <p>a) 100 %</p> <p>b) 100 %</p>	<p>a) 100 %</p> <p>c) 100 %</p>
<p>PROGRAM 1.3: MANAGEMENT OF WATERSHEDS</p> <p>Protecting watersheds</p> <p>Building earthworks to regulate flooding</p> <p>Dredging rivers and drainage canals</p> <p>Reducing vulnerability to the rainy and hurricane seasons</p> <p>PROGRAM 1.4. URBAN RENEWAL</p>	<p>Water runoff is controlled</p> <p>Reduced vulnerability to natural disasters</p> <p>Reduced vulnerability to natural disasters</p> <p>Reduced vulnerability to floods</p> <p>Reduced vulnerability to floods</p> <p>Gradual increase in the quality and diversity of basic infrastructure</p>	<p>Reduction of natural disasters and an increase in water opportunities</p> <p>a)Scheduled projects implemented</p> <p>b)Plans for protection and development of the Cap-Haitien, Gonaives, Port-au-Prince and Jacmel watersheds prepared</p> <p>a)Implementation of the scheduled projects</p> <p>b)Implementation of projects to protect targeted cities against flooding</p> <p>Implementation of the scheduled projects</p> <p>Annual increase of the pre-season rain and hurricane emergency program</p> <p>Reduction in the growth of slums and shanty towns</p>	<p>b) 25 %</p> <p>a) 25 %</p> <p>b) 100 %</p> <p>75 %</p> <p>10 %</p> <p>a) 100 %</p> <p>100 %</p> <p>10 %</p>	<p>a) 100 %</p> <p>b) 100 %</p> <p>10 %</p> <p>b) 100 %</p> <p>c) 100 %</p> <p>a) 100 %</p> <p>a) 75 %</p> <p>b) 100 %</p> <p>100 %</p>

Renovate regional and local development poles	Increase in the quality of life and public infrastructure in urban areas	a)Completion of rehabilitation projects in targeted cities b)Rehabilitation of at least 4 public places a year c)Completion of the major public infrastructure in targeted zones	a) 50 % b) 100 % 100 %	b) 100 % c) 50 % a) 100 % 100 %	100 %
Renovate buffer towns to receive flows of migrants	Increase in the quality of life and public infrastructure in urban areas	Completion of the projects scheduled			
Renovate urban areas for tourism purposes	Increase in tourism and public infrastructure in urban areas	a)Implementation of regional development plans in the proposed areas b)Implementation of urban renewal projects as planned			
Renovate border towns	Increase in the quality of life and public infrastructure in border towns	Implementation of 2 border development projects a year			
PROGRAM 1.5. ESTABLISHING THE NATIONAL TRANSPORTATION SYSTEM	Opening up access to the entire country	Rehabilitation and construction of modern, rapid, safe transportation infrastructure	35% a)35% b)25%	75 % a)75 % b) 50 % a) 50 % b) 60 % 75 % 50 % a) 50 % b) 50 %	100 % a) 100 % b) 100 % a) 100 % b) 100 % 100 % 100 % a) 100 % b) 100 %
Completing the national road network	Improved, modern road infrastructure, adapted to needs	Completion of work on road sections, as planned			
Ensuring the linkage of local roads	An improved, adequate regional road infrastructure	a)Completion of work on road sections, as planned b)Completion of scheduled projects to rehabilitate rural roadways			
Improving urban and interurban circulation\	An improved, modern urban road infrastructure adapted to needs	a)Completion of the proposed bus station projects b)Completion of the targeted bridge projects			
Establishing reliable links with the country's main islands	Improvement in the quality of political, economic, and social life in the islands	Implementation of the proposed maritime linkage projects			
Rehabilitating and building airport infrastructure	Increase in the quality of services and commercial activities	Implementation of the work at the country's four international airports			
Rehabilitating and building port	Increase in the quality of				

infrastructure	services and commercial activities	a)Construction of an international port in the North of the country b)Construction of an international port in the South of the country			
PROGRAM 1.6.: INCREASING ELECTRICITY COVERAGE IN THE COUNTRY	Increase in economic and social activities	Gradual increase in the availability of electricity services	a) 25% b) 25%	a) 50% b) 50% c) 50%	a) 100% b) 100% c) 100%
Increasing the capacity to produce electricity	Increase in the quality of life of the people, economic development, and diversified energy production	a)Completion of the rehabilitation of the electrical power plan in Péligre b)Construction of a new electrical power plant in Artibonite c)Completion of the studies on the wind energy potential in targeted areas	b) 35% a) 50% b) 100%	b) 75% a) 100% b) 100%	a) 100% b) 100%
Increasing the capacity to transport electricity	Continuous availability of electricity	a)Completion of studies on loops and transversals b)Completion of rehabilitation of the Port-au-Prince electrical network	a) 10% b) 25% c) 100%	b) 100% a) 10% b) 50%	b) 100% a) 10% b) 100%
Increasing the capacity to distribute electricity	Continuous availability of electricity	a)Completion of the rehabilitation of the networks proposed b)Electrification of five communes a year			
Improving the marketing of electricity	Access to continuous electricity that is clean, reliable, profitable, and adapted to users' needs	a)Annual reduction in electricity losses b)Innovative, energy-saving measures put into place c)New business offices established			
PROGRAM 1.7. CONTINUED EXPANSION OF COMMUNICATIONS AND THE DIGITAL NETWORK THROUGHOUT THE COUNTRY	Increase in electronic and financial trade	Availability of reliable, advanced high-speed Internet services	50%		100%
Setting up a network of multimedia centers	Continuous, decentralized availability of multimedia centers	Construction of four multimedia centers			
PROGRAM 1.8. EXTENSION OF DRINKING WATER AND SANITATION SERVICES	Improvement in water services and waste management	Increase in the number of beneficiaries with access to drinking water	a) 10% b) 50%	a) 10% b) 100% a) 100%	a) 10% 100%
		a)Increase in the number of beneficiaries		100%	

<p>Construction and rehabilitation of drinking water systems</p> <p>Construction and rehabilitation of sanitation systems</p> <p>Strengthening and putting in place solid waste management systems</p>	<p>Continuous access to quality drinking water</p> <p>Sanitary equipment and equipment for treatment of human waste available in schools</p> <p>Adequate, clean, and controlled solid waste management</p>	<p>with access to a drinking water system</p> <p>b)Construction of the proposed DINEPA offices</p> <p>a)Construction of the proposed excreta treatment center</p> <p>b)Completion of the national campaign on hygiene</p> <p>Construction of one landfill site per year</p>	<p>a) 50 %</p> <p>b) 100 %</p> <p>100 %</p>		
--	--	---	---	--	--

6.2. THE MAJOR AREA OF ECONOMIC REFORM

Eight programs will be implemented under the major area of economic reform.

INSTITUTING ACTIVE GOVERNANCE FOR ACCELERATED, BALANCED ECONOMIC GROWTH

Government action is essential for accelerated, balanced economic growth. In this regard, it must control inflation, increase government revenue by more effective tax collection, control public spending, and encourage private investment. The proposed measures target openness and partnerships, budget, fiscal, and monetary policy guidelines, strengthening of the financial system, and support for private investment

MODERNIZING AND REVITALIZING AGRICULTURE AND LIVESTOCK PRODUCTION

Agriculture provides 80 percent of jobs in rural areas, and its share of GDP is estimated at about 25 percent. But the sector's productivity is low, and the country is no longer self-sufficient in food. Priority is given to diversifying and intensifying plant and animal production, distribution of farm equipment and inputs or financial aid to acquire them, construction and rehabilitation of irrigation systems, putting in place a warehousing chain for agricultural inputs and products, and establishing slaughterhouses and cold chain equipment for livestock production.

MODERNIZING AND REVITALIZING FISHING

Fishing contributes to the stability of a number of local economies. It is also a means for improving the food balance sheet in terms of quantity and quality. Fishing practices need to be modernized, access to fishing equipment and inputs must be assured, fish aggregating devices should be introduced, and cold chain equipment should be installed to ensure sustainable development, the only way ensure the perpetuation of this resource.

SUPPORT FOR INDUSTRIAL DEVELOPMENT

Several farm products are not sufficiently processed on site, and this limits the generation of a greater value added and export opportunities. Various trade agreements, including the HELP Law, offer a strong potential for creating jobs, especially in the textile sector, and the reconstruction of the country points to the likelihood of a strong construction industry. Thus targeted measures here involve the agrofood industry, development of industrial and manufacturing zones, development of a construction industry, and establishment of credit guarantee facilities for businessmen.

MODERNIZING AND PROMOTING THE SERVICES SECTOR

This labor intensive sector is relatively ineffective. It frequently develops in the informal sector. Access to services is problematic and the spaces used are often unhealthy or inadequate. Priorities include access to insurance, establishing a national center for the purchase of farm products, construction of convention and exhibition centers, construction or rehabilitation of public markets, development of commercial zones and arteries, and support for relocation and formalization of street services.

SUPPORT FOR THE DEVELOPMENT OF TOURISM

Haiti has the same potential as other sunny Caribbean destinations, with its own personality. Yet only the cruise sector is truly active at the present time. Important challenges must be met if the country wants to see the development of seaside tourism, establishment of ecotourism, ethno-tourism, and adventure tourism networks, and development of boating and the cruise lines sector.

DEVELOPMENT OF MINERAL AND ENERGY RESOURCES

The soil and subsoil of Haiti contain mineral and energy resources, which, if developed, would make an important contribution to the emergence of Haiti. Prospecting, exploration, and exploitation of mineral resources should be encouraged, while random, uncontrolled exploitation of quarries should be opposed. Exploration of coal and hydrocarbons should also be pursued, for possible production.

DEVELOPMENT OF EMPLOYMENT

Job creation plays a critical role in development. It is important to structure and strengthen the labor market and to ensure regular employment of many workers in the short- and medium-run, to relieve their poverty. Priorities include establishment of a forum of labor market partners, maximizing use of labor in public works projects, implementing highly labor-intensive projects, and increasing the productivity of labor and the employability of workers.

The following diagram and table present the list of programs and their subprograms under the economic reform area, and the expected impact, results indicators, and annual targets for each subprogram.

Diagram 5. PROGRAMS AND SUBPROGRAMS OF THE MAJOR AREA OF ECONOMIC REFORM

PROGRAMS AND SUBPROGRAMS

2.1. ESTABLISHING ACTIVE GOVERNANCE FOR ACCELERATED, BALANCED ECONOMIC GROWTH

- 2.1.1. Making the choice for openness and partnership
- 2.1.2. Budget and fiscal policy guidelines
- 2.1.3. Guidelines for monetary policy and the financial system
- 2.1.4. Support for private investment

2.2. MODERNIZING AND REVITALIZING AGRICULTURE AND LIVESTOCK PRODUCTION

- 2.2.1. Diversifying and intensifying crops and animal production
- 2.2.2. Facilitating access to farm equipment and inputs
- 2.2.3. Construction and rehabilitation of irrigation systems
- 2.2.4. Establishing a warehousing chain for agricultural inputs and production
- 2.2.5. Setting up a network of slaughterhouses and a cold chain for livestock products

2.3. MODERNIZING AND revitalizing FISHING

- 2.3.1. Supporting the sustainable development of fishing
- 2.3.2. Facilitating access to fishing equipment and inputs
- 2.3.3. Introducing fish-aggregating devices
- 2.3.4. Developing hillside lakes
- 2.3.5. Introducing fish hatcheries
- 2.3.6. Introducing fish farms
- 2.3.7. Establishing a cold chain for fish products

2.4. SUPPORTING INDUSTRIAL DEVELOPMENT

- 2.4.1. Developing the agrofood industry
- 2.4.2. Developing industrial/manufacturing zones
- 2.4.3. Developing the construction industry
- 2.4.4. Improving access to guarantee facilities for businessmen

2.5. MODERNIZING AND REVITALIZING THE SERVICES SECTOR

- 2.5.1. Improving access to insurance
- 2.5.2. Setting up a national center for purchasing agricultural products and an office for securitization of farm produce markets
- 2.5.3. Building convention and exhibition centers
- 2.5.4. Developing the cruise sector

2.6. SUPPORTING THE DEVELOPMENT OF TOURISM

- 2.6.1. Developing seaside tourism
- 2.6.2. Developing a network for ecotourism, ethno-tourism, and adventure tourism
- 2.6.3. Developing boating
- 2.6.4. Developing the cruise sector

2.7. DEVELOPING MINERAL AND ENERGY RESOURCES

- 2.7.1. Developing mining resources
- 2.7.2. Sustainable development of quarries
- 2.7.3. Improving the energy balance sheet

2.8. DEVELOPMENT OF EMPLOYMENT

- 2.8.1. Setting up a forum for labor market partners
- 2.8.2. Implementing highly labor-intensive projects
- 2.8.3. Increasing labor productivity and the employability of workers

Table 12. MATRIX OF THE EXPECTED RESULTS
OF THE MAJOR AREA OF ECONOMIC REFORM

Subprograms	Expected impact	Results indicators	Targets: 2014	2015	2016
<p>PROGRAM 2.1. INSTITUTING ACTIVE GOVERNANCE FOR ACCELERATED, BALANCED ECONOMIC GROWTH</p> <p>Budget and fiscal policy guidelines</p> <p>Supporting private investment</p>	<p>Increased productivity and competitiveness</p> <p>Reduction of dependence on external aid</p> <p>Development of private enterprise</p>	<p>1.The necessary budget, fiscal, and financial policies in place</p> <p>2.A global partnership for development built (MDG 8)</p> <p>Growth of tax and customs receipts</p> <p>a)Proposed investment funds in place</p> <p>b)The policies and tools to promote the growth of the textiles sector in place</p> <p>c)Increase in the number of private businesses</p>	<p>10%</p> <p>a) 50%</p> <p>b) 50%</p> <p>c) 7%</p>	<p>10%</p> <p>a) 100%</p> <p>b) 100%</p> <p>c) 7%</p>	<p>10%</p> <p>c) 7%</p>

<p>PROGRAM 2.2. MODERNIZING AND REVITALIZING AGRICULTURE AND LIVESTOCK PRODUCTION</p>	<p>Increase in food self-sufficiency</p>	<p>Increase in arable land, productivity, diversity, and quality</p>		
<p>Diversifying and intensifying crop and animal production</p>	<p>Increased production of crops and animals</p>	<p>a)Development of promising export sectors b)Increase in projects in support of farmers c)Intensification of anti-parasite measures d)Introduction of integrated productive systems for local agricultural development</p>	<p>b) 10% c) 10%</p>	<p>a) 100% b) 10% c) 10% d) 100%</p>
<p>Facilitating access to farm machinery and inputs</p>	<p>Increased agricultural production</p>	<p>a)Increase in the number of recipients of subsidized seeds b) Increase in the number of recipients of subsidized fertilizer c) Annual increase in the number of cisterns built d)Annual increase in national production of seeds and fertilizers</p>	<p>a) 7% b) 7% c) 10% d) 10%</p>	<p>a) 7% b) 7% c) 10% d) 10%</p>
<p>Construction and rehabilitation of irrigation systems</p>	<p>Increased agricultural production</p>	<p>Implementation of the proposed irrigation projects</p>	<p>25%</p>	<p>100%</p>
<p>Establishing a warehousing chain for agricultural inputs and production</p>	<p>Reduction in farm losses, increase in producers' income, and creation of value added</p>	<p>Guarantee fund for food conservation and warehousing centers operational</p>	<p>50%</p>	<p>100%</p>
<p>Setting up a network of slaughterhouses and a cold chain for livestock products</p>	<p>Reduction in farm losses, increase in producers' income, and creation of value added</p>	<p>Guarantee fund for a network of slaughterhouses and a cold chain operational</p>	<p>50%</p>	<p>100%</p>
<p>PROGRAM 2.3. MODERNIZING AND REVITALIZING FISHING Supporting the sustainable development</p>	<p>Diversification of food consumption Development, marketing, and growth</p>	<p>Increase in consumption of local fish products</p>		

of fishing	of fishing	a)Development of promising production and export industries b)Establishment of proposed maritime zoning c) Implementation of a national maritime fishing policy	c) 35%	a) 50% b) 50% c) 70%	a) 100% b) 100% c) 100%
Facilitating access to fishing equipment and inputs	Development, marketing, and growth of fishing	a)Guarantee fund for building landing piers b)Increase in number of beneficiaries of subsidized fishing equipment	b) 7%	a) 50% b) 7%	a) 100% b) 7%
Introducing fish-aggregating devices	Development, marketing, and growth of fishing	Guarantee fund for fish-aggregation devices operational		50%	100%
Developing hillside lakes	Development, marketing, and growth of fishing	Introduction and development of 10 hillside lakes a year	100%	100%	100%
Introducing fish hatcheries	Development, marketing, and growth of fishing	Guarantee fund for implementation of a national strategy is operational		50%	100%
Introducing fish farms	Development, marketing, and growth of fishing	Guarantee fund for implementation of a national strategy is operational		50%	100%
Establishing a cold chain for fish products	Development, marketing, and growth of fishing	Guarantee fund for implementation of a national strategy is operational		50%	100%
PROGRAM 2.4. SUPPORTING INDUSTRIAL DEVELOPMENT	Growth of the industrial and manufacturing sector	Growth of exports			
Development of the agrofood industry	Development of industrialization and the agrofood industry	Guarantee fund for implementation of a national strategy is operational		50%	100%
Development of industrial and manufacturing zones	Increase in manufacturing and processing	a)Development of three free zones b)Annual implementation of proposed projects to develop manufacturing and industrial zones	a) 25% b) 25%	a) 50% b) 50%	a) 100% b) 100%
PROGRAM 2.5. MODERNIZING AND REVITALIZING THE SERVICES SECTOR	Extension of the formal business sector	Reduction of the informal sector			

Improving access to insurance	Strengthening of the insurance sector	Agricultural financing and insurance program in place	50 %	100 %	100 %
Building and rehabilitating public markets	Development and regulation of the public markets sector	Completion of the proposed projects		100 %	
Developing commercial zones and arteries	Development of commercial urban zones	Guarantee fund for development of commercial zones in operation		50 %	100 %
PROGRAM 2.6. SUPPORTING THE DEVELOPMENT OF TOURISM	Growth of the tourist sector	Growth of sustainable investment			
Developing seaside tourism	Increase in seaside tourist activities	a) Completion of development designs and business plans for the targeted areas b) Development of the proposed tourist sites completed c) Annual increase in the number of tourists	b) 50 % c) 7 %	a) 50 % b) 100 % c) 7 %	a) 100 % c) 7 %
Developing an ecotourism, ethnotourism, and adventure tourism network	Increase in ecotourism activities	a) Infrastructure to receive tourists in place b) Annual strengthening of tourism police	a) 50 % b) 10 %	a) 100 % b) 10 %	b) 10 %
Developing the cruise sector	Increase in the cruise sector	Completion of studies to develop a cruise port			100 %
PROGRAM 2.7. DEVELOPING MINERAL AND ENERGY RESOURCES	Growth of the mining sector	Growth of sustainable investment			
Develop mining resources	Development of the mining sector	a) Measures for control of exploitation of mining sites in place b) Introduction of a mining cadaster in the 10 departments	a) 25 % b) 25 %	a) 50 % b) 50 %	a) 100 % b) 100 %
Sustainable exploitation of quarries	Environmental protection and development of the quarries sector	Measures for the control and exploitation of sand quarries in place	25 %	50 %	100 %
PROGRAM 2.8. DEVELOPMENT OF EMPLOYMENT	Improved labor market access	Decline in unemployment			
Implementation of highly labor-intensive projects	Increase in the number of workers	Increase in the number of beneficiaries of highly labor-intensive structural projects	10 %	10 %	10 %

6.3. THE MAJOR AREA OF SOCIAL REFORM

The major work area of social reform comprises nine programs

STRENGTHENING HIGHER EDUCATION AND VOCATIONAL AND TECHNICAL TRAINING

The entire sector will be restructured in order for Haiti to become an emerging country, while at the same time the development poles will be strengthened. A network of university centers is envisaged at these poles, as are regional networks of vocational and technical training centers, a fund to support research and innovation, and financing for specialized scholarships.

INCREASING ACCESS TO PRESCHOOL, PRIMARY, AND SECONDARY EDUCATION

There are huge deficiencies here: inadequate supply, an average quality of education, relatively unmotivated teachers, etc. A network of preschools, primary schools, high schools, and schools for preparation and certification of teachers will have to be set up, in addition to adult education classes and classes for children outside the system, as well as school cafeteria services. Attention must also be focused on early childhood, eradicating illiteracy, and promoting gender equality in education.

INCREASING ACCESS TO HEALTH SERVICES

The health situation in the country is precarious. Child and maternal mortality rates are high, and several pathologies affect large portions of society. The health system does not provide adequate health care coverage, which is aggravated by the poor distribution of human resources. Priorities include establishment of university hospital centers, “reference” hospitals, community hospitals, and health centers with and without beds, in addition to fighting endemic and epidemic diseases, introducing a school health program, identifying persons in difficulty, and strengthening health and population policies.

PROTECTING AND DEVELOPING THE CULTURAL HERITAGE AND SUPPORTING CULTURAL CREATIVITY

Culture should be an integral part of national and local development. It has both a social and an economic value that should be developed to advantage. Priorities include implementation of a plan to protect and develop the cultural heritage, creation of regional offices of the national archives and different networks of equipment, and establishment of a cultural development fund.

INCREASING ACCESS TO HOUSING

Access to housing is limited by a weak financial capacity and an inadequate legal framework, but also by a series of practices related to urban development, land ownership, construction methods, financing opportunities, and administrative procedures. Priorities include rehousing persons who lost their homes, increasing the supply of serviced urban land, and development of a financial mechanism for housing.

ENSURING DEVELOPMENT OF CIVIC ACTIVITIES, SPORTS, RECREATION, AND YOUTH

Civic education, sports, recreation, and the development of youth are importance for social integration and improving living conditions and the quality of life. Priorities include development of civic activities, development of high-level sports, construction of multi-sports and recreational centers, development of school and municipal sports programs, promotion of sports for all, and development of sports competitions for the disabled. Priority should also be given to protecting youth and developing youth-oriented structures and activities.

ESTABLISHING A SOCIAL INSURANCE SYSTEM FOR ALL WORKERS

Consideration should be given to establishing an expanded social insurance system for workers in both the formal and informal sectors of the economy. This social protection should enable them to deal with risks related to the labor market (occupational illnesses, work accidents, unemployment, retirement, and death) or to amortize social expenses not otherwise covered. The idea is to protect them against the risk of lost earnings or idle periods, as well as to make the formal labor market more attractive and flexible.

ORGANIZING SOCIAL SOLIDARITY

Social solidarity towards the most disadvantaged should be assured in cases where they are confronted by special difficulties either temporary or permanent in nature. To this end, it is important to ensure the construction of social insertion and receiving centers for children, special education centers and social and medical establishments for children with special needs, workshops offering protected work for persons with disabilities, centers to receive dependent adults, and residences for women and children who are victims of violence.

ENSURING GENDER EQUALITY

Gender equality and empowerment of women are critical to social development, economic recovery, and poverty reduction. Priority is given to implementing a gender equality policy, strengthening the legal framework, producing and disseminating information on gender equality, increasing the participation of women in development, and fighting violence to women and girls.

The following diagram and table present the list of programs and subprograms in the area of social reform, as well as the expected impact, results indicators, and annual targets for each of them.

Diagram 6: PROGRAMS AND SUBPROGRAMS OF THE MAJOR AREA OF SOCIAL REFORM

3.1. STRENGTHENING HIGHER EDUCATION AND VOCATIONAL AND TECHNICAL TRAINING

- 3.1.1. Putting in place networks of university centers at regional development poles
- 3.1.2. Putting in place regional centers of vocational and technical training
- 3.1.3. Setting up a research and innovation support fund
- 3.1.4. Ensuring financing of specialized scholarships

3.2. INCREASING ACCESS TO PRESCHOOL, PRIMARY, AND SECONDARY EDUCATION

- 3.2.1. Establishing primary schools in the communal sections
- 3.2.2. Establishing high schools in the communes
- 3.2.3. Establishing a basic school for certification of vocational skills at each local development pole
- 3.2.4. Creating training classes for adults and children outside the system
- 3.2.5. Extending school cafeteria services
- 3.2.6. Providing early childhood services
- 3.2.7. Eradicating illiteracy
- 3.2.8. Promoting gender equality in education

3.3. INCREASING ACCESS TO HEALTH SERVICES

- 3.3.1. Setting up university hospital centers at the three major regional development poles
- 3.3.2. Establishing reference hospitals at the regional development poles
- 3.3.3. Establishing community reference hospitals at the local development poles
- 3.3.4. Setting up health centers with beds in the communes
- 3.3.5. Setting up health centers without beds in the communes
- 3.3.6. Fighting endemic and epidemic diseases
- 3.3.7. Putting in place a school health program
- 3.3.8. Identifying and providing services for persons in difficulty
- 3.3.9. Strengthening implementation of health and population policies

3.4. PROTECTING AND DEVELOPING THE CULTURAL HERITAGE AND SUPPORTING CULTURAL CREATIVITY

- 3.4.1. Ensuring the protection, conservation, and development of the cultural heritage
- 3.4.2. Deconcentrating the Haitian National Archives in the regional development poles
- 3.4.3. Establishing a network of national museums at the regional development poles
- 3.4.4. Putting in place cultural production equipment at the major regional development poles
- 3.4.5. Establishing a cultural center for each regional development pole
- 3.4.6. Establishing a reading and cultural center at each local development pole
- 3.4.7. Establishing a technical center for training in the arts and in cultural heritage trades for each local development pole
- 3.4.8. Creating a cultural development fund
- 3.4.9. Creating structures for public information and communications at the regional development poles

3.5. INCREASING ACCESS TO HOUSING

- 3.5.1. Supporting new housing for persons who lost their homes
- 3.5.2. Promoting an increased supply of urban plots serviced for housing
- 3.5.3. Developing an effective, equitable home financing mechanism

3.6. ENSURING THE DEVELOPMENT OF CIVIC ACTIVITIES, SPORTS, RECREATION, AND YOUTH

- 3.6.1. Promotion and development of civic activities
- 3.6.2. Promotion and development of high-level sports
- 3.6.3. Establishing multi-sports and recreational centers at the local development poles
- 3.6.4. Developing school and municipal sports and promoting sports for all

- 3.6.5. Developing sports competitions for disabled persons
- 3.6.6. Ensuring the protection and development of youth
- 3.6.7. Creating a fund for the development of civic activities, sports, and recreation
- 3.7. ESTABLISHING A SOCIAL INSURANCE SYSTEM FOR ALL WORKERS
 - 3.7.1. Extending social insurance to all workers
 - 3.7.2. Strengthening the operation and improving the profitability of the social insurance system
- 3.8. ORGANIZING SOCIAL SOLIDARITY
 - 3.8.1. Building a center for social insertion of children at each local development pole
 - 3.8.2. Building a special education center for children with special needs at each local development pole
 - 3.8.3. Building a medical and social center for children with special needs at each local development pole
 - 3.8.4. Building a sheltered workshop at each local development pole
 - 3.8.5. Building a center for dependent adults at each local development pole
 - 3.8.6. Building a shelter for women and children who are victims of violence at each local development pole
- 3.9. ENSURING GENDER EQUALITY
 - 3.9.1. Implementing a gender equality policy
 - 3.9.2. Pursuing amendments to the legal system
 - 3.9.3. Ensuring the production and dissemination of information on gender equality
 - 3.9.4. Increasing female participation
 - 3.9.5. Creating a gender and development fund
 - 3.9.6. Fighting violence to women and girls

Table 13.
MATRIX OF THE expected RESULTS
OF THE MAJOR AREA OF SOCIAL REFORM

Subprograms	Expected Impact	Results Indicators	Targets		
			2014 2015 2016	2015	2016
PROGRAM 3.1. STRENGTHENING HIGHER EDUCATION AND VOCATIONAL AND TECHNICAL TRAINING Putting in place networks of university centers at regional development poles Putting in place regional vocational and technical training centers Instituting a research and innovation support fund Ensuring financing of specialized scholarships	Increase in the level of education of the population	1. Increase in the number of persons with degrees 2. Introduction of hierarchical networks of university and vocational training centers	100%	100%	100%
	Increased accessibility to efficient university centers	Annual implementation of a university campus rehabilitation/construction project	100%	100%	100%
	Availability of efficient technical and vocational training centers adapted to the employment market	Annual implementation of a rehabilitation/construction project for a technical and vocational training center	100%	100%	100%
	Availability of funds	Funds set up and operational		50%	100%
	Availability of specialized scholarships	Funds set up and operational		50%	100%
PROGRAM 3.2. INCREASING ACCESS TO PRESCHOOL AND PRIMARY AND SECONDARY EDUCATION Establishing primary schools in communal sections Establishing high schools in communes Establishing an EFACAP at every local development pole	Increase in schooling rates	1. Increase in the number of students in primary school 2. Universal primary education (MDG 2)	a) 100% b) 10%	a) 100% b) 10% c) 50%	a) 100% b) 10% c) 100%
	Increased availability of efficient primary schools that are rehabilitated and better equipped	a) Annual implementation of projects for rehabilitation/construction of primary schools b) Increase in the number of beneficiaries in the "education for all" program c) An e-education system in place and operational	100%	100%	100%
	Increased availability of efficient high schools that are rehabilitated and better equipped	Annual implementation of a project for rehabilitation/construction of high schools	10%	10%	10%
	Increased availability of efficient EFACAPS that are rehabilitated and better equipped	Annual increase in the number of teachers benefitting from the national continuing education program	10%	10%	10%
	Increased availability of efficient	Annual increase in the number of	10%	10%	10%

Creating training classes for adults and children outside the system	special education classes for children in rehabilitated, well-equipped facilities	beneficiaries of the national adult education program			
Extending school cafeteria services	Access to appropriate meals at school	Annual increase in the number of beneficiaries of the national school cafeteria program	10%	10%	10%
Providing early childhood services	Adequate institutional response to the problem of early childhood	An educational statistical information system in place	100%		
Eradicating illiteracy	Effective increase in the population with a basic education	Annual increase in the number of beneficiaries of the national functional literacy program	10%	10%	10%
PROGRAM 3.3. INCREASING ACCESS TO HEALTH SERVICES					
Setting up university hospital centers at the three major regional development poles	Accessible, quality health services offered to the entire population	1. Establishment of hierarchical health center networks 2. Reduction of child mortality (MDG 4) 3. Improvement in maternal health (MDG 5) 4. Combating HIV/AIDS, malaria, and other diseases (MDG 6) 5. Reduction of mortality linked to endemic and epidemic diseases a) Completion of the construction of the State University Hospital b) Annual implementation of a project for the rehabilitation/construction of university hospital centers c) Establishment of one specialized center a year	a) 50% c) 100%	a) 75% b) 50% c) 100%	a) 100% b) 100% c) 100%
Establishing reference hospitals at the regional development poles	Increased availability of efficient reference hospital centers	Annual implementation of a project for the rehabilitation/construction of a reference	100%	100%	100%

Establishing community reference hospitals in the local development poles	Increased availability of efficient community hospital centers	hospital	100%	100%	100%
Setting up health centers with beds in the communes	Increased availability of efficient health centers with beds	Annual implementation of projects for the rehabilitation/construction of community reference hospital centers	100%	100%	100%
Setting up health centers without beds in the communal sections	Increased availability of efficient health centers without beds	Annual rehabilitation/construction of 7 health centers with beds	100%	100%	100%
Fighting endemic and epidemic diseases	Control and ultimate eradication of endemic and epidemic diseases	Annual rehabilitation/construction of 12 health centers without beds	100%	100%	100%
Putting in place a school health program	Increased awareness of the importance of vaccination and personal hygiene	Annual increase in the number of beneficiaries of national prevention and vaccination campaigns	10%	10%	10%
Identifying persons in difficulty	Adequate institutional response to the problem of persons with disabilities	Annual increase in the number of beneficiaries of a national school health program	10%	10%	10%
Strengthening implementation of health and population policies	Growing awareness and increase of an effective, modern, adapted public health system	Annual increase in the number of beneficiaries of the national program for rehabilitation and reintegration of persons with disabilities	10%	10%	10%
		a) Annual increase in the number of beneficiaries of the national health insurance card program	a) 10%	a) 10%	a) 10%
		b) Annual increase in the number of beneficiaries of the maternal and child health program	b) 10%	b) 10%	b) 10%
		c) Annual increase in the number of beneficiaries of the reproductive health program	c) 10%	c) 10%	c) 10%

<p>PROGRAM 3.4. PROTECTING AND DEVELOPING THE CULTURAL HERITAGE AND SUPPORTING CULTURAL CREATIVITY</p> <p>Ensuring the protection, conservation, and development of the cultural heritage</p> <p>Setting up regional national archives at the regional development poles</p> <p>Establishing a network of national museums at the regional development poles</p> <p>Putting in place cultural production equipment at the major regional development poles</p> <p>Establishing a cultural center for each regional development pole</p> <p>Establishing a reading and cultural center (CLAC) in each development pole</p> <p>Establishing a technical center for training in the arts and cultural heritage trades for each local development pole</p> <p>Creating a cultural development fund</p> <p>Creating structures for public</p>	<p>Strengthening national identity and pride and an increase in attendance at cultural activities</p> <p>Increased tourism linked to the development and promotion of the cultural heritage</p> <p>Increased availability of the national archives</p> <p>Increased availability of the national museums</p> <p>Artists have access to better infrastructure to perform and develop their skills</p> <p>Increased availability of cultural centers</p> <p>Increased availability of CLACs</p> <p>Increased availability of technical centers for training in artisanry and the crafts.</p> <p>Increased development and promotion of cultural and artistic products</p> <p>Increased promotion of culture</p>	<p>Increase in cultural tourism and recreational activities</p> <p>a) Annual implementation of a project to rehabilitate/develop a "Sans Souci" national history park b) Rehabilitation of 6 targeted forts and the 365-Door Palace c) Rehabilitation of 9 theatres in Port-au-Prince</p> <p>Completion of construction of the historical and public archives complex</p> <p>Completion of the rehabilitation of MUPANAH (Haitian National Pantheon Museum)</p> <p>Completion of the construction of the proposed recreational and performing arts centers</p> <p>Creation of a cultural center every year</p> <p>Rehabilitation/construction of 4 reading and cultural centers every year</p> <p>Establishment of an arts and crafts school/workshop every year</p> <p>Creation of a space for performance, exhibitions, and sales of cultural, artistic, and</p>	<p>a) 100 % b) 25 % c) 25 %</p> <p>50%</p> <p>50%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>a) 100% b) 100% c) 100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>
--	---	--	---	--

information and communications at the regional development poles		artisanal products annually	100%	100%	100%
<p>PROGRAM 3.5. INCREASING ACCESS TO HOUSING</p> <p>Supporting new housing for persons who lost their homes</p> <p>Promoting the increased supply of urban plots serviced for housing</p> <p>Developing an effective, equitable home financing mechanism</p>	<p>Ensuring decent housing for the entire population</p> <p>Improving housing conditions for persons who lost their homes</p> <p>Increase in serviced plots ready for housing construction</p> <p>Increased availability of financing for private property</p>	<p>Increase in the number of private properties conducive to a modern, quality standard of living</p> <p>a) Annual increase in rehabilitated housing</p> <p>b) Increase in rehabilitated districts</p> <p>c) Definitive closing of all camps for displaced persons</p> <p>Studies conducted on the availability of land and related urban development procedures</p> <p>Mechanisms for facilitating microcredits and savings put in place</p>	<p>a) 7%</p> <p>b) 7%</p> <p>c) 100%</p> <p>50%</p> <p>50%</p>	<p>a) 7%</p> <p>b) 7%</p> <p>c) 100%</p> <p>50%</p> <p>50%</p>	<p>100%</p> <p>a) 7%</p> <p>b) 7%</p> <p>50%</p> <p>50%</p>

<p>PROGRAM 3.6. ENSURING THE DEVELOPMENT OF CIVIC ACTIVITIES, SPORTS, RECREATION, AND YOUTH</p> <p>Promotion and development of civic activities</p> <p>Promotion and development of high-level sports</p> <p>Establishing multi-sports and recreational centers at the local development poles</p> <p>Development of school and municipal sports and promotion of sports for all</p> <p>Developing sports competitions for persons with disabilities</p> <p>Ensuring the protection and development of youth</p>	<p>Forming young people who are responsible, aware citizens, ready to take on today's challenges</p> <p>Heightened awareness of the importance of civic action and being a responsible citizen</p> <p>Increased awareness of the importance of high-level sports for human development</p> <p>Increased availability of decentralized multi-sports and recreational centers</p> <p>Increased awareness of the importance of sports for social and human development</p> <p>Increased awareness of the importance of sports for persons with disabilities from a social and human standpoint</p> <p>Increased awareness of the importance of protection and development of youth</p>	<p>1. Increase in the number of persons participating in youth training and instructional programs</p> <p>2. Increased diversity in available sports and recreational activities</p> <p>Construction of 3 regional civic service centers every year</p> <p>Construction of 2 professional-level sports centers</p> <p>Annual construction of multi-sports and recreational centers</p> <p>The rehabilitation / construction and outfitting of 2 sports and recreational centers every year</p> <p>Annual increase in the number of beneficiaries of the national "Handisport" program for persons with disabilities</p> <p>Annual implementation of development projects for promotion of youth initiatives</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>25%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>7%</p> <p>100%</p>	<p>100%</p> <p>50%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>7%</p> <p>100%</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>7%</p> <p>100%</p>	<p>a) 100%</p> <p>b) 100%</p>
<p>PROGRAM 3.7. ESTABLISHING A SOCIAL INSURANCE SYSTEM FOR ALL WORKERS</p> <p>Extending social insurance/security to all workers</p> <p>Improving the profitability of the</p>	<p>Guaranteed social coverage adapted to all workers</p> <p>Increased availability of social insurance coverage for all workers</p>	<p>Increase in the number of persons receiving social coverage</p> <p>a) Completion of a technical study on current insurance practices followed by recommendations</p> <p>b) Information campaigns organized</p>	<p>100%</p>	<p>100%</p>	<p>100%</p>	<p>100%</p>

social insurance/security system	Increased profitability of social insurance coverage for all workers	Performance of audits and the computerization of ONA and OFATMA	50%	100%
PROGRAM 3.8. ORGANIZING SOCIAL SOLIDARITY Building a center for social insertion of children at each local development pole Building a sheltered workshop at each local development pole Building a center for dependent adults at each local development pole Building a shelter for housing women and children who are victims of violence at each local development pole	Reduction of social inequalities and violence to women and children Increased availability of social insertion centers Increased availability of sheltered workshops Increased availability of centers for dependent adults Increased availability of shelters for housing women and children who are victims of violence	1. Increase in the number of beneficiaries 2. Increase in the diversity of the supply of specialized services Annual implementation of projects for the rehabilitation/construction of 2 transit and reinsertion centers Construction of 2 sheltered workshops a year Annual construction of a center for housing older or dependent adults Annual construction of a shelter for housing women and children who are victims of violence	100% 100% 100% 100% 100%	100% 100% 100% 100% 100%
PROGRAM 3.9. ENSURING GENDER EQUALITY	Guarantee of an equitable, just, and egalitarian society	1. Increase in the participation of women in economic, political, and social life 2. Promotion of gender equality and empowerment of women (MDG 3)		

<p>Creation of a gender and development fund</p> <p>Fighting violence to women and girls</p>	<p>Availability of the fund</p> <p>Increased awareness of the importance of preventing violence to women and girls</p>	<p>3. Reduction of acts of violence against women and girls</p> <p>Annual implementation of projects to promote economic opportunities in rural regions</p> <p>Annual implementation of national campaigns for the prevention of and protection against gender-specific violence</p>	<p>100%</p> <p>100 %</p>	<p>100%</p> <p>100 %</p>	<p>100%</p> <p>100 %</p>
--	--	--	--------------------------	--------------------------	--------------------------

6.4. THE MAJOR WORK AREA OF INSTITUTIONAL REFORM

Under the major work area of institutional reform, seven programs are proposed.

REVISING THE LEGAL FRAMEWORK

Many of the practices followed in the political, social, economic, and regional governance of the country are still ineffective, dysfunctional, or archaic. Revision of the legal framework will give priority to the right to citizenship, the legal framework applicable to business, the legal framework for civil society, and the legal framework for regional development and planning, and local development. Moreover, an ongoing process of revision of the Constitution should lead to a better balance among the three branches of government and better governance.

STRENGTHENING NATIONAL DEMOCRATIC INSTITUTIONS

The country's institutions suffered heavy human losses and extensive material damage as a result of the earthquake, and several of them are still operating in difficult conditions. Parliament and independent institutions must be returned to normal operating conditions, and their political and administrative capacities must be reinforced. It is equally important to ensure that the programmed elections are financed and the National Identification Office and Civil Registry are strengthened.

MODERNIZING THE CENTRAL GOVERNMENT

The future of Haiti depends on the level of professionalism of its government. First it is important to ensure that it has permanent new facilities and equipment. At the same time, the government must be re-engineered on the basis of three functions (strategic planning, regulation, and provision of services). Moreover, reform of the civil service, including the training plan, program for insertion of the diaspora, and recruitment, must be ensured, along with the institutional strengthening of the central government.

MODERNIZING THE DECONCENTRATED GOVERNMENT

Increased access to public services for the population and businesses must be ensured throughout the country. Thus it is important to expand efforts to deconcentrate the central government and modernize its administration at the 12 regional development poles and 42 local development poles, according to their specific functions. Priority is given to the construction and equipping of government centers, staffing the deconcentrated facilities, and strengthening personnel skills.

DECENTRALIZATION

Establishing regional and local government offices has run up against numerous obstacles despite a consensus on the need for them. It is important to ensure that they participate in the development boom, as well as in offering public services and in solving problems in their specific fields or in areas shared with the central government. Priority is given to construction and outfitting of government centers, increasing the number of personnel, setting up local development and planning committees, increasing local financial resources, and strengthening job skills.

STRENGTHENING CIVIL SOCIETY

The coordinated mobilization of all public sector and organized civil society stakeholders (private sector, NGOs, foundations, cooperatives, and associations) is critical to the country's development. The desired partnership would involve the planning and financing of development and reconstruction efforts, and introduction and management of infrastructure, equipment, and services. Priority is given to structuring and managing partnerships with civil society and financing development initiatives.

STRENGTHENING THE ADMINISTRATION OF JUSTICE AND SECURITY

Strengthening the administration of justice and security is crucial to the emergence of Haiti. Priorities include strengthening the network of courts and infrastructure for law and order, emergencies, and fires, as well as reinforcing the network of prisons and detention centers. Priority is also given to putting in place a new army, deploying a national legal assistance system, certification of legal and judicial professions, and guaranteeing property rights.

The following diagram and table present the list of programs and subprograms in the area of institutional reform, as well as the expected impact, results indicators, and annual targets for each subprogram.

Diagram 7. THE PROGRAMS AND SUBPROGRAMS OF THE MAJOR AREA OF INSTITUTIONAL REFORM

PROGRAMS AND SUBPROGRAMS

4.1. REVISING THE LEGAL FRAMEWORK

- 4.1.1. Revising the Constitution
- 4.1.2. Ensuring the right to citizenship
- 4.1.3. Modernizing the legal framework for business
- 4.1.4. Modernizing the legal framework for civil society
- 4.1.5. Modernizing the legal framework for regional development and restructuring and local development

4.2. STRENGTHENING NATIONAL DEMOCRATIC INSTITUTIONS

- 4.2.1. Ensuring election financing
- 4.2.2. Strengthening parliamentary action
- 4.2.3. Strengthening independent institutions
- 4.2.4. Ensuring the identification of persons and property

4.3. MODERNIZING THE CENTRAL GOVERNMENT

- 4.3.1. Rehousing and equipping the central government
- 4.3.2. Re-engineering the government
- 4.3.3. Accelerating reform of the civil service
- 4.3.4. Furthering the institutional strengthening of the central government

4.4. MODERNIZING THE DECONCENTRATED GOVERNMENT

- 4.4.1. Building and equipping government centers
- 4.4.2. Increasing the number of personnel
- 4.4.3. Stepping up institution-building in the deconcentrated government

4.5. DECENTRALIZATION

- 4.5.1. Building and equipping administrative centers
- 4.5.2. Increasing the number of personnel
- 4.5.3. Managing local planning and development
- 4.5.4. Increasing local financial resources
- 4.5.5. Increasing institution-building in the regions

4.6. STRENGTHENING CIVIL SOCIETY

- 4.6.1. Promoting partnerships with civil society
- 4.6.2. Increasing the financing of development activities
- 4.6.3. Ensuring management of civil society partners

4.7. STRENGTHENING THE ADMINISTRATION OF JUSTICE AND SECURITY

- 4.7.1. Strengthening the network of courts
- 4.7.2. Strengthening the network of infrastructure for law and order, emergencies, and fire
- 4.7.3. Strengthening the network of prisons and detention centers
- 4.7.4. Establishing an army
- 4.7.5. Setting up a national legal assistance system
- 4.7.6. Certifying legal and judicial professions
- 4.7.7. Guaranteeing property rights
- 4.7.8. Strengthening consideration of gender issues in the judiciary

**Table 14. MATRIX OF EXPECTED RESULTS FOR THE
MAJOR AREA OF INSTITUTIONAL REFORM**

Subprograms	Expected impact	Results indicators	Targets 2014	2015	2016
PROGRAM 4.1. REVISING THE LEGAL FRAMEWORK Modernizing the legal framework for regional planning and development and local development	Modernization of the legal framework Availability of adapted and modern legislation providing the legal framework for regional and local planning and development	Publication of the preliminary proposals, draft laws and codes Establishment of a cadastral information system	100%	100%	100%
PROGRAM 4.2. STRENGTHENING NATIONAL DEMOCRATIC INSTITUTIONS Strengthening parliamentary action Strengthening independent institutions Ensuring the identification of persons and property	Strengthening democratic governance Institutional strengthening of Parliament Institutional strengthening of the CSCCA, OPC, and CEP Institutional strengthening and decentralization of the ONI	Putting in place the proposed public services Completion of the construction of a new legislative palace a)Completion of the construction of the new central office of the CSCCA b)Construction of 3 regional CSCCA offices a year c)Construction of the central OPC office d)Construction of the central CEP office a)Construction of the central offices of ONI and the Civil Registry b)Annual increase in the number of beneficiaries with a renewed national identification card	50% a) 100% b) 100%	100% b)100% c)100% d)100%	 a)100% b)10%
PROGRAM 4.3. MODERNIZING THE CENTRAL GOVERNMENT Rehousing the central government	Increasing the quality of central government services Institutional strengthening of the BNP, BME, LNBTP, and CNIGS	Establishing the public services proposed a)Construction of three ministries a year b)Renovation of diplomatic missions abroad a)Effective implementation of central government reform	a) 100% b) 50% a) 100%	a) 100% b) 100%	a) 100%

<p>Re-engineering the government</p> <p>Accelerating reform of the civil service</p> <p>Increasing the institutional strengthening of the central government</p>	<p>Institutional strengthening of the UEPs in targeted ministries, and development of tourism, protected areas, and the national heritage</p> <p>An effective, accessible, and modern government</p> <p>A strong, effective and modern central government</p>	<p>b) Annual increase in plans for intervention in and prevention of risks and disasters</p> <p>c) Gradual placement of the authorities for organization and protection of protected areas</p> <p>a) Strengthening and modernization of national training schools</p> <p>b) Annual increase in strengthening management of human resources in the civil service</p> <p>a) Inventory of all institution-building projects</p> <p>b) Implementation of a strategic framework for the long-term institution-building of the central government</p> <p>c) Increase in PNH staffing</p>	<p>b) 10%</p> <p>c) 7%</p> <p>a) 100%</p> <p>b) 7%</p> <p>a) 30%</p> <p>b) 50%</p> <p>c) 7%</p>	<p>b) 10%</p> <p>c) 7%</p> <p>a) 100%</p> <p>b) 7%</p> <p>a) 70%</p> <p>b) 100%</p> <p>c) 7%</p>	<p>b) 10%</p> <p>c) 7%</p> <p>a) 100%</p> <p>b) 7%</p> <p>a) 100%</p> <p>c) 7%</p>
<p>PROGRAM 4.4. MODERNIZING THE DECONCENTRATED GOVERNMENT</p> <p>Build and equip the government centers</p> <p>Increase the number of personnel</p> <p>Increase the institutional strengthening of the deconcentrated government</p>	<p>Deconcentrated government services throughout the territory</p> <p>Access to quality deconcentrated government services</p> <p>Deconcentrated governments provided with quality human resources</p> <p>Access to quality deconcentrated government services</p>	<p>The proposed public services in place</p> <p>Annual implementation of projects for rehabilitation/construction of 10 different government centers in the regional development poles</p> <p>Increase in trained government personnel in the deconcentrated government administrations</p> <p>a) Inventory of all institution-building projects</p> <p>b) Implementation of a long-term strategic framework for institution-building of the deconcentrated government</p>	<p>100%</p> <p>7%</p> <p>a) 30%</p> <p>b) 30%</p>	<p>100%</p> <p>7%</p> <p>a) 70%</p> <p>b) 70%</p>	<p>100%</p> <p>7%</p> <p>a) 100%</p> <p>b) 100%</p>

<p>PROGRAM 4.5. DECENTRALIZATION</p> <p>Building and equipping government centers</p> <p>Increasing the number of personnel</p> <p>Increasing the institutional strengthening of the regional and local governments</p>	<p>Quality decentralized government services throughout the country</p> <p>Access to quality decentralized government services</p> <p>Decentralized governments provided with quality human resources</p> <p>Access to quality municipal services</p>	<p>The proposed public services in place</p> <p>Annual implementation of projects for rehabilitation/construction of 6 city halls or communal section offices</p> <p>Construction of a training center for staff of regional and local governments</p> <p>Implementation of the project to train local authorities</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>
<p>PROGRAM 4.6. STRENGTHENING CIVIL SOCIETY</p> <p>Promoting the formation of partnerships with civil society</p> <p>Increase development financing</p>	<p>Increased participation of civil society in development</p> <p>Civil society participates actively in the country's development</p> <p>Strengthened capacity of civil society</p>	<p>Increase in the number of formal stakeholders in civil society</p> <p>Annual implementation of activities for the structural framework of civil society</p> <p>Annual activities to ensure the development of civil society</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>

<p>PROGRAM 4.7. STRENGTHENING THE ADMINISTRATION OF JUSTICE AND SECURITY</p> <p>Strengthening the system of courts</p>	<p>Assurance of adequate, equitable, and accessible civil and legal protection</p> <p>The judiciary is better equipped</p>	<p>1.Reduction of crime 2. Reduction of all forms of social injustice</p> <p>a)Completion of construction of the Palace of Justice in Port-au-Prince b)Annual implementation of projects for rehabilitation/construction of 7 lower courts c) Annual implementation of projects for rehabilitation/construction of 3 courts of appeal d)Annual implementation of projects for rehabiliant/construction of 7 high courts</p>	<p>a) 50% c) 100% d) 100%</p>		<p>a) 100% b) 100% c) 100% d) 100%</p>
<p>Strengthening the network of police infrastructure</p>	<p>The PNH is stronger and better equipped</p>	<p>a) Annual implementation of projects for the rehabilitation/construction of 5 police stations b)Annual implementation of projects for the rehabilitation/construction of 10 police substations c) Rehabilitation/construction of 2 naval bases d) Completion of the rehabilitation/construction of all border posts e) Completion of construction of the Police Academy in Ganthier</p>	<p>d) 25% e) 25 %</p>		<p>a) 100% b) 100% c) 100% d) 100% e) 100%</p>
<p>Strengthening the network of prisons and detention centers</p> <p>Strengthening consideration of gender issues in the judiciary</p>	<p>Prison conditions are improved</p> <p>The judiciary is sensitized to the gender problem and women's rights</p>	<p>a)Annual implementation of projects for the rehabilitation/reconstruction of 3 prisons b)Annual implementation of projects for the rehabilitation/construction of 5 detention centers c) Annual rehabilitation/construction of 2 detention centers for minors every year a) Establishment of special courts for cases involving violence against women, or appointment of specialized judges b) Introduction of a training program on gender issues</p>	<p>a) 100% b) 100% c) 100%</p> <p>a) 50% b) 50%</p>		<p>a) 100% b) 100% c) 100%</p> <p>a) 100% b) 100%</p>

CHAPTER 7.

THE MAIN LINES OF THE FINANCING STRATEGY

Implementing the Strategic Plan for Development of Haiti (PSDH) and achieving the targeted objectives call for a sustained effort to improve the governance framework. This framework includes a greatly improved planning capacity as well as a sustained effort in assessing and monitoring projects. Improved governance provides guarantees to Haiti's various partners (country and private actors) of the needed effectiveness and efficiency, since significant financial resources will have to be mobilized in order to make the PSDH a reality.

We have already alluded to the need for external financial support in order to implement the PSDH, if only because of the size of the economy. However, Haiti must increase its capacity to finance its own development. This requires improvement in revenues, based on organizational adjustments as well as tax laws.

The saying goes: "Desperate times call for desperate measures." In addition to the strategies based on tax policy, and given the scope of the financial challenges and the large social and economic stakes involved, Haiti intends to innovate in the area of public-private partnerships (PPP) and openness to domestic and foreign investment, to find the funds needed for undertaking the numerous projects identified for the emergence of Haiti. In this regard, identifying projects leading to the development of as yet unrealized potential by making an inventory of appropriate resources takes on the highest priority.

Regarding Official Development Assistance (ODA), criteria of budgetary visibility and availability, on the one hand, and appropriateness and effectiveness of expenditures, on the other hand, require still further use of the lever of budgetary support, and in particular the strengthening of the framework of partnership between the government and the development partners related to budgetary support. These same criteria can serve as a standard in guaranteeing that the tax expenditure in the form of customs and tax exemptions and other advantages granted to certain categories of development partners, is in fact justified by the appropriateness of their effects in light of the PSDH objectives.

7.1 Implementing a taxation policy consonant with strategic aims

Generally speaking, tax policy must be in the service of development. Accordingly, several changes in tax measures have been identified in the PSDH to guarantee a larger return, by granting to taxpayers focused measures assisting their fulfilment of obligations to the taxing system. Significant measures aimed at both

fairness and effectiveness bear on the income tax, as well as on taxation of goods and services and capital. In the area of capital, the particular target must be real property, geared to stimulating private investment and enlarging tax receipts.

Haiti's trade policy is among the most liberal to be found in the Caribbean and Latin America. Therefore, an increase in customs duties is envisaged within the framework of amendments to trade agreements with regional and international partners, in particular CARICOM and the WTO, with an aim at improving harmony with the sectoral objectives being pursued—in the area of agriculture, for instance.

7.2 Broadening the tax base and improving tax collections

Increasing state revenues requires implementing a group of measures enabling broadening of the tax base. In this regard, efforts must focus on: (1) regularizing the informal economy; (2) bringing into the taxation system entire categories of workers and enterprises not yet enrolled; (3) updating and enforcing the entire range of taxation functions of territorial governing entities; (4) real property taxation; (5) better management of state properties; (6) establishing a VAT; (7) revising a number of taxes currently unprofitable in light of the tax rates imposed and the cost of their management; and (8) on market services.

Increasing government revenues also calls for modernizing and restructuring tax collection agencies. More effective collection could be greatly enhanced by establishing the centralized taxpayer database and a more broadly based tax information center. In addition, more thorough collection of levies⁵ categorized under domestic or communal revenues providing access to various services must be undertaken.

Modernizing the system of taxation must involve a lightening of its structure, and eliminating or adjusting upward a certain number of levies whose collection costs greatly exceed the returns they provide. To be sure, there is also a need to enhance the oversight activities of tax collection agencies and strengthen the fight against smuggling and various forms of tax avoidance.

7.3 Creating financial levers out of existing economic potential

⁵ For instance, the operating tax for *sociétés anonymes* is set at 100 gourdes, the tax on professional identity cards at 7 gourdes, and the stamp tax on filing financial statements at 120 gourdes. A review of vehicle registration taxes and taxes on legal and notarized documents must also be made, to name only a few.

Haiti has not yet activated all the financial levers it possesses. These include, for example, real property owned by the state; the potentials of mineral and hydrocarbon resources; the potential in major development sectors; and the potential in Haiti's diaspora. The Haitian state is a major property owner, although the properties are as yet inadequately documented and even less called upon to contribute to economic and financial objectives. This asset could constitute a basis for participation of the state in certain tourism development projects as well as commercial and industrial complexes promising significant financial advantages for the public Treasury. Establishment of a land registry and drawing up an inventory of state owned properties enabling a comprehensive collection of data on the properties is a priority necessity.

Moreover, a correct assessment of the financial potential implied by exploitation of Haiti's mines and quarries has not yet been undertaken. Several sand quarries are in production without a clear notion of the royalties due to the public Treasury. Similarly, Haiti's precious metal mining potential (gold, for instance), if exploited, could have significant financial advantages for the taxing authorities; the same is true of hydrocarbon potential.

In addition, Haiti possesses resources and an advantageous location for establishment of strong industries in the tourism and manufacturing sectors. Such industries generate sizeable added value which, in aggregate, add to the growth of GDP and create numerous jobs in the formal economy. These industries constitute a powerful long-term lever since realization of these projects translates as a significant increase in future revenue flows for the public Treasury as well as for local government entities.

Add to the above that Haiti's diaspora have long desired to be involved in their country's economic and social improvement and development. Mobilizing this potential would enable significant growth in the contribution of the diaspora to private financing of development activities generating income and jobs. The careful implementation of the PSDH will favor this mobilization.

7.4 Calling on foreign and domestic private investment in the area of equipment and infrastructure

Within the framework of national recovery, several lines of development are envisaged. Although the state cannot delegate its powers in the area of public safety and justice, for instance, it is thought feasible to have recourse to private partners in some sectors without negative effects on the public interest. Such an approach is particularly appropriate and timely in the areas of establishing and operating equipment and infrastructure.

Experiments have been made outside of Haiti. Private investors and operators have built and managed ports, airports, waste collection and treatment facilities, facilities for producing and distributing drinking water and energy, to name only a few. Within Haiti, a persuasive experiment is in the process of operation in the sector of drinking water, while others already exist in sectors such as energy and telecommunications.

Use of private capital for certain projects answers at least two criteria of usefulness: on the one hand, it allows the public sector to concentrate its human and financial resources in its preferred domains, while improving performance in those domains, and on the other hand, it stimulates private investment and reduces the need for financial resources to be mobilized by the taxing system, or by official development assistance (ODA). In this context, the Ministry of the Economy and Finance is currently organizing an entity for promoting and managing public/private partnerships.

Direct domestic and foreign investments will be a determining factor for growth of Haiti's economy, for job creation, and for establishment and operation of numerous services serving the public and reducing poverty. The PSDH contains various incentive measures to reach these goals.

7.5 Necessary increase in the volume of budgeted support

In addition to Venezuela's contribution under the PetroCaribe program⁶ over the past two years, Haiti has received an average of USD 60 million for budget support from its bilateral and multilateral partners, which is to say a sum ranging from 2.5 percent to 5 percent of its overall budget. Moreover, the major part of the ODA, and in particular the assistance from bilateral partners, does not appear as items in Haiti's budget. In the spirit of the Paris Declaration, and in line with concern about transparency and ability to forecast, it is preferable that an even greater proportion of the assistance be made up of budgeted aid.

To realize the objectives of the PSDH and formulate a corresponding expenditure program for the medium term, Haiti must be able to count on a more substantial multiple-year commitment to budgeted support. Since 2009, Haiti has signed a Partnership Framework with some of its partners who extend budget assistance and show an interest in doing so. This opens a framework for dialogue and efforts geared to sustain implementation of the national development program, sectoral policies and programs, and reform of public finance management. Commitment to the implementation of the PSDH and a strategic plan to reform public finance form the basis for energizing the mechanism designed to guarantee resource forecasting and thereby the undertaking of development actions and policies.

⁶ Including the recently announced program measures designed to cancel Haiti's accumulated debt to Venezuela.

Given the current state of poverty in Haiti, it must make efforts to improve significantly access to basic social services and ensure minimum social solidarity with its most needy populations, while protecting the last remaining natural and cultural assets of the country. However, financing restrictions are considerable, limiting Haiti's ability to take meaningful actions within the period under consideration. Greater involvement of Haiti's development partners is required in order to propel the country along the path of desired change, and to support the efforts needed from private investors while reducing risks.

7.6 Streamlining tax breaks

Tax breaks granted over the recent decades now add up to considerable sums. According to official statistics of the Ministry of the Economy and Finance (MEF), the tax exemptions granted by Haiti to GMOs⁷ and foundations in 2010 totaled 1,905,746,603 gourdes. In 2011, these tax breaks grew markedly, reaching about 4.8 billion gourdes, or USD 114 million. Tax exemptions have tapered off since that time, along with the withdrawal of humanitarian aid, but they remain considerable, and the effectiveness of this tax expenditure is questionable.

This tax expenditure can only be justified if the actions of the partners support government policies and contribute to improving living conditions of the population as specified in the PSDH, given the fact that the exemptions granted also entail costs for the Treasury. To that end, the ministry responsible for coordinating and supervising development assistance NGOs (viz. the MPCE) must monitor strict compliance with the obligations of these organizations, which include: (1) forwarding to this ministry the program and budgets of the organization (both operating and investing budgets) envisaged for the next fiscal year; (2) presenting a report on the execution of programs and projects at the end of each financial year; and (3) providing the oversight agency with the data, documents, and records likely to facilitate control, monitoring,

and evaluation of programs executed during the previous year.

Also of importance is strengthening the mechanisms and working methods shared by these organizations and the local development partners. Therefore, the signing of a memorandum of understanding between the state and the partners must be a prerequisite to granting all or a portion of the customs duty exemptions. At present, the preliminary legislative bill specifying the long-term status of the development assistance NGOs and governing their establishment and operations in Haiti is being revised with a view to

⁷ More than 500 recognized NGOs are listed in the archives of the Ministry for Planning and Foreign Aid (MPCE).

issuing a new regulatory framework. This new framework, keyed more closely to present day reality will add improvements to returns from taxes, and thereby produce benefits for the population.

7.7 Negotiating taxes generated by Haitians living abroad

According to statistics available at the end of the 2000 decade, there were about 4.5 million Haitians living abroad, at least half of which were adults. All were taxed in their host countries. Of this group, several were said to have only Haitian citizenship. By contrast, Haiti does not tax foreigners living in Haiti.

The taxing of income generated by Haitian workers living abroad and income earned by foreigners working in Haiti could be negotiated with the countries involved. The signing of tax agreements with such countries will guarantee the right of each of the parties to tax incomes of their respective citizens. Such international tax agreements will be integrated into Haitian legislation, in compliance with existing procedures in that domain.

Some countries, like Lebanon, enjoy agreements specifying the transfer of taxes collected from their citizens by the host countries. Such agreements are being contemplated by Haiti and its bilateral partners with a view to increasing available state assets for the purpose of developing the country. In addition, agreements to exchange information between the Haitian tax administration and the corresponding administrations of the other countries might also be signed⁸ so as to combat fraud and reduce international tax avoidance. New mechanisms of this kind could bring a sizeable amount of supplementary resources to the public Treasury.

7.8 Debt financing

Whatever the potential of these methods, we must retain the notion that the outcome constitutes new resources that can take the part of a guarantee for a Treasury bond issuance program. Haiti's position as a

⁸ In addition to these two international tax instruments, the taxing of income earned by Haitian citizens living abroad, or income earned abroad by resident Haitians, or Haitians declaring their residence in Haiti for tax purposes, is made possible by introducing into income tax legislation the option of being taxed on "global revenue." By contrast, this legislation will have to specify the manner in which a tax credit is granted on taxes already paid abroad, or expenditures closely linked to earning this income, without this income being in any case greater than the amount of income earned abroad. This new approach to taxing income in Haiti must take into account best international practices in this regard.

post-HIPC (Heavily indebted poor country) country requires that it have a strategy for debt financing that enables mobilization of sufficient financing within a framework that guarantees a sustainable condition of indebtedness.

The financing needs for implementing the Strategic Plan for Development of Haiti (PSDH) are substantial, and the debt financing strategy decided upon must ensure:

1. Sustainable total public debt while underpinning macroeconomic stability, growth, and diversification of exports;
2. Minimal borrowing costs and minimal exposure to risk associated with the debt;
3. Reduced dependency in the long term on external financing, through development of saving, investment, and capital markets at country level.

Chapter 8. Main parameters for implementing, monitoring, and assessing the three-year framework

Operationally, the implementation of the *Framework for accelerated and balanced growth of the economy and reduction of poverty, 2014-2016* enshrines the return to three-year programming. It will serve as a guide to drawing up upcoming guidelines and road maps for the sectors, and as the basis for yearly programming of government action.

The content of the present three-year framework and the feasibility of the implementation depend on two essential points. First, it must be based on a financing strategy negotiated and decided upon with the financial and technical partners for the short and long terms. Secondly, it implies establishment of basic conditions both the information on development and the ongoing coordination between the development actors and partners regarding achievement of expected results and the targets arrayed about a single (harmonized) system of management, monitoring, and assessment.

Speaking more generally, the emergence of Haiti in 2013 will require more than ever that national efforts to strengthen the convergence of national actions be effected through implementation of the PSDH and the achievement of the objectives of the Paris Declaration, aimed mainly at sustaining national efforts to strengthen governance and improve the results obtained in terms of development. Increased efforts must

be made to align the priorities of Haiti's development partners and thereby reform the methods for guiding and managing the progress of assistance.

The implementation of this three-year framework will be based on participation and cooperation, in line with the legal framework governing Haiti's public investments. Each ministry will be responsible for contributing to the implementation of the three-year framework. However, given the size of the investments involved in order to achieve the expected results in terms of both development and governance, Haiti will have to: (1) establish new mechanisms for implementing the PSDH; (2) accelerate the implementation of the program approach in certain ministries; (3) make significant investments in the major projects promising development; (4) maximize the participation of the private sector; (5) develop models for equipment and infrastructure projects to be established; and (6) strengthen the quality and reliability of the needed management data.

Throughout the course of the implementing of the PSDH, a communications strategy must be adopted so as to ensure regular distribution in the form of images and on the airwaves of national and local progress achieved. On a daily basis, the web site of the MPCE will enable any public or private participant to consult the progress made on line.

The MPCE is already embarked on establishing new mechanisms to ensure monitoring of the implementation of the PSDH, and has already generated the mechanisms needed to improve coordination of external aid. It is also making efforts to install a single information system for managing and evaluating development which will make it possible in particular to monitor actions undertaken, assess progress made, and re-engineer administrative processes and tools. This system will be placed on line and will eventually provide sectoral data regarding: (1) each of the programs of the Four Main Projects in the future (benchmark status, ongoing projects and projects needing implementation, costs, deadlines, financing, project executions, etc.); (2) demographic data; (3) progress indicators; and (4) mapping of pertinent project elements. Each ministry will be responsible for validating and updating the information in its own field of activity within the system, and all the partners must commit themselves to provisioning the information system using a prearranged method for gathering data, verifying them, and aggregating them.

A system for evaluating results obtained in terms of development will be implemented. It is to include an evaluation of development indicators in force (job creation, combatting social exclusion, improving housing conditions, food safety, risk management and real property management), macroeconomic indicators, indicators specific to each of the programs and subprograms of the PSDH, and lastly indicators specific to each of the projects undertaken. Preceding Chapters 3-6 have presented information regarding the development indicators required for evaluating the implementation of the present three-year framework. Initially and in the short term, it will be necessary to establish the benchmark references for all these results indicators and develop specific strategies regarding them.

8.1 The new mechanism for monitoring implementation of the PSDH and the three-year framework

The primary objectives of this mechanism are to facilitate the coordinated and effective implementation of the PSDH, the three-year framework, and the annual public investment programs while keeping in mind government priorities, and to ensure oversight of that implementation. The mechanism establishes formal working procedures that will establish the required links to the sectoral ministries, the Ministry of Planning and Foreign Aid (MPCE), and the Ministry of the Economy and Finance (MEF), keeping in mind their respective roles in the overall effort. Bridges will be constructed linking this initial mechanism and the mechanism actually implemented so as to improve the coordination of foreign aid (See Section 8.2 and ff.) and ensure their respective alignment on converging targets.

The chief functions of this mechanism ensure the availability of components needed to implement the selected activities and overall monitoring of the same. These components include: the technical project documents; the required approvals and availabilities; inspection reports; progress reports on projects as regards technical and financial matters; and regular generation of trend charts that enable government authorities to make the needed managerial decisions.

This generalized oversight will enable all participants to have an up to date and complete vision of the implementation of the projects as well as of the achievement of targets specified in the PSDH , the three-year framework, and the PIPs. Proceeding in this manner will facilitate the entire group of Haitian and international development participants' discussion of the needs and actions required to develop the country and its communities, and thereby better serve the population. It will also enable the private sector to better seize business and market development opportunities and enable each ministry to acquire advanced knowledge of the projects they are called upon to delineate.

Management tools will be created to impart structure to the work to be undertaken. These tools include roadmaps, deadlines, action plans and contingency plans, analysis and evaluation frameworks, progress trend charts, performance indicators, compilation tables, and operating tables. Implementation of this new mechanism for monitoring the implementation of the PSDH and the three-year framework will enable development of management competencies within the public administration. Establishment of a results-based management is the target.

Finally, it is clear that implementation of such a process must rely upon permanent access to reliable, quality information, available to all participants. The new development information system is a response to that need. It is presented in Section 8.3.

8.2 The new mechanism for coordinating foreign aid

It is crucial that the priorities of the international community be aligned with the PSDH. All agree on the need to build permanent bridges between donors and government for dialogue, cooperation, coordination of action, and monitoring the progress of activities in the field. In a context in which the financing of several investment projects depends on foreign funding, it was necessary to establish a mechanism whose primary responsibility is to coordinate the efforts of each, linked closely to priorities and needs.

With the implementation of the PSDH and its three-year framework and establishment of a planning and programming system that is results-oriented, this new mechanism for coordinating foreign aid shows all of its usefulness, especially in light of the fact that the Interim Commission on Haitian Reconstruction (CIRH) has come to the end of its mandate. Based on this experience, the government intends now to improve coordination of the actions of the international community with the activities called for in the PSDH and the three-year framework. The recent adoption of the Framework for Coordinating Foreign Development Assistance (CAED) is a response to the needs and is perfectly integrated into the objectives of the Paris Declaration as regards good governance and development.

Management of foreign assistance is an important component of good governance. The chief goal of the CAED is to support Haiti's recovery by establishing permanent operating and coordinating methods enabling implementation of the PSDH between the donor community and the Haitian government. Specifically, the CAED aims to

- Promote state ownership of its own development;
- Promote commitment of the international community to Haiti's strategic priorities; and
- Contribute to stronger institutional management capacities within the government structure.

Implementation of this coordinating mechanism also falls within the scope of the government's determination to lessen its dependence on foreign financial aid in a gradual manner. The government bases its determination on implementation of the PSDH and its three-year framework, including its financing strategy.

With a view to attaining these objectives, the new mechanism for coordinating foreign aid, under the direct supervision of the MPCE, orients its activities around three (3) coordination references: strategic, sectoral, and territorial.

Strategic coordination will promote harmonizing of the annual budget and PIP cycles, specifically by ensuring access to reliable, permanent management information. Analysis of the progress of the project by all the partners will enable improved strategic decision making, with adequate realignment in the event of need. Strategic decisions will bear on the analysis of priorities and necessary adjustments as the projects, the PSDH and the three-year framework progress, together with the realities associated with natural disasters. More generally, decisions will also bear on the priorities to be given to the various sectors with reference to budgetary realities and the effective commitments of the donors.

Sectoral coordination will promote improved consistency between government policy, the actions of sectoral ministries, and the priorities of the international partners. This coordination depends on the energetic activation of the sectoral tables, since they are the important and necessary nodes of concerted action. The sectoral tables are focal points of coordination and dialogue, not of operating decisions. Nevertheless, they enable a harmonization of governmental priorities with those of the donors at a technical scale of realization, and this even prior to the elaboration of project documents.

Territorial coordination will promote Haiti's development across the entire territory, broken down by *départments*, wards, communes and divisions of communes. This requires energetic activation of the various cooperation and commitment tables of the territorial authorities, elected officials and appointees, vis-à-vis the process of implementation drawn up by Haiti's authorities and the international partners. The various regional tables will be strengthened, thereby enabling elected officials to better follow the government's actions.

Generally speaking, the CAED (1) supports the integration of aid management into the national system for planning, programming, monitoring, and evaluating development; (2) supports and strengthens the technical units of the various ministries regarding the implementation and oversight of the PSDH; and (3) improves access to reliable, shared information. CAED's activities support the various technical units of the MPCE already active in these areas.

8.3 The new development information system

Implementation of new mechanisms inevitably requires a revision of the procedures currently employed in collecting, inputting, transmitting, and accessing useful and reliable management information. First of all the PSDH and the three-year framework initiate the Haitian government into modernized planning, programming, and developing management functions. It is of fundamental importance to secure an operating method providing adequate response to the demands and requirements of the results specified in the PSDH and its three-year execution framework. As noted in Sections 8.1 and 8.2,

mechanisms for monitoring and coordinating activities will be in place to ensure a permanent oversight of the progress of the projects and an alignment of the actions taken with the priorities and plans of the government.

Soon the Haitian government will have at its disposal a unique system of management information that will enable it to follow on a daily basis and in real time the progress of projects and their completion. This system will take the form of an electronic database accessible on the Internet. This transparent and reliable database will enable all the partners in Haiti's development to access the system and, in certain cases, to contribute to updating it. The data concerning each project will include in particular financial data, data on time frames, and geographical and administrative data. In addition, the system will enable visualization of the selected data on cards.

Eventually, provisioning the system will be able to be accomplished from several sources and a facility for verifying identities and data will be added. The database will enable regular monitoring of progress, deadlines, finished tasks and tasks to be completed, disbursements, and the progress made with reference to the development indicators selected by the government, all of which will be illustrated with photographs of various projects.

This system represents a unique management and transparency tool. Provisioning of the system will follow a pre-established format for collecting and validating the data, within the framework of an invariable operating format that will enable improved information of the Haitian population as a whole and its partners, regarding the progress of activities linked to Haiti's development.

A program for increasing awareness and training will soon be established for all participants in the system. All of the partners, the government, the international community, and the persons executing tasks must commit themselves firmly to regular updating of the data. Also under consideration is a program for building capacities of the technical units of the various ministries regarding the use, management, and maintenance of the system. Finally, this institutional enhancement will be accompanied by a re-engineering of the various processes for transmitting and processing data. The presentation and information tools in current use in projects will be shaped and updated to comply with the operating methods of the new system of development information.

8.4 Stakes, challenges, and risks associated with the three-year investment program,

2014-2016

Despite efforts made in recent years, particularly in the area of public finance, to guide the country toward a certain macroeconomic stability, Haiti's economic and social condition remains precarious. The hoped for economic dynamism is still waiting.

According to the initial estimates made by the Haitian Institute for Statistics and Informatics (IHSI) for fiscal 2012-2013, a growth rate of Gross Domestic Product (GDP) in real terms of 3.4 percent is expected, following upon growth of only 2.8 percent in 2011-2012. This shows that, after the recuperation of 2010-2011 (5.6 percent), the economy has known growth rates of only around 2.0 percent. Consequently, efforts will be made to achieve a greater real average annual growth rate of GDP in the period 2014-2016.

Factoring in a rapid rise in population (about 2 percent), per capita GDP continued to trend downwards. Haiti still does not possess sufficient means to effect a vigorous economic recovery based on domestic resources and remains partly dependent on foreign assistance pour its public investments. The economic situation combined with the climate of insecurity—or the perception of such a climate—have led to a serious deterioration of the quality of life and an increase in the phenomenon of mass poverty.

The macro-social context remains worrisome. Almost 60 percent of the population live below the extreme poverty line of USD 1 PPA per person per day, and the majority of the population has a very tenuous access to basic social services such as education, healthcare, running water, and sanitation. Nevertheless, some progress has been noted in the trend of certain indicators of Haitian living conditions. According to the most recent EMMUS V inquiry, compared to EMMUS IV, the rate of school attendance has improved, rising from 49.6 percent in 2005-2006 to 77 percent in 2011-2012.

In light of this finding, the Three-Year Investment Program 2014-2016 and its framework is based on realistic assumptions, keeping in mind the trend in the international environment in which the Haitian economy operates as well as internal factors likely to have a negative impact on expected results. This degree of realism is linked to a willful optimism in the wake of achievement of accelerated and balanced growth of the economy and reduction of poverty for the period 2014-2016, to the extent that appropriate measures will have been taken to lower risks and their undesirable macroeconomic effects.

The PSDH provides a framework for monitoring development ambitions planned for the long term. The effectiveness of this planning framework depends in priority fashion on the ability to ensure coordination of the process and effective execution of the same. It depends also on the ownership of this endeavor by the partners as a whole and on the ability of the public administration to execute it harmoniously. Finally, the efficiency also resides with the method used in managing the process. Accordingly, three challenges can be mentioned:

- The challenge of mobilizing financial resources brings up others, and in the first instance, the national capacity for financing development by mobilizing the necessary domestic financial resources, supported by appropriate fiscal and budgetary policies. Secondly, relaxing and eliminating legal, real-property, and institutional restraints able to block achievement of economic policies and decisions. Ownership of the efforts by all the institutions will require effective operation of the Strategic Orientation Councils (COS) for the purpose of improving coordination within sectors and harmonizing the development actions, as well as the establishment of Research and Programming Units (UEPs) to provide effective oversight of development actions in planning sectors. And

- Required commitment of the partners to the PSDH priorities, in particular the delegation of responsibility and commitments linked to budgetary support. Mobilization of financial resources also depends on adherence to the points in the joint communique of May 10, 2013 and follow-up of the same, in the wake of the meeting of the CEA assistance effectiveness of the CAED, whence the consolidation of a close partnership between the government and the technical and financial development partners.

The current challenges that Haiti must meet are many; among them, the following deserve special attention:

- Reduce the incidence of poverty by accelerating economic growth and improving the distribution of the fruits of that growth over the entire country;

- Stimulate the growth of national production by renovating and strengthening economic structures, notably those associated with the agricultural, manufacturing/industrial, and tourism sectors, as well as developing the Public-Private Partnership in the areas of infrastructure and equipment;

- Create permanent jobs quickly—to help improve the living conditions of the population;

- Put Haiti back on the world tourism map;

- Increase the rate of elementary school attendance and broaden access to it over the entire country;

- Broaden access to primary healthcare services by rehabilitating existing health infrastructures and building new facilities in priority, under-served areas, while increasing availability of needed equipment and drugs; and

- Promote and support principles contributing to gender equality.

Finally, the following risks—political, institutional, economic, and natural— might impact the macroeconomic framework of the PTI and endanger its stated goals:

- The political instability that prevailed over the last three decades and can still have harmful effects on a large number of economic variables, leading to the drying up of external resource flows and blocking execution of PTI expenditures, thereby negatively affecting growth and poverty reduction;
- Low rate of disbursement of external resources on behalf of execution of the PTI may constitute a major restraint to implementation to the extent that, despite multiple efforts made by the authorities of Haiti, the country continues to be largely dependent on foreign assistance. Weak mobilization of these resources and failure to apply the measures specified in the Framework for Coordinating Foreign Development Aid (CAED) places at risk the goals contained in the PTI;
- The condition of the global and regional economic environment: Haiti is a small economy open to the world and the Caribbean region, especially sensitive to trends in its external environment and in particular the trends in the US business environment as well as those of its neighbor, the Dominican Republic. In this context, Haiti, with little diversity in its exports and a market strongly dependent on imports, must gird itself to meet any possible shock from world and regional markets. Add to this recent developments in the oil market, such that a hike in the price of oil has an immediate impact on the various parameters of sectoral activity, notably through increases in costs of energy and transportation. Moreover, the trends in certain markets such as wheat and rice take on crucial importance in terms of Haiti's balance of payments. And
- Natural disaster risks are elevated in the case of Haiti. Flooding resulting from cyclones and hurricanes over the last 50 years and the recent earthquake (January 12, 2010) show the degree of vulnerability and exposure of Haitian territory to natural catastrophes, accompanied by degradation of its physical environment over the recent decades.

Part 2. The Three-Year Investment Program, 2014-2016

The Three-Year Investment Program, 2014-2016 (PTI 2014-2016) concerns implementation of the Strategic Plan for Development of Haiti and more specifically implementation of the government's priorities for the period. It must also include continuation of projects initiated earlier which form part of the framework for Haitian rebuilding, as well as emergency measures post-Sandy that will continue to be implemented over the course of the coming years.

The Long-Term Vision of Haitian Development seeks to rebuild the nation. Its target objective is that Haiti should become an emerging country before 2030. To that end it must increase investments in Haiti considerably over time, and especially foreign investments, and it must boost the average income of the population. For example, increasing the average yearly per capita income to USD 2,310 would constitute real progress for Haiti, in light of the fact that countries usually considered to be "frontier" or "emerging" at the start of the decade had an average income ranging from USD 995 to USD 3,945.

On the other hand, since emergence is a result of development, the rise to the status of "frontier country" or "emerging country" is not necessarily accompanied by a rise in the level of per capita income. Development must first of all lead to prosperity. There are two components to the growth of living standards: employment and productivity. A country must also be competitive. Over all, on the basis of development factors nurturing emergence of countries "in the process of development," various measures have to be adopted by the national authorities to promote the creation of thousands of jobs necessary for Haiti's recovery and development, while ensuring prosperity, productivity, and competitiveness.

In the short term, measures adopted must concern establishment of basic conditions favoring Haiti's development, such as: (1) an institutional, legal and regulatory environment that is stable, effective and equitable, including legal and real property security; (2) a macroeconomic environment under control; (3) transportation, telecommunications, and energy infrastructure networks that are developed and maintained; and (4) complete basic healthcare and education networks in operation.

Contemporaneously, measures adopted must initiate implementation of other development levers. In particular, these levers include an open goods and services market; a flexible labor market; quality business practices; strong production lines; and easier access to higher education and professional and technical training. Finally, in order to increase competitiveness in the long term, a start must be made right now on stimulating innovation, increasing its profile steadily, in keeping with the rhythm of other development factors to be implemented.

There is also an immediate need to ponder the fact that population growth retards the growth of living standards. Alongside efforts to create jobs and implement measures to ensure Haiti's prosperity, priority must be given to measures that limit population growth to a minimum over the long term. Based on the latest population data, priority investment must go to boosting the level of schooling and literacy, especially female literacy and schooling, as well as the participation of women in employment, with special attention given to equal pay.

The Long-Term Vision of Haitian Development is based on important choices regarding the territory, the economy, and society and its institutions, and on the achievement of cross-cutting targets, together with gradual and simultaneous implementation of the four Great Projects.

Choices bearing on the territory, the economy, and society and its institutions aim at:

- Structuring the territory in terms of regional and local development zones enabling deployment over the entire territory of development efforts and opportunities, as well as better management of the same;
- Creating conditions favorable to private investment and creating jobs and social commitment geared to rapid improvement of the environment for business, justice, and security;
- Responding quickly to basic social needs and protection of the last great parcels making up the nation's natural and cultural patrimony; and
- Improving governance rapidly and in targeted fashion, and this at all territorial levels, and in particular, the devolution of public administration, and decentralization of civil society along with its greater involvement in development.

Finally, in the short term, the availability and reliability of management data must be improved, and this with respect to both technical and financial aspects.

The following four sections are keyed to each of the four Great Projects for rebuilding Haiti and present ***a list of projects proposed for the first Three-Year Investment Program implementing the Strategic Development Plan for Haiti and the government's priorities for the period.***

In reading these sections, the costs associated with the projects must be regarded as orders of magnitude, given the uncertainties in the available databases used, and given that few of the projects are

accompanied by feasibility studies or pre-investment studies providing detailed treatment. Also, some projects implemented by various development partners of Haiti may be omitted because they do not appear in the databases used.

The total cost of implementing the Three-Year Public Investment Program, 2014-2016, was 310 billion gourdes, or USD 7.115 billion, converted at the exchange rate of 43.5 gourdes for one USD. The yearly breakdown of the amount is 102 billion gourdes in 2014, 101 billion gourdes in 2015 and 107 billion gourdes in 2016.

Around 50 percent of the PTI 2014-2016 will be invested in the rebuilding of Haiti's territory, including: (1) rehabilitation/construction of productive infrastructures needed for economic and social development and to improve governance (69 billion gourdes for transportation and energy); (2) protection, rehabilitation, and restoration of the environment and natural resources as well as land use management, including protection and management of watersheds and implementation of major cross-cutting programs of the government like those concerning the fight against poverty, social protection, and food security (57 billion gourdes); (3) urban renewal and building of basic infrastructures, including various drainage projects, street rehabilitation, drinking water distribution, and waste management and sanitation (34 billion gourdes). The construction of multimedia centers will also be started as part of development projects.

Slightly more than 15 percent of the PTI 2014-2016 will be invested directly in Haiti's economic rebuilding, mainly in modernizing and stimulating agriculture, stock raising, and fishing (23 billion gourdes). A significant effort will also be devoted to supporting private investment in the sectors of manufacturing/industry, tourism, and services (21 billion gourdes). Finally, the government is counting on its various development partners to implement over the whole countryside various structuring projects that are highly labor intensive, so as to create numerous short-term temporary jobs, generate income in affected communities, and promote participation in Haiti's recovery (4 billion gourdes).

Nearly 20 percent of the PTI 2014-2016 will be invested in rebuilding Haitian society, mainly in education and healthcare (44 billion gourdes). Relocation of persons rendered homeless will continue to be at the center of concerns, with more than 2 percent of the three-year budget allotted to them (6.5 billion gourdes). Other government priorities for the period include: protection and enhancement of cultural goods and support for cultural creation (3.1 billion gourdes); development of civic action, sports, leisure activities, and youth (2.2 billion gourdes); and installation of equipment to ensure a minimum of social solidarity (2.2 billion gourdes). Finally, in partnership with the business world and representatives of workers, efforts will be made to improve the social protection of workers and the management of current public systems of social insurance.

Finally, nearly 15 percent of the PTI 2014-2016 will be invested in Haiti's institutional rebuilding, mainly the modernization and relocation of the central state administration (24 billion gourdes), which will also enable activation of the reconstruction of the center of the city of Port-au-Prince. In the same developmental direction will go the restoration of Haiti's democratic institutions (3.6 billion gourdes), including also the reconstruction of governmental institutional buildings and construction of modern facilities for independent institutions. The modernization of devolved and decentralized administering agencies will go forward (6 billion gourdes). Finally, significant support will be given to enhancing the administration of justice and public safety (7.5 billion gourdes). In this context, we are particularly interested in the establishment of special courts and the appointment of judges who specialize in cases of violence done to women.

Table 15. Summary of Three-Year Investment Program, 2014-2016

Reconstruction projects	2014 cost	2015 cost	2016 cost	Total cost
PTI 2014-2016, Values in gourdes	102 125 215 875	100 787 419 692	106 600 527 435	309 513 163 003
Great Project 1: Reconstructing the territory	47 192 678 283	52 537 724 612	60 607 231 521	160 337 634 416
Program 1.1: Land management and development	13 082 448 291	10 379 790 575	12 124 032 880	35 586 271 746
Program 1.2: Manage the environment	1 197 776 000	1 730 419 250	2 349 800 250	5 277 995 500
Program 1.3: Manage watersheds	3 082 075 426	6 128 108 391	7 224 598 391	16 434 782 208
Program 1.4: Urban renewal	5 646 615 070	8 322 260 000	10 700 500 000	24 669 375 070
Program 1.5: Restore Haiti's transportation network	16 302 875 284	17 615 630 218	17 691 800 000	51 610 305 502
Program 1.6: Increase electrification in Haiti	5 002 685 516	5 282 690 000	7 443 250 000	17 728 625 516
Program 1.7: Continue expansion of Haiti's communications and digital network	22 131 109	21 750 000	21 750 000	65 631 109
Program 1.8: Extend drinking water distribution services and sanitation	2 856 071 587	3 057 076 178	3 051 500 000	8 964 647 765
Great Project 2: Economic reconstruction	18 280 866 167	14 418 171 153	15 149 646 500	47 848 683 820
Program 2.1: Establish active governance to produce accelerated and balanced economic growth	5 032 568 442	2 123 549 693	1 763 925 000	8 920 043 135
Program 2.2: Modernize and enhance agriculture and stock raising	9 578 058 360	5 992 681 368	5 315 621 500	20 886 361 228
Program 2.3: Modernize and energize fishing	97 070 900	674 250 000	1 044 000 000	1 815 320 900
Program 2.4: Support industrial development	1 609 350 000	1 607 750 000	2 978 000 000	6 195 100 000
Program 2.5: Modernize and energize the service sector	915 618 465	1 146 340 092	1 044 000 000	3 105 958 557
Program 2.6: Support the development of tourism	150 200 000	1 004 850 000	1 135 350 000	2 290 400 000
Program 2.7: Enhance mineral and energy resources	28 000 000	128 750 000	128 750 000	285 500 000
Program 2.8: Ensure development of employment	870 000 000	1 740 000 000	1 740 000 000	4 350 000 000
Great Project 3: Social reconstruction	20 397 532 087	19 519 740 463	18 872 996 348	58 790 268 899
Program 3.1: Strengthen higher education teaching and professional and technical training	1 568 371 837	1 413 500 000	1 607 299 667	4 589 171 504
Program 3.2: Improve access to preschool, basic, and secondary schooling	6 760 534 104	6 912 295 883	7 344 530 306	21 017 360 292
Program 3.3: Improve access to healthcare services	4 604 481 032	7 057 012 000	7 097 622 648	18 759 115 680

Reconstruction projects	2014 cost	2015 cost	2016 cost	Total cost
Program 3.4: Protect and enhance cultural goods and support cultural creation	1 333 520 120	777 034 668	984 318 728	3 094 873 516
Program 3.5: Increase access to housing	4 459 751 160	1 797 337 913	311 900 000	6 568 989 073
Program 3.6: Ensure development of civic action, sports, leisure activities, and youth	1 075 115 300	572 500 000	572 500 000	2 220 115 300
Program 3.7: Establish a social insurance system for all workers	-	63 075 000	41 325 000	104 400 000
Program 3.8: Organize social solidarity	580 250 000	826 500 000	826 500 000	2 233 250 000
Program 3.9: Ensure gender equality	15 508 535	100 485 000	87 000 000	202 993 535
Great Project 4: Institutional reconstruction	16 254 139 340	14 311 783 464	11 970 653 067	42 536 575 870
Program 4.1: Review the legal framework	20 055 071	43 500 000	43 500 000	107 055 071
Program 4.2: Strengthen Haiti's democratic institutions	1 483 583 616	1 141 720 000	935 250 000	3 560 553 616
Program 4.3: Modernize central administrative services	11 965 297 778	6 807 813 464	5 766 208 000	24 539 319 242
Program 4.4: Modernize devolved administrative services	263 400 000	2 175 000 000	2 277 000 000	4 715 400 000
Program 4.5: Decentralize	431 186 296	628 625 000	245 750 000	1 305 561 296
Program 4.6: Strengthen civil society	178 204 000	303 000 000	303 000 000	784 204 000
Program 4.7: Strengthen the administration of justice and public safety	1 912 412 579	3 212 125 000	2 399 945 067	7 524 482 646

Chapter 1

Great Project 1. Territorial reconstruction

Projects PTI 2014-2016

List of projects proposed for Great Project 1: territorial reconstruction

Table 16: List of projects proposed for Great Project 1: territorial reconstruction				
Projects	2014 cost	2015 cost	2016 cost	Total cost
PTI 2014-2016, values in gourdes	102 125 215 875	100 787 419 692	106 600 527 435	309 513 163 003
Great Project 1: territorial reconstruction	47 192 678 282	52 537 724 612	60 607 231 521	160 337 634 414
Program 1.1: management and development of land use	13 082 448 291	10 379 790 575	12 124 032 880	35 586 271 746
Sub-program: Plan national and regional development	10 028 207 533	6 999 562 960	8 259 582 880	25 287 353 373
Undertake binational activities in the areas of trade and industry	95 253 360	165 650 460	176 832 880	437 736 700
Establish a coproduction policy with the Dominican Republic	5 000 000	-	-	5 000 000
Design and execute national development strategies and plans geared to Haiti's emergence in 2030	104 750 000	7 000 000	7 000 000	118 750 000
Establish a database and dynamic maps of public investments	21 750 000	21 750 000	21 750 000	65 250 000
Design and implement investment projects	30 000 000	30 000 000	30 000 000	90 000 000
Implement activities in support of strategic management of investment in Haiti with reference to the land use management plans	50 000 000	50 000 000	50 000 000	150 000 000
Design and implement national land use management and development	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Implement activities in support of Cuban assistance and tripartite assistance	35 000 000	35 000 000	35 000 000	105 000 000
Implement activities in support of management of the public investment program	30 000 000	30 000 000	30 000 000	90 000 000
Implement the action plan for enhancing or creating UEPs	50 000 000	50 000 000	-	100 000 000

Design a national schematic for land use	-	4 000 000	4 000 000	8 000 000
Design and implement projects for developing Haiti's north corridor	935 000 000	-	-	935 000 000
Complete the fifth general inventory of population and housing	20 000 000	20 000 000	20 000 000	60 000 000
Support the fifth inventory of population and housing (RGPH)	8 700 000	4 350 000	-	13 050 000
Inventory and geolocate public infrastructures and equipment, required management data, and integration into the database with spatial references	43 500 000	43 500 000	43 500 000	130 500 000
Design and implement a geospatial database for land use management and development	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Identify and map all natural and man-made risks	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Implement the territorial information program for sustained development of CNIGS	79 574 352	-	-	79 574 352
Establish a commune information system for sustainable governance at Môle-St-Nicolas, Île-de-Ja-Tortue and Aquin	10 000 000	-	-	10 000 000
Establish a cartographic database	5 000 000	-	-	5 000 000
Strengthen the National Observatory of Poverty and Social Exclusion	16 000 000	-	-	16 000 000
Reduce the risk of earthquakes	10 000 000	10 000 000	10 000 000	30 000 000
Undertake seismic micro-zoning of the Cap-Haïtien/Fort-Liberté corridor	21 750 000	21 750 000	-	43 500 000
Design and undertake actions for territorial, economic, and social rebuilding	260 000 000	260 000 000	260 000 000	780 000 000
Implement the local land management and development fund for the fifteen (15) communes of the Artibonite <i>département</i>	152 142 857	130 500 000	130 500 000	413 142 857
Implement the local land management and development fund for the twelve (12) communes of the Centre <i>département</i>	121 714 286	130 500 000	130 500 000	382 714 286
Implement the local land management and development fund for the twelve (12) communes of the Grande-Anse <i>département</i>	121 714 286	130 500 000	130 500 000	382 714 286
Implement the local land management and development fund for the eleven (11) communes of the Nippes <i>département</i>	111 571 429	130 500 000	130 500 000	372 571 429
Implement the local land management and development fund for the nine (9) communes of the Nord <i>département</i>	192 714 286	130 500 000	130 500 000	453 714 286
Implement the local land management and development fund for the ten (10) communes of the Nord-Ouest <i>département</i>	101 428 571	130 500 000	130 500 000	362 428 571

Implement the local land management and development fund for the thirteen (13) communes of the Nord-Est <i>département</i>	131 857 143	130 500 000	130 500 000	130 500 000	392 857 143
Implement the local land management and development fund for the twenty (20) communes of the Ouest <i>département</i>	202 857 143	217 500 000	217 500 000	217 500 000	637 857 143
Implement the local land management and development fund for the eighteen (18) communes of the Sud <i>département</i>	182 571 429	130 500 000	130 500 000	130 500 000	443 571 429
Implement the local land management and development fund for the ten (10) communes of the Sud-Est <i>département</i>	101 427 571	130 500 000	130 500 000	130 500 000	362 427 571
Design and implement projects to fight poverty and social exclusion	1 665 544 300	1 422 500 000	1 422 500 000	1 800 000 000	4 888 044 300
Implement the sub-program for social protection	217 500 000	435 000 000	435 000 000	652 500 000	1 305 000 000
Undertake emergency intervention facility project	1 000 000 000	1 000 000 000	1 000 000 000	1 000 000 000	3 000 000 000
Design and implement projects for territorial development	1 509 745 751	435 000 000	435 000 000	652 500 000	2 597 245 751
Plan and manage development of Grande-Anse land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Plan and manage development of Nord-Est land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Plan and manage development of Nord-Ouest land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Plan and manage development of Ouest land resources (including Nord periphery and city center of Port-au-Prince)	100 000 000	304 500 000	304 500 000	652 500 000	1 057 000 000
Plan and manage development of Centre land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Plan and manage development of Artibonite land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Plan and manage development of Sud-Est land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Plan and manage development of Nord land resources	100 000 000	174 000 000	174 000 000	348 000 000	622 000 000
Plan and manage development of Nippes land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Plan and manage development of Sud-Est land resources	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Boost the resilience of rural communities affected by the earthquake in the Sud-Est <i>département</i>	5 216 046	-	-	-	5 216 046
Improve the food security and nutrition situation of vulnerable households in Artibonite <i>département</i>	39 312 500	9 562 500	9 562 500	-	48 875 000
Support the restoration of farming production capacities in the <i>départements</i> Ouest, Sud, and Sud-Est in the wake of the natural disasters of 2012	15 045 000	-	-	-	15 045 000
Improve food security in the <i>départements</i> Centre, Artibonite, Nord, Nord-Est, Nord-Ouest, and Sud	270 579 800	-	-	-	270 579 800

Strengthen food security	71 408 556	-	-	71 408 556
Fight against food insecurity	8 000 000	87 000 000	87 000 000	182 000 000
Improve the information system monitoring food security in the 10 geographic <i>départements</i>	14 000 000	-	-	14 000 000
Undertake a territory-wide inquiry on agricultural capacities	15 000 000	-	-	15 000 000
Establish an agricultural financing and insurance system I	196 490 109	-	-	196 490 109
Establish an agricultural financing and insurance system II	2 038 758	-	-	2 038 758
Establish an agricultural financing and insurance system III	250 550 000	-	-	250 550 000
Build storage silos for episodes of food insecurity	391 500 000	-	-	391 500 000
Draw up a national policy on food security	5 000 000	-	-	5 000 000
Sub-program: Design and implement local schematic plans for land use development	3 015 090 758	3 065 777 615	3 550 000 000	9 630 868 373
Finalize the design of an outline land use program for the Cap-Haïtien <i>Arrondissement</i>	4 350 000	-	-	4 350 000
Finalize the design of an outline land use program for the Acul-du-Nord <i>Arrondissement</i>	4 350 000	-	-	4 350 000
Finalize the design of an outline land use program for the commune of Saint-Marc	4 350 000	-	-	4 350 000
Finalize the design of an outline land use program for the Archaïe <i>Arrondissement</i>	4 350 000	-	-	4 350 000
Finalize the design of an outline land use program for the Croix-des-Bouquets <i>Arrondissement</i>	4 350 000	-	-	4 350 000
Finalize the design of an outline land use program for the Port-au-Prince <i>Arrondissement</i>	4 350 000	-	-	4 350 000
Finalize the design of an outline land use program for the Léogâne <i>Arrondissement</i>	4 350 000	-	-	4 350 000
Finalize the design of an outline land use program for the Jacmel <i>Arrondissement</i>	1 420 000 000	2 840 000 000	3 550 000 000	7 810 000 000
Implement local land management and development funds	144 850 000	-	-	144 850 000
Design and implement projects in support of governance and local investment	843 900 000	-	-	843 900 000
Design and implement projects for urban community participation development	102 442 500	-	-	102 442 500

Rehabilitate basic economic infrastructures I	179 649 258	-	-	-	179 649 258
Rehabilitate basic economic infrastructures II	289 449 000	225 777 615	-	-	515 226 615
Rehabilitate basic economic infrastructures III	3 015 090 758	3 065 777 615	3 550 000 000	-	9 630 868 373
Sub-program: Draw up urban planning schemes	39 150 000	157 225 000	157 225 000	-	353 600 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Cap-Haïtien	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Limonade	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Quartier-Morin	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Milot	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Plaine-du-Nord	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Acul	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Saint	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for the urbanized space in the Port	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Petit	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Grand	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Léogane	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Port-Salut	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Les Cayes	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Vieux-Bourg-d'Aquin	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Aquin	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Jaemel	2 175 000	-	-	-	2 175 000

Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Cayes-Jacmel	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Finalize the outline sketch of an urban planning scheme for Marigot	2 175 000	-	-	-	2 175 000
Projects for drawing up additional planning schemes	-	157 225 000	157 225 000	157 225 000	314 450 000
Sub-program: Draw up and implement rural land use management plans	-	157 225 000	157 225 000	157 225 000	314 450 000
Projects drawing up outline plans for rural land management to be determined	-	157 225 000	157 225 000	157 225 000	314 450 000
Program 1.2: Manage the environment	1 197 776 000	1 730 419 250	2 349 800 250	5 277 995 500	
Sub-program: Protect the environment and safeguard the areas	120 000 000	179 000 000	222 500 000	521 500 000	
Establish the national fund for the rehabilitation of the environment	5 000 000	-	-	5 000 000	
Undertake projects promoting health and protection of the environment	5 000 000	5 000 000	5 000 000	15 000 000	
Implement activities for the protection of the environment	100 000 000	130 500 000	130 500 000	361 000 000	
Implement activities for strengthening the environmental monitoring corps	5 000 000	43 500 000	87 000 000	135 500 000	
Establish the impact and evaluation research unit	5 000 000	-	-	5 000 000	
Sub-program: Establish a protected areas network	49 676 000	656 431 250	1 231 181 250	1 937 288 500	
Plant 400,000 trees of the pinus genus at Mare-Rouge in the Belle-Anse watershed (Unit II of the Pine forest)	900 000	7 481 250	7 481 250	15 862 500	
Plant 600,000 trees of the pinus genus in the Fonds-Verette watershed (Unit I of the Pine forest)	600 000	5 700 000	5 700 000	12 000 000	
Enhance the protection of Pic Macaya	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000	
Enhance protection of parc de la Visite	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000	
Protect and enhance the water tower in the Saint-Louis-du-Nord/Le Borgne zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000	
Protect and enhance the water tower in the Marmelade/Dondon zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000	
Protect and enhance the water tower in the Vallières/Mont-Organisé zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000	

Protect and enhance the water tower in the Savanette/Baptiste zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Protect and enhance the water tower in the Cahos chain	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Protect and enhance the water tower in the Dame-Marie/Anse-d'Hainault zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Protect and enhance the water tower in the Pic Macaya zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Protect and enhance the water tower in the Asile/Baradères zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Protect and enhance the water tower in the Lèogâne/Bainet zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Protect and enhance the water tower in the Séguin/Forêt des Pins/Savane Zombi zone	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Protect and enhance the Môle-Saint-Nicolas zone	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance Île-de-la-Tortue	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the Saint-Louis-du-Nord/Le Borgne zone	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the seashore at Limonade and Caracol	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the Fort-Liberté zone	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the Côte-des-Arcadins	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the Dame-Marie/Anse-d'Hainault point	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the Corail/Pestel/Cayemintes/péninsule de Baradères zone	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the great bay at Les Cayes	-	21 750 000	45 000 000	66 750 000
Protect and enhance the salt marshes of Artibonite	20 000 000	7 000 000	25 500 000	52 500 000
Protect and enhance the salt marshes of the communes of Caracol, Aquin, Baie-de-Henne and Anse-Rouge	5 000 000	7 000 000	25 500 000	37 500 000
Protect and enhance the Waka Basin in le Nord	-	7 000 000	25 500 000	32 500 000
Protect and enhance the grottoes in Dondon	-	7 000 000	25 500 000	32 500 000
Protect and enhance Saut-d'Eau, in the Plateau Central	-	7 000 000	25 500 000	32 500 000
Protect and enhance Trou Caiman	23 176 000	-	-	23 176 000
Protect and enhance the grotto at Port-à-Piment	-	7 000 000	25 500 000	32 500 000

Protect and enhance Saut-Mathurine	-	7 000 000	25 500 000	32 500 000
Protect and enhance Bassin Bleu in Sud-Est	-	7 000 000	25 500 000	32 500 000
Sub-program: Restore the natural environment	10 000 000	195 750 000	261 000 000	466 750 000
Calculate a hydrologic balance for the Bois-Neuf swamp, identify the impact in the Bas Arlbonite and implement an intervention plan	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Establish a hydrologic balance for Lake Azuei (swamp Saumaitre), identify its impact and elaborate and implement an intervention plan	-	65 250 000	65 250 000	130 500 000
Draw up a hydrologic balance for the Miragoâne swamp, identify the impacts and draw up and implement an intervention plan	-	65 250 000	65 250 000	130 500 000
Implement an intervention plan for managing the Lac de Péligre zone in lower Plateau Central	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Preserve and restore very vulnerable natural environments	-	65 250 000	65 250 000	130 500 000
Preservation and restoration of vulnerable natural environment	10 000 000	21 750 000	43 500 000	75 250 000
Sub-program: Manage and develop forest usage	1 018 100 000	699 238 000	635 119 000	2 352 457 000
Establish a guarantee fund promoting the creation and management of forests for commercial use	-	87 000 000	174 000 000	261 000 000
Draw up a plan for subsidizing community reforestation projects	-	87 000 000	174 000 000	261 000 000
Promote the use of butane and liquefied propane (LPG) as substitutes for charcoal as fuel	609 000 000	87 000 000	174 000 000	870 000 000
Design and implement projects for restoring the forest canopy	40 000 000	40 000 000	40 000 000	120 000 000
Practice rational management of natural resources in priority watersheds.	304 500 000	325 119 000	-	629 619 000
Design and implement projects for relieving the pressure on Haiti's wood resources I	5 000 000	5 000 000	5 000 000	15 000 000
Design and implement projects for relieving the pressure on Haiti's wood resources II	5 000 000	5 000 000	5 000 000	15 000 000
Implement the Green Frontier program for the Massacre and Pédernal rivers	10 000 000	10 000 000	10 000 000	30 000 000
Build a growing center for the <i>pinus occidentalis</i> genus and restoration of forest environments	1 100 000	9 619 000	9 619 000	20 338 000
Establish facilities for the creation of agro-forestry enterprises	43 500 000	43 500 000	43 500 000	130 500 000

Program 1.3: Manage watersheds	3 082 075 426	6 128 108 391	7 224 598 391	16 434 782 207
Sub-program: Protect watersheds	1 184 010 116	3 407 108 391	4 416 598 391	9 007 716 897
Management of hills overlooking Port	-	130 500 000	130 500 000	261 000 000
Management of the hills overlooking the urbane zone of Cap	-	217 500 000	217 500 000	435 000 000
Management of the hills overlooking the urbane zone of Saint	-	217 500 000	217 500 000	435 000 000
Restoration and protection of the ecosystems of Morne de l'Hôpital in Port	12 000 000	87 000 000	217 500 000	316 500 000
Planning, management, and protection of the watersheds of Morne de l'Hôpital in the southern zone of the metropolitan region of Port	75 000 000	87 000 000	217 500 000	379 500 000
Stabilizing and reforesting the Grise River	20 000 000	-	-	20 000 000
Complete recalibration of the Colombier River and restoration of the water intakes in Anse-Rouge	10 000 000	-	-	10 000 000
Management of watersheds of Terre-Neuve	20 000 000	-	-	20 000 000
Study of Limbé River watershed management	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Design and implementation of projects for mitigating natural disasters in Grand-Rivière-du-Nord	329 519 192	200 000 000	100 000 000	629 519 192
Management of the watersheds upstream from the irrigation systems of Saint-Raphael and Ouanaminthe	25 000 000	43 500 000	174 000 000	242 500 000
Management of the watersheds upstream from the irrigation systems of the plain of Maribaroux	-	43 500 000	174 000 000	217 500 000
Study of the management of the watershed of the Massacre River	-	21 750 000	-	21 750 000
Management of the watershed of Gonaïves	-	435 000 000	435 000 000	870 000 000
Design and implementation of projects for protection of agricultural infrastructures in the watersheds of La Quinte, Des Bayonnais, and Ennery	15 000 000	87 000 000	87 000 000	189 000 000
Biomechanical stabilization of the watershed of Ennery	15 000 000	-	-	15 000 000
Study of the management of the frontier zone of the Artibonite watershed	-	32 625 000	32 625 000	65 250 000
Management and protection of the banks of the Grise River in Croix-des-Bouquets	150 000 000	-	-	150 000 000
Design and implementation of projects for protecting agricultural and urban infrastructures in the watersheds of the	304 500 000	-	-	304 500 000

Blanche and Grise rivers in Croix-des-Bouquets						
Management of the watershed of the plain of Cul-de-sac	-	652 500 000	652 500 000	1 305 000 000		
Design and implementation of projects for protecting agricultural and urban infrastructures in the watersheds of the chain of Matheux in Cabaret	1 000 000	-	-	1 000 000		
Protection of the urban infrastructures and irrigated zones in the watershed of Arcahate (Courjolle and Matheux rivers)	1 490 924	37 767 263	37 767 263	77 025 451		
Undertake studies for protecting agricultural and urban infrastructures in the watershed of Cabaret (Courjolle and Matheux)	1 500 000	23 167 127	23 167 127	47 834 254		
Protection of urban and agricultural infrastructures in the watershed of Cabaret	15 000 000	-	-	15 000 000		
Protection of the sub-basin of the Rois River in the commune of Verrettes	5 000 000	3 299 000	3 539 000	11 838 000		
Management of the watersheds in the <i>Département</i> of Ouest (La Rouyonne, Petit-Goâve, etc.)	174 000 000	-	-	174 000 000		
Management of the hills overlooking Chardonnières, Les Côteaux, and Port-Salut	-	174 000 000	174 000 000	348 000 000		
Management of the watersheds of the Acul (Dubreuil), the Ravine-du-Sud, and the Cavaillon River	-	261 000 000	348 000 000	609 000 000		
Stabilization of the Solve à Lièvre ravine in the commune of Petit-Trou-de-Nippes	10 000 000	-	-	10 000 000		
Management of the watershed of the Grande-Rivière-de-Jacmel	-	261 000 000	435 000 000	696 000 000		
Management of the watershed of the Pédernales River	-	174 000 000	174 000 000	348 000 000		
Draw up a reforestation plan, undertake a hydrological balance, and implement a corrective works proposal for the watershed of the Trou-du-Nord River	-	87 000 000	261 000 000	348 000 000		
Draw up a reforestation plan, undertake a hydrological balance, and implement a corrective works proposal for the watersheds of the Pérédo and Cayes-Jacmel rivers	-	87 000 000	261 000 000	348 000 000		
Sub-program: Build facilities for regulating water levels	830 451 081	855 000 000	942 000 000	2 627 451 081		
Manage and protect the banks of Trois Rivières de Plaisance, Port-de-Paix, and Pilate	18 000 000	87 000 000	87 000 000	192 000 000		
Construct the Trois-Rivières dam	130 500 000	-	-	130 500 000		
Undertake study and construction on the Borgne River, where a facility for regulating water level might be suitable, and where	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000		

dikes for protecting the city of Borgne seem to be necessary						
Undertake study and construction on Grande-Rivière-du-Nord, where a facility for regulating water level might be feasible	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Undertake study and construction on Bouyaha River, upstream from Saint-Raphaël, where one facility for regulating water levels might be able to be rehabilitated and another constructed	-	43 500 000	130 500 000	174 000 000	130 500 000	174 000 000
Undertake study and construction on the Gouape, upstream from Pignon, where a facility for regulating water levels might be feasible	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Undertake a study on the Frio River in Maïssade, where water level regulation facilities might be practicable	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Undertake a study on the rivers of the plain of Maribaroux, where water level regulation facilities might be practicable	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies and construction on the Artibonite River, where several water level regulation facilities might be able to be rehabilitated	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000	87 000 000	174 000 000
Protect the Petite-Rivière in Artibonite	10 000 000	43 500 000	43 500 000	97 000 000	43 500 000	97 000 000
Protect the city of Belladères against high water in rivers	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Undertake studies and construction on the Estère River, where several water level regulation facilities might be able to be rehabilitated	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies on the Bretelle and Torcelle rivers, upstream from Caberet, where facilities to regulate water levels might be practicable	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000	43 500 000	87 000 000
Undertake studies and construction on River Blanche where a facility to control high waters could be rehabilitated	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000	43 500 000	87 000 000
Manage and protect the banks of the Grise River in Croix-des-Bouquets	195 750 000	174 000 000	174 000 000	543 750 000	174 000 000	543 750 000
Undertake studies and construction on the Acul River, where the Dubreuil water level regulation facility could be rebuilt	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies and construction on Grande-Ravine-du-Sud, upstream from Camp-Perrin, where the Avezac water level control facility might be able to be rebuilt	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies and construction upstream from Les Cayes, where a facility for diverting the waters of Madame Samedi ravine into the Islet River might be practicable	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	21 750 000	43 500 000
Manage the watershed of the Domante River in Vieux-Bourg-	3 000 000	28 500 000	28 500 000	60 000 000	28 500 000	60 000 000

d' Aquin and modernize mountain farming						
Undertake studies on the Dose, Pins and Serpente rivers, tributaries of the Grande-Rivière-des-Nippes, upstream from Asile, where facilities for controlling water levels might be practicable	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000	
Undertake studies on the Grand-Goève and Faucher rivers, where facilities for controlling water levels might be practicable	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000	
Undertake studies and construction on the Rouyonne Rivers, upstream from Léogâne, where a facility for diverting a part of the water into the Momance River might be practicable	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000	
Undertake studies and construction on the Grande-Rivière-de-Jacmel River, where a facility for controlling water levels might be practicable	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000	
Undertake studies and construction to control the water level of the Orangers River, upstream from Jacmel	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000	
Implement projects for managing water levels and protecting the population against floods	30 000 000	-	-	-	30 000 000	
Protect the cities of Anse-à-Galet and Pointe-à-Raquette, and the town of Petite-Source	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of Limonade against high water from the Grande-Rivière-du-Nord	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of Les Cayes against high water from Ravine du Sud and Ravine Madame Samedi	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of Petit-Goève against high water from the Digue River	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of Les Abricots against high water from the Abricot River	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of Port-de-Paix against high water from the Deroulin ravine	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of Jacmel against high water from the Zorangers and Gosseline rivers	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of Gros Mome against high water from the Mancelle River	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the bay of Caracol and the bay of Fort-Liberté	10 000 000	-	-	-	10 000 000	
Protect the city of L'Asile against high water from the Mahot and Des Pins rivers	10 000 000	-	-	-	10 000 000	

Protect the cities of the Côte Sud against the risk of flooding and bad weather	152 250 000	-	-	-	152 250 000
Environment and urban development in Jacmel; protection of the city against flooding	180 951 081	-	-	-	180 951 081
Sub-program: Dredge rivers and drainage ditches	335 614 229	913 500 000	913 500 000	913 500 000	2 162 614 229
Undertake drainage work and protection against high water from the Massacre River in Ouanaminthe	60 655 440	-	-	-	60 655 440
Undertake drainage work on outlets of the ravines in Port-au-Prince	217 958 789	261 000 000	261 000 000	261 000 000	739 958 789
Undertake cleaning and protection of banks of the Baradères River	20 000 000	-	-	-	20 000 000
Construct outlets in the Brisé ravine (Boulevard du 15 octobre)	20 000 000	-	-	-	20 000 000
Restore the beds of the La Digue, Berret and Piti rivers	17 000 000	-	-	-	17 000 000
Carry out a plan for monitoring drainage of Haiti's outlets	-	652 500 000	652 500 000	652 500 000	1 305 000 000
Sub-program: Reduce Haiti's vulnerability to the rainy seasons and the cyclone season	732 000 000	952 500 000	952 500 000	952 500 000	2 637 000 000
Design and implement the program for prevention in the period before the rain and cyclone seasons in zones at risk for climate disasters	200 000 000	300 000 000	300 000 000	300 000 000	800 000 000
Protect buffer zones and community development by implementing income-generating activities	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Urgent rehabilitation of infrastructures and institutions	522 000 000	652 500 000	652 500 000	652 500 000	1 827 000 000
Program 1.4: Urban renewal	5 646 615 070	8 322 260 000	10 700 500 000	10 700 500 000	24 669 375 070
Sub-program: Renew regional and local development projects	4 403 445 661	5 611 500 000	8 221 500 000	8 221 500 000	18 236 445 661
Undertake urban renewal construction in Nord-Ouest	293 105 560	-	-	-	293 105 560
Undertake urban rehabilitation construction in Limbé	101 763 269	-	-	-	101 763 269
Undertake urban renewal construction in Cap-Haïtien	10 971 851	-	-	-	10 971 851
Undertake urban renewal construction in Fort-Liberté	87 000 000	-	-	-	87 000 000
Undertake urban renewal construction in Ouanaminthe	64 452 894	-	-	-	64 452 894
Undertake urban renewal construction in Ennery	3 050 000	-	-	-	3 050 000
Undertake urban renewal construction in Marchand-Dessalines	92 878 741	-	-	-	92 878 741

Undertake urban renewal construction in Gonaïves	254 214 297	-	-	254 214 297
Undertake urban renewal construction in Hinche	217 500 001	-	-	217 500 001
Undertake urban renewal construction in Saint-Marc	129 918 910	-	-	129 918 910
Undertake urban renewal construction in Noailles/Croix-des-Bouquets	66 049 983	-	-	66 049 983
Restore and maintain streets in the metropolitan zone of Port-au-Prince	174 000 000	-	-	174 000 000
Undertake urban renewal construction in Verrettes	20 000 000	-	-	20 000 000
Undertake urban renewal construction in the crossroads of Clercine and Murat Morno	10 000 000	-	-	10 000 000
Undertake urban renewal construction in Gros Morne	4 000 000	-	-	4 000 000
Undertake urban renewal construction in the city of Les Cayes	50 000 000	-	-	50 000 000
Undertake urban renewal construction in Saint-Michel-de-l'Attalaye	28 124 960	-	-	28 124 960
Undertake urban renewal construction along the Tabarre road	120 000 000	-	-	120 000 000
Undertake urban renewal construction in Jérémie	60 000 000	-	-	60 000 000
Undertake rehabilitation of the Puits Blain road	10 000 000	-	-	10 000 000
Urban renewal program	130 500 000	-	-	130 500 000
Demolition, removal, and management of debris within the reconstruction zone of the city center of Port-au-Prince	230 573 490	-	-	230 573 490
Renewal of the sea front as a public seaside area, busy, attractive, and accessible	-	261 000 000	261 000 000	522 000 000
Rehabilitate the Hasco road, from Boulevard de la Saline to the Admiral Killeck naval base	179 760 577	-	-	179 760 577
Rehabilitate and widen the Frères road to 4 lanes	110 373 584	-	-	110 373 584
Rehabilitate the Thomassin 32 road	10 000 000	-	-	10 000 000
Rehabilitate the Thomassin 28, 35, 37A, and 37B roads	20 000 000	-	-	20 000 000
Rehabilitate the Pellerin 5 road	10 000 000	-	-	10 000 000
Rehabilitate the Vincent-Route des Américains crossroad	300 000 000	-	-	300 000 000
Urban renewal in Pétion-Ville	64 685 824	-	-	64 685 824

Rehabilitate popular neighborhoods	87 000 000	130 500 000	130 500 000	348 000 000
Construct the Delmas-Nazon viaduct	167 601 385	-	-	167 601 385
Construct the viaduct at Haitian Navy	47 461 440	-	-	47 461 440
Rehabilitate and widen the Canapé Vert road	122 597 495	-	-	122 597 495
Construct the access road at the flour mill to the new industrial zone	261 000 000	-	-	261 000 000
Design and implement emergency intervention projects in high risk zones of the city of Port-au-Prince	200 000 000	-	-	200 000 000
Rehabilitate the roads and drainage systems in city center Port	435 000 000	-	-	435 000 000
Construct a public park in Petite	4 500 000	-	-	4 500 000
Construct a public park in Boucan	4 500 000	-	-	4 500 000
Establish green networks and rehabilitate public squares in city center Port	130 500 000	261 000 000	261 000 000	652 500 000
Rehabilitate public squares (Ste	90 361 400	174 000 000	174 000 000	438 361 400
Gradually build major infrastructure and public equipment and housing in the north corridor (Cap	-	1 305 000 000	2 175 000 000	3 480 000 000
Gradually build major infrastructure and public equipment and housing in the northern periphery of Port	-	1 740 000 000	2 610 000 000	4 350 000 000
Gradually build infrastructure networks in city center Port	-	1 740 000 000	2 610 000 000	4 350 000 000
Sub-program: Renovate buffer cities hosting immigrant flows	113 950 000	-	-	113 950 000
Develop physical infrastructures in Grand-Goâve	56 975 000	-	-	56 975 000
Develop physical infrastructures in Petit- Goâve	56 975 000	-	-	56 975 000
Sub-program: Renovate urban facilities to serve tourism	955 219 409	2 275 760 000	2 044 000 000	5 274 979 409
Develop the land on Île-à-Vache	14 810 000	1 000 000 000	1 000 000 000	2 014 810 000
Urban renewal on Île-à-Vache	356 700 000	174 000 000	174 000 000	704 700 000
Rehabilitation/construction of infrastructures and equipment in Jacmel	432 829 409	870 000 000	870 000 000	2 172 829 409
Protect the lower city from risk of flooding	115 880 000	231 760 000	-	347 640 000
Rehabilitate the road leading to the new market in Jacmel	35 000 000	-	-	35 000 000

Sub-program: Renovate frontier cities									
Implement frontier development projects in three (3) regions	174 000 000	435 000 000	435 000 000	435 000 000	1 044 000 000				
Program 1.5: Construct the national transportation network									
Sub-program: Finalize the national highway network									
Undertake studies for building the section joining Môle-Saint-Nicolas to Port-de-Paix	16 302 875 284	17 615 630 218	17 615 630 218	17 615 630 218	51 610 305 502				
Sub-program: Finalize the national highway network									
Undertake studies for building the section joining Môle-Saint-Nicolas to Port-de-Paix	7 721 078 166	7 992 180 218	7 992 180 218	7 992 180 218	21 651 008 384				
Construct the section linking Anse-Rouge to Gonaïves	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000				
Construct the section linking Anse-Rouge to Gonaïves	30 000 000	-	-	-	30 000 000				
Study the reconstruction of the section linking Port-de-Paix, Saint-Louis-du-Nord, and Le Borgne	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000				
Undertake studies for reconstructing the section linking Port-de-Paix, Saint-Louis-du-Nord, and Le Borgne	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000				
Rehabilitate the section linking Le Borgne to Limbé (the section between Port-Margot and Chouchou Bay is asphalted)	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	522 000 000				
Rehabilitate the road to Le Borgne	43 500 000	-	-	-	43 500 000				
Rehabilitate the road between Ennery and Cap-Haïtien	100 000 000	435 000 000	435 000 000	435 000 000	970 000 000				
Construct a four-lane bypass at Cap-Haïtien	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	435 000 000				
Rehabilitate and maintain the road from l'Acul-du-Nord to Barrière Battant crossroad, by way of Milot, and from Barrière Battant to Palais des Sans-Soucis	492 865 156	-	-	-	492 865 156				
Finalize construction of the section linking Saint-Raphaël and Hinche	623 680 218	623 680 218	623 680 218	623 680 218	1 247 360 436				
Rehabilitate the roads between the municipalities of Hinche and Saint-Raphaël by way of Barrière Battant I	100 000 000	150 000 000	150 000 000	150 000 000	685 000 000				
Rehabilitate the roads between the municipalities of Hinche and Saint-Raphaël by way of Barrière Battant II	100 000 000	150 000 000	150 000 000	150 000 000	685 000 000				
Undertake studies to construct a road linking Pignon, La Victoire, Carice, Mont-Organisé, and Ouanaminthe	-	87 000 000	87 000 000	87 000 000	174 000 000				
Undertake work to rehabilitate the crossroads of Plaine-du-Nord at Mome Rouge	100 000 000	-	-	-	100 000 000				
Undertake studies for reconstructing the road linking Ennery and Saint-Michel de l'Attalaye	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000				
Undertake additional work on the road linking Puiboreau crossroads and Marmelade	117 983 375	-	-	-	117 983 375				
Build the section linking St-Michel-de-l'Attalaye, Maïssade,	75 000 000	-	-	-	75 000 000				

and Hinche						
Rehabilitate the road between Gonaïves and Ennery	870 000 000	870 000 000	870 000 000	-	1 740 000 000	
Rehabilitate the road between Dessalines, St-Michel-de-l'Attalaye, and Saint-Raphaël	100 000 000	-	-	-	100 000 000	
Continue reconstruction of the road linking Dessalines, St-Michel-de-l'Attalaye, and Saint-Raphaël	-	87 000 000	87 000 000	1 435 500 000	1 522 500 000	
Undertake studies for reconstructing the road linking Hinche, Thomassique and Los Cacaos/frontier	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000	
Undertake maintenance work on the Hinche-Thomassique road	5 000 000	-	-	-	5 000 000	
Rehabilitate the road between Hinche and Thomassique	100 000 000	-	-	-	100 000 000	
Rehabilitate the road linking Thomassique and Cerca-la-Source	65 000 000	-	-	-	65 000 000	
Rehabilitate National Highway 1 between Freycineau crossroad in Saint-Marc and Bigot crossroad in Gonaïves	1 295 310 170	-	-	-	1 295 310 170	
Rehabilitate National Highway 3 between Colladère and Cerca-Cavajal	391 500 000	600 000 000	600 000 000	-	991 500 000	
Rehabilitate the road between Lascahobas, Belladère and Cachiman	100 000 000	770 000 000	770 000 000	-	870 000 000	
Studies for rehabilitating the section between Pont-Sondé and Mirebalais	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000	
Rehabilitate the road between Croix-des-Bouquets and Fonds-Parisien	500 000 000	-	-	-	500 000 000	
Rehabilitate the road between Fonds-Parisien and Jimani	17 237 150	21 750 000	21 750 000	652 500 000	691 487 150	
Rehabilitate the road between Fermathe and the Frères road, via Soisson, Duplan, Girardeau, and the feeder streets: Métellus, Meyotte-route in Frères, Thomassin 25 and Fermathe 45	188 871 105	870 000 000	870 000 000	870 000 000	1 928 871 105	
Rehabilitate the road between Laboule 12 and Kenscoff	80 688 561	-	-	-	80 688 561	
Study for constructing a seaside boulevard from the entrance of boulevard de la Saline to the route des Rails	-	108 750 000	108 750 000	108 750 000	217 500 000	
Undertake studies for constructing the section linking Jérémie, Dame-Marie, Les Irois, and Tiburon	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000	
Undertake spot maintenance tasks on the road linking Cavaillon-Bonne Foi and Baradères	40 000 000	-	-	-	40 000 000	
Undertake studies for constructing the section linking Anse-à-Veau and Petite-Rivière-de-Nippes	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000	

Rehabilitate the road section between Petite-Rivière-de-Nippes and Trou-de-Nippes	56 009 100	-	-	-	56 009 100
Build the section linking Petite-Rivière-de-Nippes and Miragoâne	165 433 331	-	-	-	165 433 331
Finalize construction of the road between Les Cayes and Jérémie	1 305 000 000	1 305 000 000	-	-	2 610 000 000
Undertake maintenance work on the Les Cayes-Jérémie road	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Rehabilitate the road between crossroad 44 and Côtes-de-Fer	435 000 000	522 000 000	-	-	957 000 000
Undertake studies for constructing the section linking Côtes-de-Fer and Bainet	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Undertake emergency construction between crossroad Dufort and Jacmel	150 000 000	-	-	-	150 000 000
Undertake spot maintenance tasks on the road linking La Vallée and Bainet	21 000 000	-	-	-	21 000 000
Undertake spot maintenance on the road linking Marigot, Pérodo, and Belle-Anse	43 000 000	-	-	-	43 000 000
Undertake studies for constructing the section linking Bainet and La Vallée-de-Jacmel	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Undertake masonry channeling construction between Méridien crossroads and Ducis	4 000 000	-	-	-	4 000 000
Rehabilitate the section linking Jacmel and Marigot	-	870 000 000	174 000 000	174 000 000	1 044 000 000
Undertake studies for constructing the section linking Marigot and Belle-Anse	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Undertake studies for constructing the section linking Thiotte and Anse-à-Pitre	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies for constructing the section linking Belle-Anse and Thiotte	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies for constructing the section linking Thiotte and Malpasse	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies for constructing the section linking Belle-Anse and Thiotte	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies for constructing the section linking Thiotte and Malpasse	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Sub-program: Integrate local roads into the network	670 984 314	1 068 500 000	1 334 000 000	1 334 000 000	3 073 484 314
Construct the section linking Trou-du-Nord and Sainte-Suzanne	-	21 750 000	587 250 000	587 250 000	609 000 000

Construct the section linking Trou-du-Nord crossroads and Caracol	-	304 500 000	-	304 500 000
Undertakes studies for constructing the section linking Terrier-Rouge and Vallières	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Undertake studies for constructing the section linking Pignon crossroads, Ranquette, Bahon and Grande-Rivière-du-Nord	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Rehabilitate the Mirebalais-Hinche road	223 484 314	-	-	223 484 314
Undertake studies for constructing the section linking Titanyen, Saut-d'Eau, and Mirebalais crossroad	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Finalize the construction of the section linking the flour mill to the new industrial zone of Lafiteau/Simonnette	-	290 000 000	290 000 000	580 000 000
Undertake road maintenance work between Thomazeau-Corillon and Grand Bois	20 000 000	-	-	20 000 000
Undertake studies for constructing the section linking Kenscoff, Fury, and Séguin	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Undertake studies for rehabilitating the section linking Les Abricots and Jérémie	-	-	43 500 000	43 500 000
Undertake studies for constructing the section linking Vieux-Bourg-d' Aquin, l'Asile, and Anse-à-Veau	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Rehabilitate the road between Jacmel and La Vallée-de-Jacmel	391 500 000	-	-	391 500 000
Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in the <i>Département</i> of Nord-Ouest	0	30 000 000	21 750 000	51 750 000
Rehabilitate and develop 250 kilometers of farm paths in Pilate, Le Borgne, Gros-Morne, and Baron	36 000 000	-	-	36 000 000
Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in <i>Département</i> of Nord-Ouest	-	30 000 000	21 750 000	51 750 000
Rehabilitate 70 kilometers of farm paths in Terre-Neuve, Anse-Rouge, Saint-Michel-de-l' Attalaye, and Ennery	-	30 000 000	43 500 000	73 500 000
Rehabilitate 70 kilometers of farm paths in Saint-Marc, Grande-Saline, Dessalines, Petite-Rivière-de-l' Arbonite, and Deslunes	-	30 000 000	43 500 000	73 500 000
Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in the <i>Département</i> of Centre	-	30 000 000	21 750 000	51 750 000
Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in the <i>Département</i> of l' Ouest	-	30 000 000	21 750 000	51 750 000
Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in the <i>Département</i> of La Grande Anse	-	30 000 000	21 750 000	51 750 000

Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in the <i>Département</i> of Nippes	-	30 000 000	21 750 000	51 750 000
Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in the <i>Département</i> of Sud	-	30 000 000	21 750 000	51 750 000
Rehabilitate 40 kilometers of farm paths in the <i>Département</i> of Sud-Est	-	30 000 000	21 750 000	51 750 000
Sub-program: Improve urban and interurban traffic flow	5 653 142 225	3 138 450 000	3 512 550 000	12 304 142 225
Program for road maintenance by micro-enterprises (Bolivarian model)	426 300	-	-	426 300
Implement interventions to improve the CNE road network	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000
Undertake construction and adjustment of heavily-trafficked crossroads in the urban zone of Port-au-Prince	-	652 500 000	652 500 000	1 305 000 000
Construct two bus stations in Cap-Haïtien	-	21 750 000	195 750 000	217 500 000
Construct a bus station in Ouanaminthe	-	8 700 000	165 300 000	174 000 000
Construct a bus station in the northern zone of Port-au-Prince	-	87 000 000	609 000 000	696 000 000
Construct a bus station in the southern zone of Port-au-Prince (in Gressier)	43 500 000	478 500 000	-	522 000 000
Establish an appropriation fund for projects financed by the Petrocaribe agreement and others	345 072 152	652 500 000	652 500 000	1 650 072 152
Repair and protect bridges	50 000 000	50 000 000	50 000 000	150 000 000
Design and emergency construction of engineering structures, and risk-reduction installations	522 000 000	-	-	522 000 000
Build 15 bridges in the Nord-Ouest	164 726 726	-	-	164 726 726
Build a bridge over the Barres River	56 898 979	-	-	56 898 979
Construct the Hyppolite bridge in Cap-Haïtien	200 480 744	-	-	200 480 744
Construct a bridge over the Haut River in Cap-Haïtien	115 670 683	-	-	115 670 683
Protect the bridge at Croix-des-Missions	96 000 000	-	-	96 000 000
Construct a bridge at Voldroque	98 900 758	-	-	98 900 758
Construct the bridge at Roseaux	103 639 991	-	-	103 639 991
Construct a bridge over the river between Marigot and Pétédo	102 685 727	-	-	102 685 727
Undertake emergency work on the Glace River bridge	50 000 000	-	-	50 000 000

Construct a bridge over the Gauche River	123 074 855	-	-	123 074 855
Undertake reconstruction of the bridge in the direction Delmas 42-Bourdon	3 000 000	-	-	3 000 000
Undertake reconstruction of the Bonnet bridge in Ganthier	28 000 000	-	-	28 000 000
Undertake reconstruction of the Gens de Nantes bridge in the direction Ouanamthe-Capotille	20 000 000	-	-	20 000 000
Undertake reconstruction of the Malfety bridge in the direction of National Highway 6	15 000 000	-	-	15 000 000
Undertake reconstruction of the bridge over the Guinaudée River	40 000 000	-	-	40 000 000
Undertake reconstruction of the Bois Moquette bridge	20 000 000	-	-	20 000 000
Undertake reconstruction of the Meyotte bridge	60 000 000	-	-	60 000 000
Undertake reconstruction of the Tabarre bridge	30 000 000	-	-	30 000 000
Rehabilitate the Mapou and Grondin bridges	21 737 292	-	-	21 737 292
Lend support to the national transportation plan and maintain the roads	1 963 721 484	-	-	1 963 721 484
Maintain interurban and urban roads	1 148 106 534	1 087 500 000	1 087 500 000	3 323 106 534
Rehabilitate road infrastructures in Sud and Grande-Anse	130 500 000	-	-	130 500 000
Sub-program: Establish reliable links to Haiti's major islands	870 000 000	391 500 000	391 500 000	1 653 000 000
Establish a coastal navigation system at Presqu'île du Sud, Môle-St-Nicolas, and Cap Haïtien	870 000 000	-	-	870 000 000
Put in place a modern water transportation link between Port-de-Paix and Île-de-la-Tortue	-	261 000 000	-	261 000 000
Put in place a modern water transportation link between Port-au-Prince and/or Montrouis at Île-de-la-Gonâve (Anse-à-Galets)	-	-	261 000 000	261 000 000
Put in place a modern water transportation link between Les Cayes and Île-à-Vache (Madame Bernard)	-	130 500 000	130 500 000	261 000 000
Sub-program: Rehabilitate and build airport infrastructures	934 007 410	2 818 500 000	3 514 500 000	7 267 007 410
Rehabilitate the airport in Port-de-Paix	435 000 000	-	-	435 000 000
Undertake development of the airport in Cap-Haïtien	-	348 000 000	348 000 000	696 000 000

Support the reconstruction of the Toussaint Louverture airport	3 480 000	-	-	-	3 480 000
Rehabilitate the Toussaint Louverture airport	-	870 000 000	1 740 000 000	-	2 610 000 000
Enhance security at Toussaint Louverture airport	29 624	-	-	-	29 624
Rehabilitate the airport in Guy Malarly	87 000 000	-	-	-	87 000 000
Rehabilitate the Jérémie airport	130 500 000	217 500 000	348 000 000	-	696 000 000
Rehabilitate the runway of Jacmel's airport (its terminal recently rehabilitated)	-	348 000 000	217 500 000	-	565 500 000
Upgrade the airport in Les Cayes to the status of international airport	60 497 786	600 000 000	600 000 000	-	1 260 497 786
Build and airport on Île-à-Vache	217 500 000	435 000 000	261 000 000	-	913 500 000
Sub-program: Rehabilitate and build port infrastructures	453 663 169	2 206 500 000	3 001 500 000	-	5 661 663 169
Undertake a feasibility study for locating a port in the north of Haiti	64 345 461	-	-	-	64 345 461
Construct an international port in the north of Haiti	-	870 000 000	1 740 000 000	-	2 610 000 000
Rehabilitate the port of Port-au-Prince	84 254 227	870 000 000	957 000 000	-	1 911 254 227
Study installation of a port in the northern extension of the city of Port-au-Prince, at Fond Mombin	-	87 000 000	130 500 000	-	217 500 000
Construct and develop a port in the Baie-des-Flamands	64 500 000	87 000 000	87 000 000	-	238 500 000
Rehabilitate the port in the city of Les Cayes	89 205 035	-	-	-	89 205 035
Rehabilitate the receiving dock in Petit-Goâve	99 158 446	-	-	-	99 158 446
Rehabilitate and dredge the port of Jérémie	52 200 000	162 000 000	-	-	214 200 000
Rehabilitate the port of Miragoâne	-	130 500 000	87 000 000	-	217 500 000
Program 1.6: Expand electrification	5 002 685 516	5 282 690 000	7 443 250 000	-	17 728 625 516
Sub-program: Boost the electrical energy production capacity	1 670 817 605	2 385 190 000	2 936 250 000	-	6 992 257 605
Rehabilitate the power plant in Caracol/Grande-Rivière (0.8MW), including needed transportation infrastructure	-	43 500 000	-	-	43 500 000
Enhance the generating capacity of the thermal power plant in Saint-Michel-de-l'Attalaye	6 000 000	-	-	-	6 000 000
Construct the Artibonite 4C hydroelectric power plant	-	870 000 000	870 000 000	-	1 740 000 000

Construct the Artibonite 4C hydroelectric power plant (Brazilian financing)	435 000 000	435 000 000	870 000 000	1 740 000 000
Rehabilitate the Drouet power plant on the Artibonite River near Saint-Marc (2.5MW), including needed transportation infrastructure	-	87 000 000	217 500 000	304 500 000
Rehabilitate the two Délugé power plants on the Artibonite River (1.2MW), including needed transportation infrastructure	-	43 500 000	-	43 500 000
Rehabilitate the hydroelectric power plant in Péligre (BID I financing)	143 028 000	-	-	143 028 000
Rehabilitate and develop the hydroelectric power plant in Péligre	-	-	652 500 000	652 500 000
Rehabilitate the hydroelectric power plant in Péligre (German financing)	-	609 000 000	-	609 000 000
Rehabilitate the hydroelectric power plant in Péligre (BID II financing)	132 457 500	-	-	132 457 500
Construct a mini-hydroelectric power generating plant in Saut-du-Baril in Nippes (0.4MW), including needed transportation infrastructure	130 500 000	-	-	130 500 000
Rehabilitate the hydroelectric power plant in Saut-Mathurine	699 478 695	-	-	699 478 695
Undertake studies for constructing two new hydroelectric power plants downstream from Saut-Mathurine and on the Ravine-du-Sud	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Rehabilitate the Gaillard power plant	-	43 500 000	-	43 500 000
Use the potential of waste products as a source of electrical energy, including the needed transportation infrastructure	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Draw up a bankable project, including feasibility studies, for developing the wind power potential in Haiti's Nord-Ouest, including needed transportation infrastructure	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Draw up a bankable project, including feasibility studies, for developing the wind power potential on the seashore in Fort-Liberté, including needed transportation infrastructure	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Draw up a bankable project, including feasibility studies, for developing the wind power potential in the zone of Lac Azucé, on the Plaine-du-Cul-de-Sac, including needed transportation infrastructure	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Draw up a bankable project, including feasibility studies, for developing the wind power potential of the point at Saint-Jean-du-Sud, including needed transportation infrastructure	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000

Construct a hybrid power plant, diesel/solar, including a photovoltaic capacity of 1 MW	-	21 750 000	152 250 000	174 000 000
Increase access to sources of renewable energy	4 350 000	-	-	4 350 000
Support the expansion of access to energy	57 940 000	57 940 000	-	115 880 000
Implement a program for developing solar energy	2 390 760	-	-	2 390 760
Study the potential use of biomass, including farming residues such as sugar cane residue, as a source of energy, in particular for production	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Draw up a bio-energy action plan	43 500 000	-	-	43 500 000
Support implementation of bioenergy initiatives	6 172 650	-	-	6 172 650
Implement activities promoting new energy sources in Marigot, Grand-Gosier, Grande-Saline, and Anse-Rouge, and design of a wind farm in Fonds-Parisien	10 000 000	-	-	10 000 000
Sub-program: Expand the electrical energy transmission capacity	157 498 500	1 005 500 000	2 310 500 000	3 473 498 500
Extend the Cerca-Carvajal/Des Rangs grid	10 000 000	-	-	10 000 000
Extend the Thomassique/Cerca-la-Source grid	10 000 000	-	-	10 000 000
Rehabilitate/reconstruct the Port-au-Prince metropolitan transmission grid with power of 69 kv or 115 kv	-	174 000 000	87 000 000	261 000 000
Undertake a study for rehabilitating the Port-au-Prince grid	127 498 500	-	-	127 498 500
Bring power to Les Anglais from Saint-Louis-du-Sud	5 000 000	-	-	5 000 000
Extend the MT/BT power grid	5 000 000	5 000 000	5 000 000	15 000 000
Install a 230 KV power loop, including the rehabilitation of stations and substations, linking the <i>départements</i> of Ouest, Centre, Nord-East, Nord, Nord-Ouest, and Artibonite	-	174 000 000	870 000 000	1 044 000 000
Install a 230 KV power loop, including the rehabilitation of stations and substations, linking the <i>départements</i> of Ouest, Sud-Est, Sud, Grande-Anse, and Nippes	-	174 000 000	870 000 000	1 044 000 000
Study for installing a 69 kv or 115 kv cross feed, including stations and substations, linking Gonaïves and Limbé	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Study for installing a 69 kv or 115 kv cross feed, including stations and substations, linking Cap-Haïtien and Pignon	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Study for installing a 69 kv or 115 kv cross feed, including stations and substations, linking Saint-Marc, Mirebalais, and	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000

Belladère						
Study for installing a 69 kv or 115 kv cross feed, including stations and substations, linking Hinche, Thomassique, and Boc Banique	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000	
Study for installing a 69 kv or 115 kv cross feed, including stations and substations, linking Miragoâne, Fonds-des-Nègres, and Vieux-Bourg-d' Aquin	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000	87 000 000	
Install a 69 kv or 115 kv cross feed, including stations and substations, linking Jérémie, Anse-d' Haineault, Port-Salut, and Les Cayes	-	348 000 000	348 000 000	696 000 000	696 000 000	
Sub-program: Increase the electrical power distribution capacity	1 839 369 411	587 000 000	587 000 000	3 013 369 411	3 013 369 411	
Rehabilitate the electric grid of Cap-Haïtien	10 000 000	-	-	10 000 000	10 000 000	
Electrify buildings starting at Ménard crossroads out to Cap-Haïtien	10 000 000	-	-	10 000 000	10 000 000	
Extend the Gonaïves power grid to the communes of Gros-Morne, Saint-Michel-de-l' Attalaye, and Ennery I	59 125 000	-	-	59 125 000	59 125 000	
Extend the Gonaïves power grid to the communes of Gros-Morne, Saint-Michel-de-l' Attalaye, and Ennery II	177 375 000	-	-	177 375 000	177 375 000	
Hook up the electric power grids from Saint-Michel-de-l' Attalaye and Ennery and rehabilitate the Ennery power grid	5 000 000	-	-	5 000 000	5 000 000	
Construct a low- and high-tension network for the commune of Cerca-Cavajal	10 000 000	-	-	10 000 000	10 000 000	
Extend the medium-tension power grid from Péligre to Mirebalais I	40 000 000	-	-	40 000 000	40 000 000	
Extend the medium-tension power grid from Péligre to Mirebalais II	10 000 000	-	-	10 000 000	10 000 000	
Install an addition to the Port-au-Prince power grid	69 817 500	-	-	69 817 500	69 817 500	
Undertake a study and rehabilitate the Port-au-Prince power grid	127 498 500	-	-	127 498 500	127 498 500	
Undertake technical preparation of the BID/HA-L 1035 project	443 178	-	-	443 178	443 178	
Solar street lights for electrification	490 680 000	500 000 000	500 000 000	1 490 680 000	1 490 680 000	
Install solar street lights in the 10 <i>départements</i>	771 430 233	-	-	771 430 233	771 430 233	
Electrify the commune of La Victoire	5 000 000	-	-	5 000 000	5 000 000	
Electrify the commune of Le Borgne	5 000 000	-	-	5 000 000	5 000 000	

Electrify the commune of Plaisance	18 000 000	-	-	-	18 000 000
Electrify the commune of Pilate	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Electrify the communes of Perches and Grand-Bassin	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Electrify Grande-Saline	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Electrify Papaye	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Electrify Perches and Grand-Bassin	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Electrify Plaisance-du-Sud	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Other electrification projects to be determined	-	87 000 000	87 000 000	-	174 000 000
Sub-program: Improve the marketing of electrical power	1 335 000 000	1 305 000 000	1 609 500 000	1 609 500 000	4 249 500 000
Implement a program to reduce power losses in the Ouest <i>département</i>	652 500 000	913 500 000	1 218 000 000	1 218 000 000	2 784 000 000
Construct energy infrastructures	652 500 000	-	-	-	652 500 000
Install remote power meters on electricity grids in the Ouest <i>département</i>	-	174 000 000	174 000 000	174 000 000	348 000 000
Study construction of a commercial office in Cap-Haïtien	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Study construction of a commercial office in Port-de-Paix	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Study construction of a commercial office in Gonaïves	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Install an intelligent search system (data mining) for settlement of customer debt	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Strengthen anti-fraud teams	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Develop incentive programs for using less energy-intensive equipment	-	130 500 000	130 500 000	130 500 000	261 000 000
Program 1.7: Continue expansion of communications and digital networking	22 131 109	21 750 000	21 750 000	21 750 000	65 631 109
Sub-program: Increase Haiti's connectivity	22 131 109	-	-	-	22 131 109
Digitize the wireless terrestrial broadcasting of the TNH	20 000 000	-	-	-	20 000 000
Connect Haiti to the broadband network to develop the economy and transportation	2 131 109	-	-	-	2 131 109
Sub-program: Establish a network of multimedia centers	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Construct multimedia centers in regional development areas	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000

Program I.8: Extend the provision of drinking water services and sanitation	2 856 071 587	2 970 076 178	2 964 500 000	8 790 647 765
Sub-program: Construct and rehabilitate drinking water networks	2 255 337 687	2 274 076 178	2 225 000 000	6 754 413 865
Extend the Drinking Water Supply Line (SAEP) from the initial Méyance section to Anse-à-Foleur	1 800 000	-	-	1 800 000
Install a protective enclosure on the Beauvoir/Chansolme spring	740 000	-	-	740 000
Install a protective enclosure around the Desgranges reservoir and repair the water supply line from Saint-Louis-du-Nord	1 500 000	-	-	1 500 000
Rehabilitate the SAEPs in Boneau, Cap-Rouge, and Les Abricots, and undertake emergency interventions in Saint-Louis-du-Nord, Bassin-Bleu, Mare Rouge, Môle-St-Nicolas, city of La Tortue, and Jean-Rabel	14 000 000	-	-	14 000 000
Support the drinking water and sanitation sector	141 853 500	-	-	141 853 500
Provide drinking water and sanitation in rural sections of the <i>départements</i> of Artibonite, Nord, Nord-Est, Nord-Ouest, Sud, and Sud-Est	130 500 000	49 076 178	-	179 576 178
Provide drinking water and sanitation in rural sections of the <i>départements</i> of Artibonite, Grand-Anse, and Ouest	174 000 000	-	-	174 000 000
Rehabilitate the SAEPs in Bas-Limbé, Bahon, Limonage, Acul-du-Nord, Chabotte (Limbé), Pilate, and Charrie (Cap-Haïtien and Le Borgne)	10 580 000	-	-	10 580 000
Rehabilitate the extension of the SAEP of Plaine-du-Nord	2 800 000	-	-	2 800 000
Rehabilitate the SAEP of the Morin Quarter in Bas-Limbé	5 040 000	-	-	5 040 000
Rehabilitate the drinking water delivery systems in the <i>département</i> of Nord-Est	12 000 000	-	-	12 000 000
Rehabilitate the drinking water delivery system in the city center and surrounding neighborhoods of the city of Fort-Liberté	150 500 000	-	-	150 500 000
Rehabilitate the drinking water catchment in Tisous/Terre-Neuve	1 300 000	-	-	1 300 000
Rehabilitate the catchment and install a network in Bois-Neuf/Anse-à-Pirogue	8 750 000	-	-	8 750 000
Install networks and lay 1,000 residential water delivery pipes in Gonaïves	14 000 000	-	-	14 000 000
Rehabilitate the distribution networks in Duclos/L'Estère and	2 125 000	-	-	2 125 000

Desdunes						
Rehabilitate and extend the delivery system to St-Michel-de-L'Attalaye	1 825 000	-	-	1 825 000	-	
Rehabilitate the SAEPs in Marmelade, Gros-Morne, Marchand-Dessalines and Lachapelle	2 550 000	-	-	2 550 000	-	
Rehabilitate the extension of the SAEP in Marmelade	34 400 000	-	-	34 400 000	-	
Rehabilitate the SAEPs in medium-size cities	21 500 000	-	-	21 500 000	-	
Rehabilitate and extend the SAEP of St-Michel-de-L'Attalaye	22 500 000	-	-	22 500 000	-	
Undertake the sub-program of drinking water provision and sanitation in rural areas (Artibonite, Grande-Anse, and Ouest)	174 000 000	-	-	174 000 000	-	
Rehabilitate the network systems in Thomonde	4 250 000	-	-	4 250 000	-	
Rehabilitate the SAEPs in Grand-Latanier/Hinche, Lascahobas, Savanette, Dellegrand/Thomassique and Thomonde	9 259 000	-	-	9 259 000	-	
Construct three water dispensary booths and rehabilitate the catchment in Gascogne/Mirebalais	1 686 000	-	-	1 686 000	-	
Construct SAEPs in Cerca-Cavajal, Marmont, and La Hoye	1 800 000	-	-	1 800 000	-	
Rehabilitate the spring in Sico/Lascahobas	1 500 000	-	-	1 500 000	-	
Construct new networks and rehabilitate the SAEPs in the city center of Hinche and surrounding neighborhoods	120 000 000	-	-	120 000 000	-	
Rehabilitate the catchment and install networks in Blassou/Cerca-la-Source	5 100 000	-	-	5 100 000	-	
Rehabilitate the drinking water delivery systems in Lascahobas and Belladère	13 524 000	-	-	13 524 000	-	
Rehabilitate and extend the network in Cabaret	6 375 000	-	-	6 375 000	-	
Drill and install networks and construct water dispensary booths in Merget	1 375 000	-	-	1 375 000	-	
Install a generator, rehabilitate six drinking water dispensaries, rehabilitate networks and construct a ferry in Arcahaie	1 500 000	-	-	1 500 000	-	
Secure the catchment, rehabilitate the networks, construct four drinking water dispensaries and two drinking troughs, make repairs to six BA standing faucets (public market) in Arcahaie	1 600 000	-	-	1 600 000	-	
Construct a catchment and a treatment area; rehabilitate the supply main to Luli	2 067 500	-	-	2 067 500	-	
Rehabilitate SAEPs in Arcahaie, Thomazeau and Grand-Gôave	4 830 000	-	-	4 830 000	-	

Undertake drinking water supply and sanitation improvements in Port-au-Prince I	217 500 000	-	-	217 500 000
Undertake drinking water supply and sanitation improvements in Port-au-Prince II	135 720 000	-	-	135 720 000
Replace conduits in Fermathe/Kenscoff	2 366 700	-	-	2 366 700
Construct four drinking water dispensaries and hook up to the Meyotte network	700 000	-	-	700 000
Rehabilitate the Jacquot Corail/Kenscoff system	650 000	-	-	650 000
Rehabilitate catchments, reservoirs, supply mains, distribution mains and drinking water dispensaries in Croix-des-Bouquets	800 000	-	-	800 000
Build a warehouse	15 480 000	-	-	15 480 000
Install [[déseau]] drinking water in Kenscoff	8 000 000	-	-	8 000 000
Build capacities in the region of Palmes	29 031 987	-	-	29 031 987
In Léogâne, build a new drinking water supply system and a reservoir	35 000 000	-	-	35 000 000
In Léogâne, replace conduits	8 000 000	-	-	8 000 000
Acquire land for constructing a water tower in Léogâne	2 500 000	-	-	2 500 000
Repair a SAEP reservoir in Petit-Boucan and install meters for water dispensaries in Grand-Goâve	733 700	-	-	733 700
Construct support columns and install floodgates in Grand-Goâve/SAEP of Dano	888 300	-	-	888 300
Construct six water dispensaries and a chloration tank in Grand-Goâve/SAEP of upper and lower Gérard	1 235 000	-	-	1 235 000
Improve the drinking water installation in Anse-du-Clerc/Les Abricots	800 000	-	-	800 000
Bonbon: undertake organizational strengthening and extension of the SAEP	1 000 000	-	-	1 000 000
Protect and clean the reservoir at the SAEP of Corail	1 000 000	-	-	1 000 000
Repair the distribution main of the d'Anse-D'Hainault network	1 000 000	-	-	1 000 000
Improve the distribution network in Dame-Marie	1 200 000	-	-	1 200 000
Rehabilitate and extend the SAEPs in Gémonts-La Hatte/Dame-Marie, Les Irois, Mouline/Corail and Kasavon	3 500 000	-	-	3 500 000
Rehabilitate the drinking water supply systems in duchity/Chantal	2 500 000	-	-	2 500 000

Rehabilitate the SAEPs in Bonbon, Les Abricots, Corail, and Anse-D'Hainault	3 927 000	-	-	-	3 927 000
Construct a drinking water supply system in Jérémie	107 500 000	-	-	-	107 500 000
Rehabilitate and extend the SAEPs in Petit-Trou-de-Nippes/Batardeau, Paillant, L'Asile, Plaisance-du-Sud, Baradères, Jovance Cadillac/Miragoâne, Abraham/Pointe-Rivière, Laval/Anse-à-Veau, Mathurin/Petite-Rivière-de-Nippes, and Charlier/Petite-Rivière-de-Nippes	9 612 000	-	-	-	9 612 000
Construct the network in city center Arnaud	2 000 000	-	-	-	2 000 000
Rehabilitate the SAEPs in Miragoâne, Baradères, Paillant, Corail, Anse-à-Veau, and L'Asile	4 620 000	-	-	-	4 620 000
Rehabilitate the network in Petit-Trou-de-Nippes	4 200 000	-	-	-	4 200 000
Rehabilitate the network in Plaisance-du-Sud	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Rehabilitate the SAEPs in Les Anglais, Tiburon, and Port-à-Piment	3 171 000	-	-	-	3 171 000
Rehabilitate and extend the network in Cartagena/Les Cayes	300 000	-	-	-	300 000
Rehabilitate the SAEPs in St-Jean-du-Sud, Périgny/Camp-Perrin, Treme, Port-Salut, Laborde, Château-Taverne/Arniquet, Nan Brancourt/Aquin, and Fonds-des-Blancs	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Construct a water tower and a pumping station in the city of Les Cayes	279 500 000	-	-	-	279 500 000
Improve the drinking water supply system in Aquin	990 000	-	-	-	990 000
Rehabilitate the SAEPs in Aquin, St-Louis-du-Sud, Camp-Perrin, Port-Salut, Torbeck, Les Anglais, Tiburon and Port-à-Piment	7 875 000	-	-	-	7 875 000
Construct a new drinking water supply system in Aquin	40 000 000	-	-	-	40 000 000
Rehabilitate and extend the SAEPs in Madan Marcelin/Cayes-Jacmel, Militon/Marigot, Ti-Corail/Marigot, Gestal/Côtes-de-Fer, Brésilenne/Bainet, Bertelet/Lamontagne, and Marilou/Grand-Gosier	8 550 000	-	-	-	8 550 000
Rehabilitate the SAEPs in Marigot, Pérédo, Cap-Rouge, and Lafond	2 835 000	-	-	-	2 835 000
Additional drinking water supply projects to be determined	0	2 225 000 000	2 225 000 000	2 225 000 000	4 450 000 000
Complete the master plan for water and sanitation in Artibonite	41 022 000	-	-	-	41 022 000

Construct a building for OREPA Nord	17 200 000	-	-	17 200 000
Acquire the land for constructing the building for OREPA Centre	1 300 000	-	-	1 300 000
Construct the OREPA Centre building	17 200 000	-	-	17 200 000
Acquire the land for constructing the central office of DINEPA and OREPA Ouest	2 000 000	-	-	2 000 000
Construct the central office of DINEPA	77 400 000	-	-	77 400 000
Construct the building for OREPA Ouest	17 200 000	-	-	17 200 000
Acquire land for constructing the building for OREPA Sud in Les Cayes	2 000 000	-	-	2 000 000
Construct the building for OREPA Sud	17 200 000	-	-	17 200 000
Sub-program: Construct and rehabilitate sanitation networks	321 815 000	435 000 000	435 000 000	1 191 815 000
Construct an excreta treatment center in Limonade	6 000 000	-	-	6 000 000
Construct in Limonade an excreta management site	4 000 000	-	-	4 000 000
Maintain the excreta management sites in Limonade	1 500 000	-	-	1 500 000
Construct three comfort stations in public places in Ouanamithe	12 900 000	-	-	12 900 000
Rehabilitate/construct bathroom facilities in rural schools in Artibonite	9 675 000	-	-	9 675 000
Eliminate helminthes in Artibonite	9 460 000	-	-	9 460 000
Construct urban communal sanitation systems in Hinche	77 400 000	-	-	77 400 000
Construct three comfort stations in public places	12 900 000	-	-	12 900 000
Install a water treatment system in hospitals and rehabilitate the Reprise spring and the Canard network in Mirebalais	4 000 000	-	-	4 000 000
Maintain excreta treatment management sites	1 500 000	-	-	1 500 000
Undertake drainage of the sanitation networks in Frères, Tabarre, and Perrier	20 000 000	-	-	20 000 000
Undertake drainage of the sanitation network in the Bolosse area	20 000 000	-	-	20 000 000
Maintain excreta treatment management sites in Morne, Cabrit, and Tityan	2 500 000	-	-	2 500 000

Construct a treatment and dumping facility in the city of Les Cayes	10 750 000	-	-	-	10 750 000
Maintain excreta treatment management sites in the city of Les Cayes	1 500 000	-	-	-	1 500 000
Construct a treatment and dumping facility in Jérémie	15 050 000	-	-	-	15 050 000
Construct latrines in the schools and public places of Jacmel	12 900 000	-	-	-	12 900 000
Construct a treatment and dumping facility in Les Nippes	50 000 000	-	-	-	50 000 000
Undertake construction to protect the ravines Métivier, Bois-de-Chêne, and Delmas in the metropolitan zone of Port-au-Prince	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Undertake maintenance work on the drainage network in Port-au-Prince	20 000 000	-	-	-	20 000 000
Additional cleaning and draining projects to be determined	-	435 000 000	-	435 000 000	870 000 000
Undertake hygiene awareness, education, and training campaigns in Artibonite	15 050 000	-	-	-	15 050 000
Undertake sanitation awareness campaigns in the ten départements	4 730 000	-	-	-	4 730 000
Sub-program: Strengthen and implement solid waste management systems	278 918 900	348 000 000	-	391 500 000	1 018 418 900
Implement sanitation activities in the fragile areas of the metropolitan zone of Port-au-Prince	70 000 000	87 000 000	-	87 000 000	244 000 000
Implement activities to strengthen the collection of waste in the metropolitan zone of Port-au-Prince	40 000 000	43 500 000	-	43 500 000	127 000 000
Improve the SMCRS system for managing solid waste	100 000 000	87 000 000	-	87 000 000	274 000 000
Implement a strategic plan for managing waste in the cities of Port-de-Paix, Ouanaminthe, St-Marc, and Les Cayes	3 480 000	-	-	-	3 480 000
Construct a center for burying waste products in Cap-Haïtien	44 764 000	43 500 000	-	87 000 000	175 264 000
Construct a center for burying waste products in Ouanaminthe	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Rehabilitate and manage the sanitary waste burial site in Truitier	10 674 900	-	-	-	10 674 900
Additional projects for landfill sanitation sites to be determined	-	87 000 000	-	87 000 000	174 000 000

Great Project 2. Economic reconstruction

Projects PTI 2014-2016

Chapter 2

List of proposed projects for Great Project regarding economic reconstruction

Table 17: Great Project 2: Economic reconstruction				
Projects	2014 cost	2015 cost	2016 cost	Total cost
PTI 2014-2016, values in gourdes	102 125 215 875	100 787 419 692	106 600 527 435	309 513 163 003
Great Project 2: Economic reconstruction	18 280 866 167	14 418 171 153	15 149 646 500	47 848 683 820
Program 2.1: Establish active governance enabling accelerated, balanced growth	5 032 568 442	2 123 549 693	1 763 925 000	8 920 043 136
Sub-program: Establish the budgetary and taxing policy orientation	522 000 389	0	0	522 000 389
Create agencies for managing and operating the lottery and games of chance	109 129 360	-	-	109 129 360
Undertake activities for institutional enhancement of the General Taxation Directorate	228 106 441	-	-	228 106 441
Modernize the customs service	175 340 000	-	-	175 340 000
Support the creation of an anti-corruption agency	480 588	-	-	480 588
Implement activities strengthening the General Taxation Directorate	8 944 000	-	-	8 944 000
Sub-program: Support private investment	4 510 568 053	2 123 549 693	1 763 925 000	8 398 042 747
Create a permanent business enterprise registry	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Create a public-private partnership management unit	16 053 738	-	-	16 053 738
Create an investment lever for transferring funds and financing the private sector (LEAD)	108 750 000	87 000 000	-	195 750 000
Create a partial credit guarantee fund for business enterprise development I	6 525 000	6 525 000	6 525 000	19 575 000
Create a partial credit guarantee fund for business enterprise development II	25 708 500	200 646 665	-	226 355 165
Create a partial credit guarantee fund for business enterprise	10 000 044	-	-	10 000 044

development III							
Direct support of AIC	87 000 000	-	-	-	-	87 000 000	
Extend financial services to secondary cities	570 416	-	-	-	-	570 416	
Improve financial services and support for FINCA	2 175 000 000	-	-	-	-	2 175 000 000	
Promote investments in Haiti	4 208 321	-	-	-	-	4 208 321	
Undertake activities to strengthen cooperatives	261 000 000	278 100 938	-	-	-	539 100 938	
Create a Center for Development of Businesses and Entrepreneurship	30 000 000	-	-	-	-	30 000 000	
Undertake activities to develop small- and medium-size enterprises	116 100 000	130 500 000	-	-	130 500 000	377 100 000	
Undertake activities to enhance trade in fragile and perishable products, and in the development of domestic trade and promotion of local products	25 000 000	-	-	-	-	25 000 000	
Undertake activities to enhance promotion and support of innovation	50 000 000	17 400 000	-	-	17 400 000	84 800 000	
Undertake activities to enhance creation and management of businesses	111 279 070	-	-	-	-	111 279 070	
Establish a program to stabilize prices	870 000 000	870 000 000	-	-	870 000 000	2 610 000 000	
Develop a program for training in investment	66 033 000	-	-	-	-	66 033 000	
Support the creation of recycling businesses in Bel Air	21 080 666	-	-	-	-	21 080 666	
Strengthen the Banque Populaire Haïtien	43 500 000	-	-	-	-	43 500 000	
Develop a programmatic approach to development of Nord	8 465 100	-	-	-	-	8 465 100	
Pursue activities for developing IR II park	43 500 000	-	-	-	-	43 500 000	
Implement measures for direct support of private enterprises in the hotel sector	4 637 318	-	-	-	-	4 637 318	
Support micro-finance in Haitian agricultural production	14 772 846	11 384 051	-	-	-	26 156 897	
Create an employment atlas for the textile sector	5 000 000	-	-	-	-	5 000 000	
Establish a strategic monitoring unit regarding the HOPE Law	2 700 000	-	-	-	-	2 700 000	
Implement an industrial policy for the textile sector	3 000 000	-	-	-	-	3 000 000	
Create a technical center for the textile industry	4 000 000	-	-	-	-	4 000 000	
Improve Haiti's business climate	5 000 000	-	-	-	-	5 000 000	
Support investment in the private sector export industry	2 441 655	-	-	-	-	2 441 655	
Support the service development program for the business sector	4 350 000	-	-	-	-	4 350 000	

Undertake institutional enhancement of the micro-finance sector	20 858 400	-	-	-	20 858 400
Promote economic development of rural industries	217 500 000	-	86 993 040	-	304 493 040
Implement activities to promote tourism	43 500 000	-	43 500 000	43 500 000	130 500 000
Establish an economic forum on investment	199 230	-	-	-	199 230
Create a national institute for training in the hotel and tourism sector	50 000 000	-	-	-	50 000 000
Draw up a model and establish 12 incubation centers, or one per regional development area	-	-	87 000 000	174 000 000	261 000 000
Develop capacities for exporting to Canada	52 834 752	-	-	-	52 834 752
Establish a national joint investment company	-	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Establish a national investment fund	-	-	217 500 000	435 000 000	652 500 000
Program 2.2: Modernize and energize agriculture and stock raising	9 578 058 360	5 992 681 368	5 315 621 500	20 886 361 228	
Sub-program: Diversify and intensify vegetable and animal production	7 326 441 899	3 638 120 686	2 648 518 000	13 613 080 585	
Develop sweet potato farming	12 000 000	-	-	-	12 000 000
Develop the farming of cereals and legumes	13 000 000	-	-	-	13 000 000
Develop sugar cane farming	25 000 000	-	-	-	25 000 000
Develop sweet potato farming in the Artibonite valley	9 000 000	-	-	-	9 000 000
Intensify rice cultivation in the Artibonite valley	18 000 000	-	-	-	18 000 000
Intensify agricultural activity in the watersheds of the Quinte and the Ennery	5 848 000	-	-	-	5 848 000
Undertake a program of intensified agriculture in the Artibonite valley	170 000 000	170 000 000	170 000 000	170 000 000	510 000 000
Self-reliant production of fresh foodstuffs	277 312 500	-	-	-	277 312 500
Maize production in the Artibonite valley	8 000 000	-	60 000 000	70 000 000	138 000 000
Production of beans in the Artibonite valley	8 000 000	-	-	-	8 000 000
Production of maize and eggs in the Sud <i>département</i>	11 588 000	104 292 000	115 880 000	231 760 000	
Market disease-resistance varieties of beans	1 912 500 000	-	-	-	1 912 500 000
Develop long-term opportunities in mango production	1 000 000	-	-	-	1 000 000
Support the Frankish mango cultivation effort in the Centre <i>département</i>	36 936 750	-	-	-	36 936 750
Regenerate the coffee plantations in Thiotte	15 000 000	20 000 000	20 000 000	20 000 000	55 000 000
Support the development of cacao crops in Le Borgne, Anse-	10 000 000	-	-	-	10 000 000

D'Hainault and Port-Marigot								
Strengthen the cultivation of coffee	8 700 000	-	-	-	-	-	8 700 000	
Strengthen coffee cooperatives	17 382 000	23 176 000	11 588 000				52 146 000	
Develop the raising of hens in the valley of the Artibonite	13 000 000	4 500 000					17 500 000	
Develop poultry production in Port-au-Prince	10 000 000	-					10 000 000	
Support project for development and transformation of milk in Haiti	29 112 500	7 225 000					36 337 500	
Develop rabbit raising	10 000 000	10 000 000	10 000 000				30 000 000	
Develop pig raising	10 000 000	-					10 000 000	
Additional projects for establishing animal breeding units to be determined	-	174 000 000	174 000 000				348 000 000	
Develop bee keeping in Ouanaminthe	5 000 000	10 000 000	10 000 000				25 000 000	
Develop bee keeping in Hinche	-	10 000 000	10 000 000				20 000 000	
Develop bee keeping in Aquin	5 000 000	10 000 000	10 000 000				25 000 000	
Implement activities in support of production and marketing of agricultural products	-	174 000 000	174 000 000				348 000 000	
Implement activities for training and transfer of agricultural technologies for the <i>départements</i> of Nord and Nord-Est	54 375 000	-					54 375 000	
Implement activities for producing and marketing coffee, bamboo, and fruits, in Marmelade, Cayes-Jacmel, Makari, and Furcy, and rice in Torbeck	4 000 000	-					4 000 000	
Initiate activities strengthening public services on behalf of agriculture I	108 750 000	-					108 750 000	
Initiate activities strengthening public services on behalf of agriculture II	609 000 000	-					609 000 000	
Implement the RESEPAG II program for recovery of agriculture	609 000 000	565 500 000	361 050 000				1 535 550 000	
Develop and popularize technical packets for producers on the plain of Les Cayes, Thiotte, Belladère, and Dondon	40 000 000	-					40 000 000	
Extend loans to small farmers	-	87 000 000	87 000 000				174 000 000	
Create small-scale jobs for agricultural producers	4 350 000	-					4 350 000	
Support milk producers and purchase milk for PNCS children	113 100 000	-					113 100 000	
Undertake purchases of local products typical of Haiti, giving preference to family farms for the PNCS	30 450 000	30 450 000	0				60 900 000	
Support the PNCS through purchases of burners and charcoal	30 450 000	-					30 450 000	

briques									
Improve subsistence methods by strengthening the sectors of soil conservation and farming in the Sud-Est	25 493 600	-	-	-	25 493 600	-	-	-	25 493 600
Undertake activities for the recovery of agriculture in Marigot	17 382 000	-	-	-	17 382 000	-	-	-	17 382 000
Support the phytosanitary control of flies attacking mangoes in the major production zones of Gros-Mornes and Ennery	20 000 000	-	-	-	20 000 000	-	-	-	20 000 000
Support the phytosanitary control of flies attacking mangoes in the major production zones of Léogâne and Croix-des-Bouquets	15 000 000	-	-	-	15 000 000	-	-	-	15 000 000
Support the phytosanitary control of flies attacking mangoes in the major production zones of Camp-Perrin and Saint-Louis-du-Sud	15 000 000	-	-	-	15 000 000	-	-	-	15 000 000
Support the phytosanitary control of flies attacking mangoes in the major production zones of Centre <i>département</i>	10 000 000	-	-	-	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Support the fight against the crazy ant	8 000 000	-	-	-	8 000 000	-	-	-	8 000 000
Control zoonoses, endemic infectious animal diseases, and undertake epidemiological monitoring	40 000 000	-	-	-	40 000 000	-	-	-	40 000 000
Control and eradicate animal diseases and parasitic diseases	-	-	-	-	87 000 000	-	-	87 000 000	174 000 000
Control and eradicate zoonoses: rabies, bird flu, and anthrax	-	-	-	-	87 000 000	-	-	87 000 000	174 000 000
Identify animals, undertake inspection for disease, and implement veterinary traceability	10 000 000	-	-	-	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Sub-program of protection of animal health	32 664 411	-	-	-	32 664 411	-	-	-	32 664 411
Enhance infrastructure for international quarantine	2 606 347 044	-	-	-	2 606 347 044	-	-	1 159 561 404	3 765 908 448
Strengthen animal health infrastructures and eradicate swine fever	115 546 875	-	-	-	115 546 875	-	-	-	115 546 875
Bring Haiti into compliance with the legal and regulatory framework for international standards for animal health	55 462 500	-	-	-	55 462 500	-	-	-	55 462 500
Draft a sub-sectoral policy on animal production	25 000 000	-	-	-	25 000 000	-	-	25 000 000	75 000 000
Create centers for health protection in the <i>départements</i>	-	-	-	-	21 750 000	-	-	43 500 000	65 250 000
Modernize veterinary services	-	-	-	-	21 750 000	-	-	43 500 000	65 250 000
Implement activities promoting plant epidemiology	8 000 000	-	-	-	8 000 000	-	-	8 000 000	24 000 000
Control coffee berry borers in Beaumont	8 000 000	-	-	-	8 000 000	-	-	-	8 000 000
Develop the Tamarinier laboratory for quality control of food products	10 000 000	-	-	-	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Undertake land ownership studies and draw up inventories of Haiti's private farmlands	5 000 000	-	-	-	5 000 000	-	-	-	5 000 000

Undertake studies to classify soils in the communes of Ganthier and Croix-des-Bouquets	9 770 000	-	-	-	-	9 770 000
Support the acquisition of legal land titles	10 000 000	-	-	-	-	10 000 000
Create a land investment fund in the Grand Nord	-	-	15 000 000	87 000 000	102 000 000	102 000 000
Undertake a study for creating a financial instrument for financing and developing the Grand Nord	-	-	15 000 000	-	15 000 000	15 000 000
Create a Grand Nord development bank	-	-	15 000 000	87 000 000	102 000 000	102 000 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the tuber sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the banana sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the maize sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the mango sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the rice sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the beans sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the congo peas (cajanus cajan) sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the yam sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the sweet potato sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the manioc sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the coffee sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the cacao sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the legumes sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the milk sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the poultry sector	-	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000	43 500 000

Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the bee keeping sector	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the goat breeding sector	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the pig raising sector	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Design and gradually implement national development strategies and operational plans for the cow raising sector	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Draw up a study of the agricultural product potential in the Grand Nord	-	15 000 000	0	15 000 000
Implement a system of local production for the agricultural zone or cattle raising production associated with the production sectors of the zone of Gros-Morne/Terre-Neuve/Pilate for mangoes, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a system of local production for the agricultural zone or cattle raising production associated with the production sectors of the zone of Maribaroux for food crops and cereals, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a system of local production for the agricultural zone or cattle raising production associated with the production sectors of the zone of Dondon/Saint-Raphael for fruits and legumes, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a local productive system for the zone of Pignon/Maissade for sugar cane, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a local productive system for the zone of valley of the Artibonite for rice, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a local productive system for the zone of Haut Plateau Central for cattle raising, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a local productive system for the zone of Dame-Marie/Chambellan/Moron for cacao, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a local productive system for the zone of Beaumont/Duchity for coffee, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000

Implement a local productive system for the zone of Côtes-de-Fer/Bainet for sisal, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Implement a local productive system for the zone of Découze/Macary/Thiotte for coffee, in which a development plan shall be drawn up	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Rehabilitate the center of Limbé in Nord (mountain crops and watershed management)	2 195 147	-	-	2 195 147
Rehabilitate the rice farming seed center in the commune de Marchand-Dessalines	4 000 000	-	-	4 000 000
Rehabilitate the research and training center in the commune of Petite-Rivière-de-l'Artibonite	10 000 000	6 430 424	-	16 430 424
Consolidate the accumulated results of research	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Create a research consortium in Haiti	18 725 572	5 485 858	-	24 211 430
Reinstate popularized information on farming	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Return the middle school for production and animal health to operation	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Sub-program: Facilitate access to agricultural equipment and inputs	526 228 500	731 353 500	927 103 500	2 184 685 500
Implement an agricultural fertilizer subsidy program	240 000 000	240 000 000	240 000 000	720 000 000
Implement a seed subsidy program	45 000 000	45 000 000	45 000 000	135 000 000
Implement activities to advance farming mechanization	163 603 500	163 603 500	163 603 500	490 810 500
Build 70 water tanks to capture and supply rain water	32 625 000	65 250 000	87 000 000	184 875 000
Produce basic seeds	45 000 000	174 000 000	217 500 000	436 500 000
Produce fertilizers	-	43 500 000	174 000 000	217 500 000
Sub-program: Construct and rehabilitate irrigation systems	1 692 723 550	1 579 707 183	1 653 000 000	4 925 430 733
Rehabilitate and extend the small irrigated zones in Port-de-Paix and Jean-Rabel	92 000 000	-	-	92 000 000
Study, construct, and enhance the irrigation system in the Plaine des Moustiques in Jean-Rabel	-	87 000 000	174 000 000	261 000 000
Rehabilitate the irrigated zones in Andreau, ti-Chansolme, Katracas, La Hatte, Bellier, Jean-Pierre, Vidal, Polvo and Fonramadou	79 687 500	-	-	79 687 500
Rehabilitate the irrigated zone in Belleruche	4 000 000	-	-	4 000 000
Rehabilitate the irrigated zones in Raboure, Chalopin, Dumas, Coicu 1 and 2	10 000 000	-	-	10 000 000

Develop the irrigation system in the Plaine de Maribaroux	-	-	87 000 000	-	174 000 000	261 000 000
Rehabilitate the irrigated zones in Ferrier and Fort-Liberté	69 000 000	-	69 000 000	-	-	138 000 000
Intensify agricultural activity in the valley of the Artibonite (irrigation zones)	78 256 500	-	-	-	-	78 256 500
Undertake activities to construct and rehabilitate irrigation systems in Artibonite	20 000 000	-	-	-	-	20 000 000
Construct the secondary network in the valley of the Artibonite	-	-	87 000 000	-	174 000 000	261 000 000
Realign the Artibonite River from Pont-Sondé to its mouth	-	-	87 000 000	-	174 000 000	261 000 000
Construct the tertiary network in the valley of the Artibonite	-	-	87 000 000	-	174 000 000	261 000 000
Reconfigure and drain the channel of the Salée Floodway	217 500 000	-	-	-	-	217 500 000
Manage the right bank of the Estère canal	-	-	21 750 000	-	87 000 000	108 750 000
Rehabilitate and protect the banks below the Canneau dam	-	-	21 250 000	-	-	21 250 000
Rehabilitate/extend the irrigation system of the Estère	-	-	87 000 000	-	174 000 000	261 000 000
Rehabilitate the irrigated zone in Saint-Marc	15 000 000	-	-	-	-	15 000 000
Rehabilitate the irrigated zone in Bongris	6 000 000	-	-	-	-	6 000 000
Rehabilitate the irrigated zone in Latannerie	43 500 000	-	-	-	-	43 500 000
Rehabilitate the irrigated zones in Momance	18 000 000	-	-	-	-	18 000 000
Rehabilitate the small irrigated zones in Hinche, Savanette, and Lascahobas	103 500 000	-	119 025 000	-	-	222 525 000
Rehabilitate the irrigated zone in Maury/Desarmes	5 000 000	-	-	-	-	5 000 000
Study, construct and develop the irrigated zone in Savane Dianne/St-Michel-de-l'Attalaye	-	-	87 000 000	-	174 000 000	261 000 000
Install the low-pressure, drip system on the Plaines de l'Arcahaie	70 150 000	-	80 672 500	-	-	150 822 500
Implement irrigation and earthen reservoir projects in Arcahaie and Saint-Marc	17 382 000	-	-	-	-	17 382 000
Rehabilitate and extend the irrigated zones from Rivière Blanche to Croix-des-Bouquets	76 747 550	-	88 259 683	-	-	165 007 233
Rehabilitate the dam on the Grise River at Croix-des-Bouquets	276 000 000	-	317 400 000	-	-	593 400 000
Rehabilitate small irrigated zones in Petite-Rivière-de-Nippes and Miragoâne	69 000 000	-	79 350 000	-	-	148 350 000
Study, construct, and develop the irrigation system on the Plaine de Baconnais	-	-	87 000 000	-	174 000 000	261 000 000
Construct and rehabilitate small irrigated zones in the Nippes	265 000 000	-	-	-	-	265 000 000

<i>département</i>								
Rehabilitate the irrigated zone of Abricot	5 000 000	-	-	-	5 000 000			5 000 000
Rehabilitate the irrigated zones of Dubreuil	40 000 000	-	-	-	40 000 000			40 000 000
Rehabilitate the irrigated zone of Bretelle	10 000 000	-	-	-	10 000 000			10 000 000
Rehabilitate and extend the irrigated zones from Avezac to Camp-Perrin	102 000 000	-	-	-	102 000 000			102 000 000
Study, construct and develop the immigration system of Plaine d' Aquin	-	87 000 000	-	-	174 000 000			261 000 000
Sub-program: Establish a chain of storage facilities for agricultural inputs and products	32 664 411	21 750 000	43 500 000		97 914 411			
Implement a guarantee fund for constructing storage centers for agricultural inputs and packaging of farm products in the targeted zones of production and/or of product transit sites	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Establish a program for co-financing rural chains for plants and animals	32 664 411	-	-	-	32 664 411			
Sub-program: Implement a network of slaughter houses and a refrigerated chain for storing products of stock raising	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Establish a guarantee fund for establishment of a network of slaughter houses and a chain of cold storage for products of stock raising	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Program 2.3: Modernize and energize fishing	97 070 900	674 250 000	1 044 000 000		1 815 320 900			
Sub-program: Support the sustainable development of fishing	67 070 900	217 500 000	391 500 000		676 070 900			
Establish a maritime and coastal zone in areas where fishing pressure is great in the Côte-des-Arcadins	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Establish a maritime and coastal zone in areas where fishing pressure is great in Baradères/Petite-Rivière-de-Nippes	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Establish a maritime and coastal zone in areas where fishing pressure is great in Saint-Jean-du-Sud/Les Cayes/Île-à-Vache	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Draw up and implement development plans for demersal resources over the continental shelf (pink fish)	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Draw up and implement plans for development of the conch product line (flesh and shells)	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Draw up and implement plans for development of the crayfish product line	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			
Draw up and implement plans for development of the shrimp product line	-	21 750 000	43 500 000		65 250 000			

Draw up and implement plans for development of the tilapia product line	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Develop aquaculture and continental fishing in the Sud-Est	18 830 500	-	-	18 830 500
Strengthen sea fishing in the sud-Est	38 240 400	-	-	38 240 400
Draw up a development policy for sea fishing in Haiti	10 000 000	43 500 000	43 500 000	97 000 000
Sub-program: Facilitate access to fishing equipment and inputs	-	87 000 000	174 000 000	261 000 000
Establish a guarantee fund for purchasing motorboats, for developing/rehabilitating landing piers equipped to serve fishing on the high seas, and for purchasing equipment	-	87 000 000	174 000 000	261 000 000
Sub-program: Install fish aggregating facilities	-	43 500 000	87 000 000	130 500 000
Establish a guarantee fund for installing DCPs in Haiti's fishing zones	-	43 500 000	87 000 000	130 500 000
Sub-program: Develop earthen reservoirs	10 000 000	261 000 000	261 000 000	532 000 000
Develop 20 earthen reservoirs each year, notably in the chief targeted priority zones	-	261 000 000	261 000 000	522 000 000
Undertake projects for constructing earthen reservoirs in Hinche and Savanette	10 000 000	-	-	10 000 000
Sub-program: Install fish farms	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Establish a guarantee fund for installing fish farms and packaging their products	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Sub-program: Install mollusk farms	20 000 000	21 750 000	43 500 000	85 250 000
Study for the development of mollusk farming in Nippes	10 000 000	-	-	10 000 000
Study for the development of mollusk farming in the valley of the Artibonite	10 000 000	-	-	10 000 000
Establish a guarantee fund for installing mollusk farms and packaging their products	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Sub-program: Construct a chain of cold storage facilities for products of fishing	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Establish a guarantee fund for constructing a chain of cold storage facilities for products of fishing	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Program 2.4: Support industrial development	1 609 350 000	1 607 750 000	2 978 000 000	6 195 100 000
Sub-program: Develop the food processing industry	-	130 500 000	261 000 000	391 500 000
Establish a guarantee fund for establishing food processing industries in the targeted food categories	-	130 500 000	261 000 000	391 500 000
Sub-program: Develop industrial/manufacturing zones	1 609 350 000	1 477 250 000	2 717 000 000	5 803 600 000

Develop exporting free zones on the border with the Dominican Republic	5 000 000	10 000 000	10 000 000	25 000 000
Develop industrial and commercial free zones	8 000 000	-	-	8 000 000
Develop three new free zones with 5,000 direct jobs in the areas of regional development lacking such facilities, and which possess an active port, such as: Gonaïves, Saint-Marc, and Miragoâne	-	65 250 000	1 044 000 000	1 109 250 000
Develop competitiveness in the industrial parks	4 350 000	-	-	4 350 000
Construct a food center for workers in the Sonapi park	20 000 000	-	-	20 000 000
Construct a food center for workers in the Caracol park	20 000 000	-	-	20 000 000
Construct a food center for workers in the SODEV1 park	20 000 000	-	-	20 000 000
Develop a manufacturing/industrial zone for 5,000 direct jobs in Port-de-Paix	-	130 500 000	217 500 000	348 000 000
Develop a manufacturing/industrial zone for 5,000 direct jobs in the direction of Mirebaais/Hinche	-	130 500 000	217 500 000	348 000 000
Develop the Ouest industrial zone in Port-au-Prince	87 000 000	217 500 000	130 500 000	435 000 000
Develop the Est industrial zone in Port-au-Prince	-	217 500 000	217 500 000	435 000 000
Develop a manufacturing/industrial zone with 5,000 direct jobs in Jérémie	-	130 500 000	217 500 000	348 000 000
Develop a manufacturing/industrial zone with 5,000 direct jobs in Les Cayes	-	130 500 000	217 500 000	348 000 000
Construct industrial micro-parks and centralized purchasing and distributing centers I	435 000 000	435 000 000	435 000 000	1 305 000 000
Construct industrial micro-parks and centralized purchasing and distributing centers (EU financing)	522 000 000	-	-	522 000 000
Construct industrial micro-parks and centralized purchasing and distributing centers (IDB financing)	478 000 000	-	-	478 000 000
Develop infrastructures related to petroleum products business activities	10 000 000	10 000 000	10 000 000	30 000 000
Program 2.5: Modernize and energize the service sector	915 618 465	1 146 340 092	1 044 000 000	3 105 958 557
Sub-program: Improve access to insurance	102 340 092	102 340 092	-	204 680 184
Establish a program for financing farming insurance	102 340 092	102 340 092	-	204 680 184
Sub-program: Build and rehabilitate public markets	813 278 373	957 000 000	957 000 000	2 727 278 373
Build the public market in Jacmel	100 050 000	-	-	100 050 000
Build the public market in Limonade	20 000 000	-	-	20 000 000
Build the public market in Milot	10 000 000	-	-	10 000 000

Build the public market in Caracol	-	10 000 000	-	-	10 000 000
Build a public market in Pont-Sondé on a new site	-	20 000 000	-	-	20 000 000
Build a public market in Estère on a new site	-	20 000 000	-	-	20 000 000
Build a public market in Saltadère	-	4 000 000	-	-	4 000 000
Build a new public market in Fontamara	-	282 750 000	-	-	282 750 000
Build a public market in Gros-Morne	-	10 000 000	-	-	10 000 000
Build a public market in Miragoâne on a new site	-	336 478 373	-	-	336 478 373
Additional projects for building public markets to be determined	-	-	870 000 000	870 000 000	1 740 000 000
Establish a guarantee fund for rehabilitating/building public markets	-	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Sub-program: Configure commercial zones and arteries	-	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Establish a guarantee fund for developing commercial zones and arteries	-	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Program 2.6: Support the development of tourism	-	150 200 000	1 004 850 000	1 135 350 000	2 290 400 000
Sub-program: Develop swimming tourism	-	95 500 000	678 600 000	678 600 000	1 452 700 000
Draw up designs for development and business plans; undertake priority interventions in Môle-St-Nicolas	-	-	52 200 000	52 200 000	104 400 000
Draw up designs for development and business plans; undertake priority interventions in Île-de-la-Tortue	-	-	52 200 000	52 200 000	104 400 000
Draw up designs for development and business plans; undertake priority interventions in the 3 coves along the line Chouchou Bay/Bas Limbé	-	-	52 200 000	52 200 000	104 400 000
Draw up designs for development and business plans; undertake priority interventions along the line Aquin/Côtes-de-Fer	-	-	217 500 000	217 500 000	435 000 000
Develop tourism facilities at the beaches Raymond-les-Bains and Ti-Mouillage, in the <i>département</i> Sud-Est	-	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Undertake activities for tourism development on sites in Sud-Est: Étang Bossier, Moulin Price, Séquin, and others	-	18 000 000	43 500 000	43 500 000	105 000 000
Undertake activities for development of tourism on sites in the Artibonite: Marchand-Dessalines, Ennery, Petite-Rivière-de-l'Artibonite, and others	-	17 500 000	43 500 000	43 500 000	104 500 000
Undertake activities for development of tourism on sites in the <i>département</i> Nord: Milot, Bas-Limé, Cap-Haïtien, and others	-	21 000 000	43 500 000	43 500 000	108 000 000

Undertake activities for development of tourism on sites in the <i>département</i> Sud: Île-à-Vache, Côteaus, Camp-Perrin, and others	21 000 000	43 500 000	43 500 000	108 000 000
Undertake activities for development of tourism on sites in the <i>département</i> Ouest: Petit-Goâve, Fort-Jacques, Côtes-des-Arcadins, and others	8 000 000	43 500 000	43 500 000	95 000 000
Undertake activities for development of tourism in the <i>département</i> Nord-Ouest	10 000 000	43 500 000	43 500 000	97 000 000
Sub-program: Develop a network of ecotourism, ethnotourism and adventure tourism	49 700 000	304 500 000	435 000 000	789 200 000
Establish tourism circuits in regions identified as priority	16 000 000	65 250 000	65 250 000	146 500 000
Establish a guarantee fund for the development of reception centers	-	174 000 000	261 000 000	435 000 000
Construct information kiosks in tourism regions	15 000 000	21 750 000	21 750 000	58 500 000
Develop the zone Nord as a tourist destination	8 700 000	-	-	8 700 000
Draw up a tourism policy	10 000 000	43 500 000	87 000 000	140 500 000
Sub-program: Develop the cruise sector	5 000 000	21 750 000	21 750 000	48 500 000
Establish the statistical information system at the Ministry of Tourism	5 000 000	-	-	5 000 000
Design a port for cruise vessels at Grosse-Cayes (Study)	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Program 2.7: Develop Haiti's mineral and energy resources	28 000 000	128 750 000	128 750 000	285 500 000
Sub-program: Develop mining resources	22 500 000	85 250 000	85 250 000	193 000 000
Develop aggregate sources	5 000 000	21 750 000	21 750 000	48 500 000
Revise the standards for accrediting black products	5 000 000	-	-	5 000 000
Monitor and develop mining activities and manage building materials in more streamlined fashion	2 500 000	43 500 000	43 500 000	89 500 000
Create a mine register	10 000 000	20 000 000	20 000 000	50 000 000
Sub-program: Exploit quarries sustainably	5 500 000	43 500 000	43 500 000	92 500 000
Monitor and develop mining activities and manage building materials in more streamlined fashion	2 500 000	43 500 000	43 500 000	89 500 000
Undertake a study of the quality of building materials in the housing sector	3 000 000	-	-	3 000 000
Program 2.8: Develop employment	870 000 000	1 740 000 000	1 740 000 000	4 350 000 000
Sub	870 000 000	1 740 000 000	1 740 000 000	4 350 000 000
Undertake highly labor	870 000 000	1 740 000 000	1 740 000 000	4 350 000 000

Great Project 3

Social reconstruction

Projects PTI 2014-2016

Chapter 3

List of projects proposed for

the Great Project of social reconstruction

Table 18: Great Project 3. Social reconstruction

Projects	2014 cost	2015 cost	2016 cost	Total cost
PTI 2014-2016, values in gourdes	102 125 215 875	100 787 419 692	106 600 527 435	309 513 163 003
Great Project 3. Social reconstruction	20 397 532 087	19 519 740 463	18 872 996 348	58 790 268 898
Program 3.1: Strengthen higher education and professional/technical training	1 568 371 837	1 413 500 000	1 607 299 667	4 589 171 503
Sub-program: Establish networks of university centers in the regional development areas	1 039 621 560	522 000 000	739 000 000	2 300 621 560
Design and operations of the Haitian State University in Port-au-Prince	209 552 950	-	-	209 552 950
Build and equip dormitories and residences for faculty; build the extension of the Henry Christophe campus in Limonade	204 705 867	-	-	204 705 867
Construct the main campus of the Haitian State University in Port-au-Prince	150 668 123	-	-	150 668 123
Design and operations of the Public University of the <i>département</i> of Sud	348 000 000	-	-	348 000 000
Construct experimental learning laboratories	87 000 000	-	-	87 000 000
Develop ISTA	19 575 000	-	-	19 575 000
Additional university campus rehabilitation/construction projects to be determined	-	522 000 000	739 000 000	1 261 000 000
Create a human financial model for higher education in Haiti	20 119 620	-	-	20 119 620
Sub-program: Establish regional networks of professional/technical training centers	528 750 277	717 500 000	694 299 667	1 940 549 943

Undertake actions to develop professional training	30 000 000	43 500 000	43 500 000	117 000 000
Rehabilitate the Canado-Haiti professional training center in Port-au-Prince	130 500 000	130 500 000	107 299 667	368 299 667
Rehabilitate the Pignon professional training center	43 500 000	-	-	43 500 000
Additional professional/technical training center rehabilitation/construction projects to be determined	-	500 000 000	500 000 000	1 000 000 000
Construct the center for work and employment training in Fort-Liberté	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct the center for work and employment training in Ouest	5 000 000	-	-	5 000 000
Additional work and employment training center construction projects to be determined	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Support the financing of professional training	132 414	-	-	132 414
Reform professional training	43 500 000	-	-	43 500 000
Create a university of occupations	261 000 000	-	-	261 000 000
Establish a statistical information system for education I	3 441 667	-	-	3 441 667
Establish a statistical information system for education II	733 333	-	-	733 333
Support the training of trainers	942 863	-	-	942 863
Sub-program: Establish a fund to support research and innovation	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Establish a dedicated fund in support of research and innovation	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Sub-program: Finance scholarships for specialized studies	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Establish a dedicated fund for scholarships in specialized studies	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Program 3.2: Enlarge access to pre-school, primary, and secondary schooling	6 760 534 104	6 912 295 883	7 344 530 306	21 017 360 292
Sub-program: Establish primary schools in commune divisions	5 337 787 396	4 830 545 883	4 669 530 306	14 837 863 584
Rehabilitate/construct public primary schools I	100 000 000	261 000 000	261 000 000	622 000 000
Rehabilitate/construct public primary schools II	217 500 000	217 500 000	267 141 417	702 141 417
Construct schools in commune divisions lacking schools	275 640 000	435 000 000	435 000 000	1 145 640 000

Establish a statistical information system for education I	3 441 667	-	-	3 441 667
Establish a statistical information system for education II	733 333	-	-	733 333
Support the financing and operationalization of the National Fund for Education (FNE) I	2 732 000 000	2 700 000 000	3 480 000 000	8 912 000 000
Support the financing and operationalization of the National Fund for Education (FNE) II	1 218 000 000	674 250 000	-	1 892 250 000
Establish a program for educational catalytic funds in Haiti	39 150 000	-	-	39 150 000
Lend support to the start of the school year	221 134 469	316 406 994	-	537 541 463
Support the school attendance program	185 816 427	-	-	185 816 427
Implement the Tout Timoun A Li project (TOTAL)	186 571 500	-	-	186 571 500
Recast the curriculum of Haiti's educational system	20 000 000	8 888 889	8 888 889	37 777 778
Develop the pre-school curriculum	1 800 000	-	-	1 800 000
Support parental education and integrated development of young people	14 000 000	-	-	14 000 000
Support access to quality of education	110 000 000	-	-	110 000 000
Support the improvement of quality in the pre-school	12 000 000	-	-	12 000 000
Install an e-education system to make up for the lack of teaching staff and inadequate infrastructure	-	217 500 000	217 500 000	435 000 000
Support improvement of quality in the pre-school	12 000 000	-	-	12 000 000
Sub-program: Establish lycées in the communes	727 175 000	1 170 000 000	1 057 000 000	2 954 175 000
Build lycées in Belladère, Thomassique, and Cerca-la-Source	400 000 000	-	-	400 000 000
Build Lycée Alexandre Pétiou	114 000 000	100 000 000	-	214 000 000
Build Lycée Toussaint Louverture	129 000 000	100 000 000	-	229 000 000
Build a Lycée in Saut-d'Eau	30 000 000	-	-	30 000 000
Build a Lycée in Saint-Michel-de-l'Attalaye	30 000 000	-	-	30 000 000
Additional projects for rehabilitation/construction of lycées to be determined	-	870 000 000	957 000 000	1 827 000 000
Extend the new secondary in the ten départements	20 000 000	100 000 000	100 000 000	220 000 000
Create a statistical information system for education I	3 441 667	-	-	3 441 667

Create a statistical information system for education II	733 333	-	-	733 333
Sub-program: Establish a basic school for application and certification of professional training in each local development zone	116 906 990	150 000 000	217 500 000	484 406 990
Create a statistical information system for education I	3 441 667	-	-	3 441 667
Create a statistical information system for education II	733 333	-	-	733 333
Undertake accelerated and ongoing training of school teachers	3 981 990	150 000 000	217 500 000	371 481 990
Improve the quality of teaching in Haiti	108 750 000	-	-	108 750 000
Sub-program: Establish training courses for seniors and children left out of the system	20 000 000	60 000 000	100 000 000	180 000 000
Train seniors	20 000 000	60 000 000	100 000 000	180 000 000
Sub-program: Generalize the provision of school cafeterias	386 637 664	471 750 000	1 000 500 000	1 858 887 664
Create a statistical information system for education I	3 441 667	-	-	3 441 667
Create a statistical information system for education II	733 333	-	-	733 333
Support improvement of school cafeterias	382 462 664	450 000 000	957 000 000	1 789 462 664
Design and implement a strategy for purchasing local products as offerings in school cafeterias	-	21 750 000	43 500 000	65 250 000
Sub-program: Take on the care of early childhood	4 175 000	-	-	4 175 000
Create a statistical information system for education I	3 441 667	-	-	3 441 667
Create a statistical information system for education II	733 333	-	-	733 333
Sub-program: Eradicate illiteracy	167 852 054	230 000 000	300 000 000	697 852 054
Establish a pilot campaign for creating a functional literacy program	167 852 054	230 000 000	300 000 000	697 852 054
Program 3.3: Enlarge access to healthcare	4 604 481 032	7 057 012 000	7 097 622 648	18 759 115 680
Sub-program: Establish networks of University Hospital Centers in the three major regional development zones	1 387 852 998	1 826 160 000	1 188 820 000	4 402 832 998
Finalize the construction of Ustinien University Hospital	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct the State University of Haiti Hospital (AFD financing)	512 769 000	811 160 000	173 820 000	1 497 749 000

Construct the State University of Haiti Hospital (USAID financing)	394 545 000	-	-	394 545 000
Construct the State University of Haiti Hospital	436 038 998	-	-	436 038 998
Additional university hospital center rehabilitation/construction projects to be determined		580 000 000	580 000 000	1 160 000 000
Establish an ambulance center in Sud <i>département</i>	22 000 000	-	-	22 000 000
Establish a blood transfusion specialized center in Miragoâne	12 500 000	-	-	12 500 000
Additional establishments of specialized infrastructures and equipment to be determined		435 000 000	435 000 000	870 000 000
Sub-program: Establish referral hospitals in the regional development zones	1 086 520 247	1 015 000 000	1 015 000 000	3 116 520 247
Construct a hospital for the <i>département</i> of Gonaïves	835 520 247	-	-	835 520 247
Construct a referral hospital in Cité-Soleil	174 000 000	-	-	174 000 000
Construct a hospital for the <i>département</i> of Jacmel	43 500 000	435 000 000	435 000 000	913 500 000
Additional projects for construction of referral hospitals to be determined	-	580 000 000	580 000 000	1 160 000 000
Pave the courtyard of the St-Antoine de Jérémie hospital	7 500 000	-	-	7 500 000
Rehabilitate the administrative and residential services of the Hospital of the Immaculate Conception of Port-de-Paix	6 000 000	-	-	6 000 000
Upgrade the outpatient CSL of Quatre-Chemins to the status of a medical/surgical unit	10 000 000	-	-	10 000 000
Transform the sanatorium into a unit for treating infectious diseases	10 000 000	-	-	10 000 000
Sub-program: Establish community referral hospitals in the local development zones	203 450 000	623 500 000	623 500 000	1 450 450 000
Convert the in-patient center at Borgne into a community referral hospital	10 000 000	-	-	10 000 000
Rehabilitate the Bon Repos Hospital	139 200 000	-	-	139 200 000
Transform the in-patient hospital (CAL) in Les Anglais into a community referral hospital (HCR)	10 000 000	-	-	10 000 000
Transform the CDI in Anse-à-Veau into an HCR	10 000 000	-	-	10 000 000
Transform the CDI in Trou-du-Nord into an HCR	10 000 000	-	-	10 000 000
Build an incinerator at the Anse-d' Hainault HCR	2 500 000	-	-	2 500 000
Additional projects to rehabilitate/construct community referral hospitals to be determined	-	580 000 000	580 000 000	1 160 000 000

Construct sanitation infrastructures	21 750 000	43 500 000	43 500 000	108 750 000
Sub-program: Establish in-patient health centers in the communes	206 000 000	245 000 000	225 000 000	676 000 000
Convert the Tiburon dispensary into an in-patient health center	15 000 000	20 000 000	-	35 000 000
Rehabilitate the in-patient hospital (CAL) in Petit-Goâve	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct a fence around the Carradeux health center	4 000 000	-	-	4 000 000
Enlarge the Élizar Germain Center in Pétiou-Ville	10 000 000	-	-	10 000 000
Build a new CAL in Matissade	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct a maternity ward in the CAL in Cerca-la-Source	80 000 000	-	-	80 000 000
Build a new CAL in Tiburon	10 000 000	-	-	10 000 000
Build a new CAL in Mouillage-Fouquette	10 000 000	-	-	10 000 000
Add a surgery wing to the CAL in port-à-Piment	9 000 000	-	-	9 000 000
Build a retaining wall for the CAL of Port-Salut	8 000 000	-	-	8 000 000
Construct a CAL in the Mare-Rouge section of the commune of La Tortue	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct a CAL in the Plaine d'Orange section of the commune of Bombardopolis	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct a CAL in Petit-Trou-de-Nippes	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct a CAL in Limonade	10 000 000	-	-	10 000 000
Additional projects for rehabilitating/constructing CAL.s to be determined	-	225 000 000	225 000 000	450 000 000
Sub-program: Establish out-patient health centers in commune divisions	301 500 000	280 000 000	280 000 000	861 500 000
Build 9 out-patient health centers (CSLs) in 9 <i>départements</i> (excluding Ouest)	63 000 000	-	-	63 000 000
Build the Lavanneau CSL in the 12 th division of Jacmel	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Amazone CSL in Côtes-de-Fer	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Bras de gauche CSL in the 3 rd division of Côtes-de-Fer	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Grande-Rivière CSL in Marigot	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the CSL in the 2 nd section, Labiche, in Côtes-de-Fer	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Corail Soult CSL in the 1 st division of Marigot	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Baie d'Orange CSL in the 1 st division of Belle-Anse	7 000 000	-	-	7 000 000

Build the Domas CSL in the commune of Grand-Gosier	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Marbriole CSL in the 2 nd division of Belle-Anse	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Bégin CSL in the 3 rd division of Vallée de Bainen	7 000 000	-	-	7 000 000
Build he Bas-Coq-Chante CSL in the 8 th division of Jacmel	7 000 000	-	-	7 000 000
Rehabilitate the Montagne-la-Voûte CSL in the 6 th division of Jacmel	3 000 000	-	-	3 000 000
Build the St-Pierre Boucan-Bois CSL in the commune of Cornillon	7 000 000	-	-	7 000 000
Rehabilitate the CSL in Cornillon	3 250 000	-	-	3 250 000
Build the Lebrun CSL in the commune of Pailliant	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the St-Yves CSL, commune of Anse-à-Veau	7 000 000	-	-	7 000 000
Rehabilitate the Montegrande dispensary in Hinche	6 000 000	-	-	6 000 000
Rehabilitate the dispensary in Bok-Banik	3 000 000	-	-	3 000 000
Build the Colminy CSL, commune of St-Marc	7 000 000	-	-	7 000 000
Rehabilitate the CSL in Carice	2 000 000	-	-	2 000 000
Rehabilitate the Acul-des-Pins dispensary in the commune of Ouanaminthe	2 000 000	-	-	2 000 000
Rehabilitate the Rose Bonite dispensary in the commune of Carice	1 750 000	-	-	1 750 000
Convert the Ste-Suzanne dispensary into a CSL	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the CSL of Ferrier	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Perches CSL	7 000 000	-	-	7 000 000
Rehabilitate the Petite-Rivière CSL in the commune of Dame-Marie	3 000 000	-	-	3 000 000
Build the Anse-à-Mission CSL in the commune of Cayemites	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Tozia CSL, commune of Pestel	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Sicard CSL, commune of Anse-d'Hainault	7 000 000	-	-	7 000 000
Build the Pourcine CSL, commune of Roseaux	7 000 000	-	-	7 000 000
Rehabilitate the Labadie dispensary, commune of Cap-Haïtien	2 500 000	-	-	2 500 000
Rehabilitate the Morme-Rouge dispensary, commune of Plaine-du-Nord	2 000 000	-	-	2 000 000
Rehabilitate the Grand-Pré dispensary, commune of Quartier-Morin	4 000 000	-	-	4 000 000
Rehabilitate the Caduch dispensary, commune of Quartier-Morin	4 000 000	-	-	4 000 000

Build the Soufrière CSL in the 6 th division of Acul-du-Nord	7 000 000	-	-	7 000 000	-	7 000 000
Build the Bois-Caïman CSL in the 1 st division of Plaine-du-Nord	7 000 000	-	-	7 000 000	-	7 000 000
Build the La Réserve CSL in the 3 rd division of Jean-Rabel	7 000 000	-	-	7 000 000	-	7 000 000
Build the CSL of Roche-à-Bâteau	7 000 000	-	-	7 000 000	-	7 000 000
Convert the CSL in Caracol into a CAL	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Build the CSL in Trois-Palmistes	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Additional rehabilitation/construction of CSLs to be determined	-	280 000 000	280 000 000	-	280 000 000	560 000 000
Sub-program: Fight endemic diseases and epidemics	370 882 582	1 000 000 000	1 500 000 000	370 882 582	1 500 000 000	2 870 882 582
Support the strengthening of the healthcare and epidemic monitoring system	1 740 000	-	-	1 740 000	-	1 740 000
Implement activities to prevent the spread of cholera over the territory of Haiti	40 000 000	-	-	40 000 000	-	40 000 000
Establish a centralized facility for acquiring contraceptives	215 656 731	-	-	215 656 731	-	215 656 731
Implement activities to prevent the spread of HIV-AIDS, tuberculosis, and malaria over the territory of Haiti	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Implement a sub-program for reducing and controlling contagious diseases in Haiti's prisons	58 534 644	-	-	58 534 644	-	58 534 644
Implement activities for prevention of the spread of [[la tongose]] over the territory of Haiti	4 000 000	-	-	4 000 000	-	4 000 000
Implement activities for preventing and treating zoonoses over the territory of Haiti	4 000 000	-	-	4 000 000	-	4 000 000
Support CRDI vaccination	26 103 394	-	-	26 103 394	-	26 103 394
Establish mechanisms for controlling tropical diseases in Port-au-Prince	10 847 813	-	-	10 847 813	-	10 847 813
Additional projects for annual implementation of national prevention and vaccination projects to be determined	-	1 000 000 000	1 500 000 000	-	1 500 000 000	2 500 000 000
Sub-program: Create a health program for schools	8 000 000	21 750 000	21 750 000	8 000 000	21 750 000	51 500 000
Strengthen the National school health program	8 000 000	21 750 000	21 750 000	8 000 000	21 750 000	51 500 000
Sub-program: Identify and treat persons at risk	62 025 000	31 750 000	23 050 000	62 025 000	31 750 000	116 825 000
Implement activities for treating persons suffering from mental illnesses	6 000 000	10 000 000	10 000 000	6 000 000	10 000 000	26 000 000

Create the Institute Haiti-Brazil for rehabilitation of handicapped persons at the Bon Repos center	21 750 000	21 750 000	13 050 000	56 550 000
Train staff for rehabilitating handicapped persons	4 350 000	-	-	4 350 000
Rehabilitate the reintegration of handicapped persons into society	21 750 000	-	-	21 750 000
Improve the grasp of policy and institutions by government and non-government agents so as to promote and defend the rights of handicapped persons	2 175 000	-	-	2 175 000
Rehabilitate Défilé de Beudet Hospital in Croix-des-Bouquets	6 000 000	-	-	6 000 000
Sub-program: Strengthen the enforcement of policies related to health and population	978 250 206	2 013 852 000	2 220 502 648	5 212 604 853
Finance operationalization of the health insurance program (pink card)	-	652 500 000	870 000 000	1 522 500 000
Undertake supplying medical materials and equipment	25 000 000	435 000 000	435 000 000	895 000 000
Establish the process of contracting in two <i>départements</i>	6 000 000	-	-	6 000 000
Execute the Early Childhood pilot project	897 884	-	-	897 884
Support creation of a human milk bank	13 050 000	-	-	13 050 000
Improve the maternal and newborn health services	217 500 000	217 500 000	216 786 600	651 786 600
Take charge of integral health of mother and child in Artibonite I	50 021 172	-	-	50 021 172
Take charge of integral health of mother and child in Artibonite II	130 500 000	130 500 000	126 158 048	387 158 048
Reduce maternal/infant mortality in the <i>départements</i> of Centre, Nippes and Sud-Est	46 352 000	46 352 000	40 558 000	133 262 000
Establish family planning activities and primary care in public markets	10 000 000	10 000 000	10 000 000	30 000 000
Strengthen the national health and reproduction program	475 929 150	-	-	475 929 150
Continue improvement of the national health and reproduction program	-	522 000 000	522 000 000	1 044 000 000
Implement strategies for harmonizing traditional medicine and modern medicine	3 000 000	-	-	3 000 000
Program: Protect and develop cultural goods and support cultural creation	1 333 520 120	777 034 668	984 318 728	3 094 873 516

Sub-program: Take responsibility for protecting, conserving, and enhancing the cultural patrimony	656 502 900	527 297 500	689 000 000	1 872 800 400
Protect, rehabilitate and enhance the fortifications in Môle-St-Nicolas	-	65 250 000	65 250 000	130 500 000
Develop and enhance the Sans-Souci National Historic Park and the Citadelle LaFerrière	-	174 000 000	174 000 000	348 000 000
Restore and enhance the British artillery pieces at Citadelle Henry in the Citadelle National Historic Park, Sans-Souci, Ramiers	4 000 000	-	-	4 000 000
Develop the King's Gardens and maintain the King's Star Apple Tree on the site of Sans-Souci	10 000 000	-	-	10 000 000
Rehabilitate and protect items of cultural patrimony for the purpose of developing tourism in Haiti's Nord	106 331 400	-	-	106 331 400
Rehabilitate the hybrid electrical power system in the Henry Citadel	-	2 995 000	-	2 995 000
Install safety railings at the Palace in Sans-Souci	-	7 352 500	-	7 352 500
Build interpretation rooms for the interior spaces in the Citadel	-	3 000 000	-	3 000 000
Assess the value of the armaments collections in the National Historic Park	-	10 000 000	-	10 000 000
Rehabilitate Fort Culbuté (the spring) and develop the visitation circuit at Fort Décidé in Marchands-Dessalines	-	8 950 000	-	8 950 000
Restore and enhance the Palace of Belle Rivière (Palace with 365 doors) in Petite-Rivière-de-l'Artibonite	-	130 500 000	304 500 000	435 000 000
Rehabilitate the premises of the National Bureau of Ethnology at Champ-de-Mars	8 000 000	-	-	8 000 000
Construct the St-Christophe memorial in Tiyanen	20 000 000	-	-	20 000 000
Rehabilitate and enhance Fort Jacques and Fort Alexandre	10 000 000	40 000 000	80 000 000	130 000 000
Recover/rehabilitate and enhance Fort des Anglais in Aquin	-	65 250 000	65 250 000	130 500 000
Reinforce the mayor's office in Jacmel to serve as part of urban management of the historic center of Jacmel	14 485 000	-	-	14 485 000
Institutional strengthening as cultural material and conservation of the patrimony for development I	13 036 500	-	-	13 036 500
Institutional strengthening as cultural material and conservation	13 050 000	4 350	-	17 400 000

of the patrimony for development II			000		
Rehabilitate the National Theater of Haiti	9 600 000	-	-	9 600 000	
Rehabilitate ENARTS	10 000 000	-	-	10 000 000	
Rehabilitate the Rex Theater	217 500 000	-	-	217 500 000	
Rehabilitate the Triomphe	217 500 000	-	-	217 500 000	
Organize the traditional Rara music groups in Léogâne	3 000 000	-	-	3 000 000	
Organize the “Dous et Fwidòy” Festival in Port-au-Prince	-	-	7 000 000	-	7 000 000
Awareness education of children regarding the patrimony in the central office of ISPAN	-	-	8 650 000	-	8 650 000
Sub-program: Decentralize Haiti’s national archives to regional development zones	91 000 000	-	-	91 000 000	
Build a complex for management of administrative documents and public archives in the metropolitan zone of Port-au-Prince	91 000 000	-	-	91 000 000	
Sub-program: Establish a network of national museums in regional development zones	17 000 000	204 500 000	125 000 000	346 500 000	
Rehabilitate the Museum of Haiti’s National Pantheon	5 000 000	-	-	5 000 000	
Configure administrative spaces of the MUPANAH in Champ-de-Mars	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Construct a new museum and convention center in Port-au-Prince	-	204 500 000	100 000 000	304 500 000	
Construct a restoration workshop for MUPANAH works	12 000 000	-	-	12 000 000	
Catalogue the Taino collection in the MUPANAH and the Taino-Haitian collections	-	-	15 000 000	-	15 000 000
Sub-program: Install cultural production equipment in the major regional development zones	435 000 000	-	20 000 000	455 000 000	
Create a cultural magazine in Port-au-Prince	-	-	20 000 000	-	20 000 000
Construct a leisure and entertainment center in the metropolitan area	435 000 000	-	-	435 000 000	
Sub-program: Establish one cultural center per regional development zone	58 500 000	24 438 728	55 000 000	137 938 728	
Build a library and an auditorium in Cap-Haïtien	-	12 219 364	5 000 000	17 219 364	
Create a cultural center in Gonaïves	-	5 000 000	5 000 000	10 000 000	

Undertake a study for building a library and an auditorium in Hinche	5 000 000	5 000 000	7 219 364	17 219 364
Develop municipal libraries	43 500 000	-	-	43 500 000
In Port-au-Prince, create a Haitian institute for conservation	10 000 000	30 000 000	-	40 000 000
Create a cultural center in Jérémie	-	10 000 000	-	10 000 000
Sub-program: Build a reading room and a cultural center in each local development zone	15 000 000	29 590 000	46 380 000	90 970 000
Construct a reading room and cultural center in Gros-Morne	5 000 000	2 000 000	-	7 000 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Cabaret	-	4 500 000	-	4 500 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Saint-Raphaël	-	5 000 000	-	5 000 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Milot	-	5 000 000	-	5 000 000
Establish a reading room and cultural center in La Valée	5 000 000	2 590 000	-	7 590 000
Establish a reading room and cultural center in Anse-à-Veau	5 000 000	2 600 000	-	7 600 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Petit-Trou-de-Nippes	-	7 900 000	-	7 900 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Baint	-	-	7 590 000	7 590 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Belle-Anse	-	-	7 700 000	7 700 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Petite-Rivière-de-Nippes	-	-	7 590 000	7 590 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Les Anglais	-	-	8 000 000	8 000 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Chardonnières	-	-	7 650 000	7 650 000
Rehabilitate the reading room and cultural center in Jean-Rabel	-	-	7 850 000	7 850 000
Sub-program: Establish a technical center for training in the arts and in traditional Haitian crafts in each local development zone	40 517 220	147 168	0	40 664 388
Create a training and production center for creative youth and artists in poorly served neighborhoods of Port-au-Prince	5 000 000	-	-	5 000 000

Install a school workshop in Jacmel I	173 820	147 168	-	320 988
Install a school workshop in Jacmel II	35 343 400	-	-	35 343 400
Sub-program: Establish a cultural development fund	10 000 000	10 000 000	10 000 000	30 000 000
Create a center for presentations, exhibitions and sale of cultural, artistic, and artisanal products in Les Cayes	10 000 000	10 000 000	10 000 000	30 000 000
Sub-program: Establish public information and communication facilities in the regional development zones	10 000 000	10 000 000	10 000 000	30 000 000
Establish a communications cell in Cap-Haïtien	5 000 000	-	-	5 000 000
Establish a communications cell in Les Cayes	5 000 000	-	-	5 000 000
Additional projects for construction of communications cells to be determined	-	10 000 000	10 000 000	20 000 000
Program 3.5: Broaden access to housing	4 459 751 160	1 797 337 913	311 900 000	6 568 989 073
Sub-program: Support relocation of earthquake victims	4 446 701 160	1 766 437 913	289 700 000	6 502 839 073
Apprenticing on the basis of experience, so as to do better reconstruction (Build Back Better)	4 350 000	-	-	4 350 000
Reconstruct and develop neighborhoods for the return of populations victimized by the earthquake	1 220 684 034	-	-	1 220 684 034
House earthquake victims in the metropolitan zone of Port-au-Prince	79 127 318	-	-	79 127 318
Install temporary shelters in all <i>départements</i> in the event of emergencies	234 900 000	-	-	234 900 000
Establish sites and services for orderly development of housing	152 250 000	-	-	152 250 000
Implement activities enhancing the intervention plan in the housing sector in Caracol and Zorangers	304 500 000	163 124 913	-	467 624 913
Implement the project for reconstructing homes in the least well served neighborhoods of the metropolitan zone of Port-au-Prince and Léogâne	1 000 000 000	1 305 000 000	-	2 305 000 000
Improve access by families of the Delmas 32 and Carrefour-Feuilles neighborhoods to community infrastructures (PRODEPUR/LOGEMENT)	339 525 960	-	-	339 525 960
Improve access by basic community organizations to basic economic infrastructures (PRODEPUR)	126 056 600	-	-	126 056 600
Improve access by basic community organizations to basic	78 172 600	-	-	78 172 600

economic infrastructures (PRODEP)								
Implement the PROREV program	28 000 000	-	-	-	28 000 000			
Build housing in Caracol	121 053 105	-	-	-	121 053 105			
Prepare the site for construction of housing in Caracol	133 501 544	-	-	-	133 501 544			
Reconstruct the neighborhoods of Martissant and Baillargeau	115 880 000	289 700 000			289 700 000			695 280 000
Extend the activities for developing popular neighborhoods (Project 16/6)	500 000 000	-	-	-	500 000 000			500 000 000
Rebuild community housing	8 700 000	8 613 000			17 313 000			17 313 000
Sub-program: Encourage expansion of urban land offerings suited to housing	-	13 200 000			13 200 000			26 400 000
Study the procedures and administrative and tax costs of the impacts on cost of access to housing, the time frames for building, and the implementation of recommendations	-	8 700 000			8 700 000			17 400 000
Sub-program: Develop a high-performance and equitable financial instrument for housing	13 050 000	17 700 000			9 000 000			39 750 000
Study the levies and taxes and their impact on the cost of mortgages and the implementation of recommendations	-	8 700 000			8 700 000			8 700 000
Create an attractive instrument for local savings and savings by the Haitian diaspora	-	4 500 000			4 500 000			9 000 000
Create a facilitating, dynamic instrument for micro-credit for housing	-	4 500 000			4 500 000			9 000 000
Develop and implement financial products for the construction of houses	8 700 000	-			8 700 000			8 700 000
Develop and implement financial products in Marigot	4 350 000	-			4 350 000			4 350 000
Program 3.6: Assume responsibility for the development of civic action, sports, leisure activities and youth	1 075 115 300	572 500 000			572 500 000			2 220 115 300
Sub-program: Promote and develop civic action	58 550 000	43 500 000			43 500 000			145 550 000
Improve economic opportunities for Haiti's vulnerable youth	21 750 000	-			21 750 000			21 750 000
Create a center for training and implementation of obligatory mixed civic service	20 000 000	-			20 000 000			20 000 000
Construct a regional center for civic services in Cap-Haïtien	5 600 000	-			5 600 000			5 600 000
Construct a regional center for civic services in Jérémie	5 600 000	-			5 600 000			5 600 000
Construct a regional center for civic services in Les Cayes	5 600 000	-			5 600 000			5 600 000

Additional projects for building regional centers for civic services, to be determined	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Sub-program: Promote and develop high-level sports	836 500 000	87 000 000	87 000 000	1 010 500 000
Undertake a study for building a performance sports center in Jérémie	10 000 000	-	-	10 000 000
Construct an Olympic center	826 500 000	-	-	826 500 000
Additional projects for construction of performance sports centers to be determined	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Sub-program: Construct multi-sport and leisure activity centers in the local development zones	15 000 000	43 500 000	43 500 000	102 000 000
Construct community centers for leisure activities and performance in Cap-Haïtien, Les Cayes, and Port-au-Prince	15 000 000	-	-	15 000 000
Additional projects for constructing multi-sport centers to be determined	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Sub-program: Develop school-age sports and municipal sports, and promote "sports for all"	130 865 300	345 000 000	345 000 000	820 865 300
Rehabilitate/construct/equip sports and leisure activity centers	101 937 800	345 000 000	345 000 000	791 937 800
Electrify the Land des Gabyons stadium in Les Cayes	21 750 000	-	-	21 750 000
Implement activities characterized by social inclusion through the practice of soccer	7 177 500	-	-	7 177 500
Sub-program: Develop handisport games	5 200 000	10 000 000	10 000 000	25 200 000
Support handisports	5 200 000	10 000 000	10 000 000	25 200 000
Sub-program: Take responsibility for protection and development of youth	29 000 000	43 500 000	43 500 000	116 000 000
Undertake an inventory of national sports practices	10 000 000	-	-	10 000 000
Implement mechanisms for protecting and enhancing young people's initiatives in the <i>départements</i> of Nord, Nord-Est, and Les Nippes	7 000 000	-	-	7 000 000
Develop the entrepreneurial capacity of young people initiatives in the <i>départements</i> of Nord, Nord-Est, and Les Nippes	12 000 000	-	-	12 000 000
Additional projects for developing and enhancing youth initiatives, to be determined	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Program 3.7: Create a social insurance system for all	-	63 075	41 325 000	104 400 000

workers								
Sub-program: Extend social insurance to all workers	-	30 450 000	30 450 000	60 900 000				
Study the current practices in Haitian social insurance and identify the priority risks to cover	-	21 750 000	-	21 750 000				
Technical and financial design of the structure of social insurance to be implemented	-	-	21 750 000	21 750 000				
Undertake awareness and motivational campaigns for employees and employers, both individual and group	-	8 700 000	8 700 000	17 400 000				
Sub-program: Strengthen the operations and improve the profitability of the system of social insurance			32 625 000	10 875 000				
Undertake an actuarial, financial and operational audit of ONA and OFATMA			21 750 000	-				
Computerize the information systems of ONA and OFATMA			10 875 000	10 875 000				
Program 3.8: Organize social solidarity	580 250 000	826 500 000	826 500 000	2 233 250 000				
Sub-program: Build a social insertion reception center for children in each local development zone	451 250 000	652 500 000	652 500 000	1 756 250 000				
Establish 3 transit centers for minors in danger, in Belladère, Ouanaminthe, and Jacmel	25 000 000	-	-	25 000 000				
Establish 2 social reinsertion centers for street children in Cap-Haïtien and Port-au-Prince	13 000 000	-	-	13 000 000				
Construct 9 transit centers for street children	195 750 000	-	-	195 750 000				
Construct social-community infrastructures at Wharf Jérémie in Cité-Soleil	217 500 000	-	-	217 500 000				
Additional projects for rehabilitation/construction of reception centers to be determined	-	652 500 000	652 500 000	1 305 000 000				
Sub-program: Construct a safe workshop in each of the local development zones	20 000 000	43 500 000	43 500 000	107 000 000				
Install an artisan's village in Cap-Haïtien	5 000 000	-	-	5 000 000				
Install 10 community bakeries	10 000 000	-	-	10 000 000				
Install an artisan's village in Jacmel	5 000 000	-	-	5 000 000				
Additional projects for constructing safe workshops to be determined	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000				
Sub-program: Construct a reception center for dependent adult persons in each local development zone	60 000 000	87 000 000	87 000 000	234 000 000				

Construct a residential center for seniors in Port-au-Prince	20 000 000	-	-	-	20 000 000
Undertake studies for constructing 2 residential centers for seniors in Cap-Haïtien and Les Cayes	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Build 4 professional training centers serving handicapped persons in Port-au-Prince, Cap-Haïtien, Jacmel, and Les Cayes	30 000 000	-	-	-	30 000 000
Additional projects for constructing reception centers for dependent adults, to be determined	-	87 000 000	87 000 000	87 000 000	174 000 000
Sub-program: Build a residential center for women and children victims of violence in each local development zone	49 000 000	43 500 000	43 500 000	43 500 000	136 000 000
Establish a program for socio-economic insertion for girls and women in the départements of Sud, Grande-Anse, Centre, Nord, Nord-Est, Nord-Ouest, and Ouest	35 000 000	-	-	-	35 000 000
Establish 2 centers for reception and reinsertion through technical and professional training for young women in difficult circumstances	14 000 000	-	-	-	14 000 000
Additional projects for constructing residential centers, to be determined	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Program 3.9: Ensure gender equality	15 508 535	100 485 000	87 000 000	87 000 000	202 993 535
Sub-program: Create a gender and development fund	808 535	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 808 535
Promote economic opportunities in rural areas	808 535	-	-	-	808 535
Additional projects for promoting economic opportunities in rural areas, to be determined	-	43 500 000	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Sub-program: Fight violence against women and girls	14 700 000	56 985 000	43 500 000	43 500 000	115 185 000
Prevent and protect against gender-specific violence in the ten <i>départements</i>	6 000 000	43 500 000	43 500 000	43 500 000	93 000 000
Undertake activities on behalf of adolescents	8 700 000	13 485 000	-	-	22 185 000

Great Project 4
Institutional reconstruction
Projects PTI 2014-2016

Chapter 4

List of projects proposed
for the Great Project of
institutional reconstruction

Table 19: Great Project 4. Institutional reconstruction

Projects	2014 cost	2015 cost	2016 cost	Total cost
PTI 2014-2016, values in gourdes	102 125 215 875	100 787 419 692	106 600 527 435	309 513 163 003
Great Project 4: Institutional reconstruction	16 254 139 339	14 311 783 464	11 970 653 067	42 536 575 870
Program 4.1: Revise the legal framework	20 055 071	43 500 000	43 500 000	107 055 071
Sub-program: Modernize the legal framework for land use and local development	20 055 071	43 500 000	43 500 000	107 055 071
Standardize property titles	55 071	-	-	55 071
Establish a land registry information system in Carrefour, Croix-des-Bouquets, Pétiou-Ville, and Delmas	20 000 000	-	-	20 000 000
Additional projects for establishing land registry information systems, to be determined	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Program 4.2: Strengthen national democratic institutions	1 483 583 616	1 141 720 000	935 250 000	3 560 553 616
Sub-program: Take responsibility for financing elections	202 790 000	28 970 000	-	231 760 000

Support the electoral process	202 790 000	28 970 000	-	-	231 760 000
Sub-program: Strengthen parliamentary action	485 000 000	308 000 000	0	0	793 000 000
Build the new home for the legislature	430 000 000	308 000 000	-	-	738 000 000
Implement activities to strengthen the Senate	25 000 000	-	-	-	25 000 000
Create a research and documentation center at the Chamber of Deputies	30 000 000	-	-	-	30 000 000
Support Parliament	-	-	-	-	-
Sub-program: Strengthen independent institutions	192 000 000	108 750 000	195 750 000	195 750 000	496 500 000
Construct and outfit the new building for the Court of Auditors and Administrative Appeals in Dispute (CSC/CA)	172 000 000	-	-	-	172 000 000
Construct the building for the regional CSC/CA in Fort-Liberté	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Construct the building for the regional CSC/CA in Saint-Marc	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Construct the building for the regional CSC/CA in Jérémie	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Additional projects for building regional CSC/CA offices to be determined	-	21 750 000	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Construct the central office of the OPC	-	43 500 000	87 000 000	87 000 000	130 500 000
Construct the central office of the CEP	-	43 500 000	87 000 000	87 000 000	130 500 000
Sub-program: Ensure the identification of persons and goods	603 793 616	696 000 000	739 500 000	739 500 000	2 039 293 616
Construct the central office of the ONI and the Recorder's Office	-	43 500 000	87 000 000	87 000 000	130 500 000
Strengthen the identification of persons and goods	-	652 500 000	652 500 000	652 500 000	1 305 000 000
Support the modernization of Haiti's Recorder's Office	603 793 616	-	-	-	603 793 616
Program 4.3: Modernize the central administration	11 965 297 778	6 807 813 464	5 766 208 000	5 766 208 000	24 539 319 242
Sub-program: Relocate and equip the central administration	1 920 566 898	2 718 750 000	2 740 500 000	2 740 500 000	7 379 816 898
Implement a policy of simplified access to public services	-	21 750 000	43 500 000	43 500 000	65 250 000

Supply material and equipment	50 000 000	-	-	50 000 000	-	50 000 000
Rehabilitate the building housing the Office of Mines and Energy	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Establish the cement laboratory of the LNBTP	5 000 000	-	-	5 000 000	-	5 000 000
Establish the laboratory for monitoring steel of the LNBTP	5 000 000	-	-	5 000 000	-	5 000 000
Reconstruct the key ministries and the decentralized administrative services	37 763 148	-	-	37 763 148	-	37 763 148
Construct and rehabilitate the central office of the MARNDR	-	87 000 000	87 000 000	-	87 000 000	174 000 000
Construct the building housing the Ministry of Commerce and Industry	435 000 000	-	-	435 000 000	-	435 000 000
Construct the building housing the Ministry of Foreign Affairs and Religions	435 000 000	-	-	435 000 000	-	435 000 000
Construct and equip the building housing the Ministry of Finance	688 000 000	-	-	688 000 000	-	688 000 000
Construct and equip the building housing the MPCE	172 000 000	-	-	172 000 000	-	172 000 000
Rehabilitate the secondary building housing the UCREF	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
End the closure of the School of Magistrates (EMA) and expand its dormitory	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Renovate Argentina's diplomatic headquarters	3 243 750	-	-	3 243 750	-	3 243 750
Renovate the French diplomatic building	8 000 000	-	-	8 000 000	-	8 000 000
Renovate the Belgian diplomatic building	4 325 000	-	-	4 325 000	-	4 325 000
Renovate the Italian diplomatic building	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Renovate the diplomatic building of the Dominican Republic	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Renovate the consular office of the Dominican Republic	4 235 000	-	-	4 235 000	-	4 235 000
Undertake a study for construction of a new CNMP premises in Port-au-Prince	10 000 000	-	-	10 000 000	-	10 000 000
Create a workshop for maintenance and repair of vehicles in Port-au-Prince (MICT)	8 000 000	-	-	8 000 000	-	8 000 000
Construct the building intended to house the Ecole Nationale Supérieure de Technologie	5 000 000	-	-	5 000 000	-	5 000 000
Additional projects for rehabilitating and equipping public buildings, to be determined	-	2 610 000 000	2 610 000 000	-	2 610 000 000	5 220 000 000
Sub-program: Undertake a re-engineering of public administrative services	1 751 760 000	1 825 380 000	1 709 410 000	1 751 760 000	1 825 380 000	5 286 550 000
Implement the reform of the central administrative services of	15 000 000	43 500	43 500 000	15 000 000	43 500 000	102 000 000

the state			000			
Strengthen the national system for managing risks and disasters	100 000 000	100 000 000	100 000 000	100 000 000	300 000 000	
Implement activities to strengthen the national system for managing risks and disasters and for reconstruction	565 500 000	-	-	-	565 500 000	
Implement measures to mitigate risks and disasters in vulnerable areas	75 000 000	435 000 000	435 000 000	435 000 000	945 000 000	
Support management of risks and disasters	1 000 000	-	-	-	1 000 000	
Support the national system for managing risks and disasters	144 850 000	115 880 000	115 880 000	86 910 000	347 640 000	
Institutional strengthening of environmental management	2 610 000	-	-	-	2 610 000	
Reconstruction and management of risks and disasters	565 500 000	957 000 000	957 000 000	739 500 000	2 262 000 000	
Sub-program for attenuating natural disasters in the watersheds of Nord and Sud <i>départements</i>	252 300 000	-	-	-	252 300 000	
Initiation of effective decentralization of public services	10 000 000	21 750 000	21 750 000	21 750 000	53 500 000	
Launch the process of decentralization in the 10 <i>départements</i>	15 000 000	21 750 000	21 750 000	21 750 000	58 500 000	
Create or strengthen systems for maintaining and managing infrastructures and equipment according to major type of infrastructure or equipment	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000	130 500 000	
Organize a National Agency for Protected Areas	5 000 000	87 000 000	87 000 000	174 000 000	266 000 000	
Sub-program: Accelerate the reform of the civil service	299 666 917	435 000 000	435 000 000	565 500 000	1 300 166 917	
Strengthen the framework for managing human resources in the civil service	-	217 500 000	217 500 000	217 500 000	435 000 000	
Support managing of human resources in the civil service	168 562 500	-	-	-	168 562 500	
Strengthen the Ecole Nationale d'Administration Publique	5 000 000	43 500 000	43 500 000	174 000 000	222 500 000	
Strengthen the Ecole Nationale d'Administration Financière	7 500 000	21 750 000	21 750 000	21 750 000	51 000 000	
Strengthen the CTPEA	6 142 217	21 750 000	21 750 000	21 750 000	49 642 217	
Strengthen the INFP	112 462 200	130 500 000	130 500 000	130 500 000	373 462 200	

Sub-program: Increase the institutional strengthening of central administrative services	7 993 303 963	1 828 683 464	750 798 000	10 572 785 426
Strengthen public administrative services	50 000 000	217 500 000	217 500 000	485 000 000
Undertake activities to strengthen the National Palace	200 000 000	-	-	200 000 000
Strengthen the secretariat of CIAT (Phase III)	24 045 100	-	-	24 045 100
Support the technical secretariat of CAED	27 231 800	-	-	27 231 800
Hold a roundtable for discussions between the government of Haiti and Haiti's development partners	4 350 000	-	-	4 350 000
Undertake a study for constructing and equipping garages, premises and the cafeteria of the Primature	100 000 000	-	-	100 000 000
Undertake studies on the needs of communes and divisions of communes	8 000 000	-	-	8 000 000
Undertake action research training	5 000 000	-	-	5 000 000
Undertake training in government contract bidding and works concessions, for public agents, in Port-au-Prince, Cap-Haitien, and Les Cayes	10 000 000	-	-	10 000 000
Implement the program for technical assistance and institutional support of public policy	3 000 000	-	-	3 000 000
Institutional strengthening of the Ministry of Planning and Foreign Aid	24 914 200	-	-	24 914 200
Implement activities respecting planning and management of public policies	60 000 000	-	-	60 000 000
Provide tools for orienting development investments	10 000 000	-	-	10 000 000
Institutional strengthening of the National Council on Cooperatives	10 000 000	-	-	10 000 000
Support the Office of the National Authorizing Officer of the FED in Haiti	34 764 000	-	-	34 764 000
Institutional strengthening of CNIQS	69 574 352	-	-	69 574 352
Institutional strengthening of MPCE/UCAONG, Phase V	24 914 200	-	-	24 914 200
Standardize Haitian land titles	21 750 000	-	-	21 750 000
Strengthen the Ministry of the Economy and Finance	30 000 000	-	-	30 000 000
Strengthen the Tax Analysis and Policy Unit	4 701 334	-	-	4 701 334
Transform the Treasury Directorate into the General Directorate for the Treasury and Public Accounting	100 000 000	-	-	100 000 000
Institutional strengthening of the Project Coordination Unit	45 824 949	-	-	45 824 949

Support the coordination and administration of the Customs Taxation Administration	1 701 288 467	-	-	1 701 288 467
Support the creation of the IDB program (HA-L1035)	443 178	-	-	443 178
Strengthen and develop statistical research	10 000 000	-	-	10 000 000
Support planning and programming of results-oriented management	1 749 570	-	-	1 749 570
Strengthen the Analysis of Debt Sustainability Unit	10 875 000	-	-	10 875 000
Mobilize tax receipts and technical assistance	200 791 476	174 000 000	-	374 791 476
Direct budgetary support	347 640 000	-	-	347 640 000
Financing technical assistance	20 279 000	11 588 000	11 588 000	43 455 000
Support the Research and Capacity Building Fund I	12 746 800	5 794 000	-	18 540 800
Support the Research and Capacity Building Fund II	5 794 000	5 794 000	-	11 588 000
Financial contribution to FRH	-	463 520 000	-	463 520 000
Implement activities to increase institutional strength of the Haitian Postal Service	89 993 161	-	-	89 993 161
Establish a Standards Bureau	3 000 000	-	-	3 000 000
Support MCI	89 993 161	86 313 971	86 910 000	263 217 132
Institutional strengthening and promotion of investments in Haiti	26 796 000	-	-	26 796 000
Undertake studies on pre-investment	-	400 000 000	400 000 000	800 000 000
Make a loan to food assistance (KR 2012)	280 880 066	-	-	280 880 066
Strengthen management of public services to agriculture (GFRP)	108 750 000	-	-	108 750 000
Establish the Bureau of Standards	15 000 000	-	-	15 000 000
Support creation of an action plan on behalf of the environment II	5 000 000	-	-	5 000 000
Support establishment of Haiti's program for the reform of education	403 985	-	-	403 985
Pilot program: 1 computer per child	25 121 729	-	-	25 121 729

Support the strengthening, modernizing, and reconstruction of the provision of educational services in the <i>département</i> of Sud-Est	289 700 000	-	-	-	289 700 000
Strengthen the development of early childhood	2 480 000	-	-	-	2 480 000
Support the modernization and updating of personnel management tools at MENFP	11 588 000	-	-	-	11 588 000
Support implementation of the education reform plan	305 065 500	-	-	-	305 065 500
Buttress the program of support for education	7 555 950	-	-	-	7 555 950
Voluntary cooperation in support of governance and education	217 500 000	186 280	833	-	403 780 833
Support education planning	59 762 171	-	-	-	59 762 171
Community services and building institutional capacities of MOH; support for the healthcare system of the Ministry of Health: CHAMP	234 900 000	-	-	-	234 900 000
Support improvements in reproductive health	475 929 150	-	-	-	475 929 150
Strengthen the national program for developing the energy sector	551 033 716	-	-	-	551 033 716
Strengthen the system for monitoring the weight of road transportation vehicles	20 000 000	-	-	-	20 000 000
Awareness of highway safety in Haiti	1 723 557	-	-	-	1 723 557
Support the program for drinking water and sanitation	91 350 000	-	-	-	91 350 000
Support Haiti's transportation sector	217 500 000	-	-	-	217 500 000
Repair material and heavy equipment of MTPC	32 625 000	-	-	-	32 625 000
Acquire maritime navigation equipment	27 334 462	-	-	-	27 334 462
Sub-program for rehabilitating and maintaining transportation infrastructures and urban equipment	343 199 335	-	-	-	343 199 335
Support the initiatives to protect Haitian children, Phases II and III	13 050 000	-	-	-	13 050 000
Support for strengthening culture and the arts, for economic and social development	52 146 000	-	-	-	52 146 000
Establish group management and fight pirating in the area of copyright	17 000 000	-	-	-	17 000 000
Undertake a nation-wide inquiry into political culture and citizen practices	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Undertake an inquiry on frontier control and attacks on citizen freedom	2 000 000	-	-	-	2 000 000

Institutional strengthening of the Central Financial Information Unit	5 000 000	-	-	5 000 000
Support improvement of court services and reform of the justice sector	381 220 298	-	-	381 220 298
Support initial training and skill-updating of PNH officials	217 500 000	230 042 660	-	447 542 660
PNH training program, Phase II	4 350 000	47 850 000	34 800 000	87 000 000
Support for improvements in court services and reform of the justice sector	381 220 298	-	-	381 220 298
Establish a mechanism for identifying Haitians living abroad	10 000 000	-	-	10 000 000
Integration and promotion of Haitian culture among the diaspora	10 000 000	-	-	10 000 000
Establish a mechanism for cooperation in development	10 000 000	-	-	10 000 000
Support acquisition of new technologies to serve the government	85 477 500	-	-	85 477 500
Implement new technologies in service to the government	85 477 500	-	-	85 477 500
Program 4.4: Modernize the devolved administration	52 146 000	-	-	52 146 000
Sub-Program: Build and equip administrative centers	238 000 000	2 175 000 000	2 277 000 000	4 690 000 000
Create a permanent budget item for managing, operating, and maintaining regional administrative centers	-	174 000 000	174 000 000	348 000 000
Equip the departmental and communal offices of the MSPP in the <i>départements</i> of Nord, Centre, and Ouest	5 000 000	-	-	5 000 000
Construct and outfit the regional offices and BAC of the Ministry of Agriculture and Natural Resources and Rural Development (MARNDR) in the <i>départements</i> of Nord, Centre, and Ouest	20 000 000	-	-	20 000 000
Construct and outfit the regional offices and BAC of the Ministry of Agriculture and Natural Resources and Rural Development (MARNDR) in the <i>département</i> of Centre	-	-	87 000 000	87 000 000
Undertake a study for constructing the ODN in the <i>département</i> of Nord	25 000 000	-	-	25 000 000
Undertake a study for constructing and institutional strengthening the ODN in the <i>département</i> of Nord-Ouest	-	-	15 000 000	15 000 000
Construct the departmental office of MEF in Nord-Ouest	15 000 000	-	-	15 000 000
Construct the departmental office of MEF in Nord	15 000 000	-	-	15 000 000
Construct the departmental office of MEF in Centre	15 000 000	-	-	15 000 000

Construct the district office of MEF in Petit-Gâve	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Construct the immigration and emigration office in Gonaïves	25 000 000	-	-	-	25 000 000
Construct the immigration and emigration office in Jacmel	15 000 000	-	-	-	15 000 000
Construct the immigration and emigration office in Les Cayes	8 000 000	-	-	-	8 000 000
Construct the immigration and emigration office in Île-à-Vache	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Construct the departmental office of MSPP in Nord-Est, Nord-Ouest, and Nippes	10 000 000	-	-	-	10 000 000
Equip the new premises of MSPP in Mais-Gâté	5 000 000	-	-	-	5 000 000
Additional projects for rehabilitating/constructing administrative centers in regional development zones, to be determined	-	261 000 000	261 000 000	-	522 000 000
Gradually introduce administrative centers to be built so as to complete the network of 41 centers, i.e., one per <i>arrondissement</i>	-	1 740 000 000	1 740 000 000	-	3 480 000 000
Construct premises to house the vice-delegation from Saint-Marc	13 000 000	-	-	-	13 000 000
Construct premises to house the vice-delegation from Mirebalais	13 000 000	-	-	-	13 000 000
Construct premises to house the vice-delegation from Grande-Rivière-du-Nord	13 000 000	-	-	-	13 000 000
Construct premises to house the vice-delegation from Trou-du-Nord	13 000 000	-	-	-	13 000 000
Construct premises to house the vice-delegation from Limbé	13 000 000	-	-	-	13 000 000
Sub-program: Increase the number of personnel	7 000 000	-	-	-	7 000 000
Support equipping of staff residences in healthcare institutions in Nord, Nord-Est, and Centre	7 000 000	-	-	-	7 000 000
Sub-program: Increase the institutional strengthening of the devolved administration	18 400 000	-	-	-	18 400 000
Implement activities to strengthen local management of education	18 400 000	-	-	-	18 400 000
Program 4.5: Decentralize	431 186 296	628 625 000	245 750 000	-	1 305 561 296
Sub-program: construct and equip administrative centers	332 500 000	596 000 000	224 000 000	-	1 152 500 000
Install a commune database	12 000 000	-	-	-	12 000 000
Construct and equip the City Hall (Hôtel de ville) in Port-au-Prince	172 000 000	372 000 000	-	-	544 000 000
Reconstruct the City Hall in Verrettes	15 000 000	-	-	-	15 000 000
Construct the City Hall in Lachapelle	14 000 000	-	-	-	14 000 000

Construct the City Hall in Plaine-du-Nord	14 000 000	-	-	-	14 000 000
Construct the City Hall in La Victoire	14 000 000	-	-	-	14 000 000
Undertake a study to construct the City Hall in Saint-Raphaël	14 000 000	-	-	-	14 000 000
Construct the City Hall in Ferrier	14 000 000	-	-	-	14 000 000
Construct the office of the first communal division of Liancourt/Verrettes	4 500 000	-	-	-	4 500 000
Construct the office of the first communal division of Déluge/Saint-marc	4 500 000	-	-	-	4 500 000
Construct the office of the first communal division of Basse-Plaine/Limonade	4 500 000	-	-	-	4 500 000
Construct service centers in communal divisions	50 000 000	50 000 000	-	50 000 000	150 000 000
Additional projects to rehabilitate/construct city halls and communal division offices, to be determined	-	174 000 000	-	174 000 000	348 000 000
Sub-program: Increase the number of personnel	40 000 000	-	-	-	40 000 000
Construct a territorial government executive training center in Aquin	40 000 000	-	-	-	40 000 000
Sub-program: Increase local financial resources	-	32 625 000	-	21 750 000	54 375 000
Revise the tax categories at the disposal of territorial governing units	-	10 875 000	-	-	10 875 000
Strengthen territorial governments by protecting their taxing categories	-	21 750 000	-	21 750 000	43 500 000
Sub-program: Increase the institutional strength of territorial governing bodies	58 686 296	-	-	-	58 686 296
Implement activities for training local officials	500 000	-	-	-	500 000
Municipal cooperation program (region of Palmes and Port-au-Prince)	58 186 296	-	-	-	58 186 296
Program 4.6: Strengthen civil society	178 204 000	303 000 000	-	303 000 000	784 204 000
Sub-program: Promote the organization of partnerships in civil society	85 500 000	85 500 000	-	85 500 000	256 500 000
Implement activities to provide structural guidance to civil society	80 500 000	80 500 000	-	80 500 000	241 500 000
Implement activities to modernize and energize associations for consumers' rights	5 000 000	5 000 000	-	5 000 000	15 000 000

Sub-program: Increase funding of development activities	92 704 000	217 500 000	217 500 000	217 500 000	217 500 000	527 704 000
Support the program to strengthen civil society	92 704 000	-	-	-	-	92 704 000
Finance activities to develop civil society	-	217 500 000	217 500 000	217 500 000	217 500 000	435 000 000
Program 4.7: Strengthen the administration of justice and public safety	1 912 412 579	3 212 125 000	3 212 125 000	2 399 945 067	2 399 945 067	7 524 482 646
Sub-program: Expand the network of courts	743 000 000	1 315 000 000	1 315 000 000	522 000 000	522 000 000	2 580 000 000
Construct and equip the Court House (Palais de Justice) in Port-au-Prince	344 000 000	793 000 000	793 000 000	-	-	1 137 000 000
Construct and equip the Court House in Cassation	129 000 000	-	-	-	-	129 000 000
Certify judges	40 000 000	-	-	-	-	40 000 000
Rehabilitate and construct the Court of the Justice of the Peace and Public Registry offices	-	174 000 000	174 000 000	174 000 000	174 000 000	348 000 000
Rehabilitate/construct the Court of Appeals building	-	174 000 000	174 000 000	174 000 000	174 000 000	348 000 000
Construct three (3) Courts of Appeal in Hinche	12 000 000	-	-	-	-	12 000 000
Rehabilitate and construct Lower Courts buildings	-	174 000 000	174 000 000	174 000 000	174 000 000	348 000 000
Rehabilitate/construct a Lower Court building in Grande-Rivière-du-Nord	10 000 000	-	-	-	-	10 000 000
Rehabilitate/construct a Lower Court building in Saint-Marc	25 000 000	-	-	-	-	25 000 000
Rehabilitate/construct a Lower Court building in Croix-des-Bouquets	25 000 000	-	-	-	-	25 000 000
Rehabilitate/construct a Lower Court building in Jérémie	5 000 000	-	-	-	-	5 000 000
Rehabilitate/construct a Lower Court building in Anse-à-Veau	10 000 000	-	-	-	-	10 000 000
Rehabilitate/construct a Lower Court building in Miragoâne	25 000 000	-	-	-	-	25 000 000
Construct administrative offices (Court of the Justice of the Peace, ONI and OEC) in Môle-St-Nicolas	13 000 000	-	-	-	-	13 000 000
Construct administrative offices (Court of the Justice of the Peace, ONI and OEC) in Grande-Rivière-du-Nord	12 000 000	-	-	-	-	12 000 000
Construct Courts of the Justice of the Peace in Gonaïves	10 000 000	-	-	-	-	10 000 000
Construct administrative offices (Court of the Justice of the Peace, ONI and OEC) in Desdunes	10 000 000	-	-	-	-	10 000 000
Construct administrative offices (Court of the Justice of the Peace, ONI and OEC) in Desdunes	12 000 000	-	-	-	-	12 000 000

Peace, ONI and OEC) in Lachapelle						
Construct Courts of the Justice of the Peace in Port-au-Prince	16 000 000	-	-	-	-	16 000 000
Construct administrative offices (Court of the Justice of the Peace, ONI and OEC) in Martissant	15 000 000	-	-	-	-	15 000 000
Construct administrative offices (Court of the Justice of the Peace, ONI and OEC) in Tabarre	14 000 000	-	-	-	-	14 000 000
Construct administrative offices (Court of the Justice of the Peace, ONI and OEC) in the north section of Port-au-Prince	16 000 000	-	-	-	-	16 000 000
Sub-program: Strengthen the network of infrastructures for maintaining order and responding to emergencies and fire						
Build the capacities of the National Police of Haiti	1 169 412 579	1 560 000 000	1 540 820 067	4 270 232 646		
	438 412 579	435 000 000	435 000 000	1 308 412 579		
Implement an action plan for improving public safety	100 000 000	-	-	100 000 000		
Construct the premises of the Corps of Intervention and Maintenance of Order (CIMO)	140 000 000	-	-	140 000 000		
Rehabilitate/construct police stations	50 000 000	345 000 000	345 000 000	740 000 000		
Rehabilitate/construct police stations	-	345 000 000	345 000 000	690 000 000		
Projects for rehabilitating/constructing naval bases to be determined	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000		
Construct frontier infrastructures in Ouanaminthe	14 500 000	-	-	14 500 000		
Construct and equip the frontier administrative complex in Ouanaminthe	130 500 000	-	-	130 500 000		
Construct frontier infrastructures in Belladère	10 000 000	-	-	10 000 000		
Construct frontier infrastructures in Anse-à-Pitre	10 000 000	-	-	10 000 000		
Reinforce border control facilities in the <i>départements</i> of Ouest, Nord-Est, Sud-Est, and Centre	15 000 000	-	-	15 000 000		
Additional projects for rehabilitating/constructing border control facilities to be determined	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000		
Construct the Police Academy in Ganthier	261 000 000	261 000 000	241 820 067	763 820 067		
Sub-program: Strengthen the network of prisons and detention centers						
Rehabilitate/construct prisons	-	304 500 000	304 500 000	609 000 000		
Rehabilitate/construct detention facilities	-	174 000 000	174 000 000	348 000 000		
Rehabilitate/construct detention facilities	-	87 000 000	87 000 000	174 000 000		

Rehabilitate/construct juvenile detention centers	-	43 500 000	43 500 000	87 000 000
Sub-program: Develop awareness of gender in the judiciary	-	32 625 000	32 625 000	65 250 000
Establish special courts concerned with violence done to women, or appoint specialized judges	-	21 750 000	21 750 000	43 500 000
Implement a specific program for gender awareness training directed at judicial system agents	-	10 875 000	10 875 000	21 750 000